

2019（令和元）年度

弘前学院大学

「学修行動・学修成果アンケート調査」

実施結果報告書

まえがき

大学生を取り巻く環境は、現在急激に変化しつつある。学生生活、大学生活のあり方もそれにつれて大きく変化してきている。

こうした状況において、学生たちの学修行動や、学修の成果にはどのような変化が生まれているのであろうか。学生に対する支援のあり方をどのように進めて行くか、その方向性を探るためにも、学修行動の実態や学修成果の状況を定期的に把握していかなければならない。

このような調査は、本学では従来、学部では実施されてきたものではあるが、大学全体として統一的におこなうのは今回が初めてである。

大学における教育の質について、その充実・向上、点検・評価、それを踏まえた改善というサイクルが求められ、全国の大学で広く実施されてきている。

本学でも全学的教学マネジメント体制を整備しつつ、教育の質保証に係る評価の一環として、昨年度に引き続き、学士課程教育の検証を目的として、学生の成長実感、満足度に焦点を当て、初年次教育、教養教育、専門教育の成果・効果を測るために、あわせてその支援体制としての学修環境・学生生活に関する意見を求めた。

こうして、本学の教育の有効性を検証するとともに、外部への説明責任を果たすべく、この結果を公表するものである。

目 次

まえがき

I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項 (1)

II 実施結果 (3)

III 資料

(1) 回収状況等 (74)

(2) 学修行動・学修成果アンケート調査票 (75)

(3) 自由記述 (80)

あとがき

I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項

弘前学院大学FD委員会

はじめに

「弘前学院大学教育推進会議」規程第3条及び「大学FD委員会」規程第5条に基づき、本学の教育の質保証に係る評価の一環として、全学学生の学修に関する調査を実施する。

1. 目的

弘前学院大学の教育の質保証について、本学の学士課程教育の有効性の検証を行うべく、本学学生における学修行動、学修成果に関して、学生の意識、行動、学修充実度等の調査・分析の実施、および点検・評価を行い、その結果を踏まえて、教育課程・教育方法・教育内容等の改善、充実に資することを目的とする。

2. 調査内容

A 学修行動

1. 授業以外の諸活動（部活、ボランティア活動、アルバイト）
2. 勉学状況

登校・出席状況、受講時間、授業への関心度、授業の難易度、授業への取組、事前事後学修・関連学修、授業以外の学修行動（読書、新聞、定期的購読誌等、インターネット使用、ゲーム等）

B 学修成果

1. 教育理念（建学精神）、2つのポリシー
2. 外国語能力
3. ICTリテラシー
4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル
5. 総合的な力

- 自己の資質、能力の変化、向上
- 表現する力の変化、向上
- 他者と協働する力の変化、向上

C その他—大学満足度

自由記述—弘前学院大学に対する要望

3. 設問内容

資料：「学修行動・学修成果アンケート調査票」参照

4. 調査主体

大学FD委員会、IR室。

5. 調査時期

回収率及び調査の精度を上げるため、以下のように実施する。

①調査学年1年生～3年生について

新年度（すなわち新2年生～新4年生）の在学生オリエンテーション時
…2020（令和2）年4月4日（土）に実施。

②調査学年4年生について

学位記授与式の前日の予行日（リハーサル時）
…2020（令和2）年3月13日（金）に実施。

6. 調査方法

アンケート用紙と回答用紙の配布、回収

7. 調査対象者（卒業予定者数、回収数、回収率）

弘前学院大学の全学部全学年学生

8. 実施体制

大学FD委員会及び各学部FD委員会。

II 実施結果

問1 所属について

学部	学科（コース）	1年	2年	3年	4年
文学部	英語・英米文学科	20	27	19	21
	日本語・日本文学科	42	28	41	45
社会福祉学部	社会福祉実践コース	35	32	26	24
	人間科学コース		8	14	7
看護学部	看護学科	40	56	41	37

なお「III 資料（1）回収状況等」（74ページ）も参照されたい。

問2 居住形態について

居住形態は次のとおりである（回答数 560）。

学部 \ 居住形態	自宅	下宿	アパート
文学部	188人 (77.4%)	9人 (3.7%)	46人 (18.9%)
社会福祉学部	107人 (73.8%)	10人 (6.9%)	28人 (19.3%)
看護学部	110人 (64.0%)	14人 (8.1%)	48人 (27.9%)
大学全体 560人	405人 (72.3%)	33人 (5.9%)	122人 (21.8%)

なお、全体として学年による差は見られなかった。また文学部の学科（英語英米文学科・日本語日本文学科）による差も見られなかった。

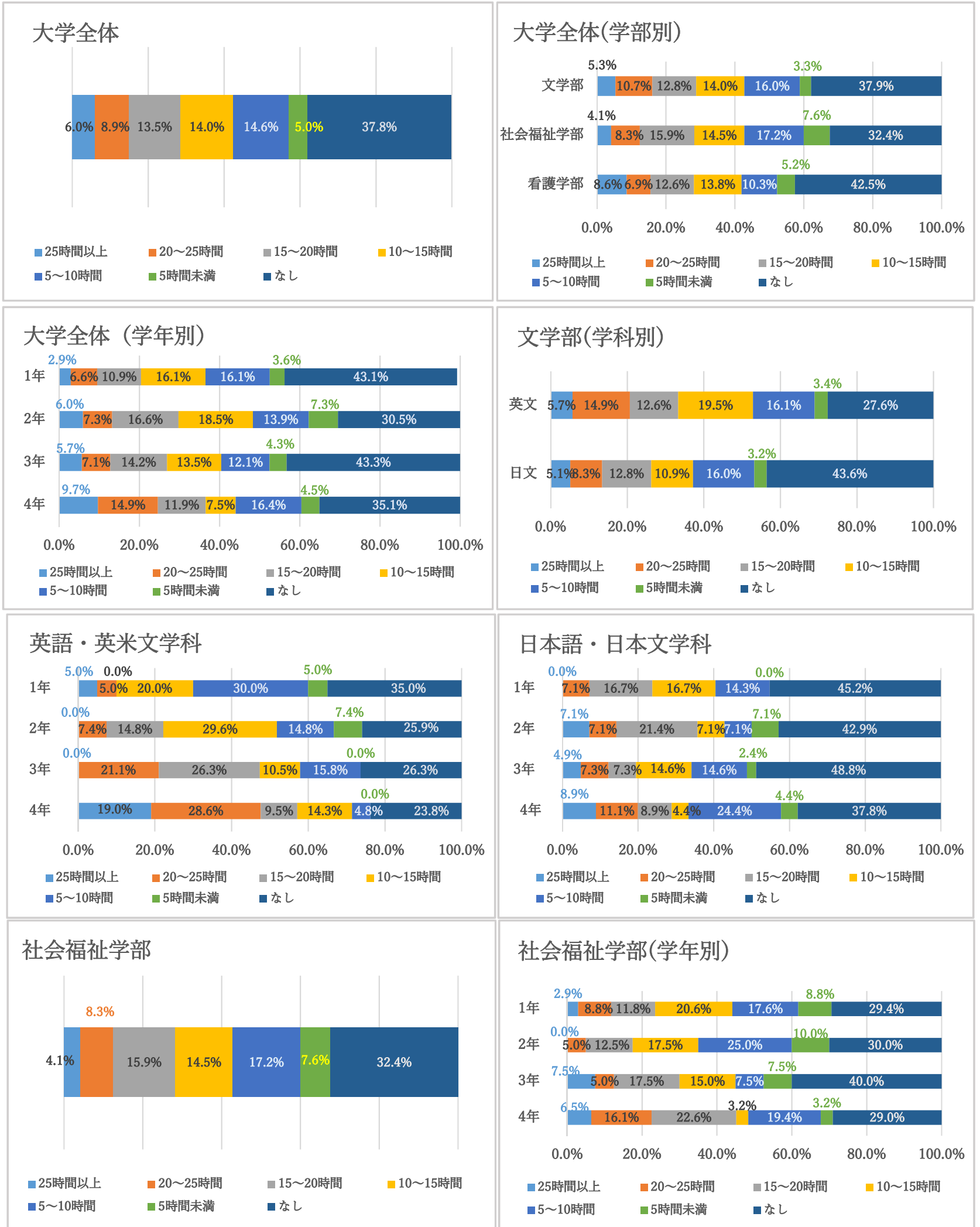
問3 身分について

日本人学生は 560 人、留学生は社会福祉学部 4 年生に 1 人である。

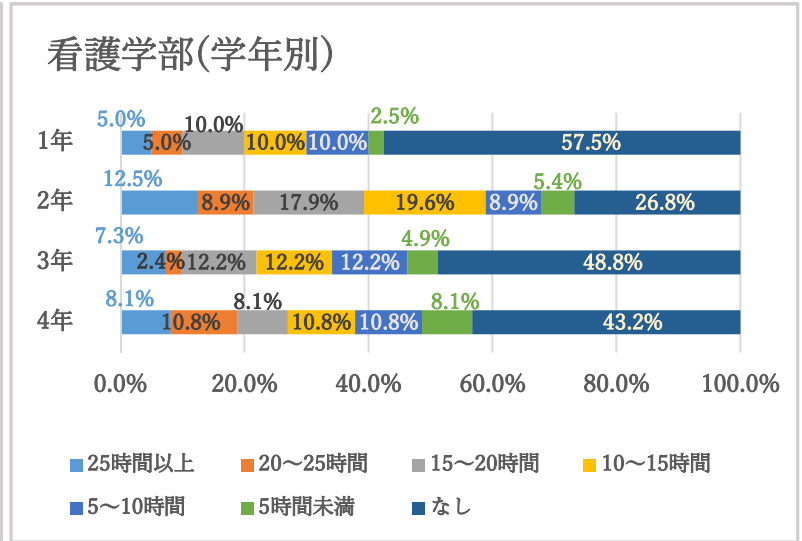
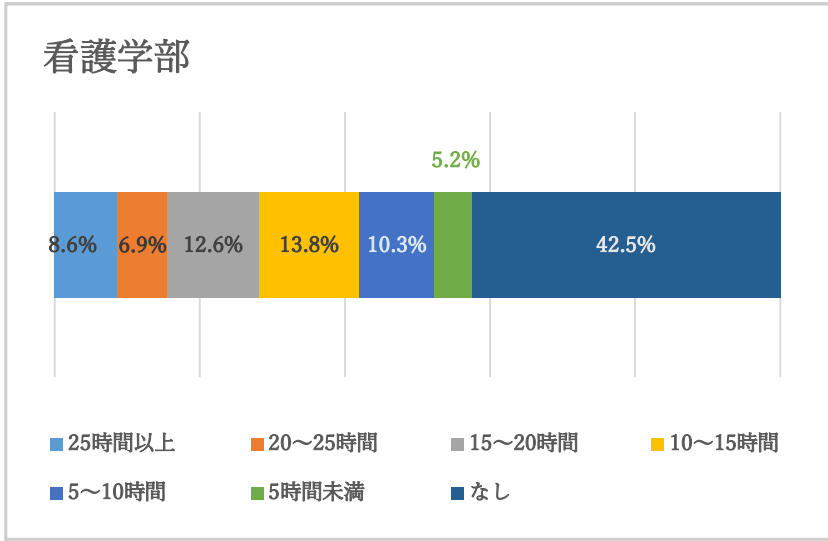
0 I 学修行動（問4～問21 グラフ）

1. 授業以外の諸活動

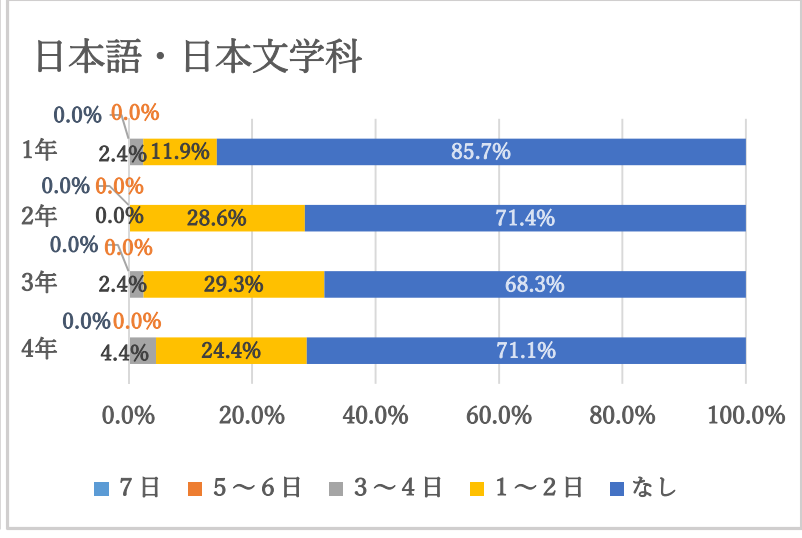
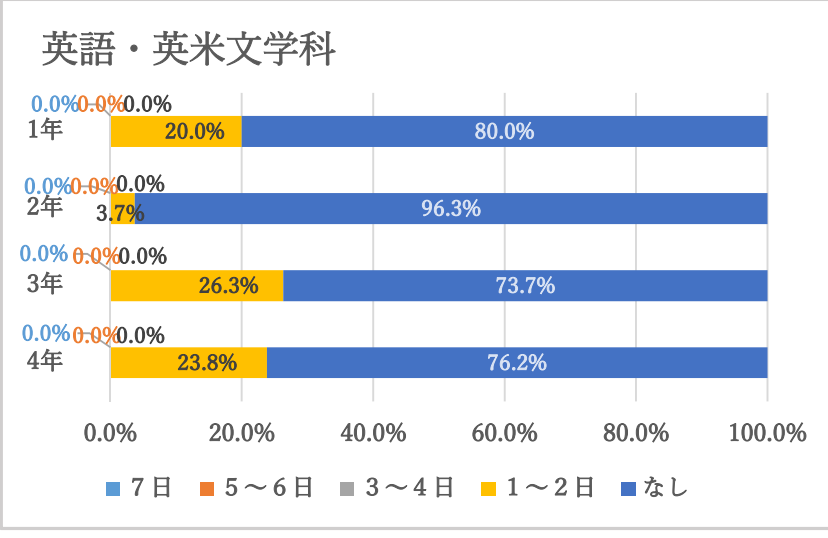
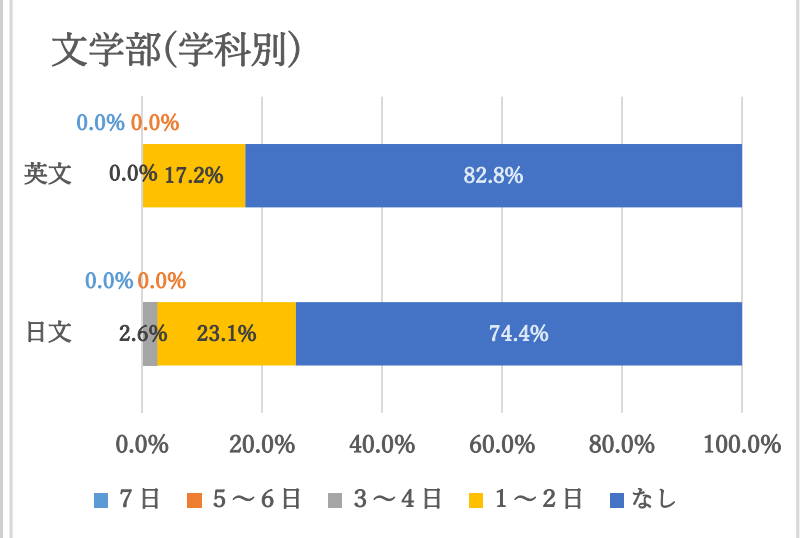
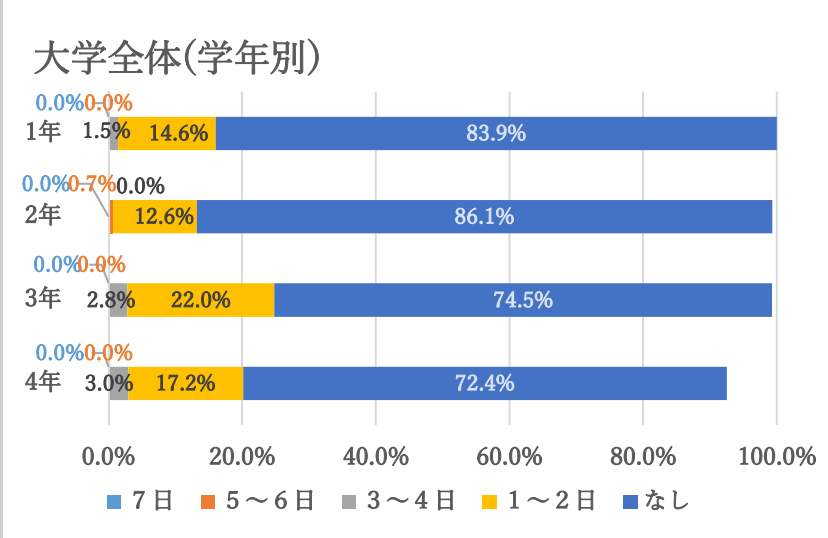
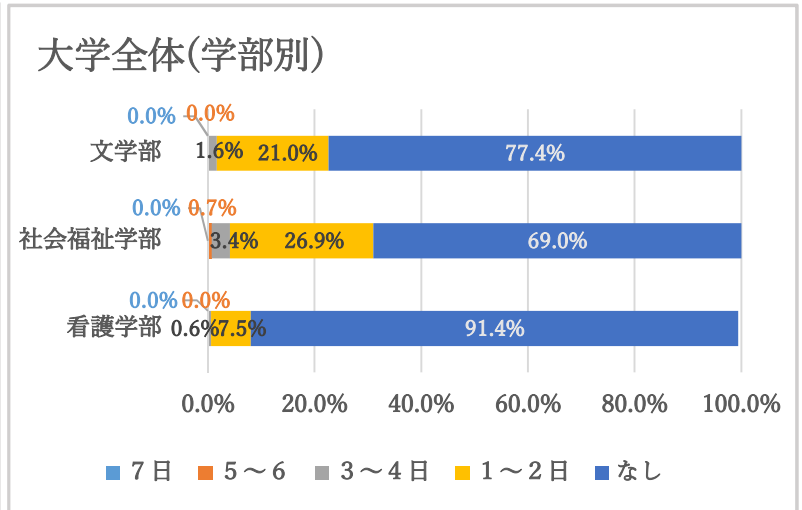
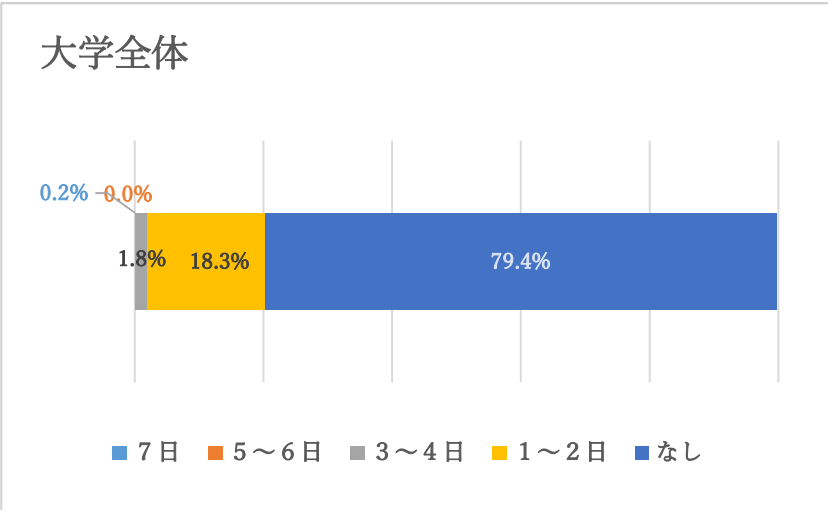
問04 アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

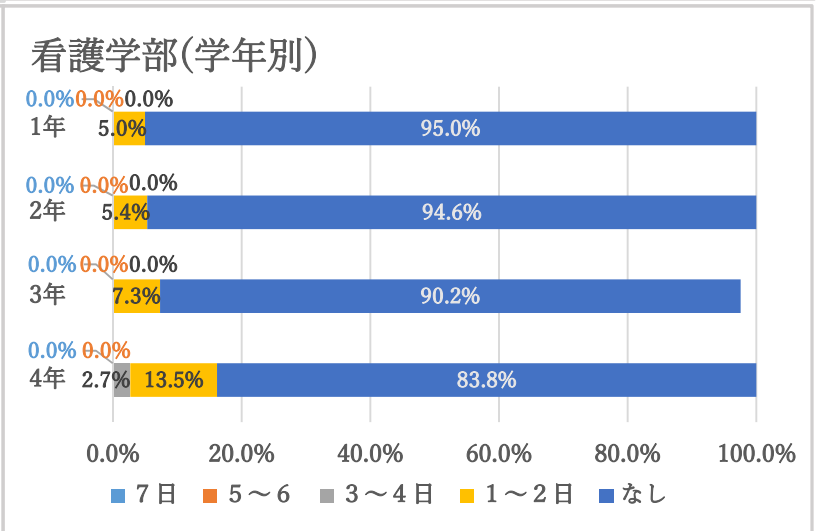
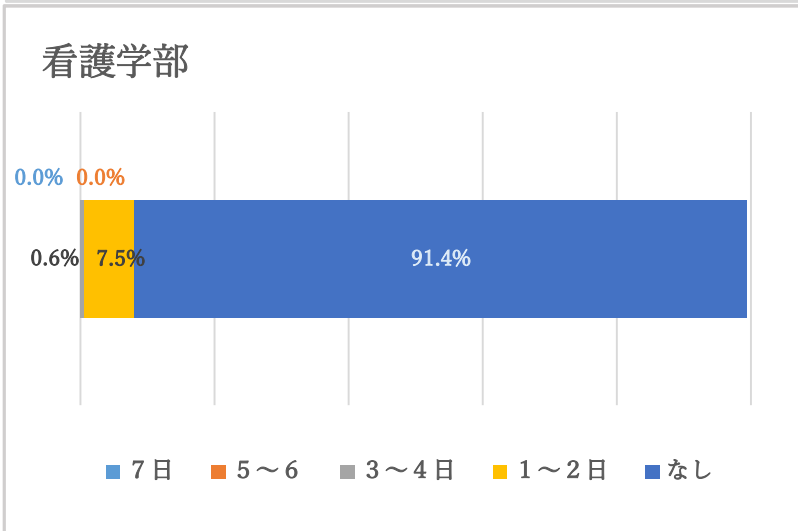
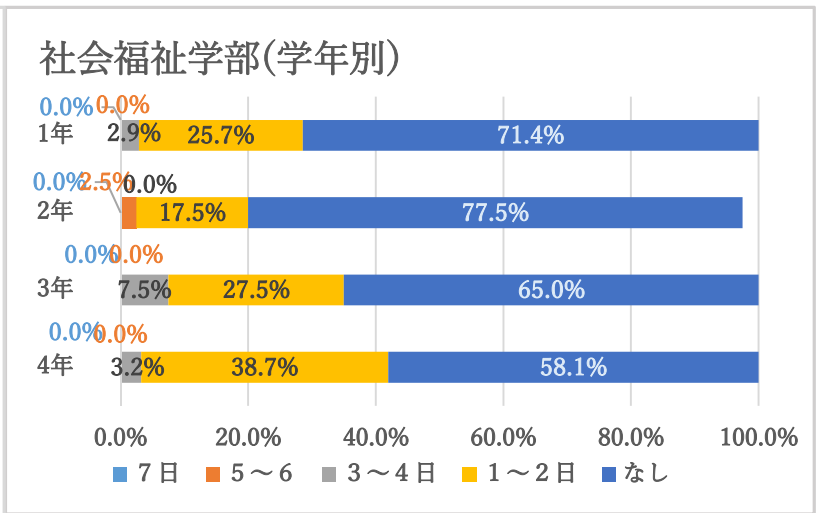
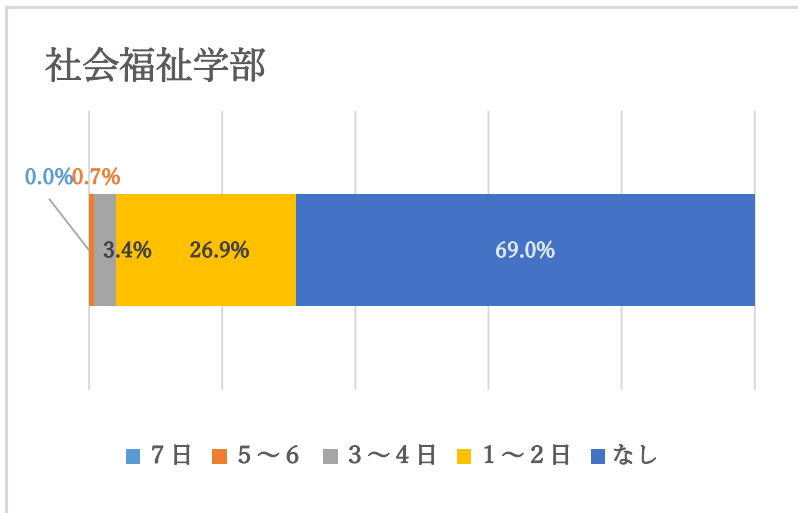


A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ

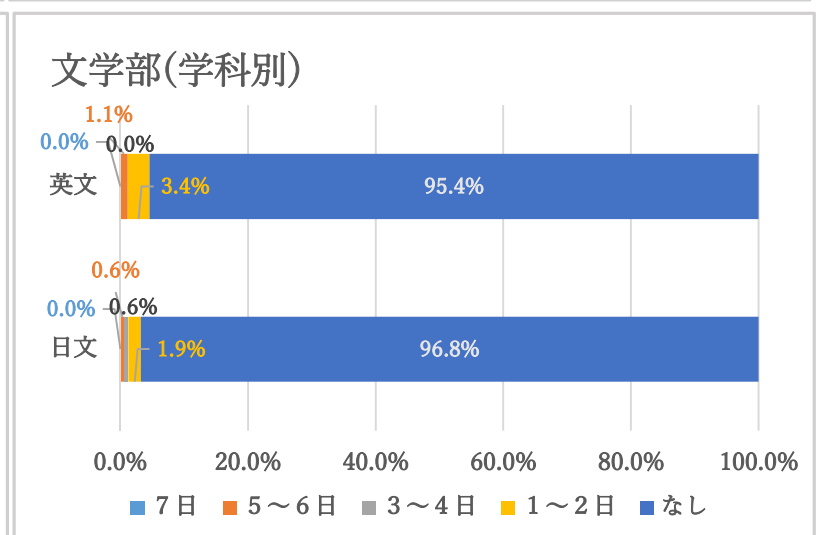
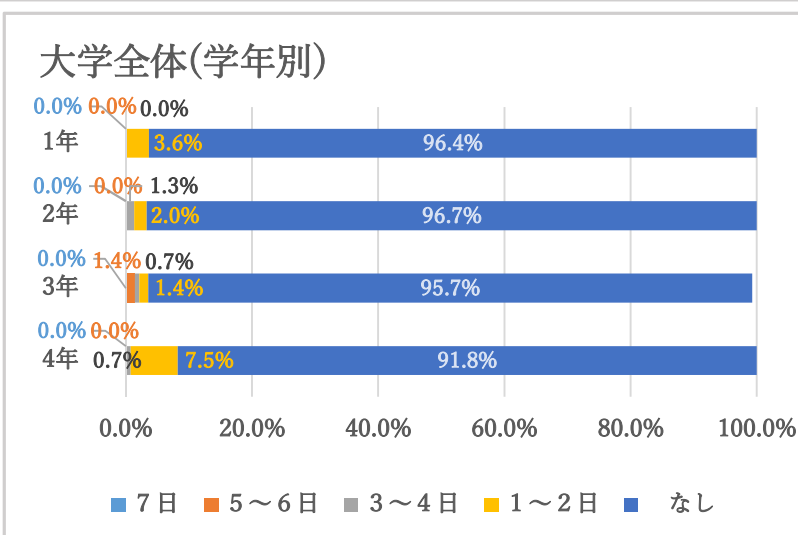
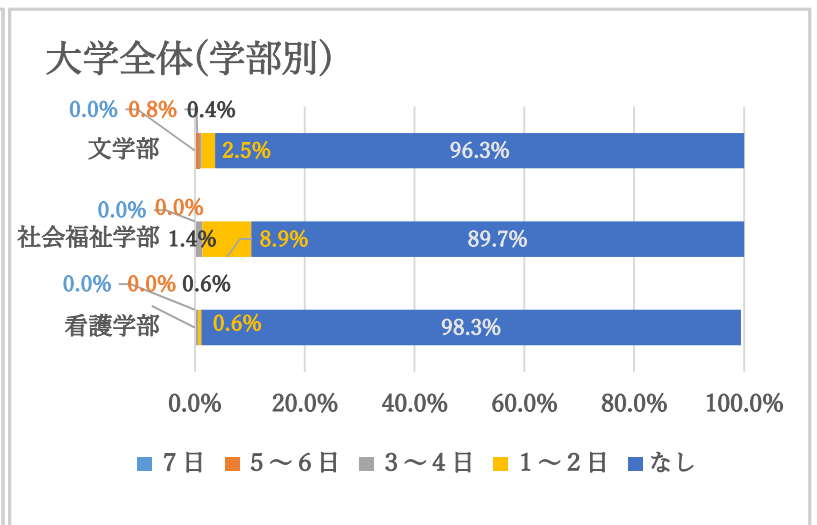
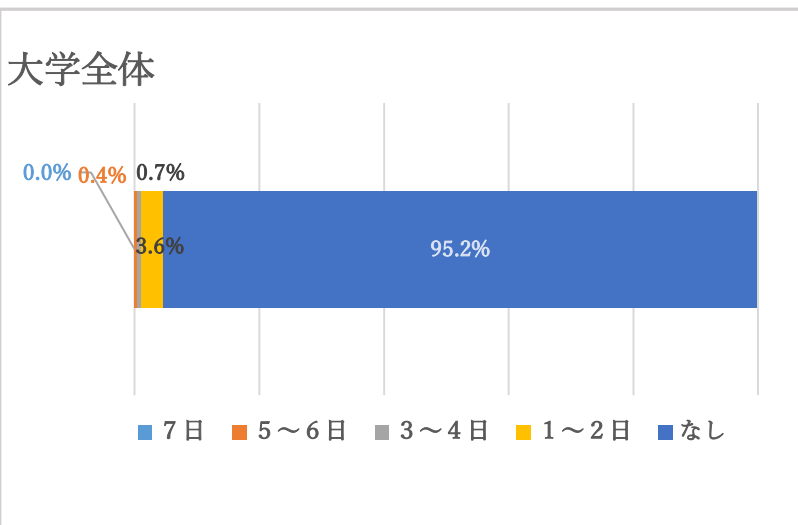


問05 部活、サークル活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

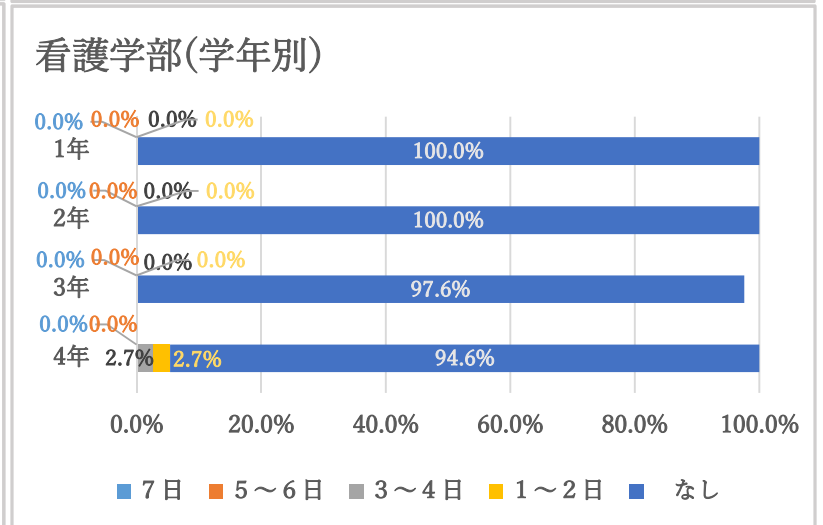
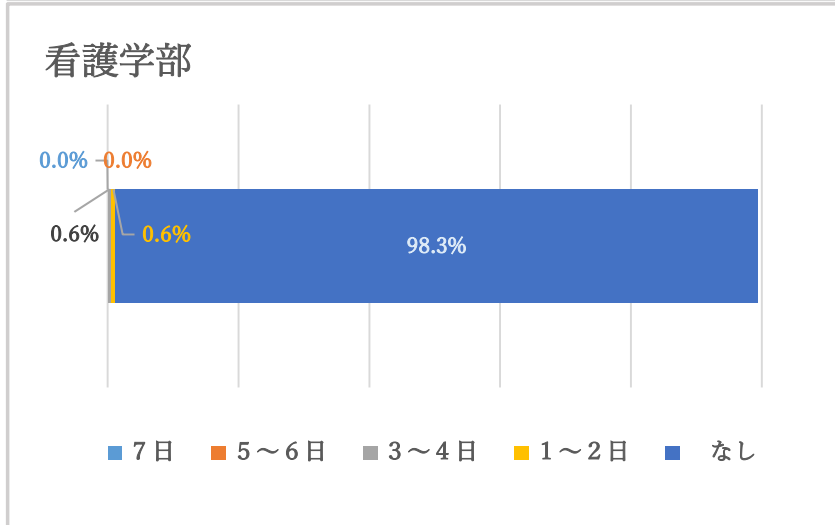
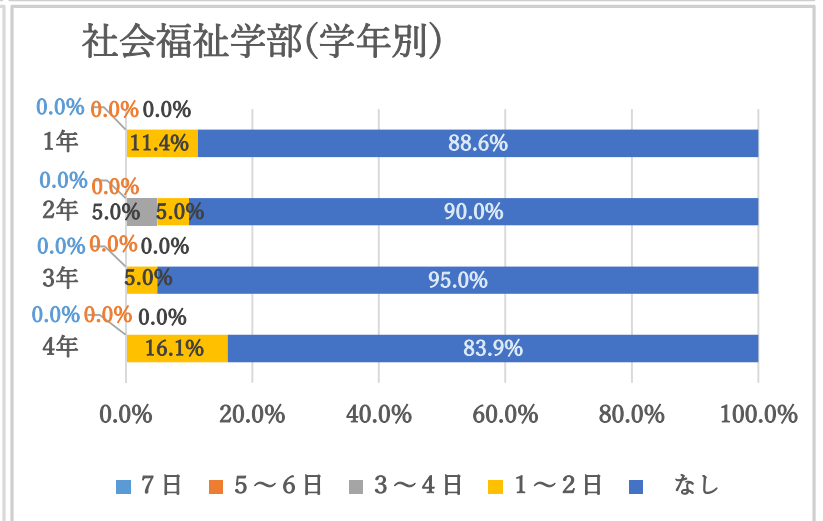
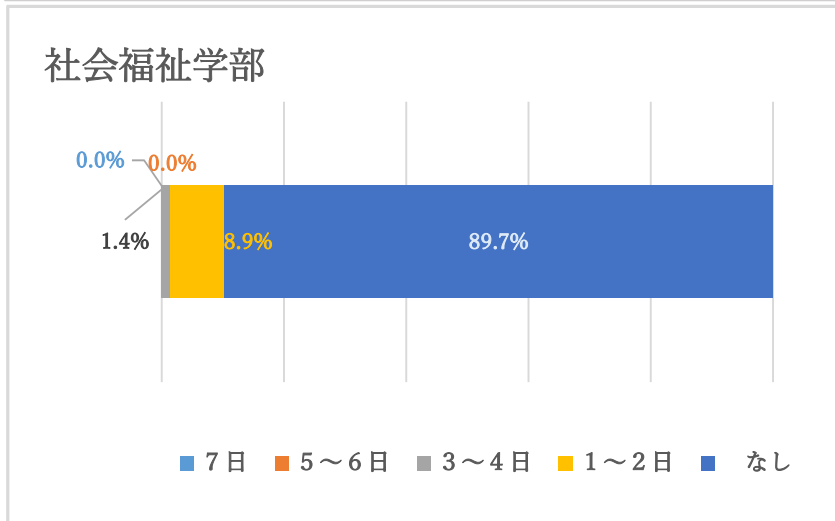
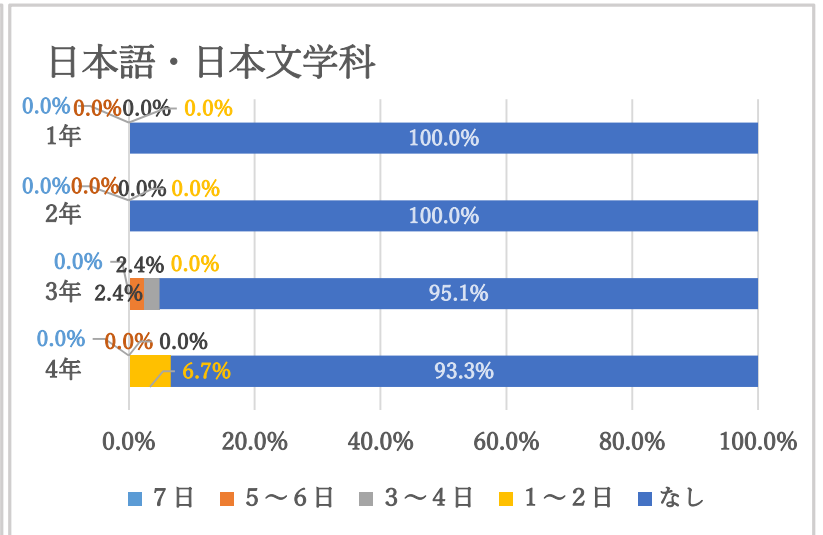
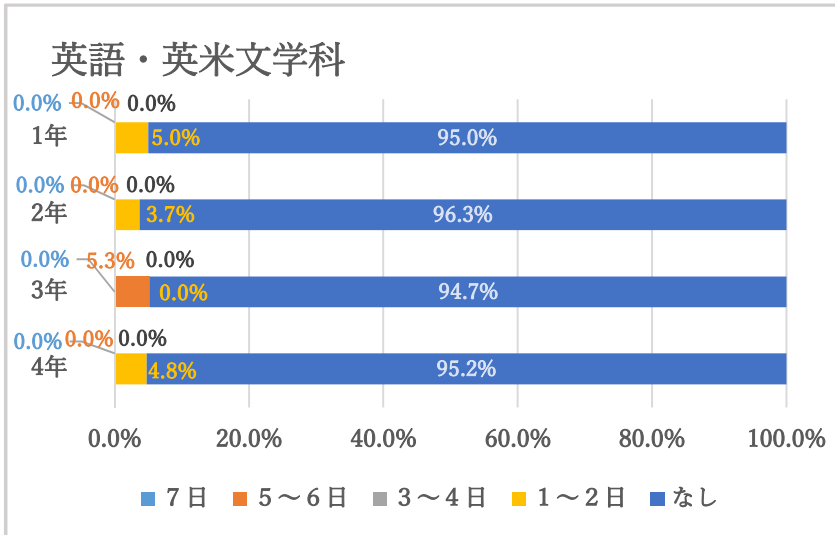




問6 ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。



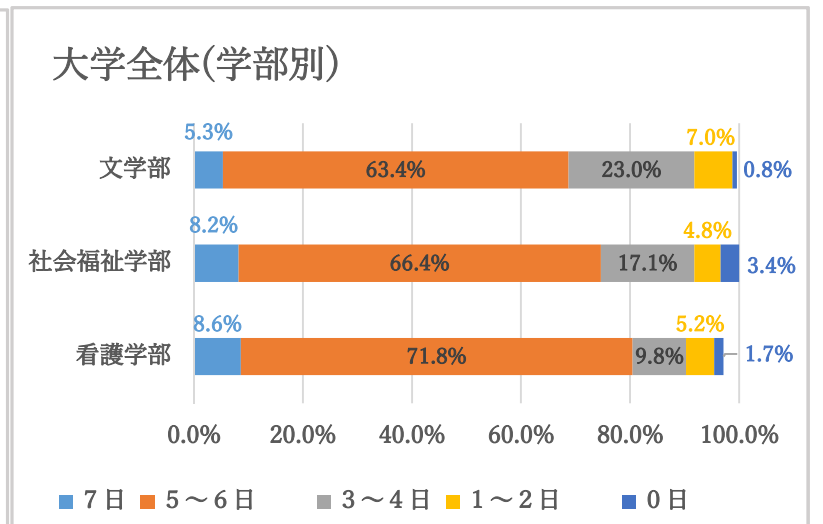
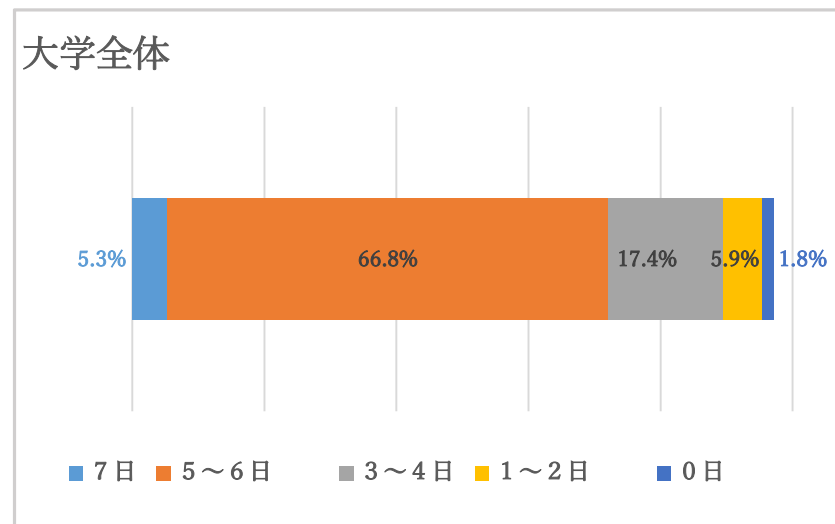
A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ

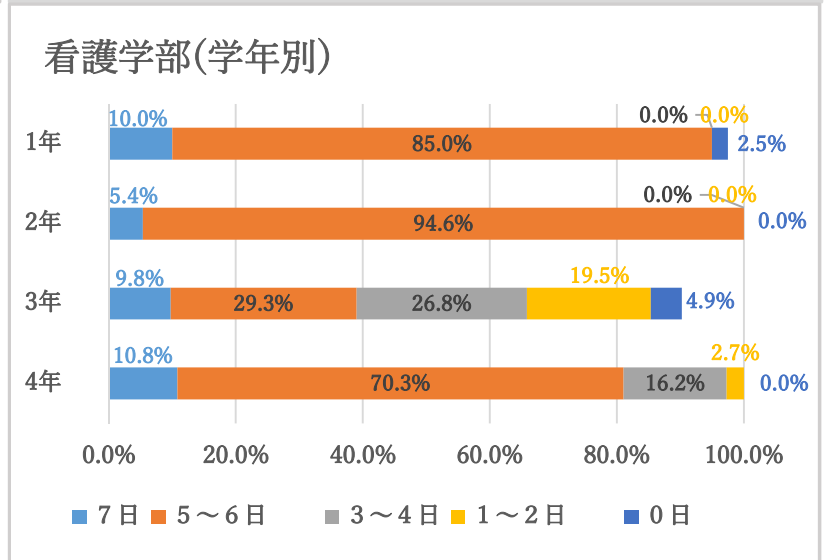
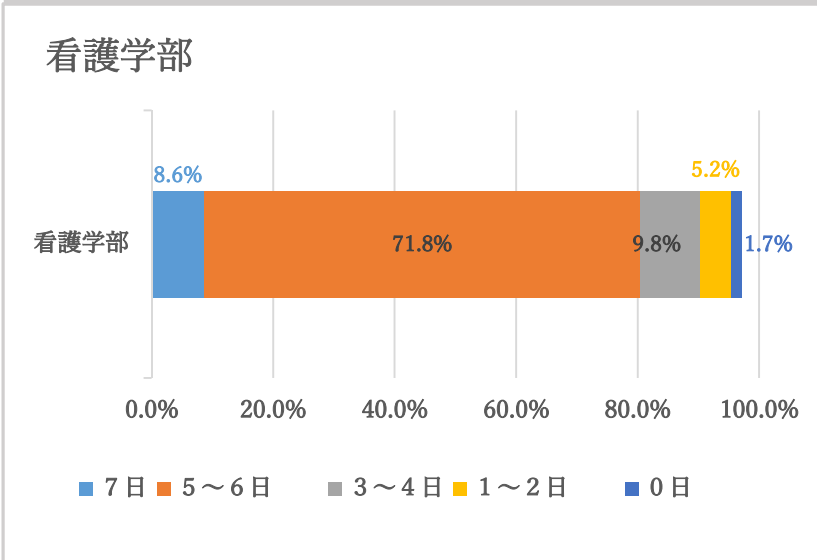
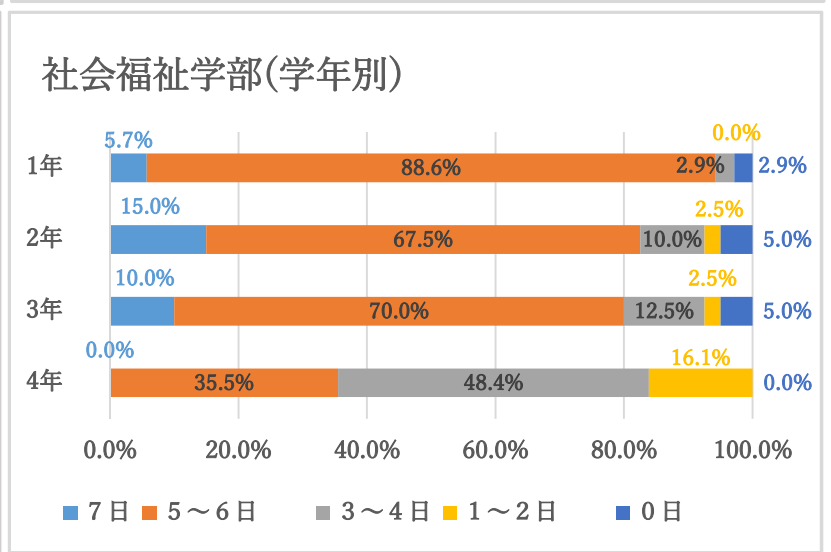
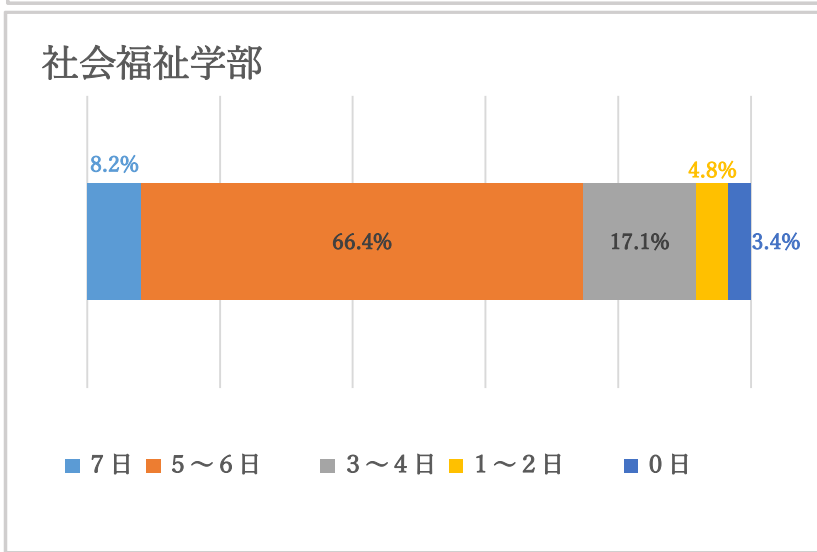
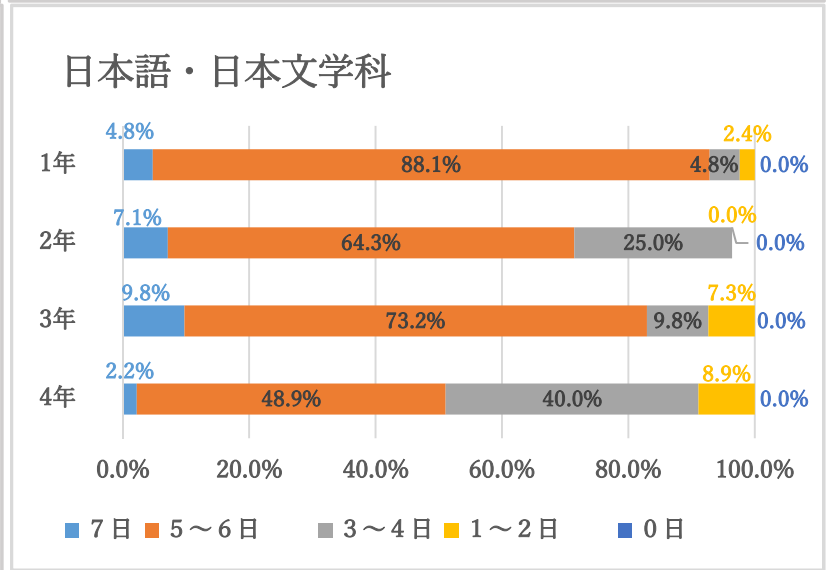
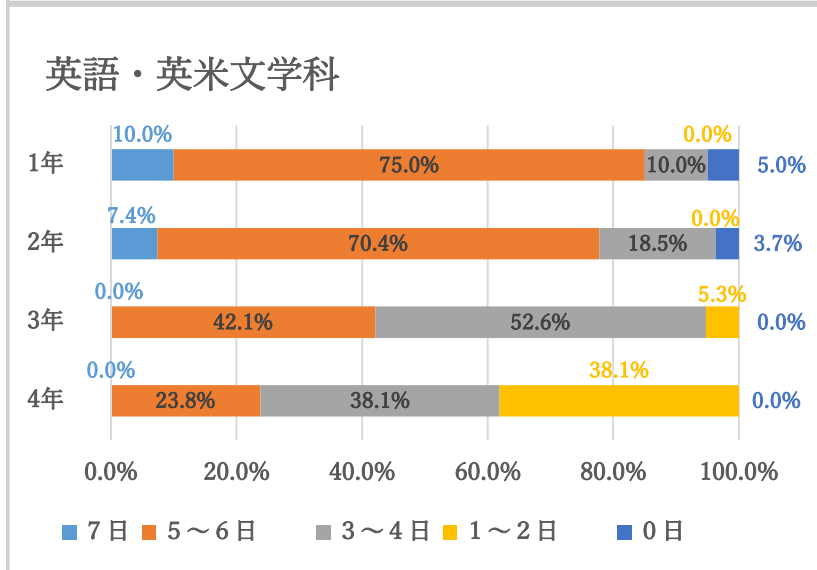
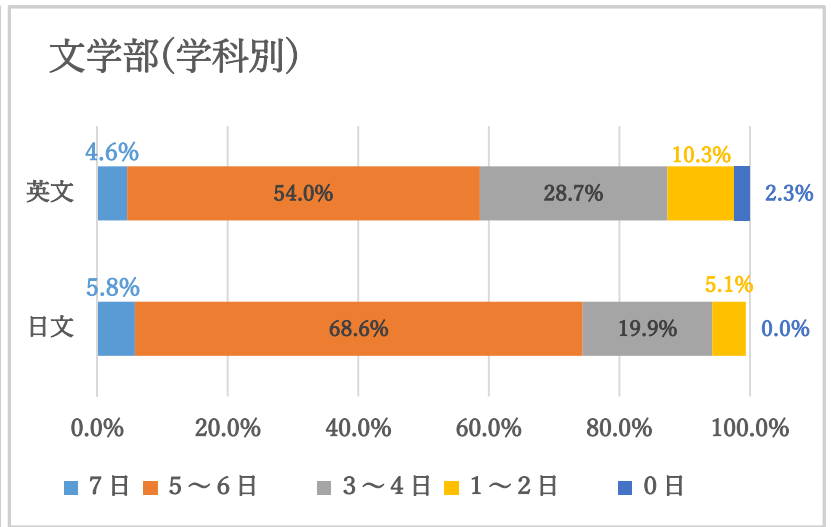
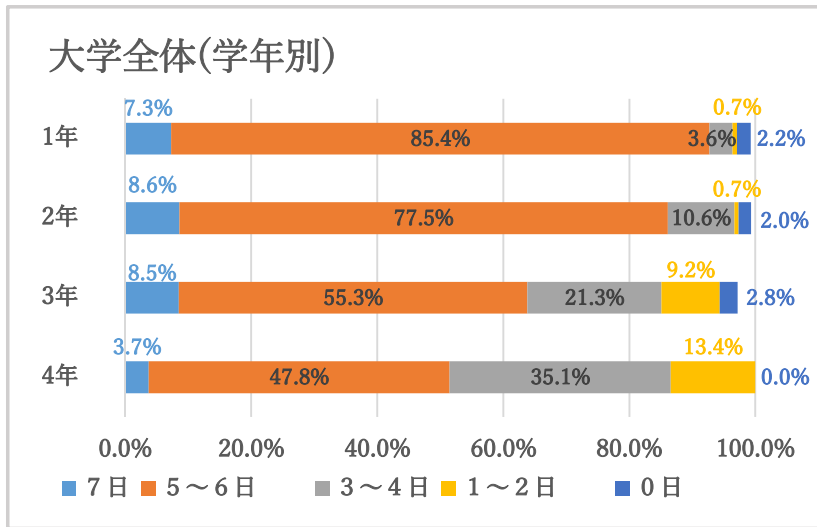


2. 勉学状況

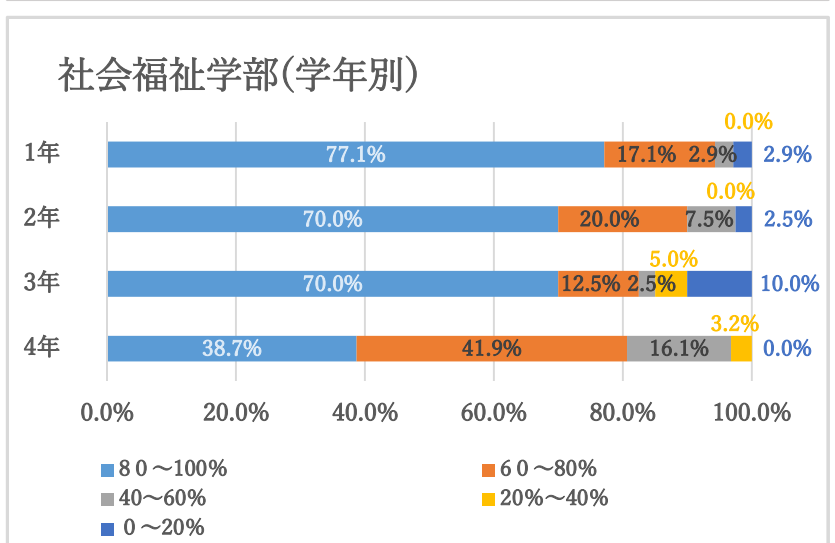
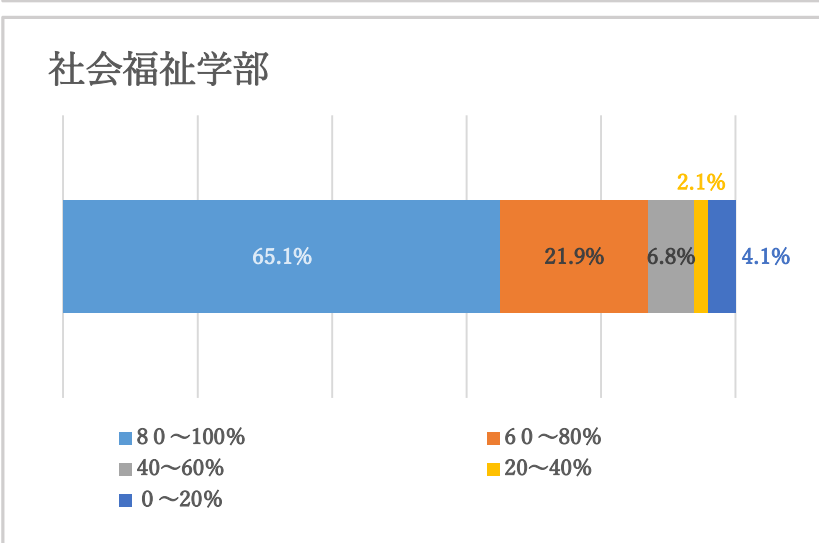
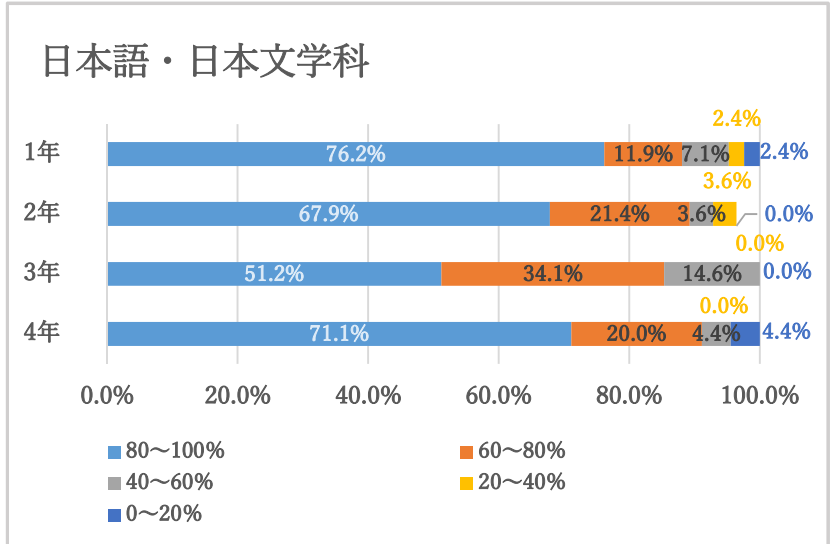
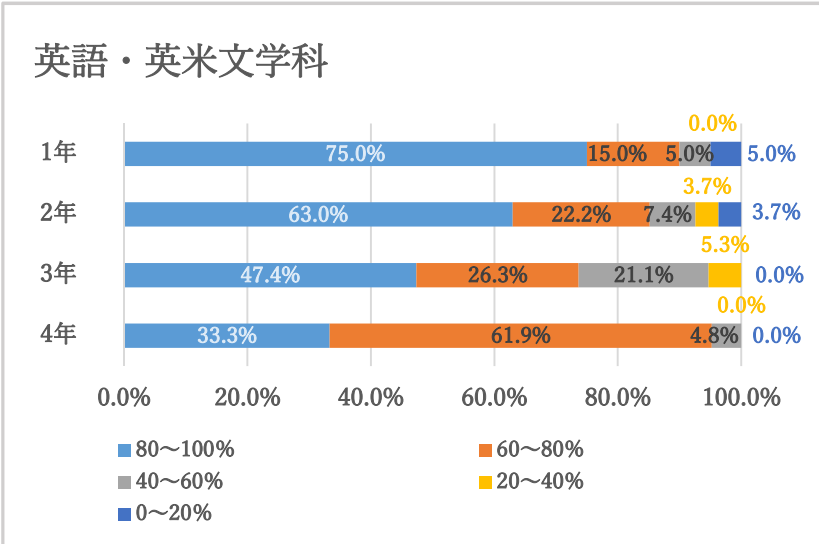
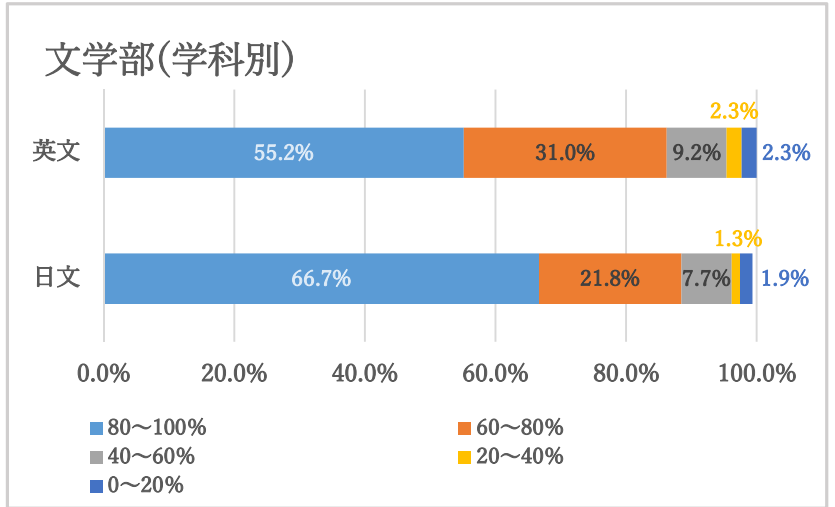
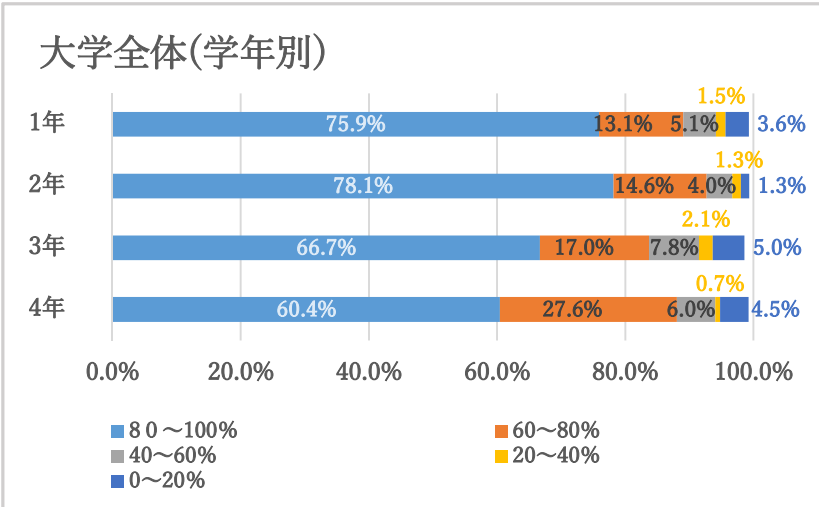
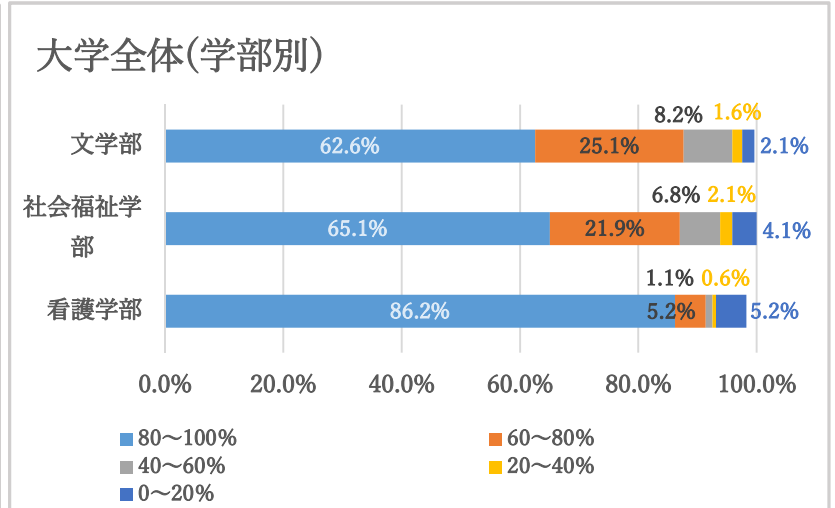
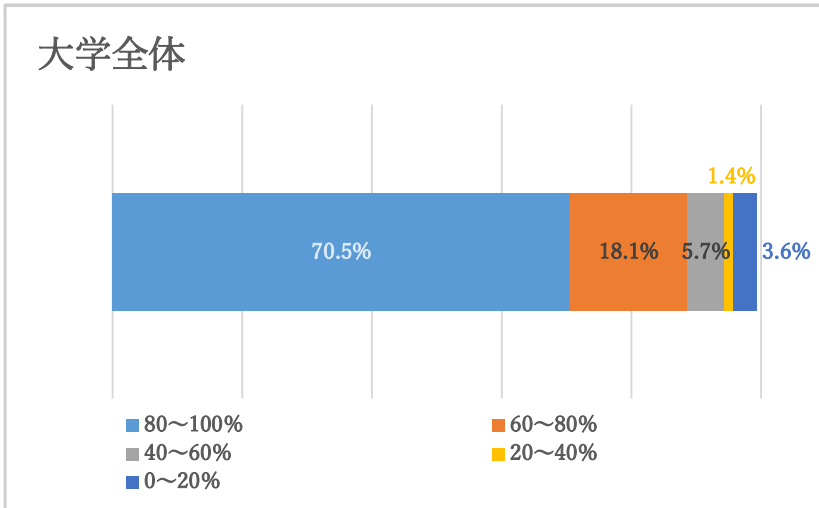
(1) 登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修

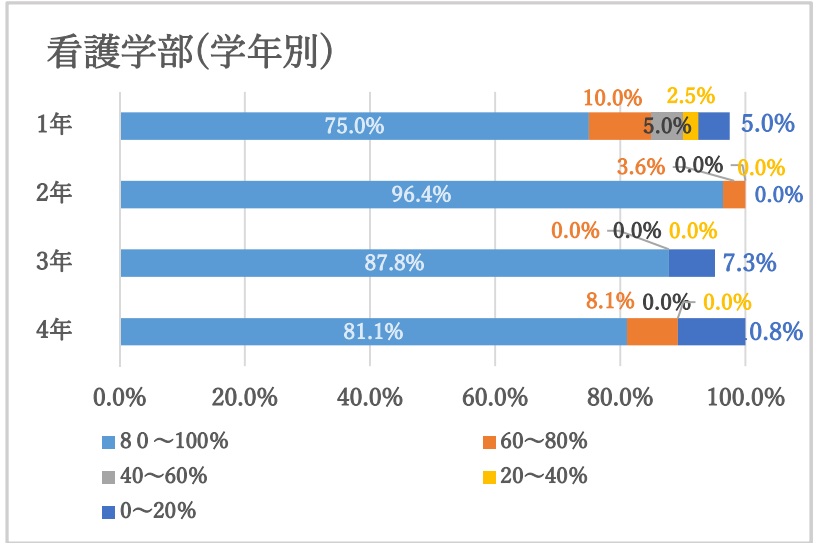
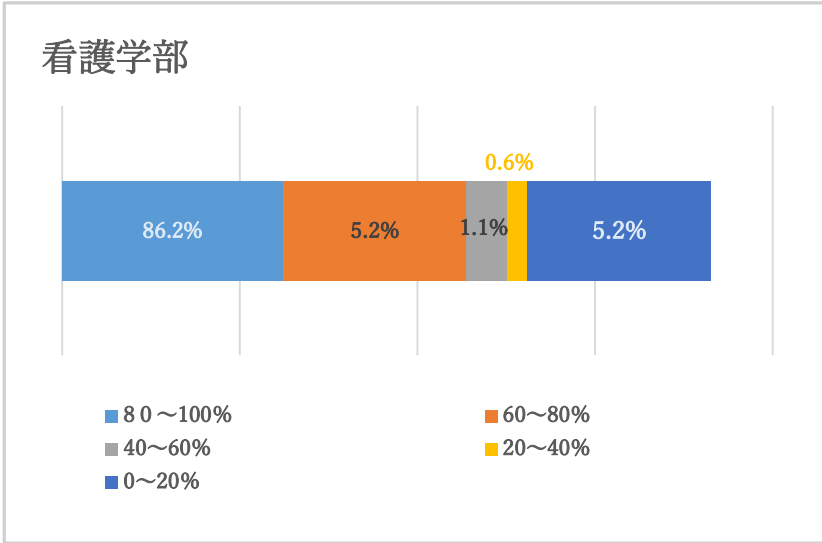
問07 大学に何日登校しましたか。



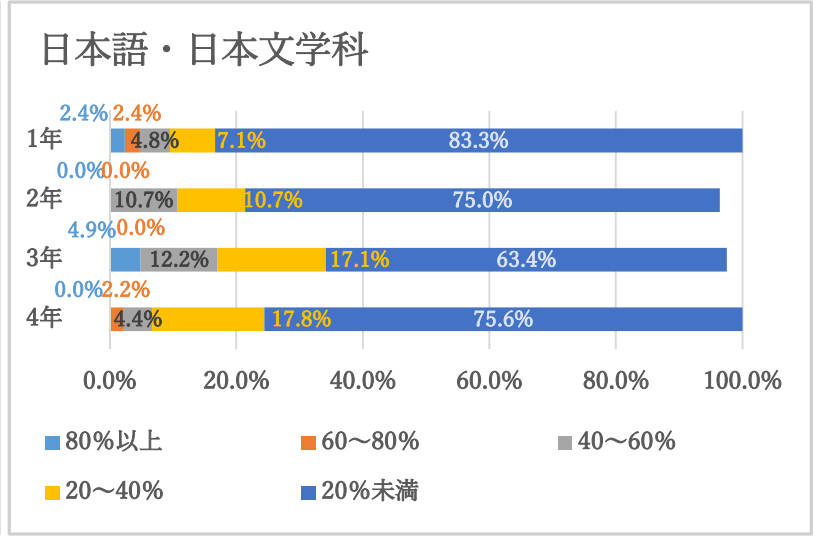
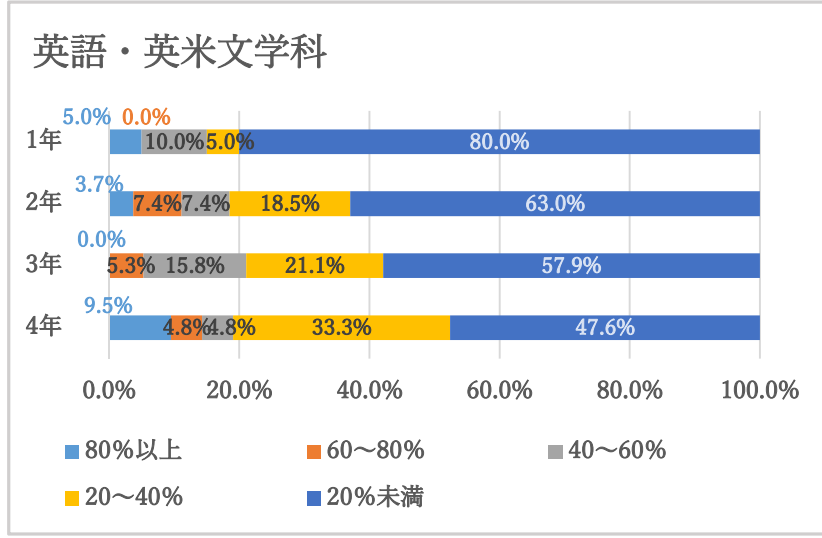
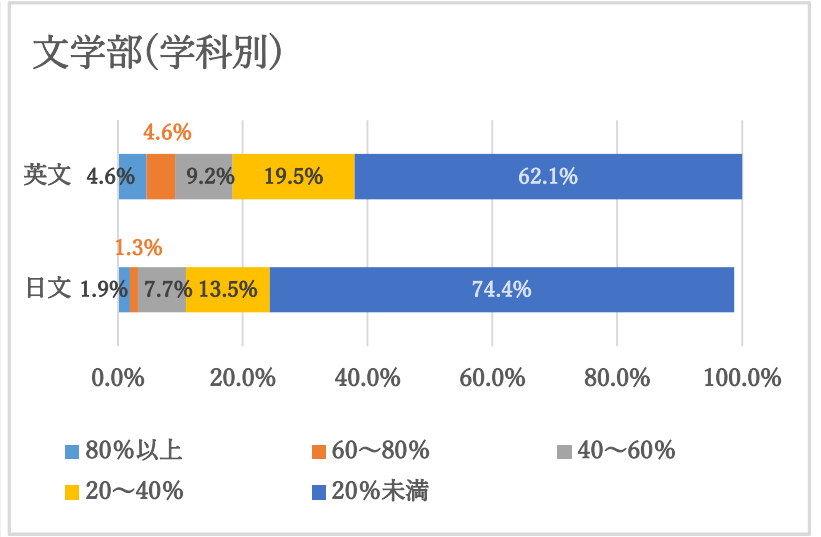
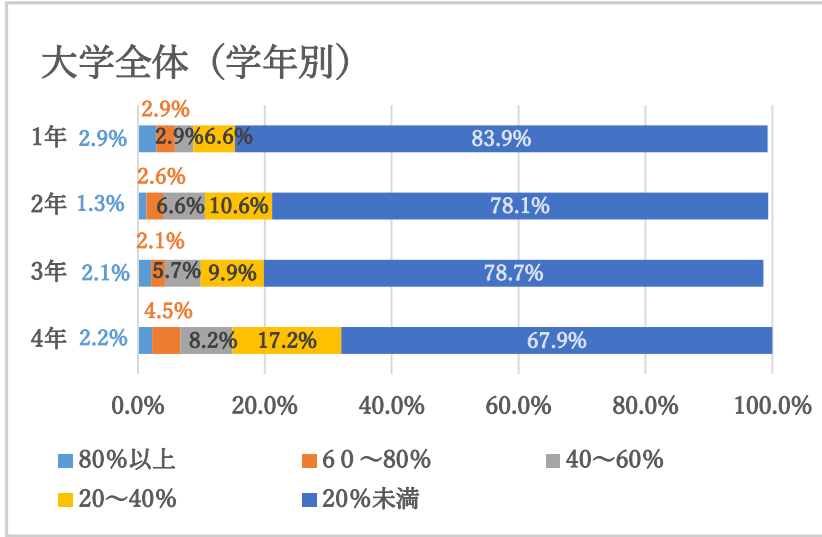
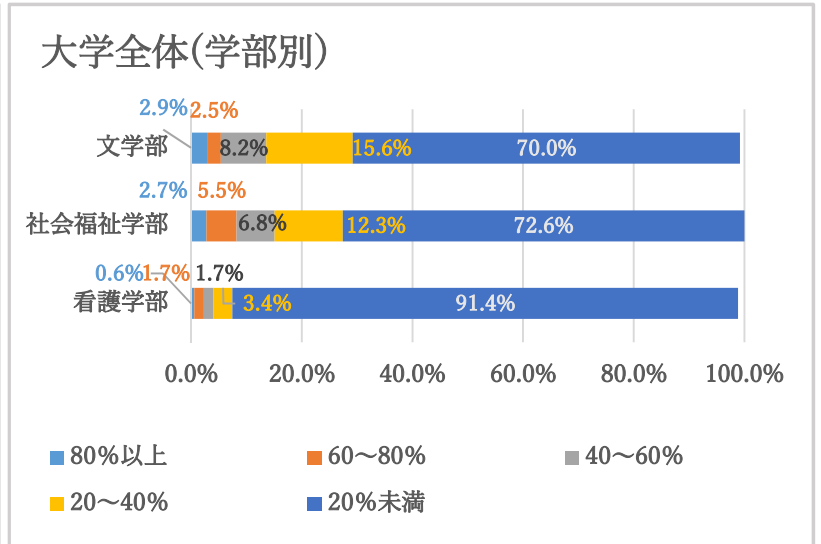
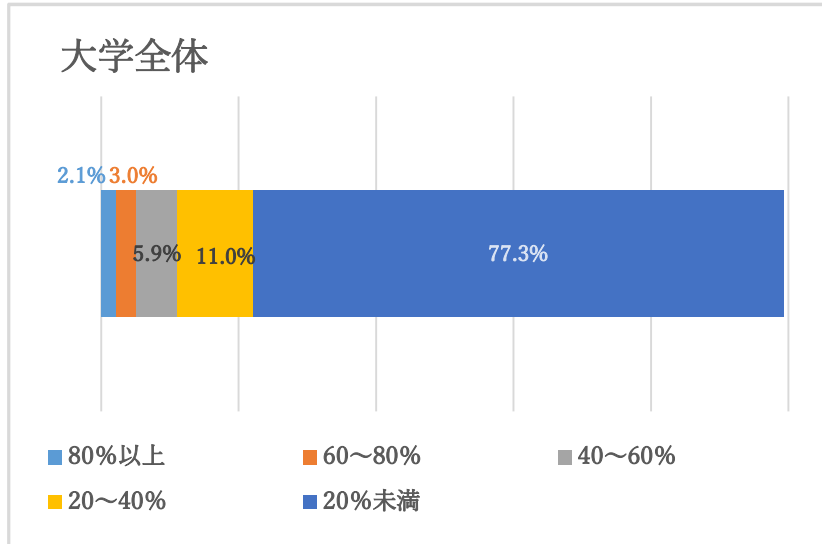


問08 授業に出席した割合はどのくらいですか。

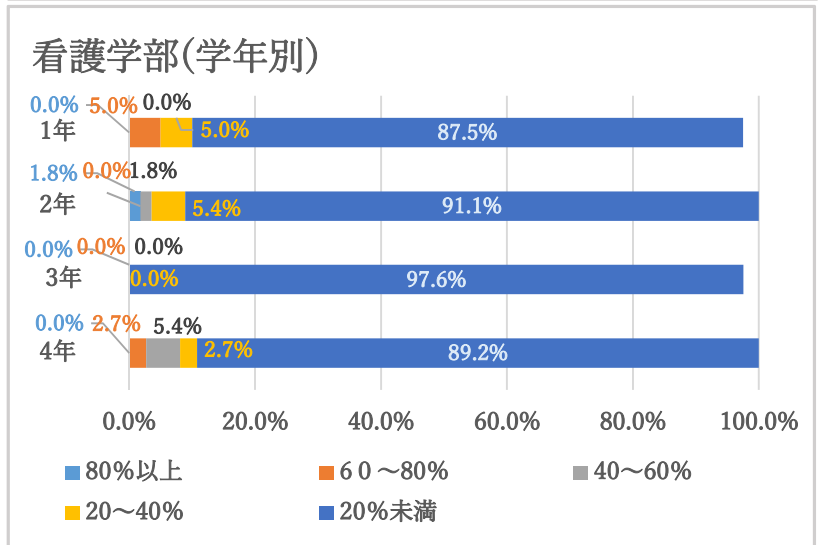
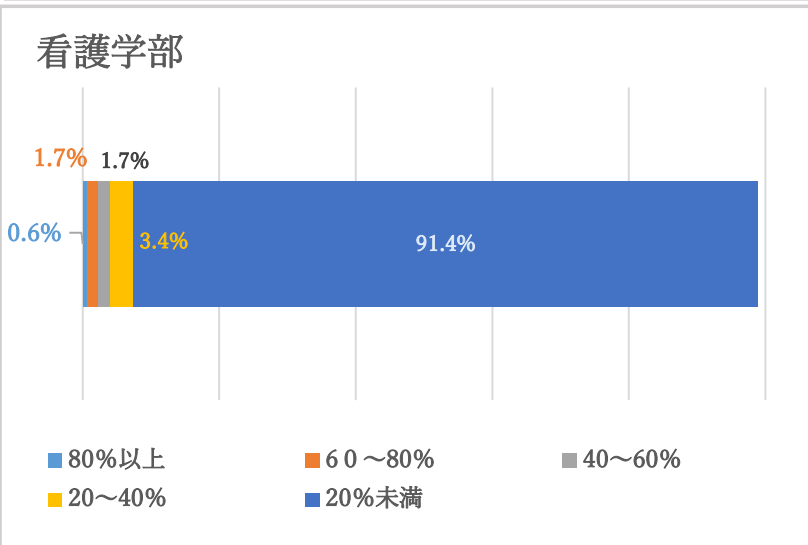
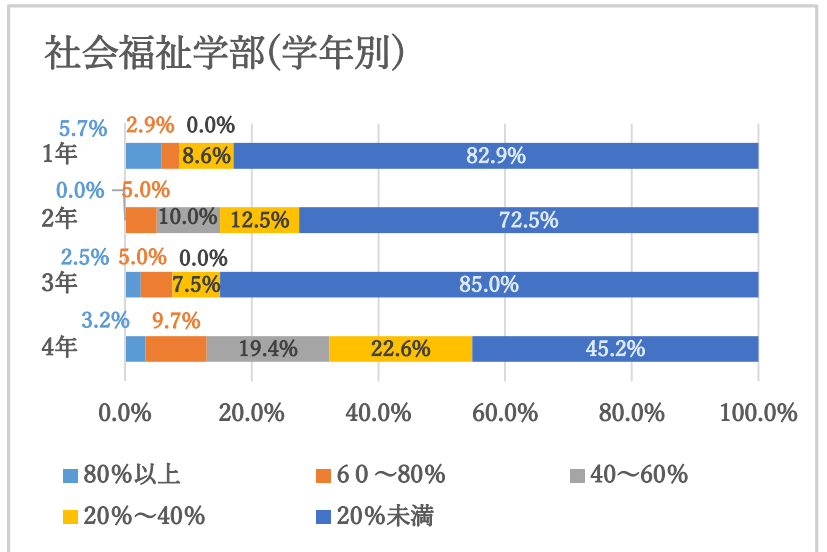
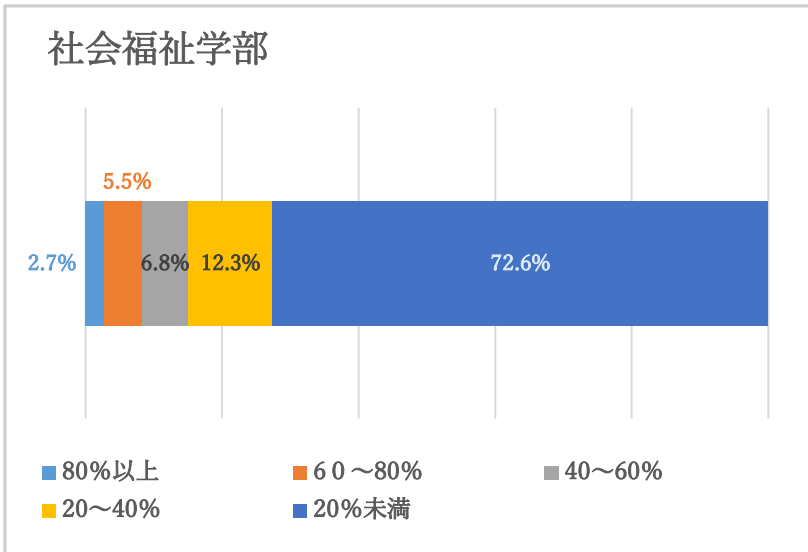




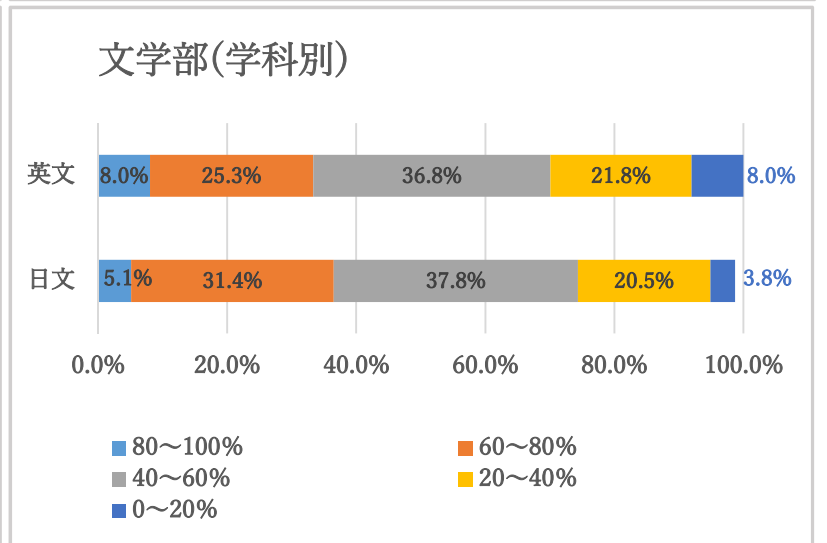
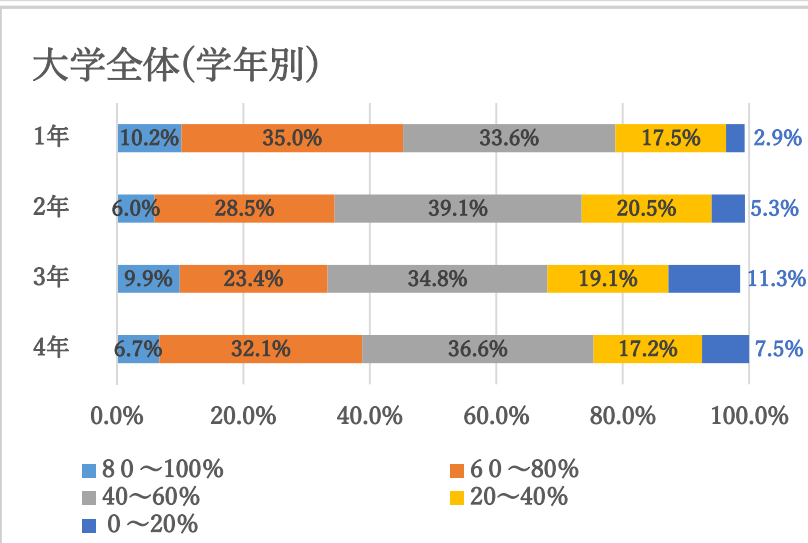
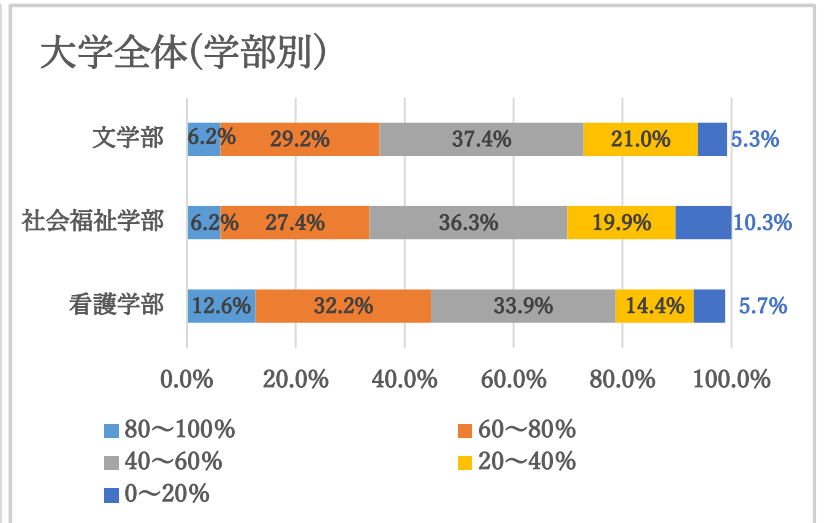
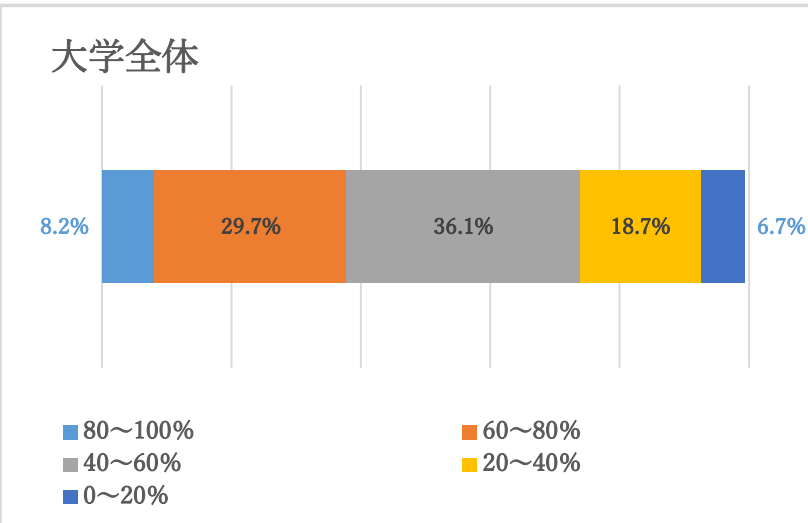
問09 しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。



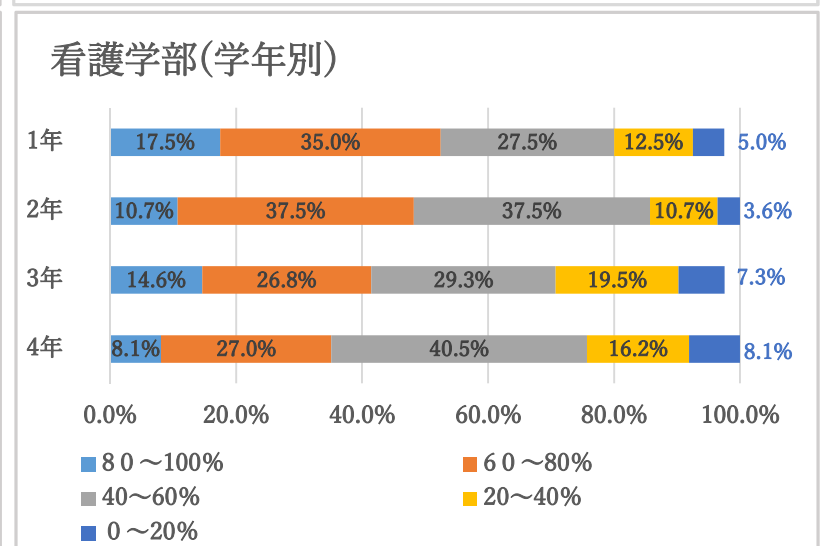
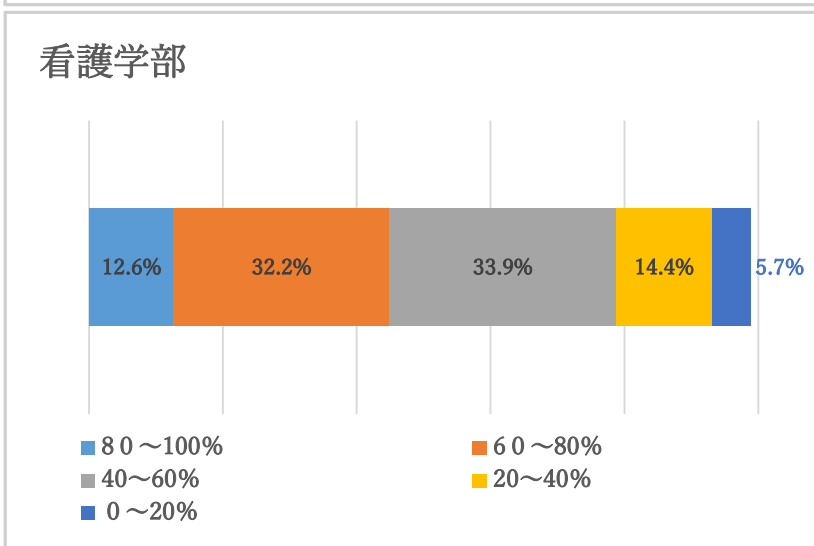
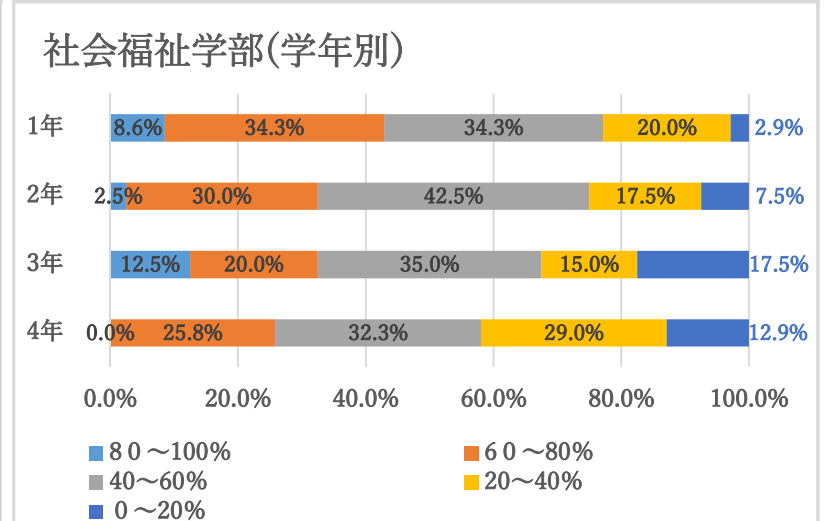
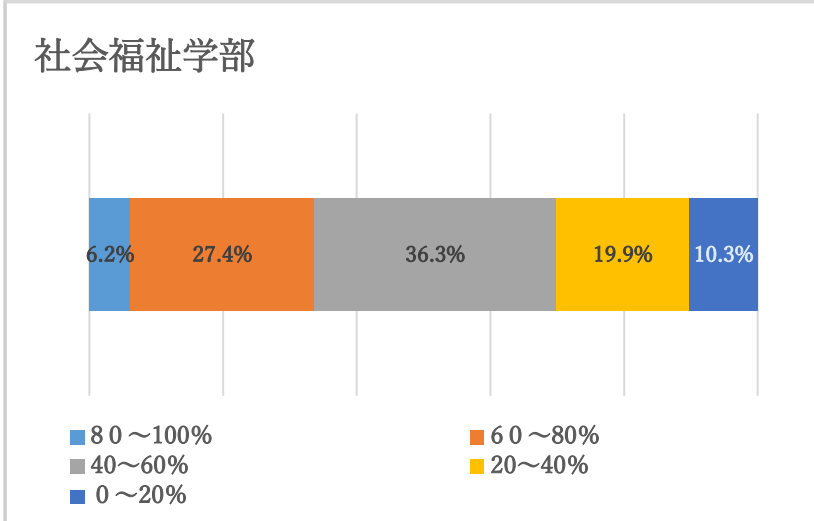
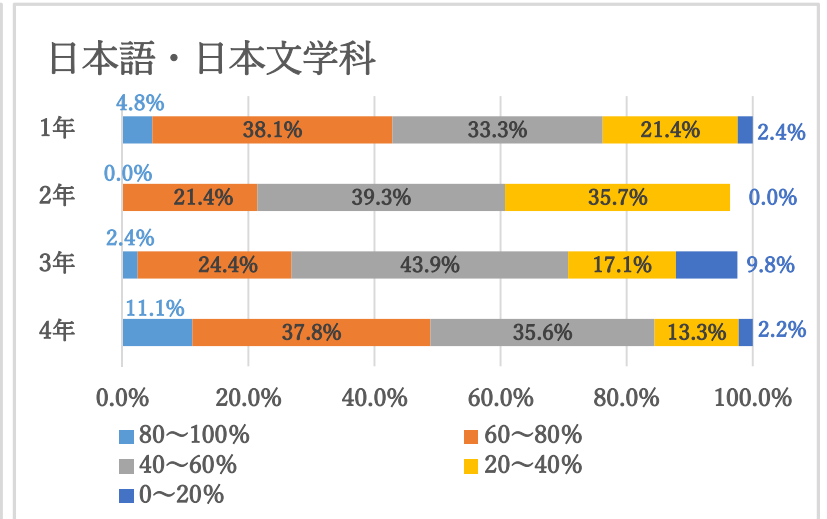
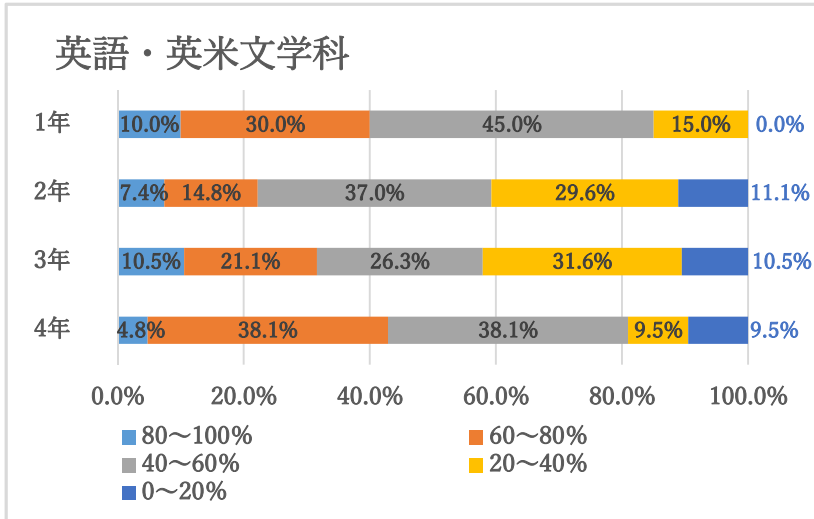
A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ



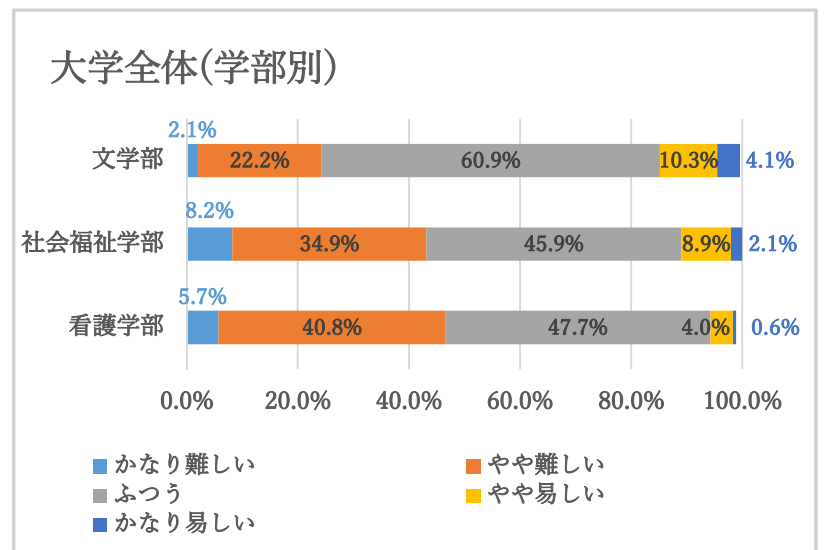
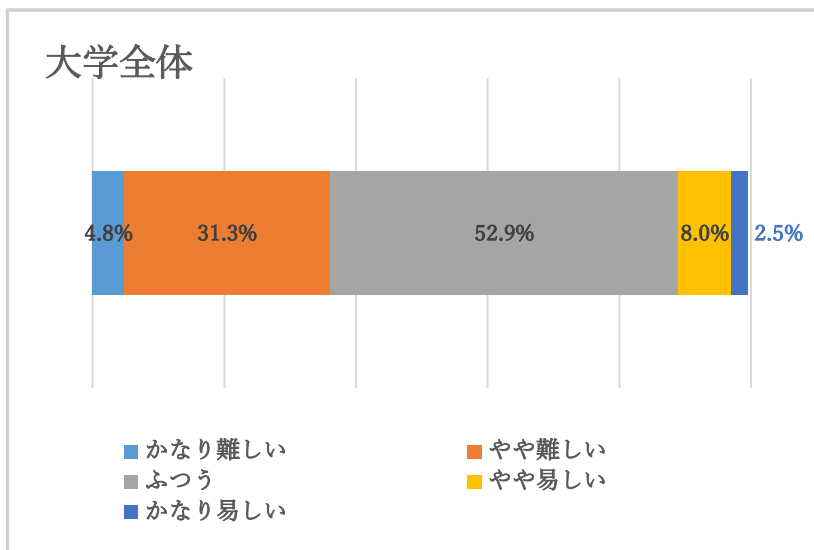
問10 興味・関心のある授業はどのくらいありますか。

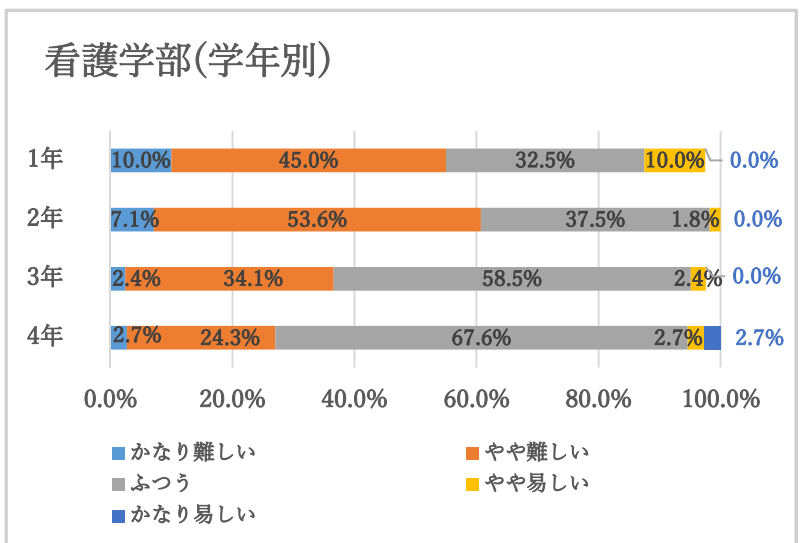
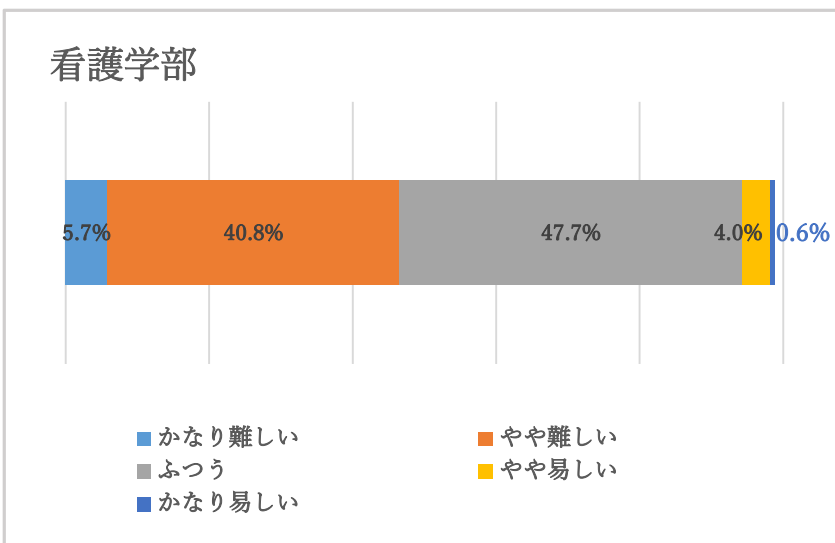
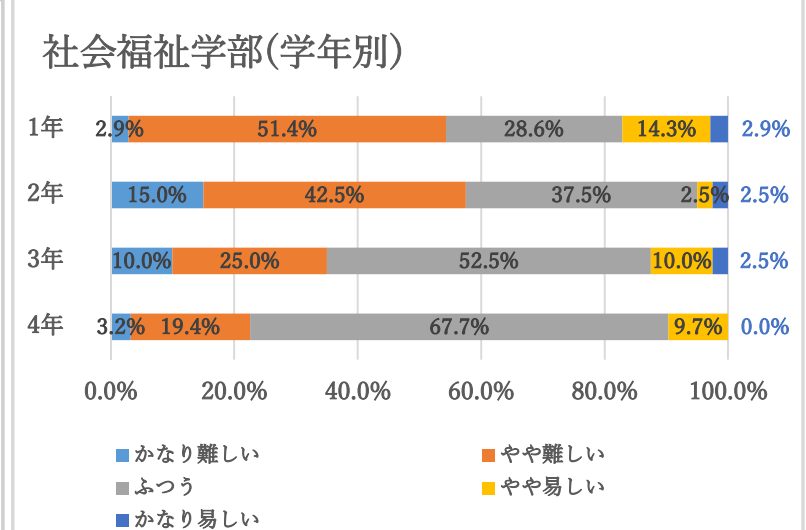
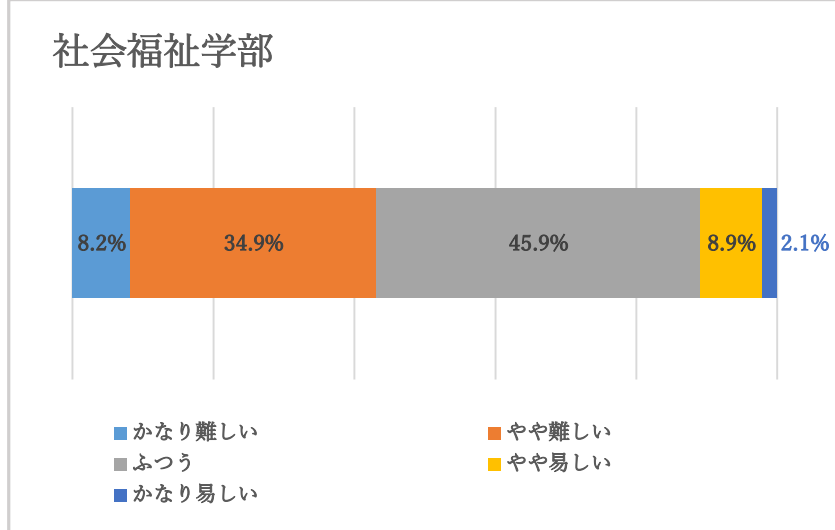
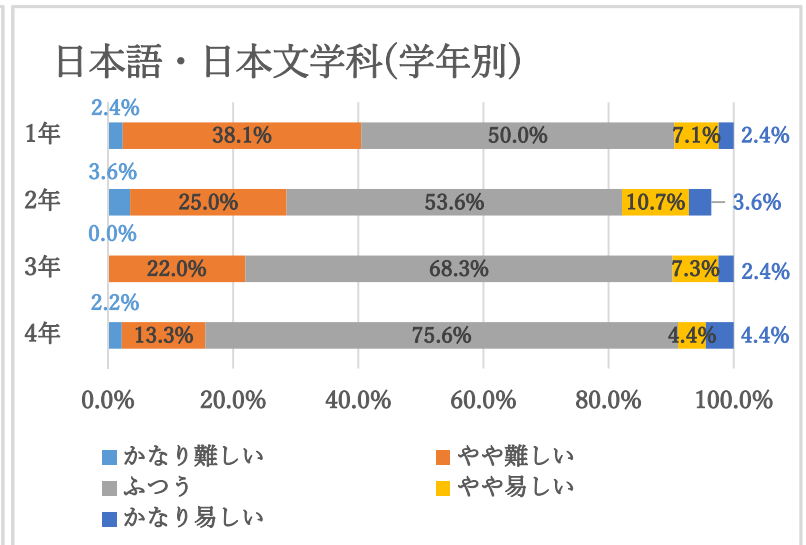
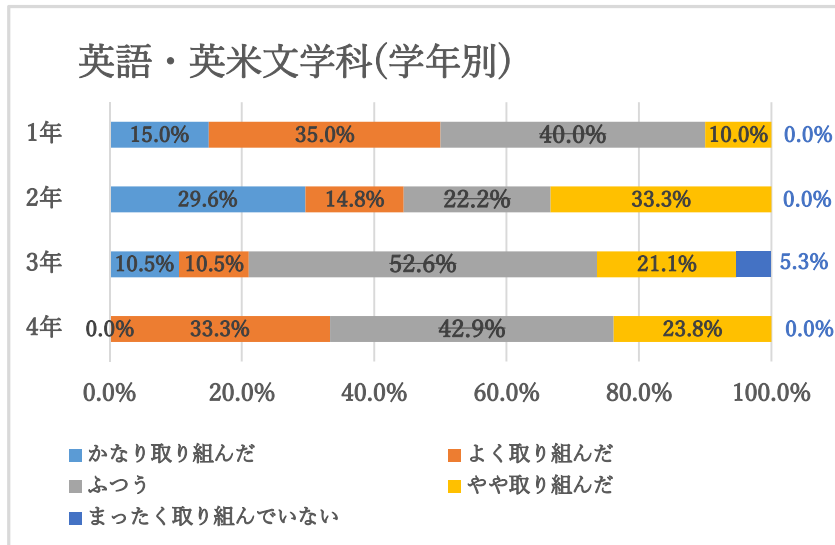
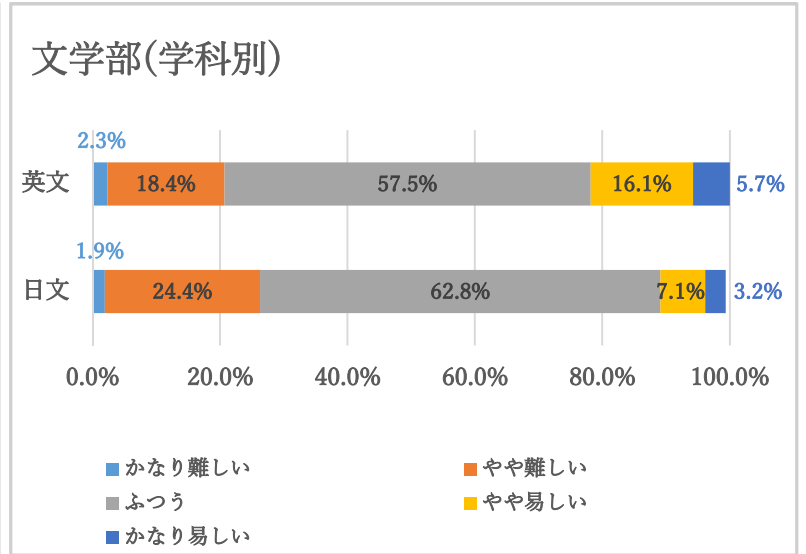
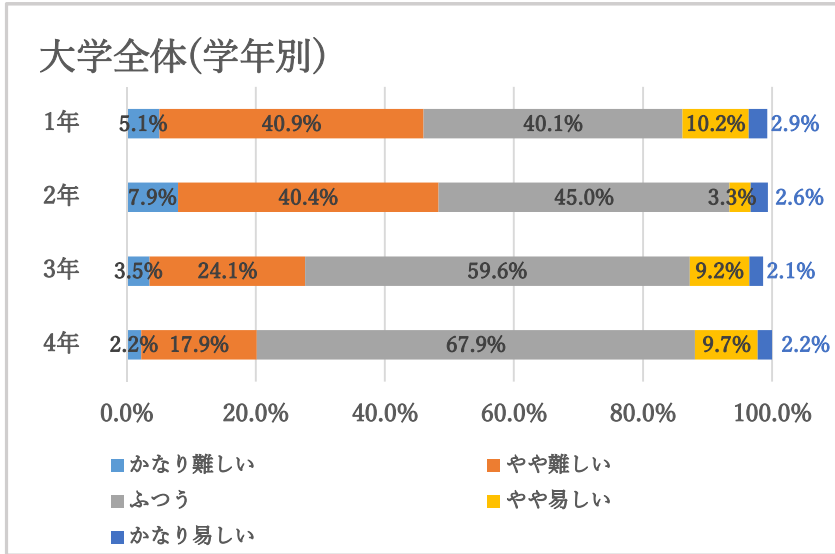


A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ

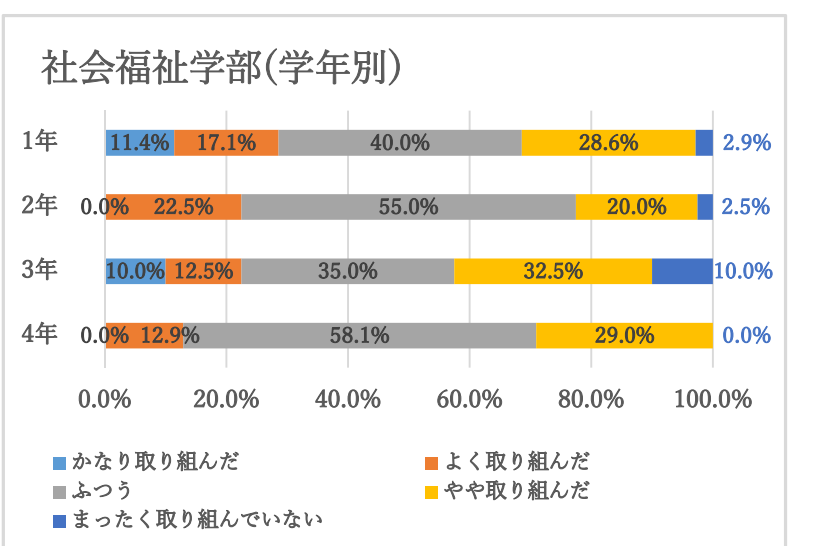
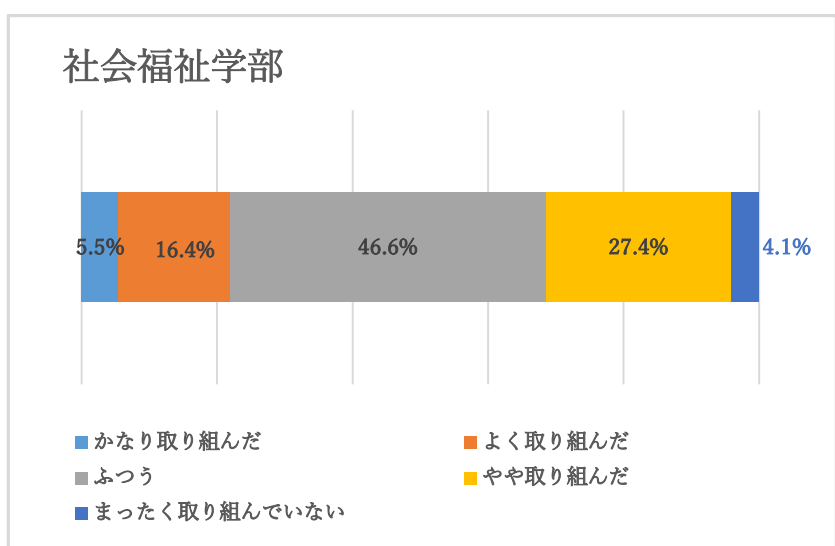
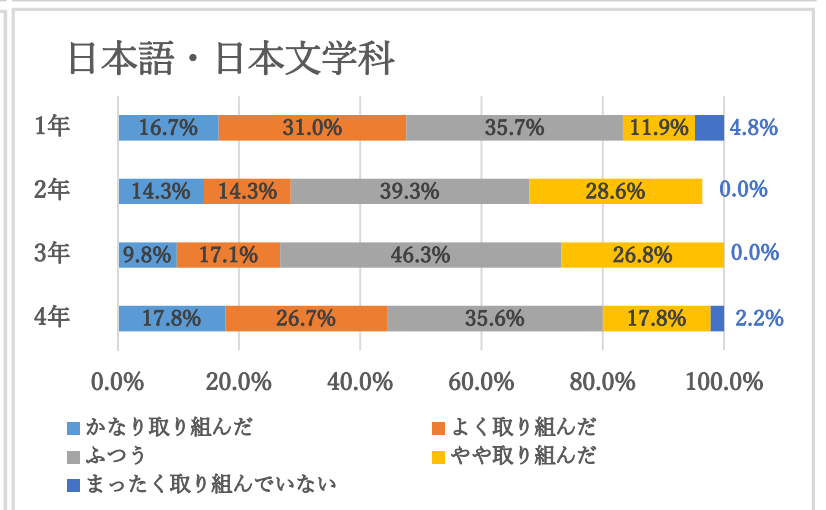
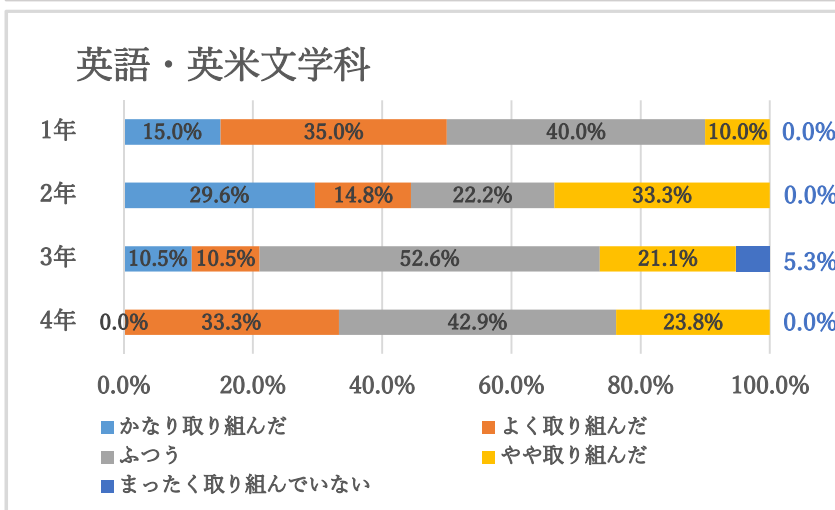
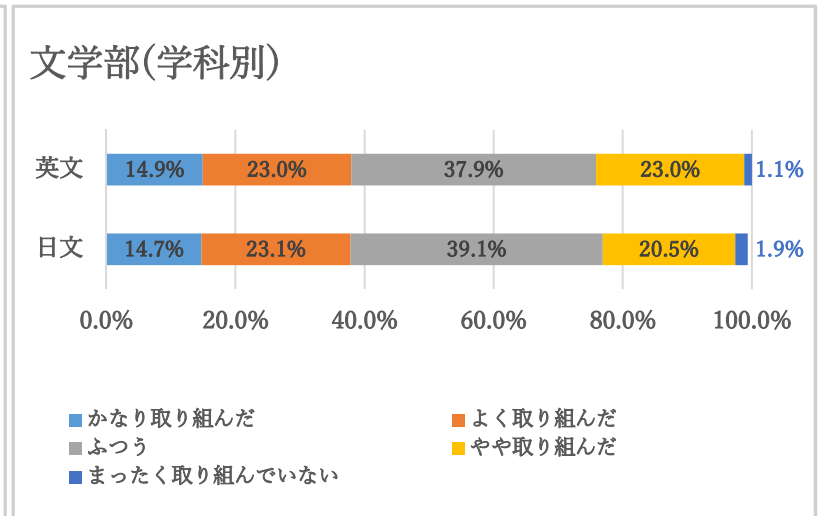
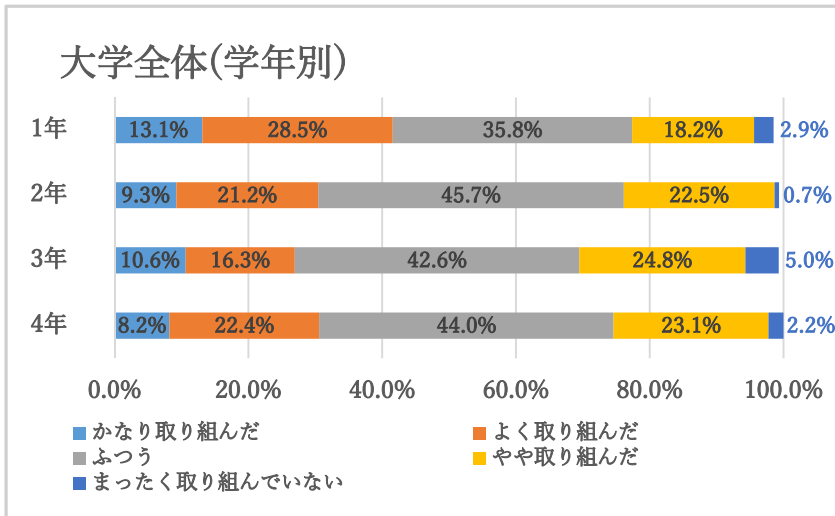
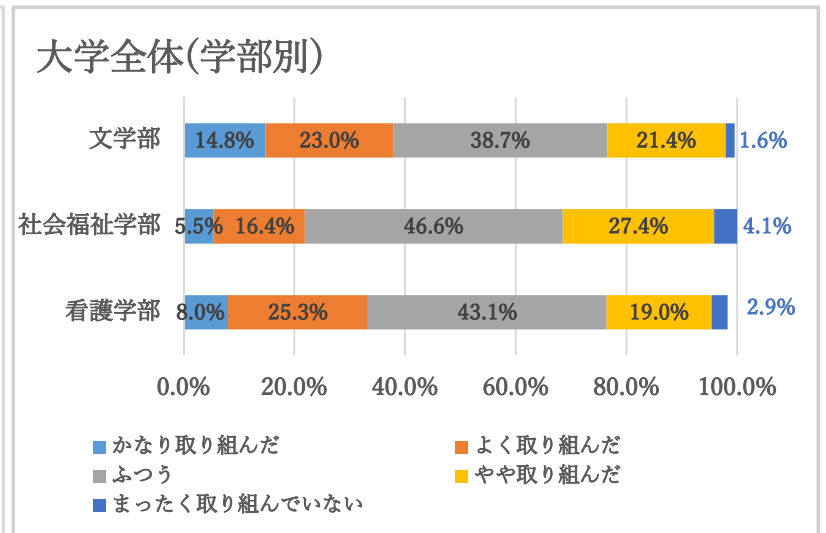
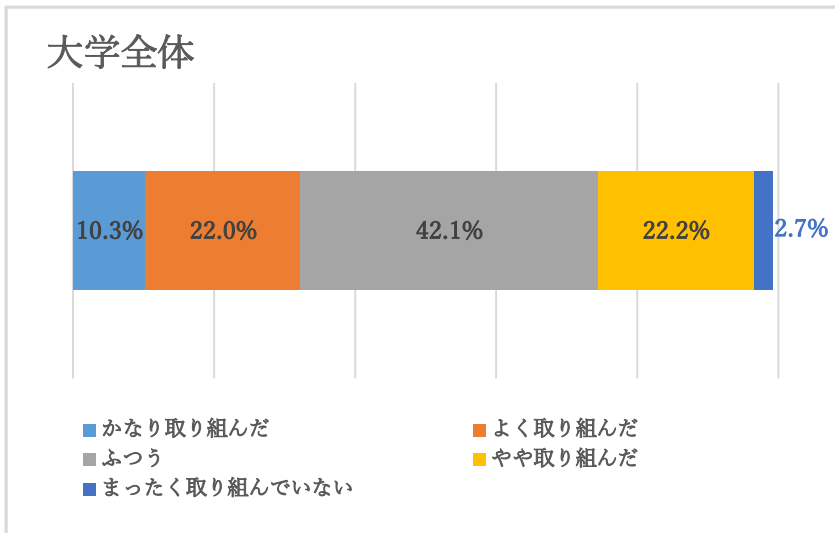


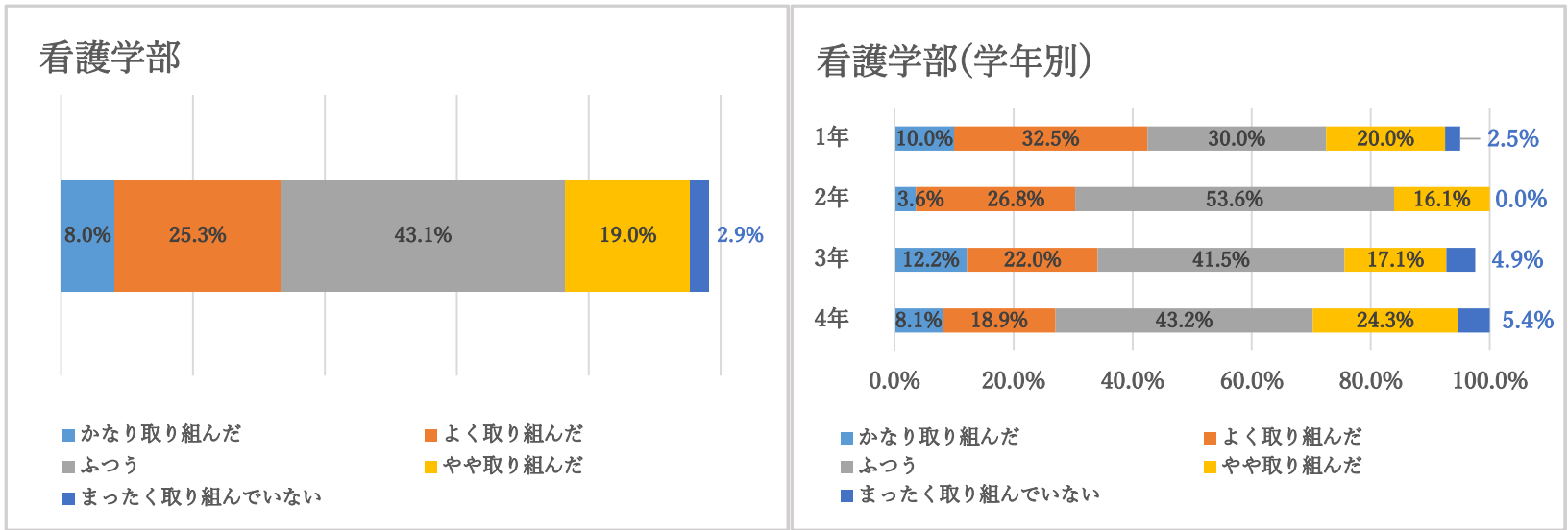
問11 授業の難易度について、総体的にどのように感じていますか。



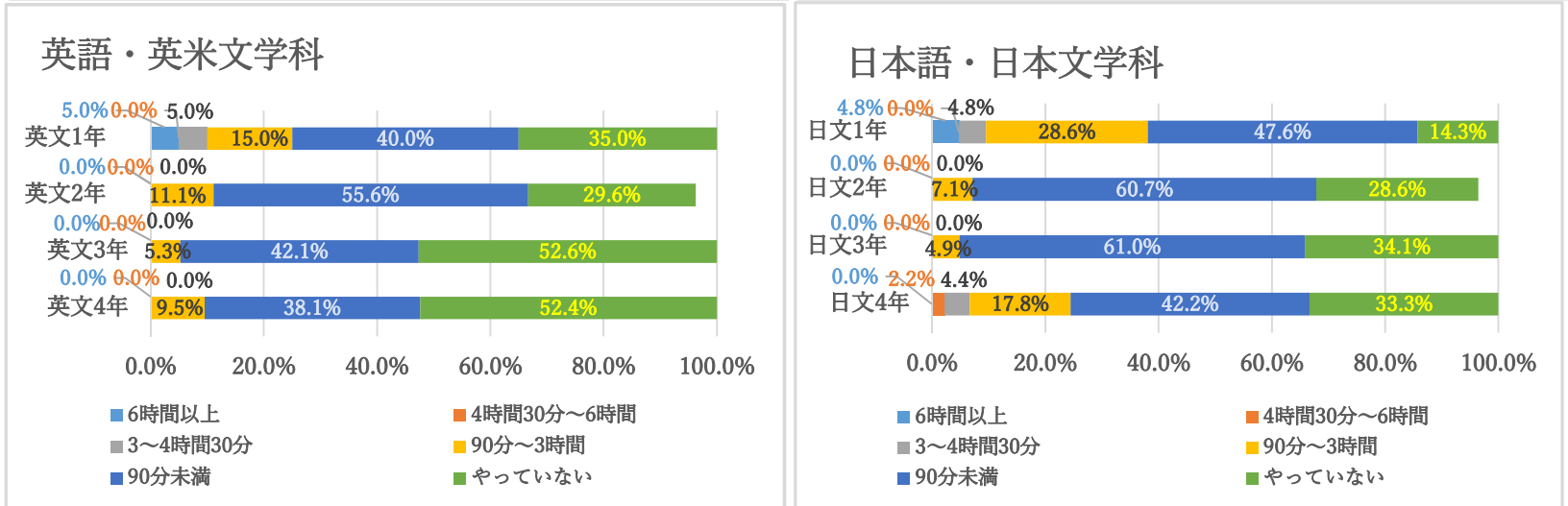
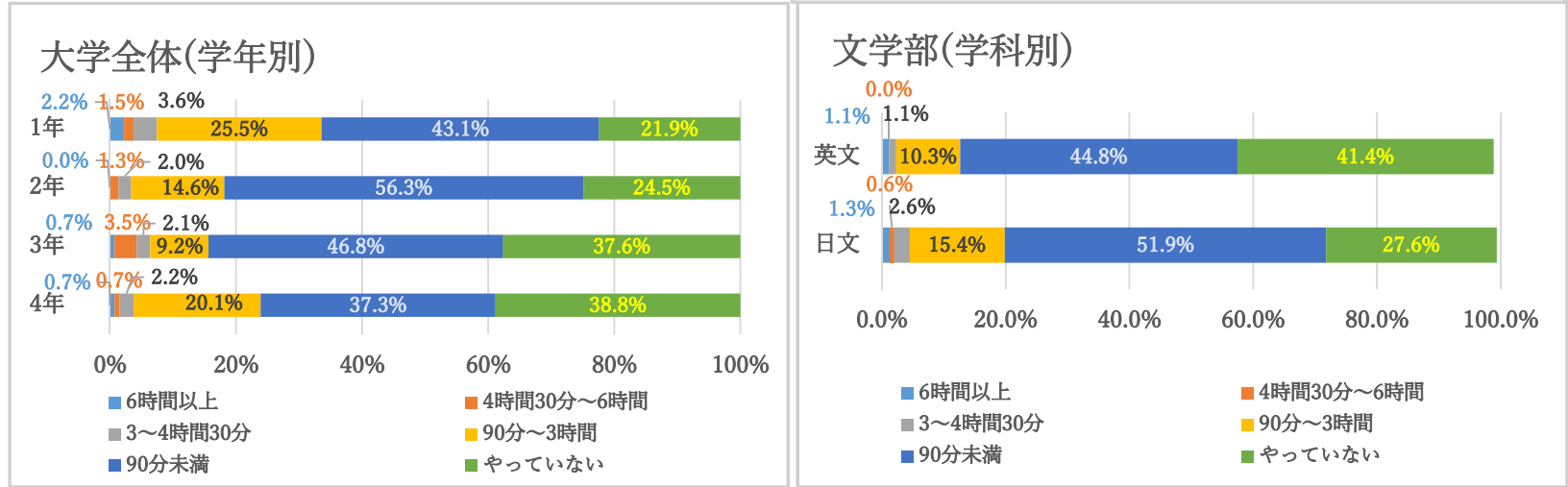
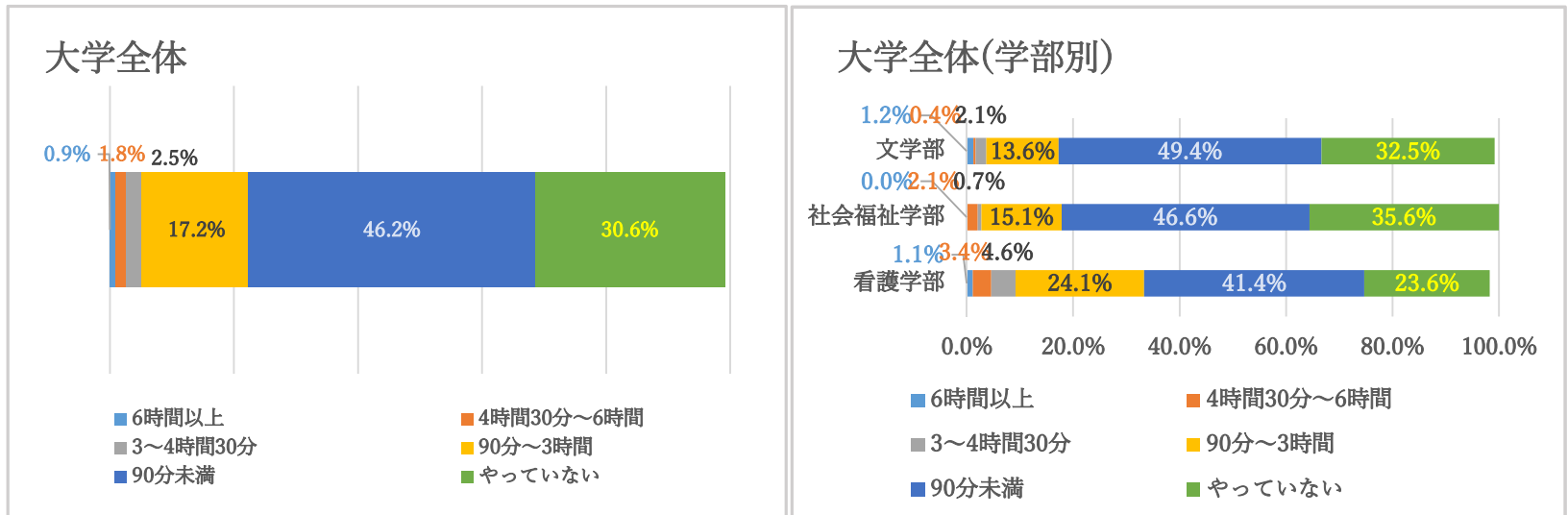


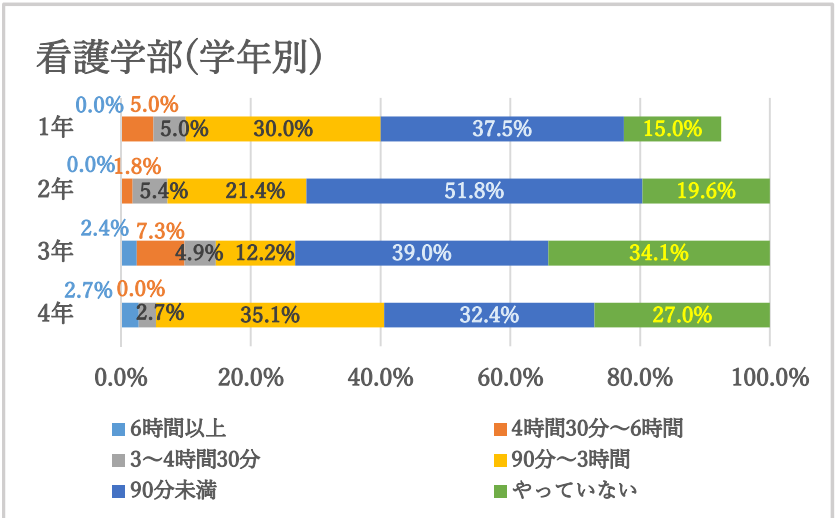
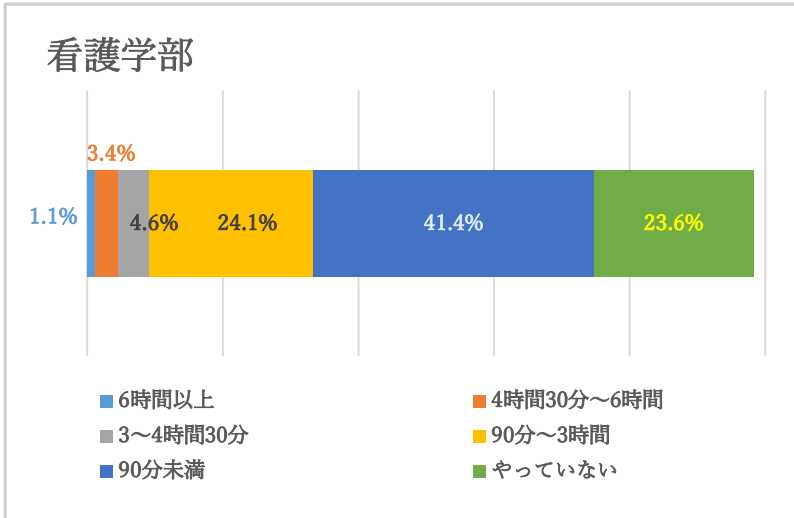
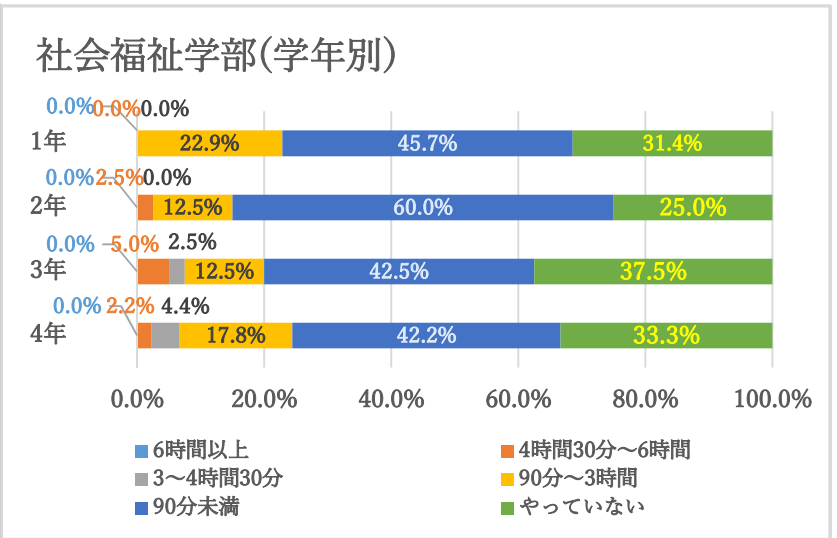
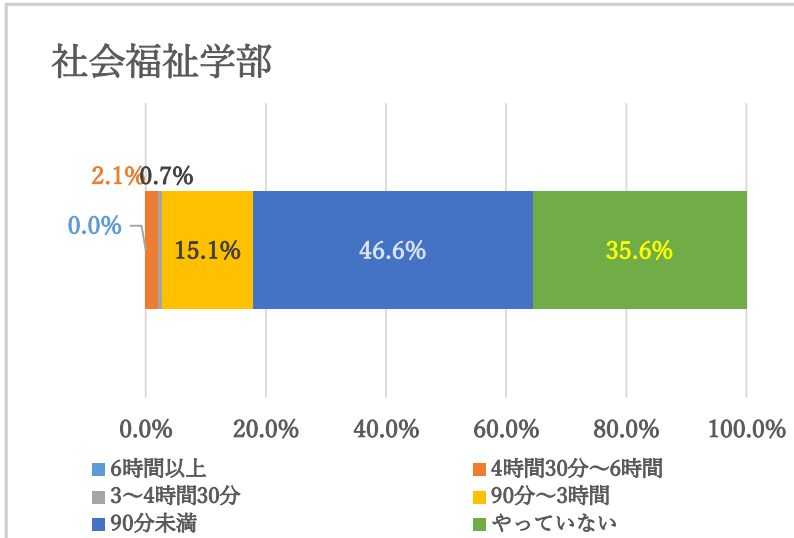
問12 授業に対して、積極的に取り組みましたか。



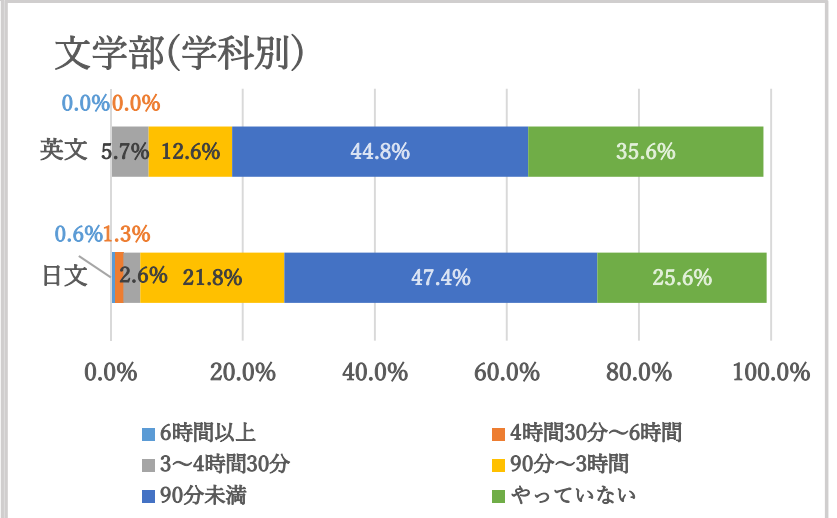
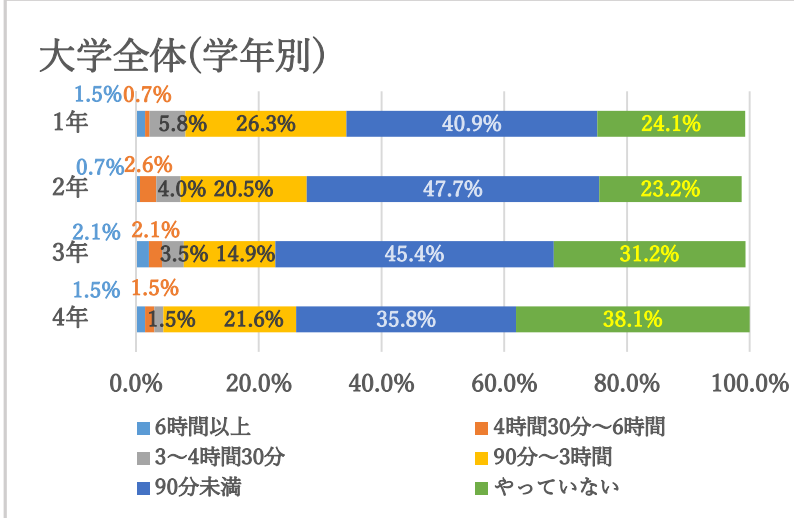
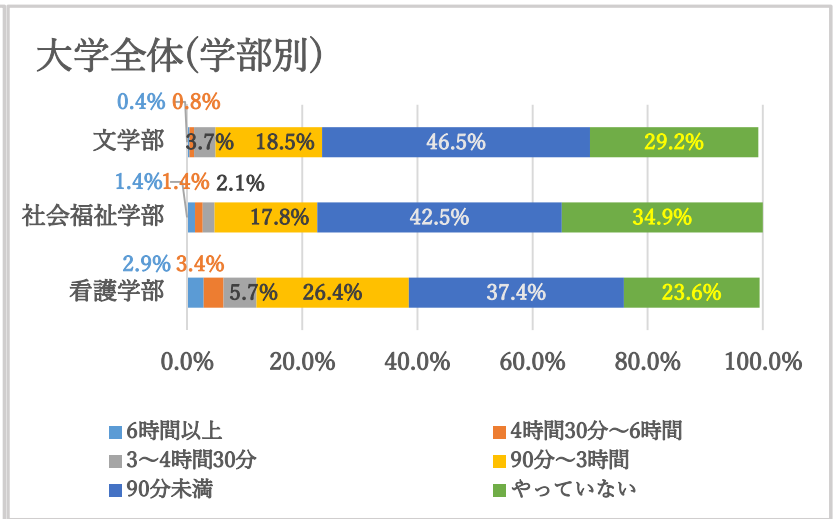
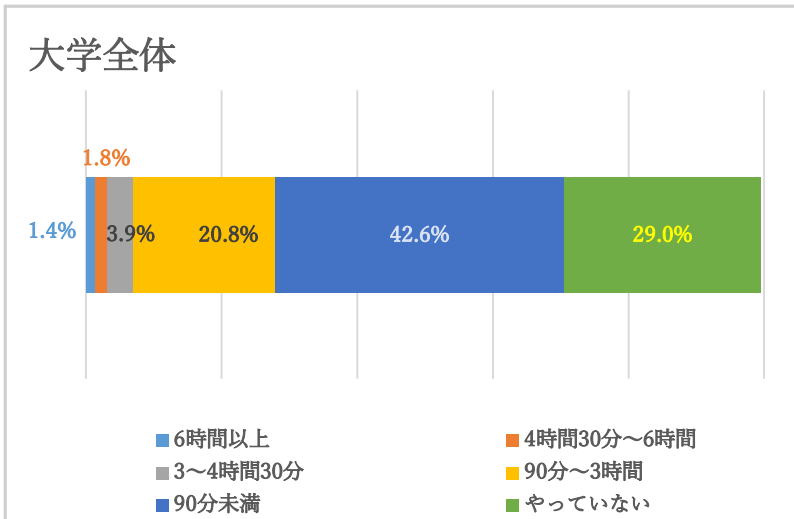


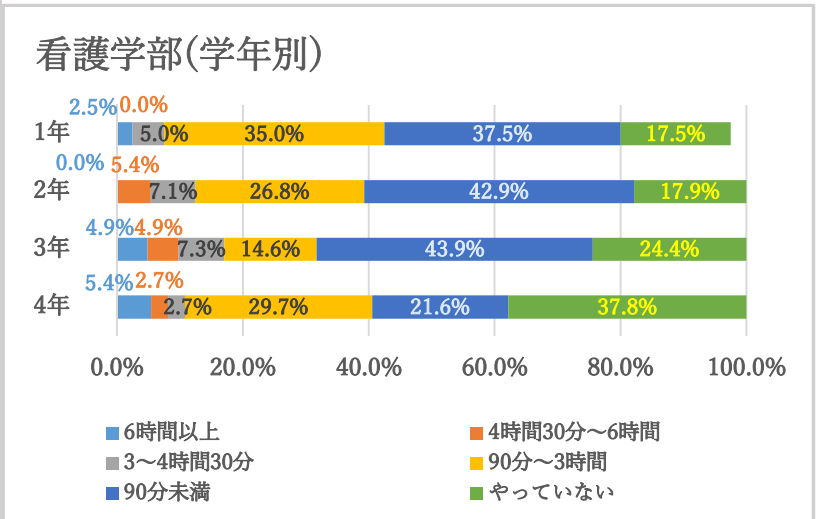
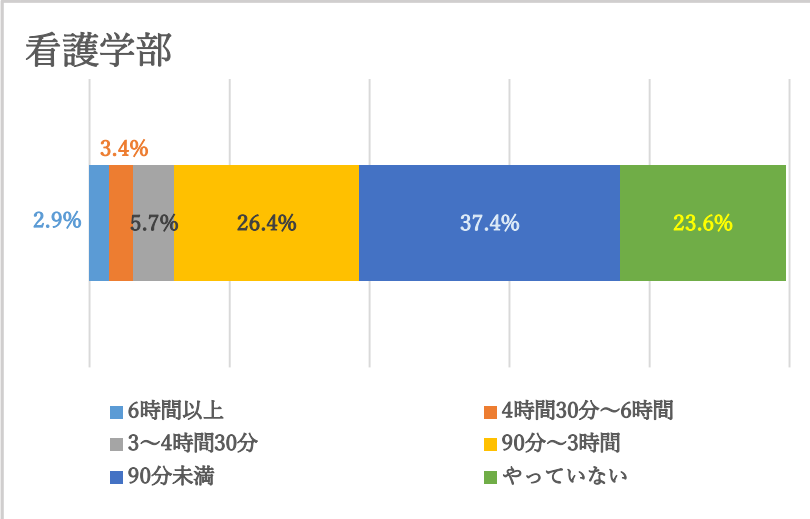
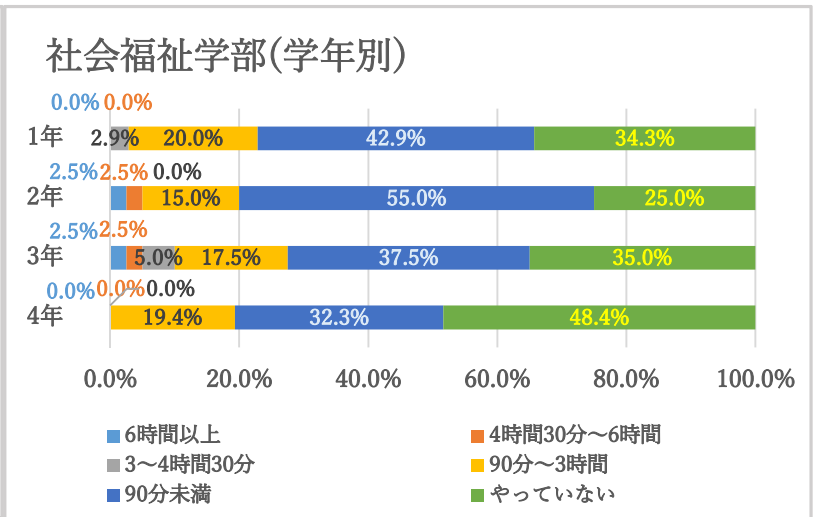
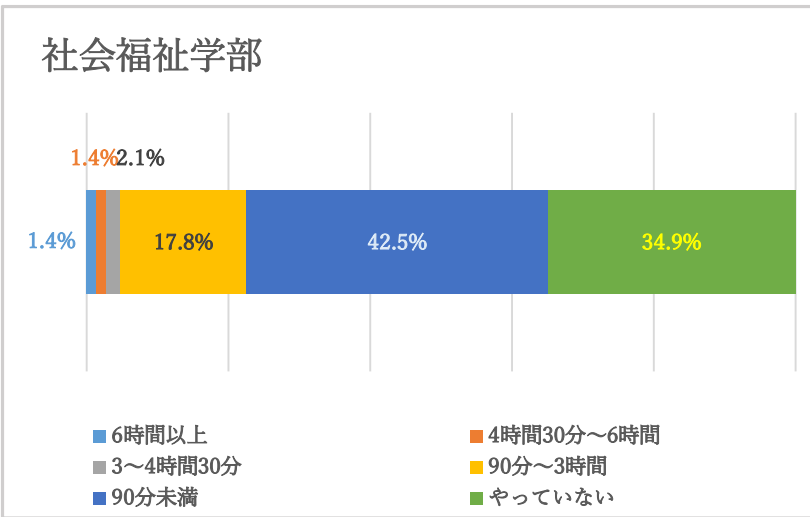
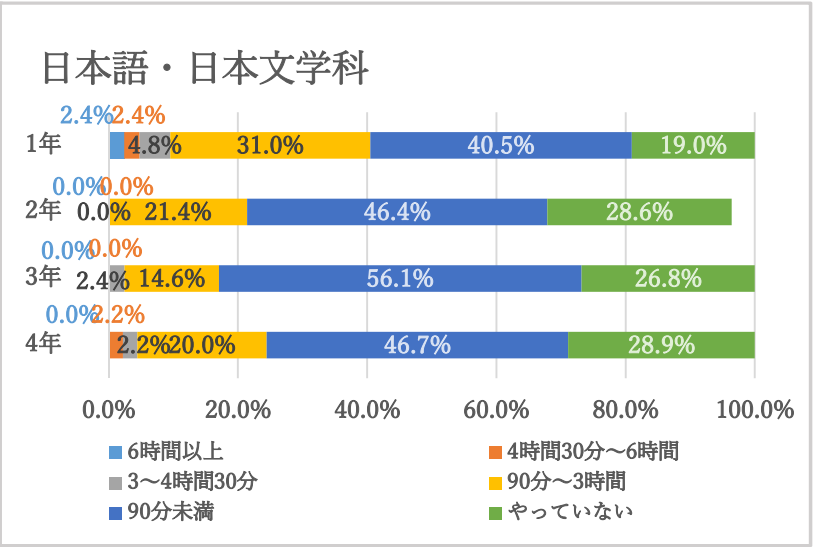
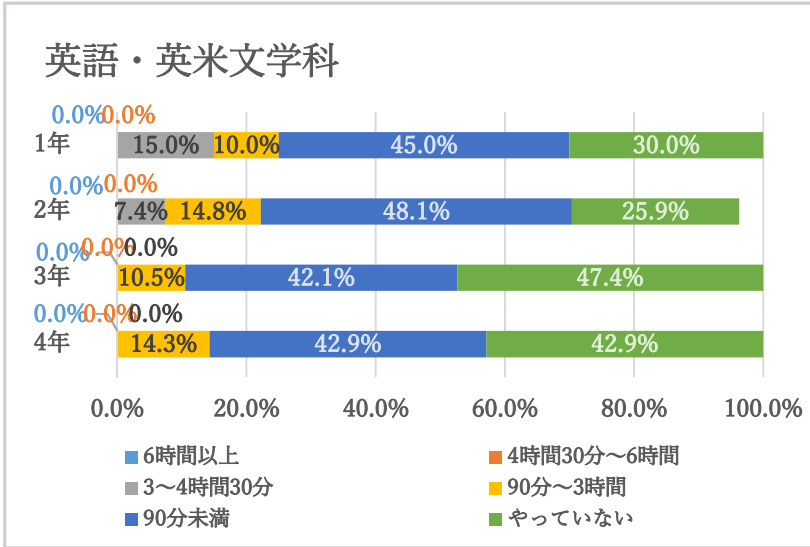
問13 授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。



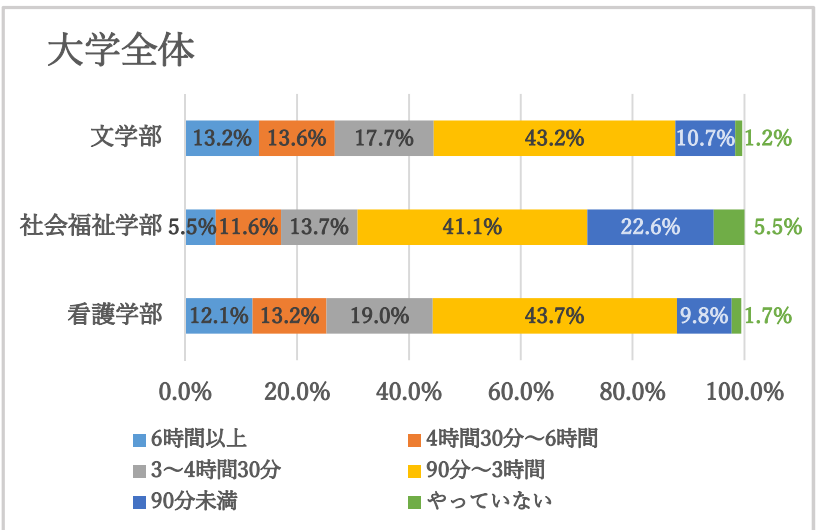
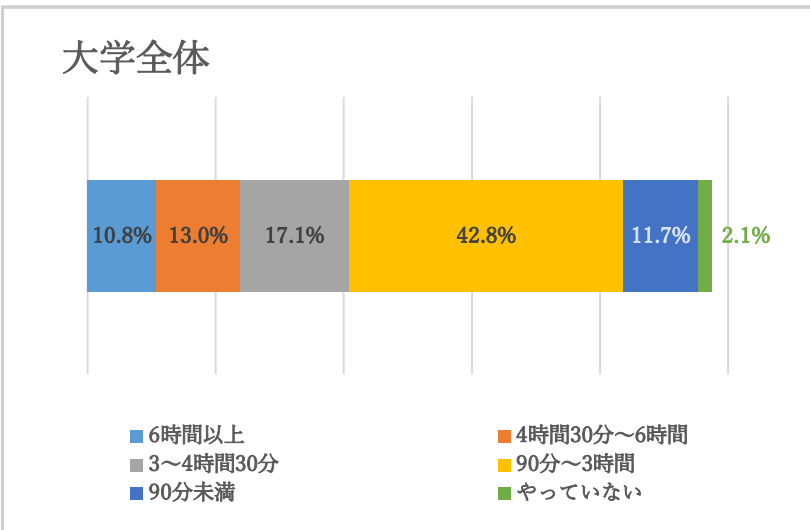


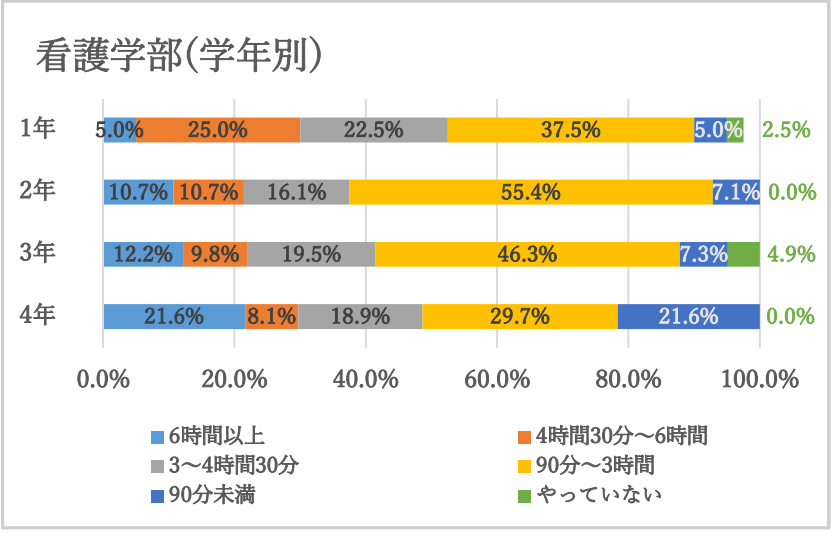
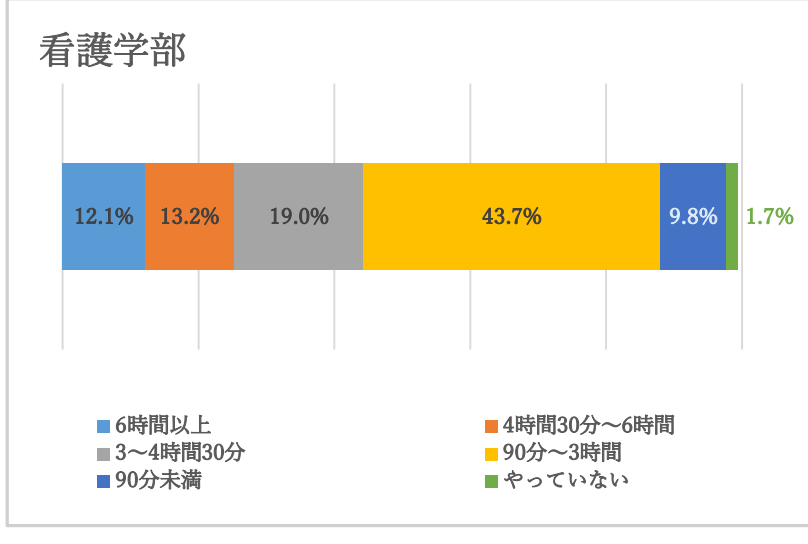
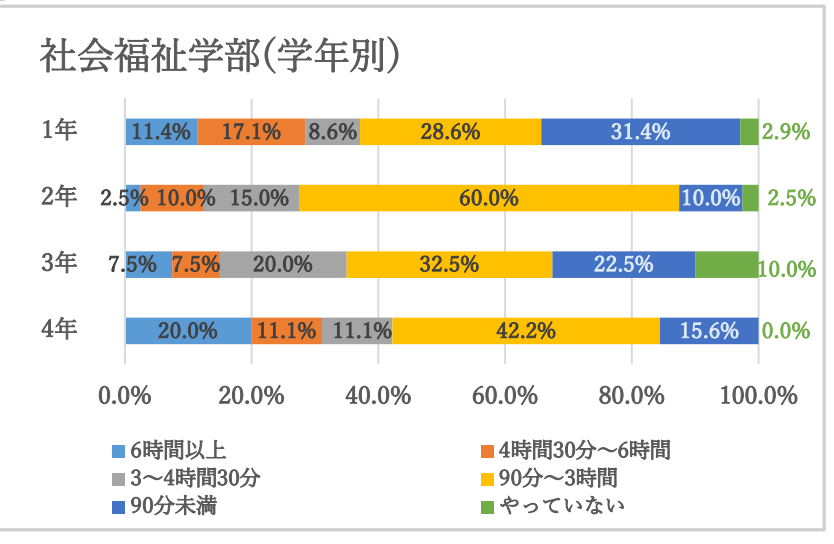
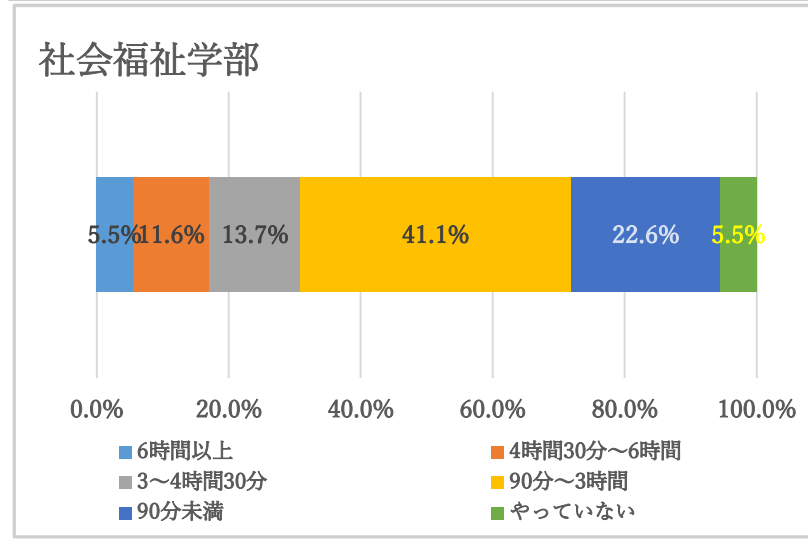
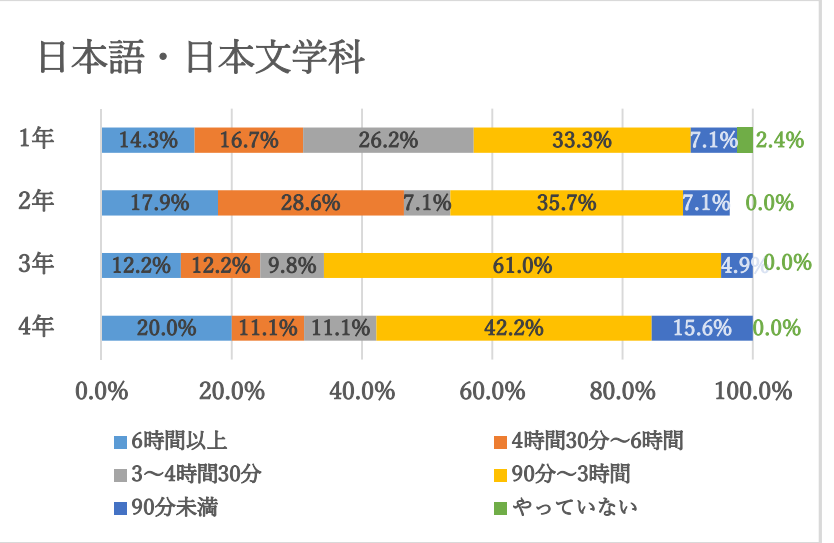
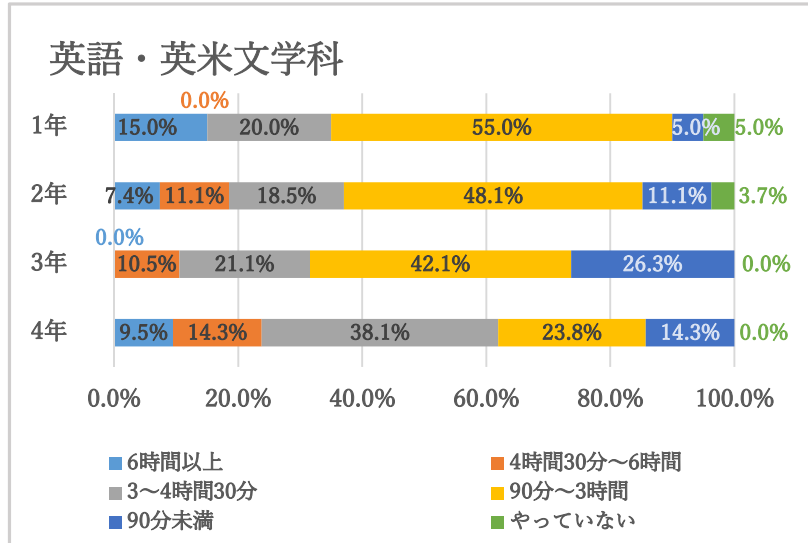
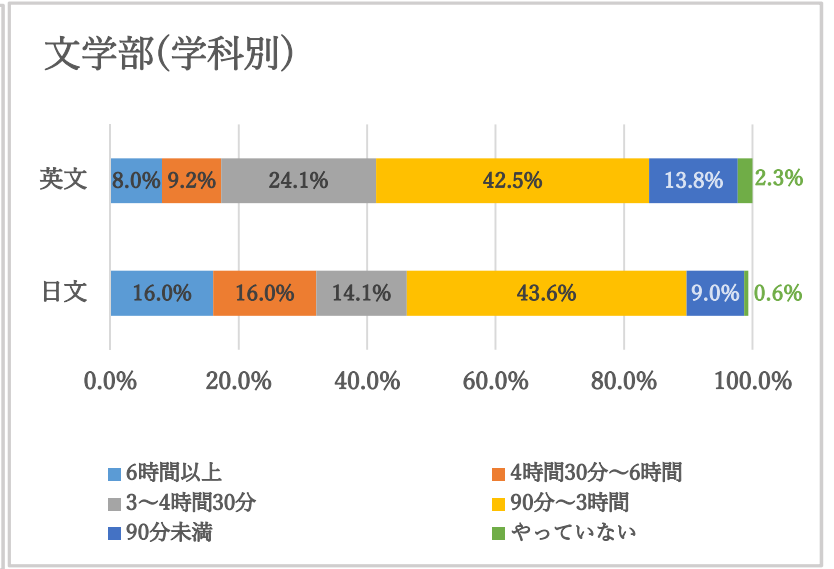
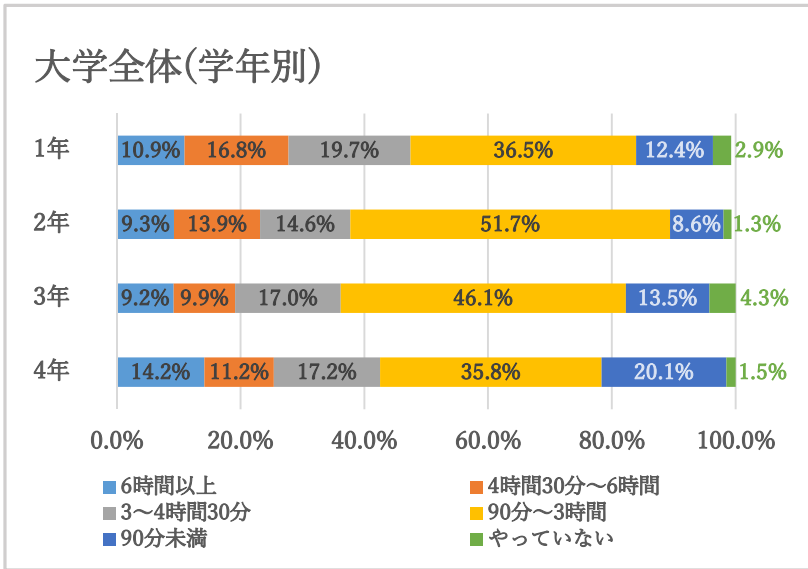
問14 授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。





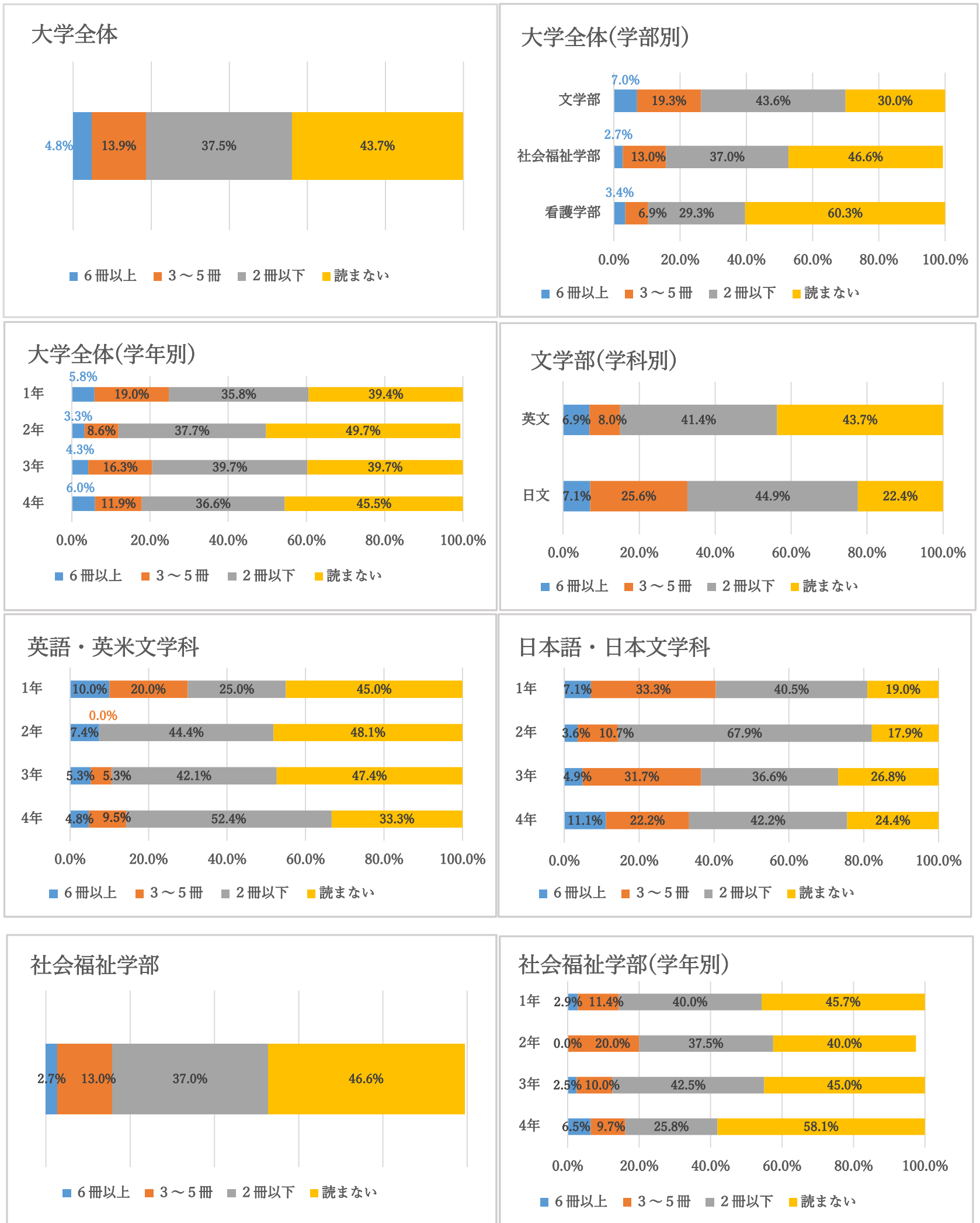
問15 授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でのどのくらいですか。

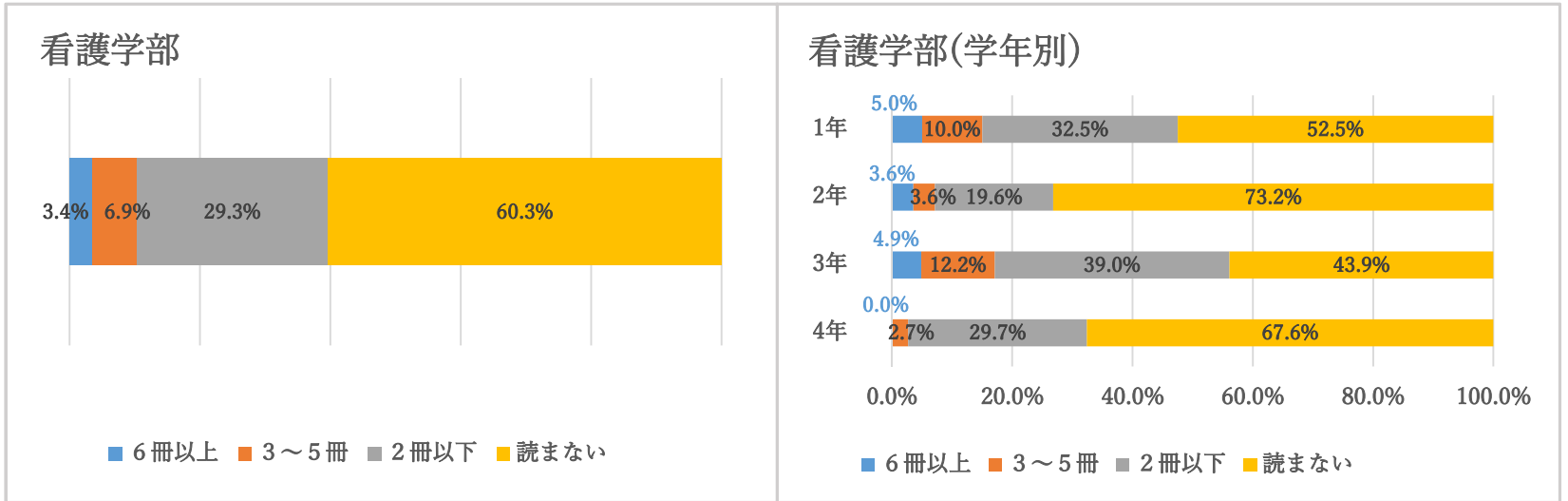




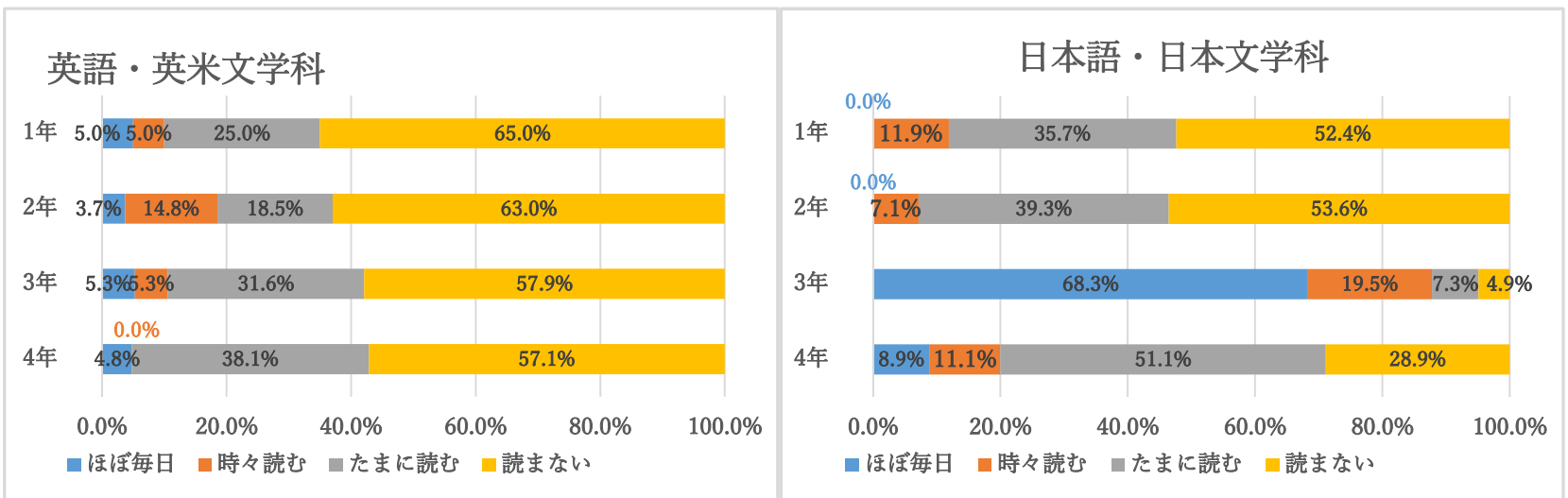
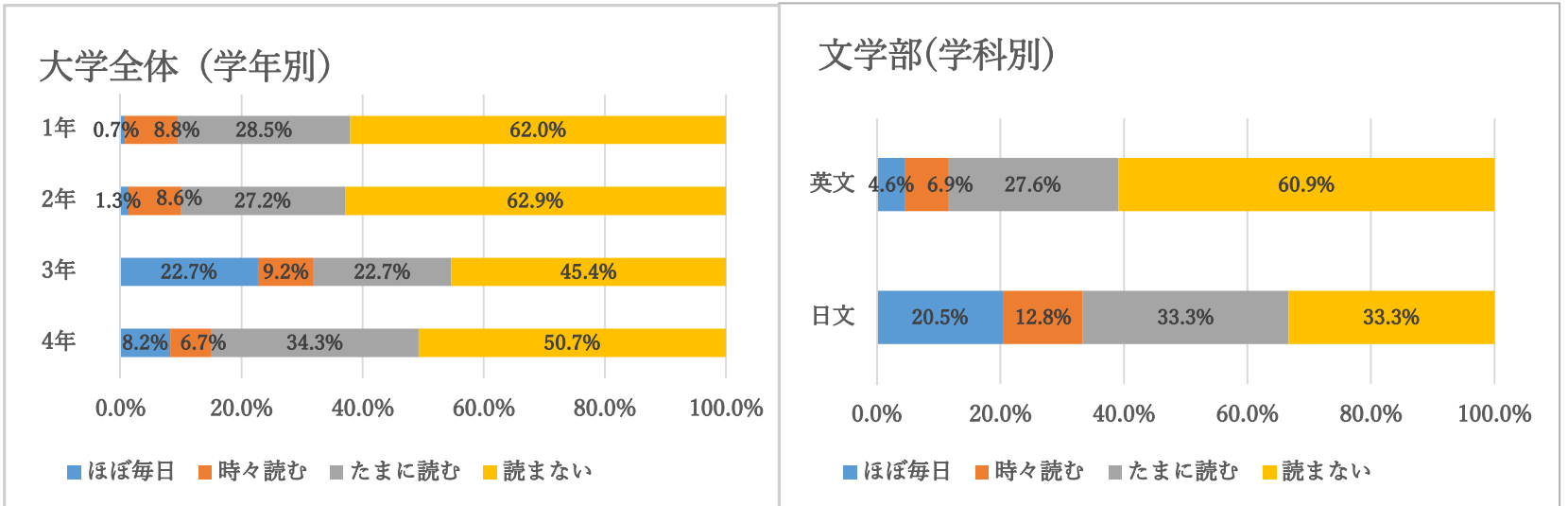
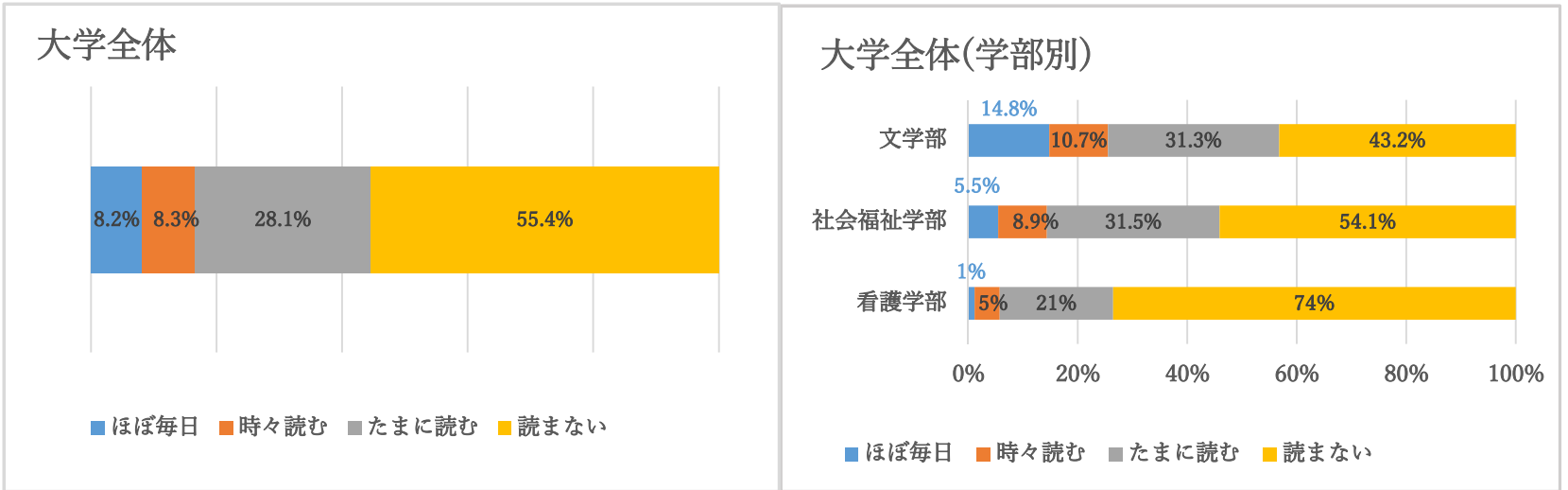
(2)授業以外の学修行動、ふだんの行動

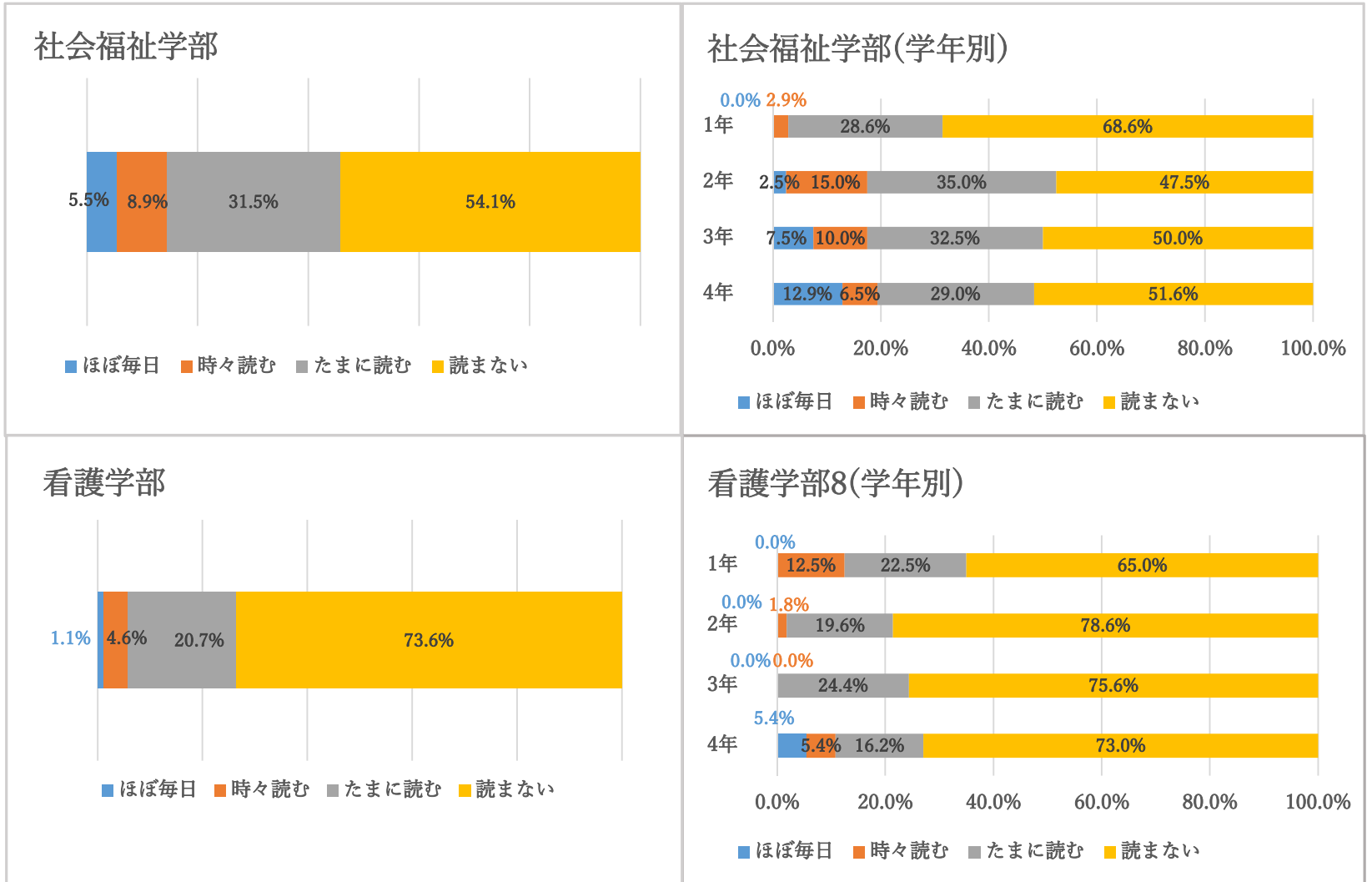
問16 本を、月にどのくらい読んでいますか。



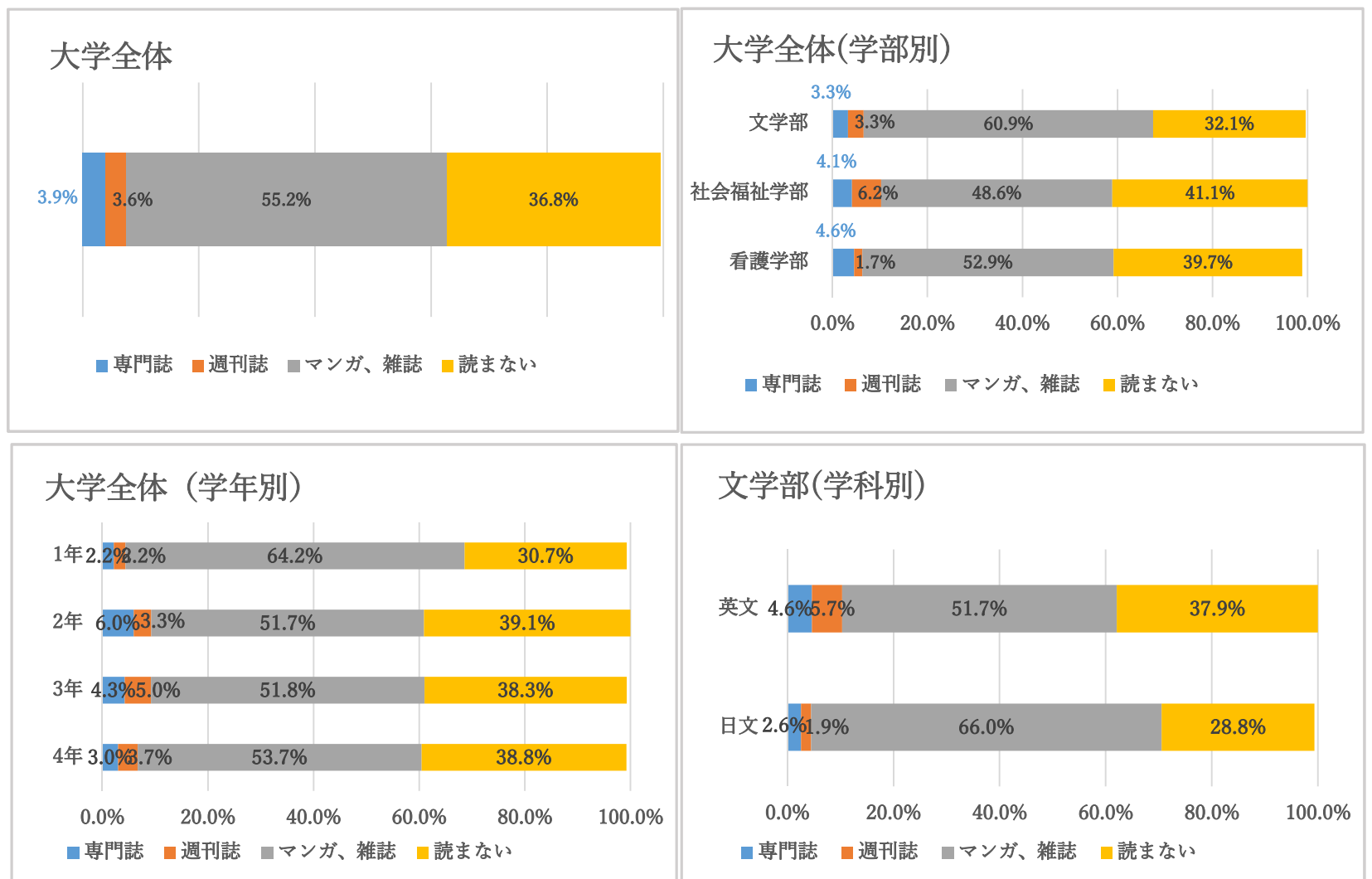


問17 新聞を読んでいますか。

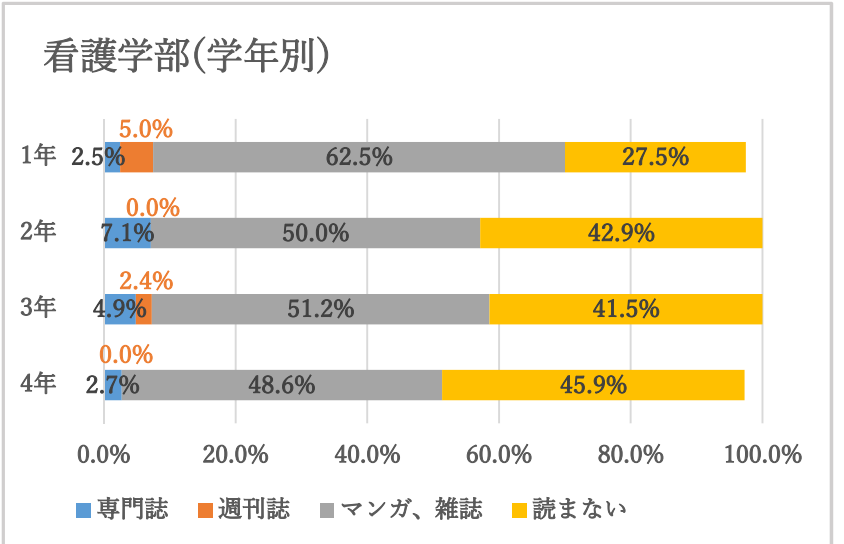
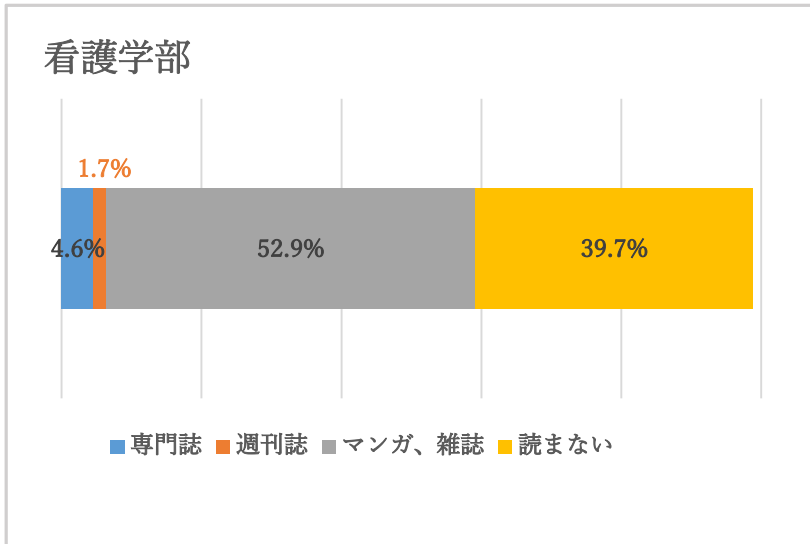
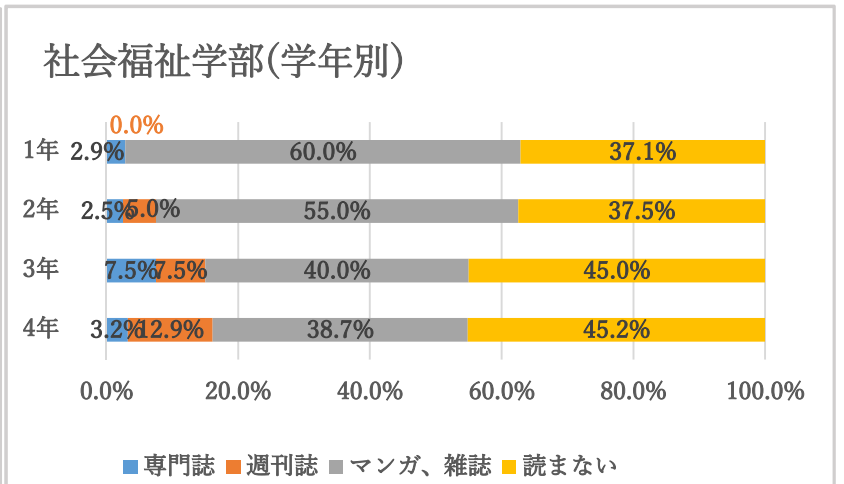
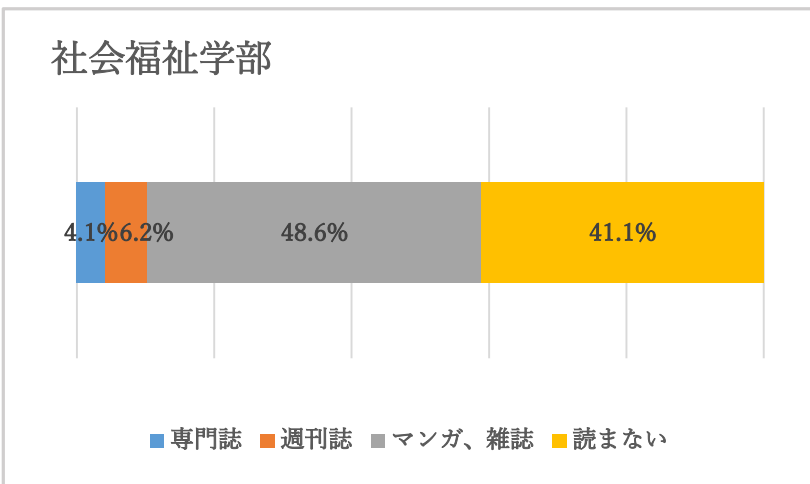
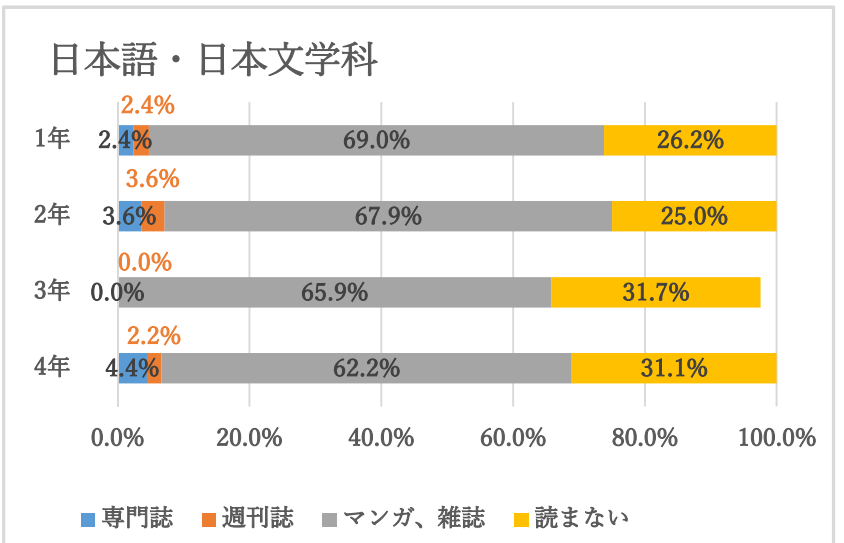
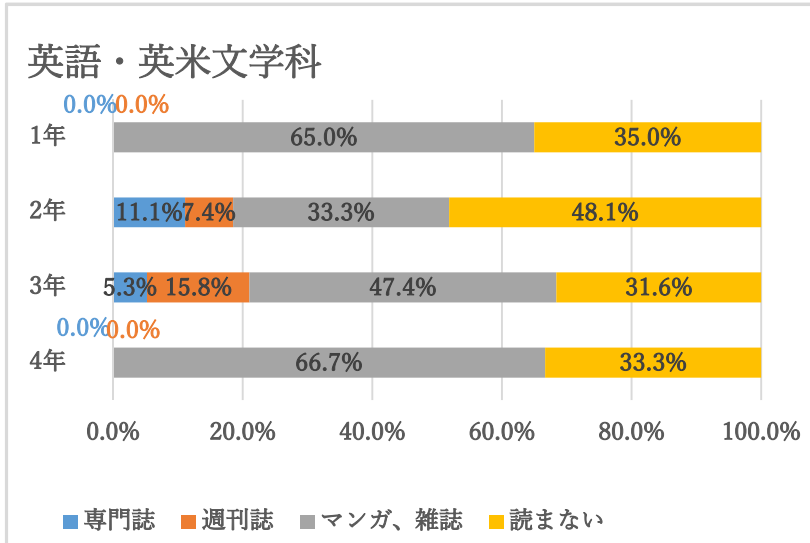




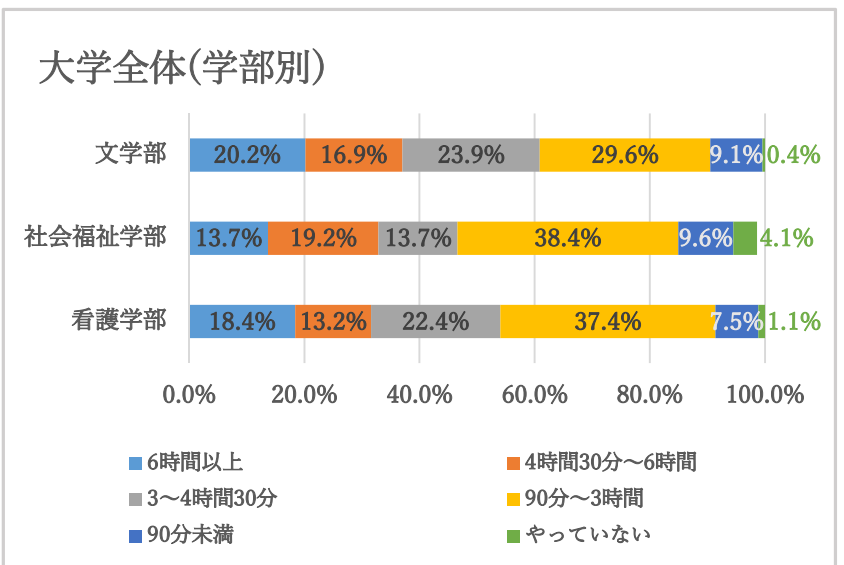
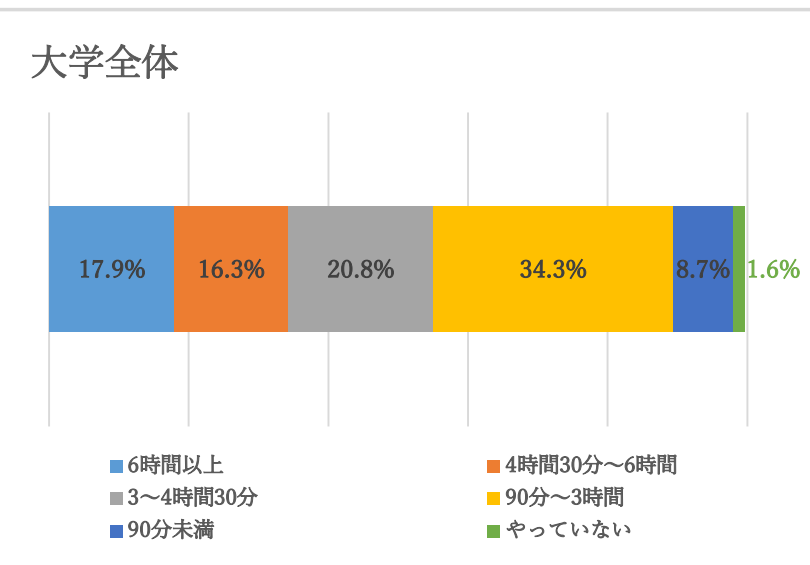
問18 定期的に読んでいるものは何ですか。

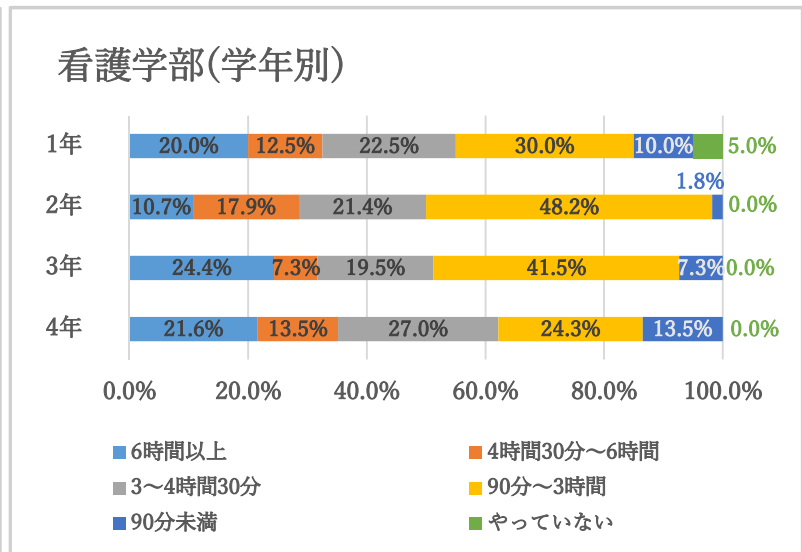
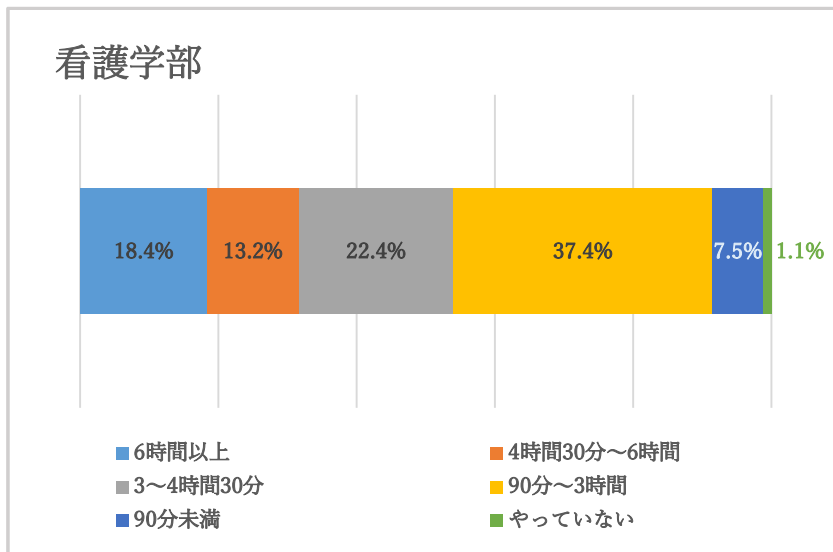
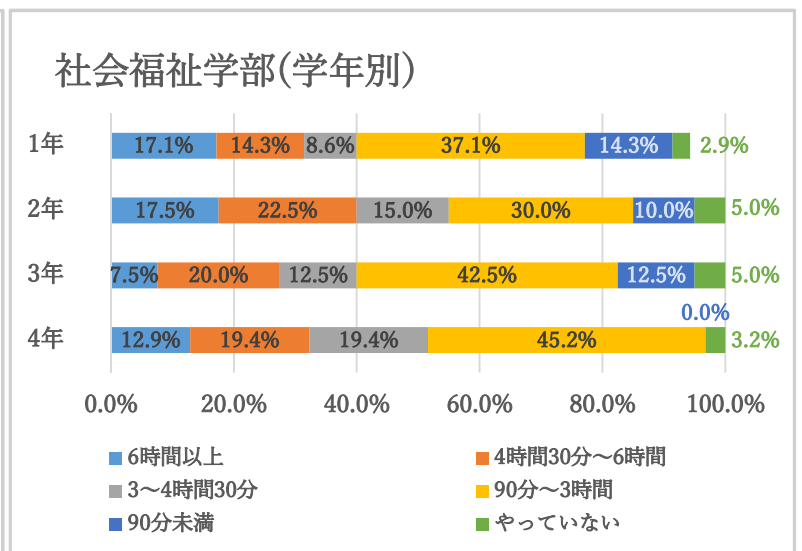
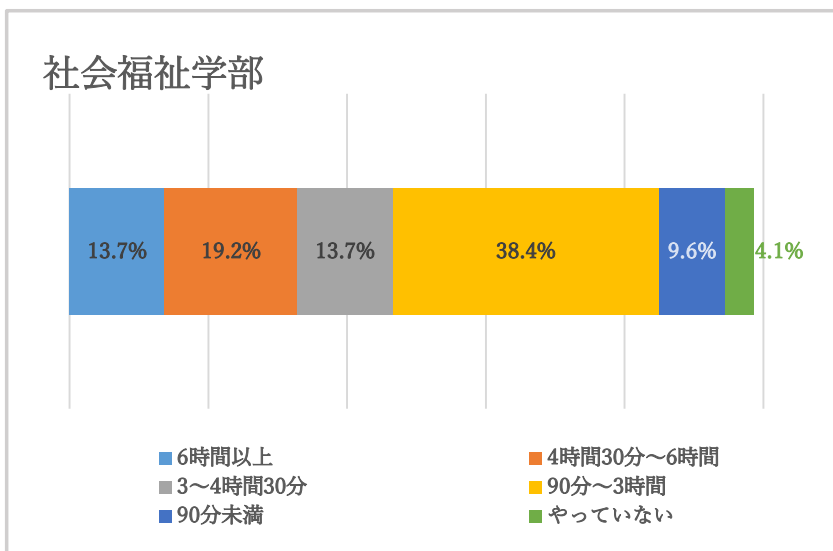
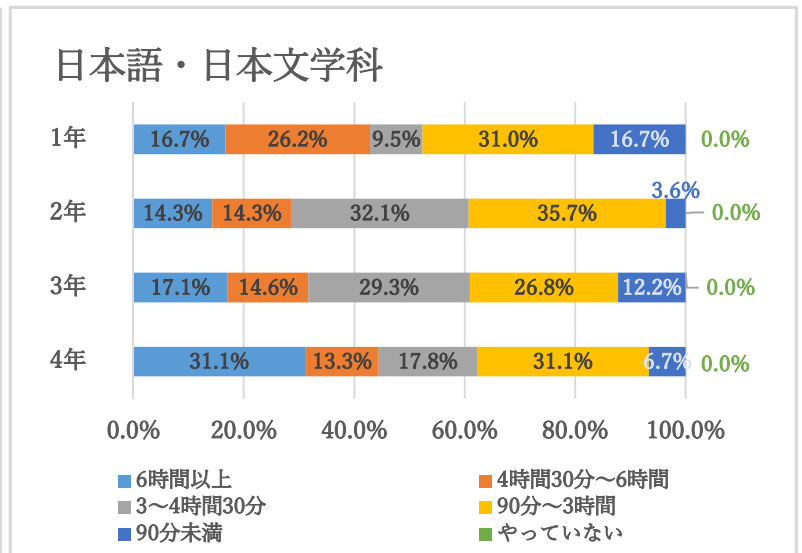
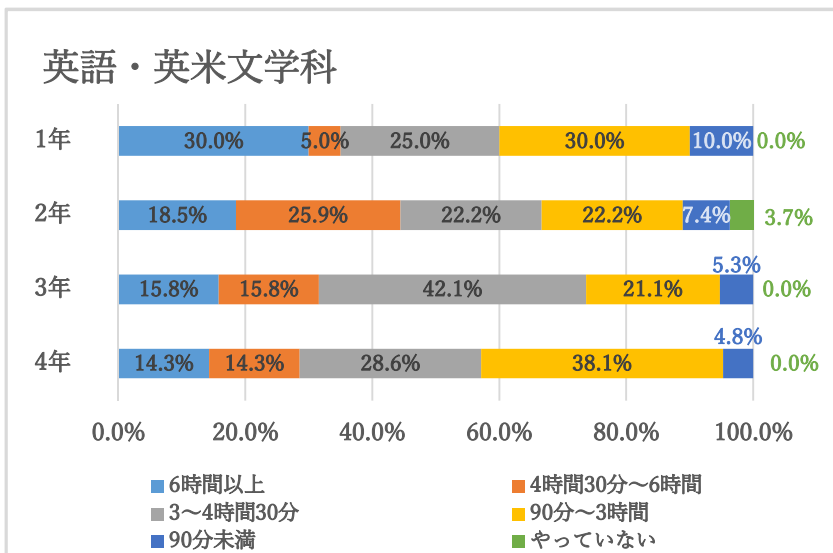
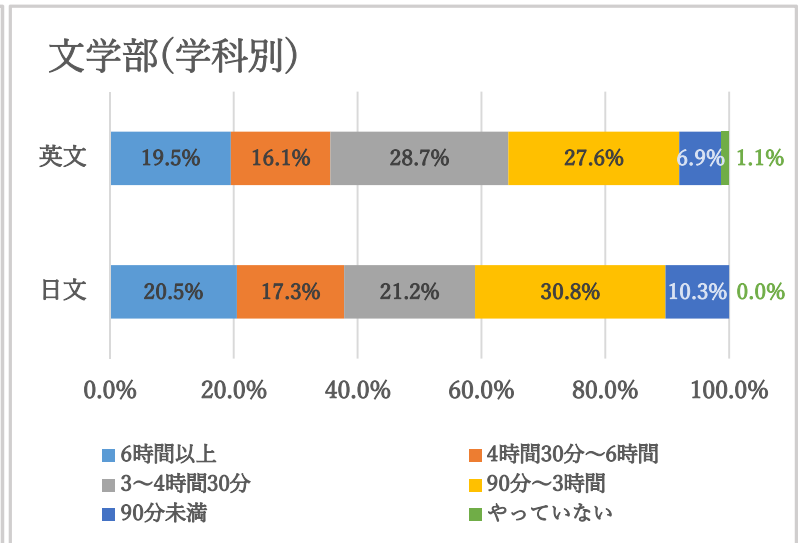
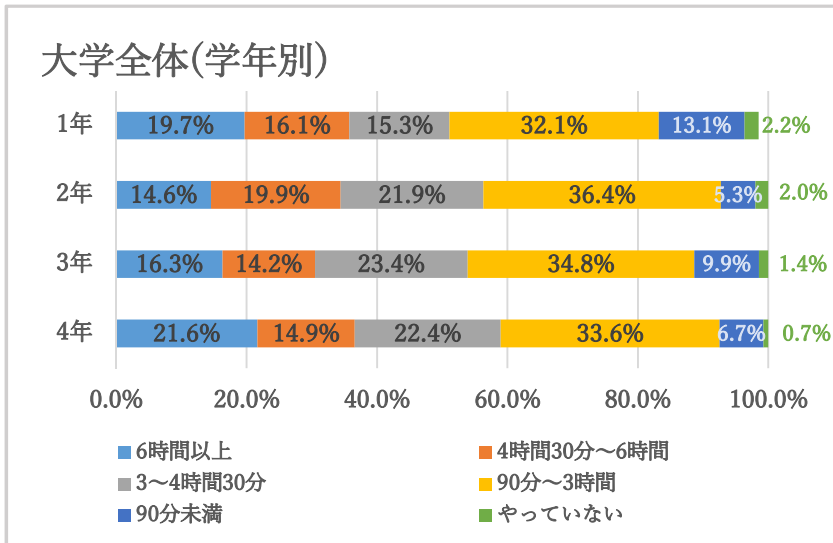


A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ



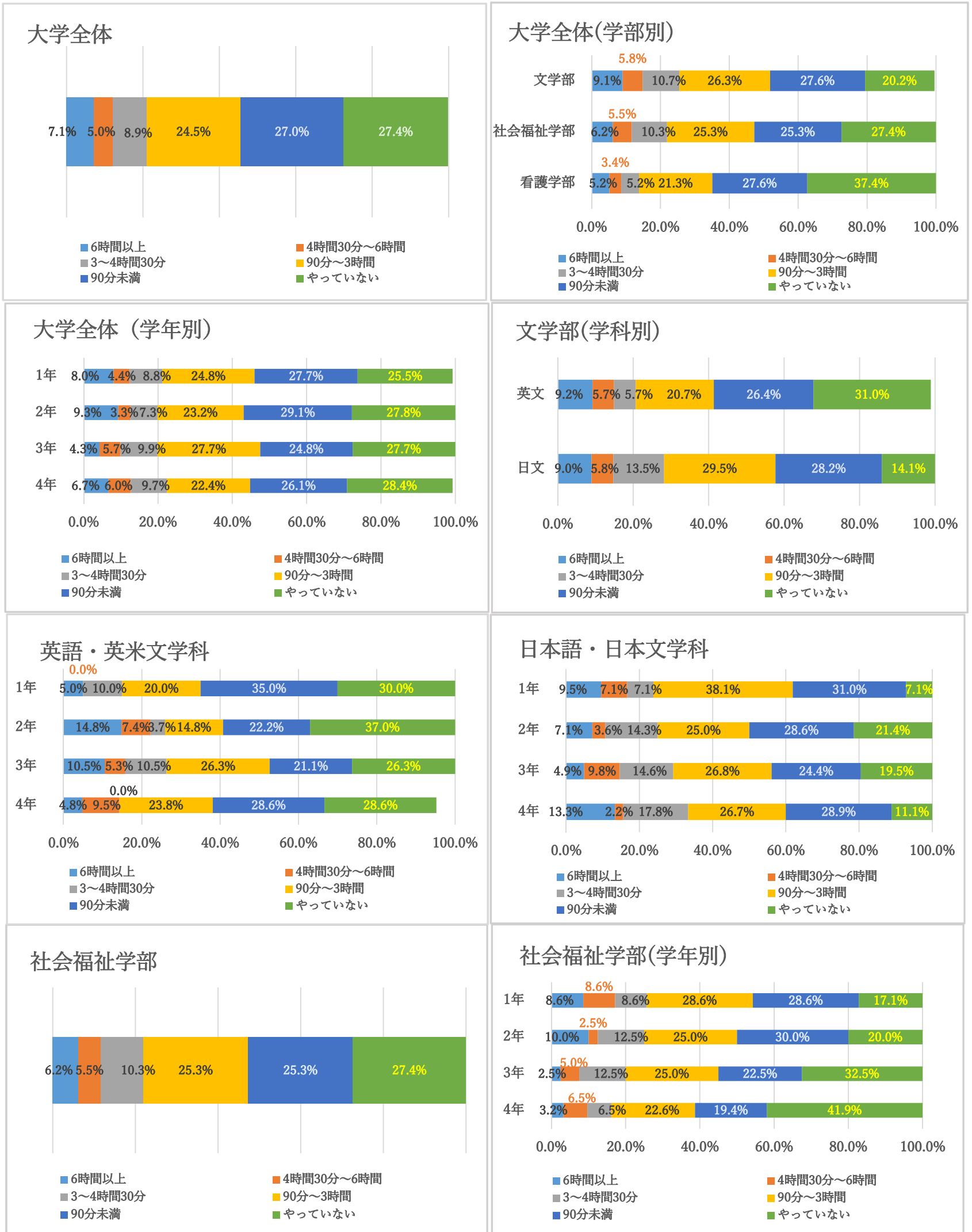
19 インターネット（LINE、SNSなども含む）を、1日どのくらい使っていますか。

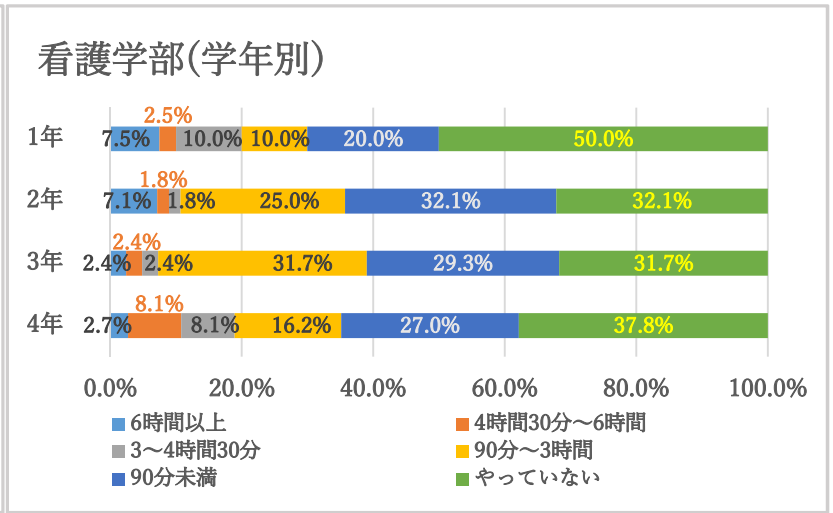
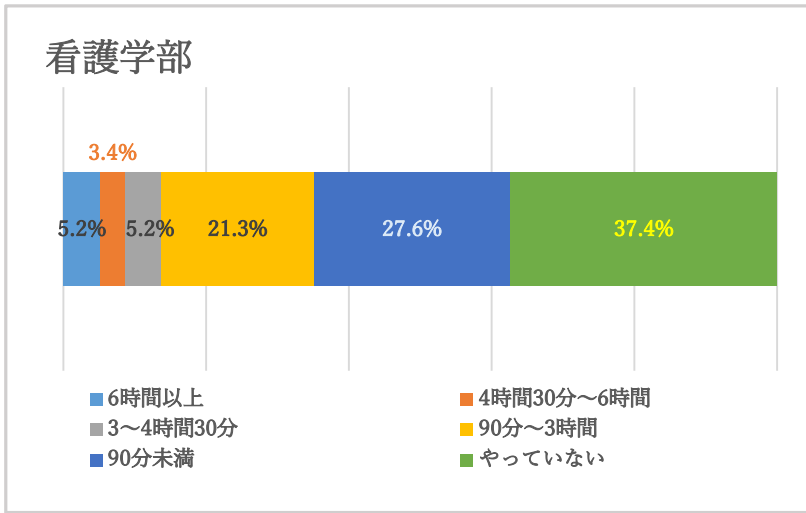




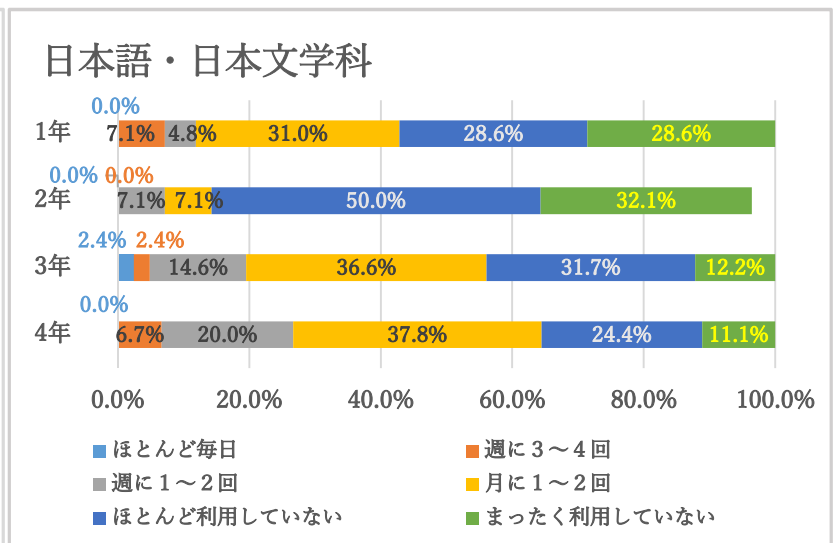
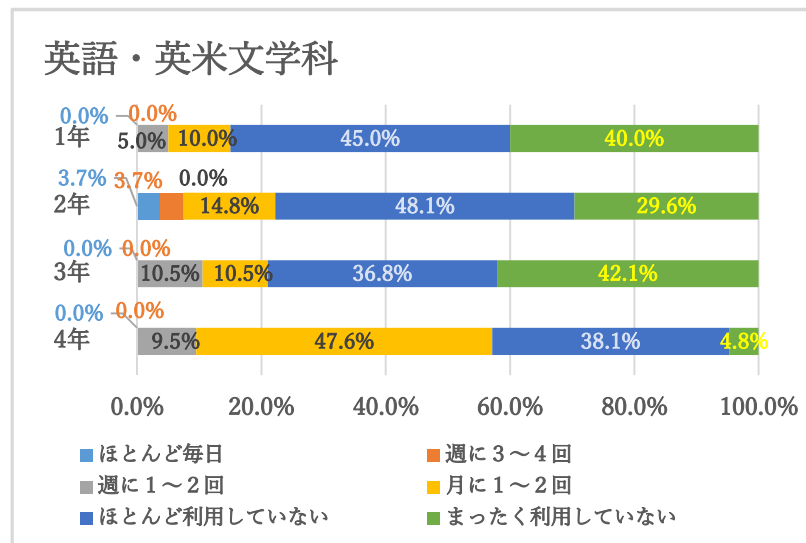
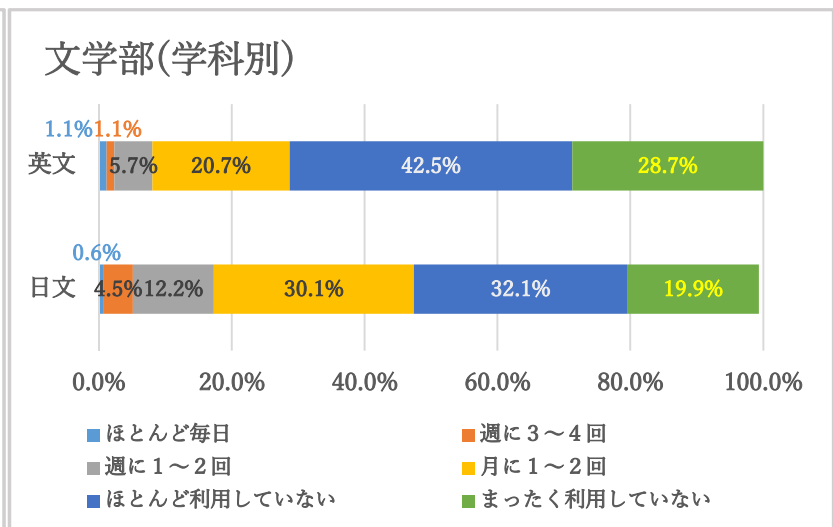
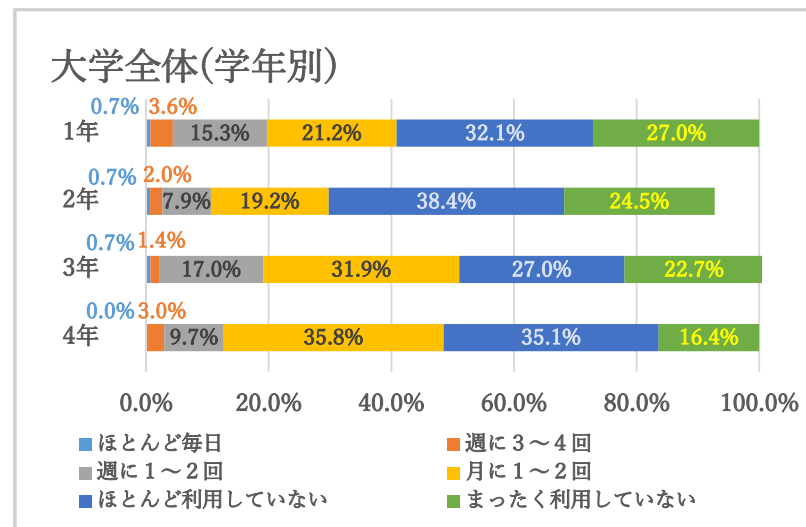
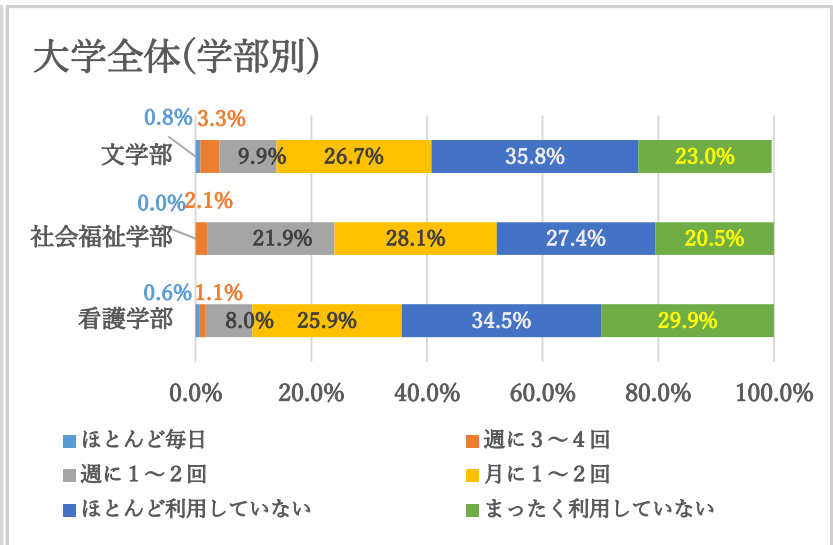
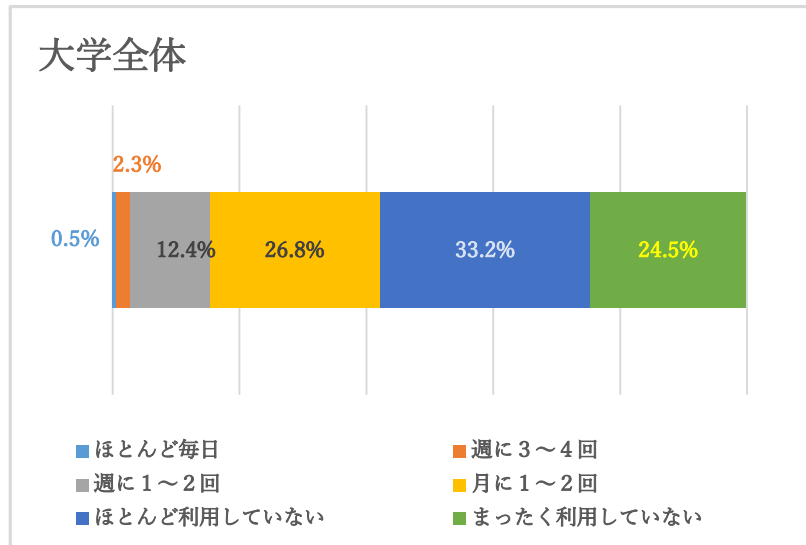
A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ

問20 ゲーム（オンラインゲームも含む）を、1日どのくらい使っていますか。

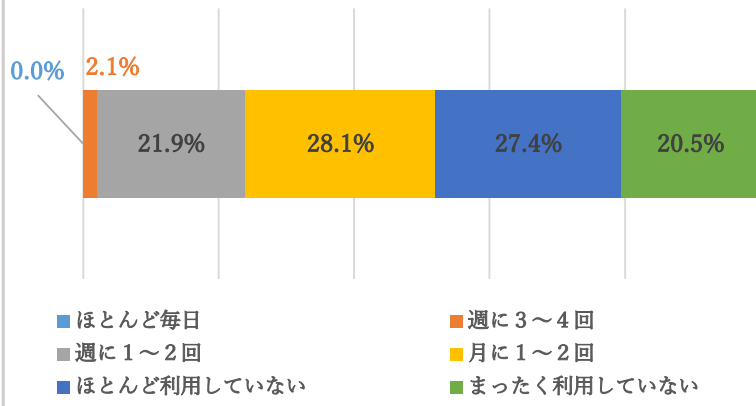




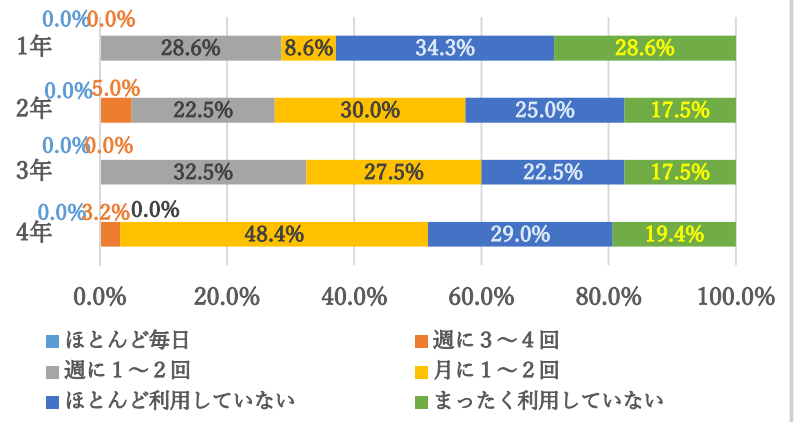
問21 図書館をどのくらい利用していますか。



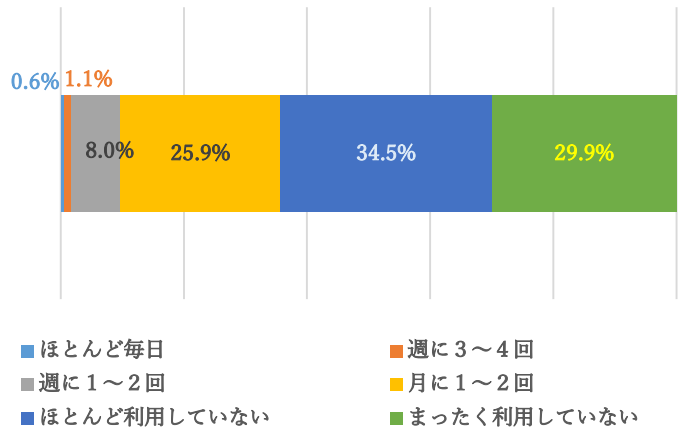
社会福祉学部



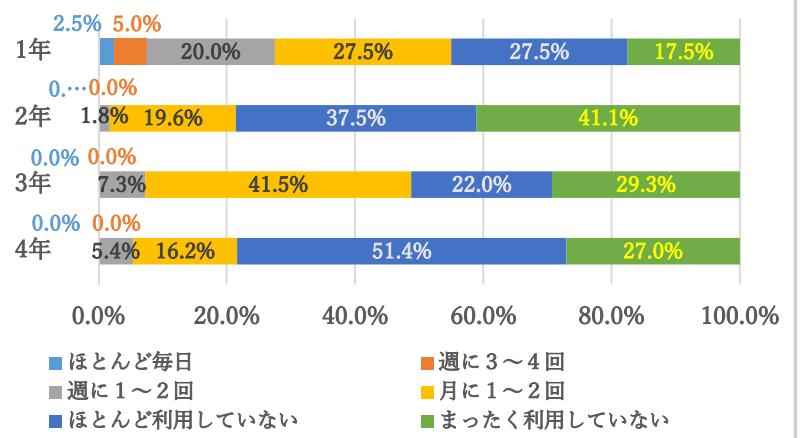
社会福祉学部(学年別)



看護学部



看護学部(学年別)



A 学修行動

A「学修行動」の問4～問21の図表・グラフ(4-26ページ)を参照されたい。

1. 授業以外の諸活動(週当たり)

授業以外の諸活動として、アルバイト、部活、サークル活動、ボランティア活動について尋ねた。

問4 アルバイトの平均就労時間/週

本学全体のアルバイト就労率は62%である。全国大学生活協同組合連合会の「第55回学生生活実態調査」(2019年調査)(以下、生協連と略す)によれば75.8%なので、本学はやや低い。

また就労時間は、本学全体では「5～10時間」約15%、「10～15時間」14%、「15～20時間」が約14%で、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の「平成30年度学生生活調査」(以下、支援機構と略す)では、週平均13.9時間であり、また生協連では、週平均12.6時間である。単純に比較はできないが本学はおおむねこれらの平均に近いと思われる。

問5 部活、サークル活動

全体では「なし」が79.4%で最も多く、活動している場合でも「1～2日」が18.3%である。学年の進行と活動割合にはとくに関連が内容である。支援機構では、「0時間」が48.0%で最も多く、次いで「1～5時間」が26.3%である。

問6 ボランティア活動

全体では「なし」が95.2%で最も多く、活動している場合でも「1～2日」の3.6%である。それでも学年が上がると若干活動割合が上がっている中で、学部別では社会福祉学部が「1～2日」が8.9%の活動割合であり、全学の中では高い。

2. 勉学状況

ここでは授業関係について尋ねた。

(1)登校・出席状況、授業を中心とした学修状況について。

問7 登校日数

全体では「7日」と「5～6日」と合わせて72.1%で最も多く、次いで「3～4日」が17.4%となっている。学年が上がると登校日数が下がる傾向は文学部と社会福祉学部にみられるが、看護学部では逆に高い。

問8 授業出席割合

全体では、出席率「80～100%」が70.5%と高い。学部別では看護学部が最も高い。8割

以上の出席日数は、全体として、学年が上がると下がる傾向が見られるが、学部によって異なり、看護学部は学年を通して高い。

問9 授業欠席割合

理由のない欠席を尋ねたが、全体としては「20%未満」が77.3%であり、中でも看護学部は9割を超える。

問10 授業への興味・関心度

全体では、最も多いのが「40～60%」の、36.1%で、次いで「60～80%」が29.7%である。6割以上の授業に興味・関心があるのは、全体としては37.9%であるが、学部別では、文学部35.4%、社会福祉学部33.6%、看護学部44.8%であり、看護学部が最も多い。なお学年による傾向ははっきりしない。

問11 授業の難易度

全体では「ふつう」が52.9%で最も多い。「ふつう」と「やや易しい」8.0%と「かなり易しい」2.5%とを合わせると63.4%で、6割以上の学生はそれほど難しいとは感じていない。学年が上がると「やや難しい・かなり難しい」の割合が減少するようである。

問12 授業取り組み度

全体では「ふつう」が42.1%で最も多い。「ふつう」と「よく取り組んだ」22.0%と「かなり取り組んだ」10.3%とを合わせると74.4%で、7割4分の学生はそれなりに取り組んだという自己評価であり、全体の取り組み度は悪くないと思われる。学年別では積極的な取り組み度は1年次において高い。

問13 授業の予習

「やっていない」が30.6%であり、やっている場合でも、「90分未満」が46.2%を占める。この2つを合わせると76.8%となり、約8割が取り組んでいないことになる。

問14 授業の復習

「やっていない」が全体の29.0%を占め、「90分未満」の42.6%と合わせると71.6%となり、7割以上が復習にも取り組んでいないということになる。

支援機構では、設問「大学の授業の予習・復習など」では予習と復習とを一括したものになっているが、「0時間」が17.5%、「1～5時間」が54.0%、「6～10時間」が16.6%となっている。これと比べて本学は「やっていない」がかなり多い。

問13の予習と問14の復習は、事前・事後学修を定めた「単位の実質化」に関わる課題であり、この達成が求められているわけであるが、現状はそれとはかなり距離がある。

問 15 授業に関わる発表、レポート、課題への取り組み時間

全体では、「90分～3時間」が42.8%で最も多く、「3時間～4時間30分」17.1%がこれに次ぐ。「90分～3時間」と「90分未満」と「やっていない」2.1%とを合わせた56.6%となり、約6割が3時間未満ということになる。

(2) 授業以外の学修行動、ふだんの行動

読書、新聞、定期的に読むもの、インターネット、ゲーム、図書館利用率などを尋ねた。

問 16 読書量

設問では読むものの種類やジャンルなどをとくに限定していないが、全体では「読まない」が43.7%を占め、「2冊以下」が37.5%となる。学部別では、看護学部、社会福祉学部、文学部の順に冊数が増えているが、学年による傾向は全体的にははっきりみられないようである。

問 17 新聞を読むか

新聞離れの傾向がますます進んでいるようであるが、全体では、「読まない」が55.4%で最も多い。「たまに読む」の28.1%と合わせると、83.5%がほとんど読まないということになる。学部別では、読む割合が多いのは文学部である。

問 18 定期的に読んでいるもの

全体では「マンガ、雑誌」が55.2%で最も多い。次いで「読まない」も36.8%でかなり多い。設問を「定期的に」としたので、この条件を除けばさらに増えるかもしれない。社会福祉学部と看護学部では学年が上がるにつれ、ともにわずかではあるが、「マンガ、雑誌」が減り、「読まない」が増える傾向がある。

問 19 インターネット使用時間

全体では、「やっていない」(1.6%)以外の98.0%が使っている。時間帯では「90分～3時間」(34.3%)が最も多く、次いで「3～4時間30分」(20.8%)、「6時間以上」(17.9%)、「4時間30分～6時間」(16.3%)の順である。学年による相違はとくに見受けられないようである。

問 20 ゲーム

「やっていない」が全体では27.4%で、次いで「90分未満」が27.0%になる。学年別の差はほとんどみられないようであるが、学部別にみると、看護学部、社会福祉学部、文学部の順に時間が増えている。

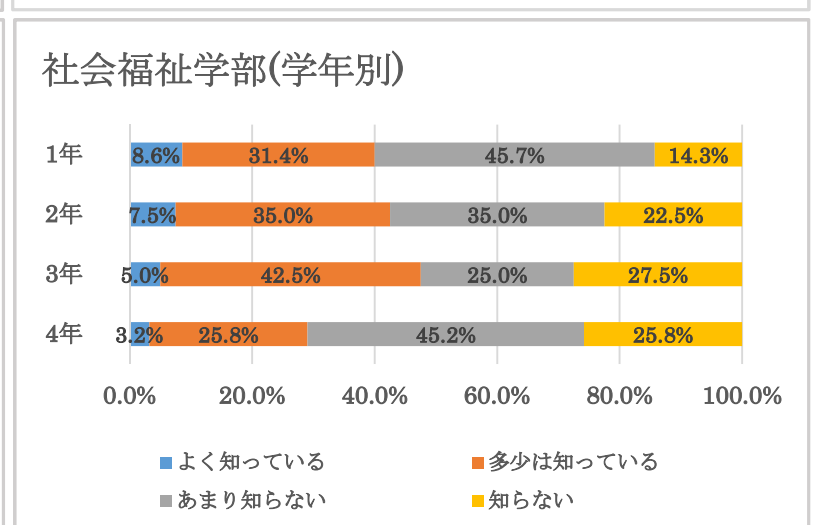
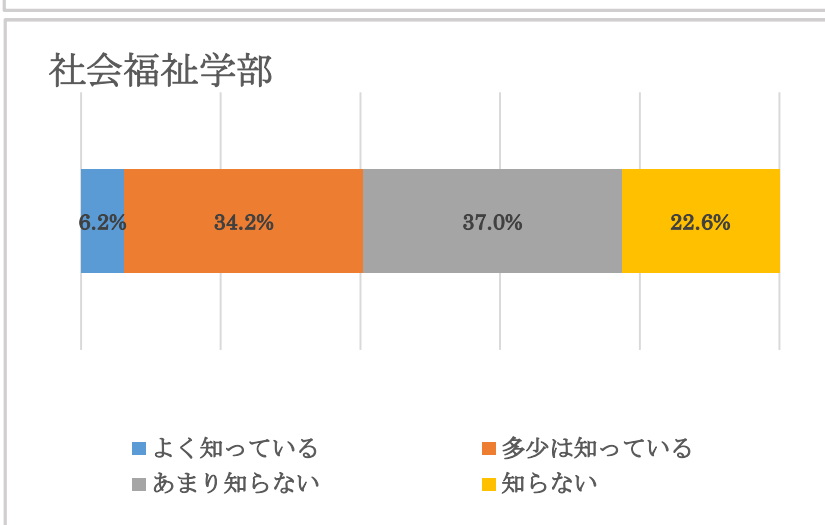
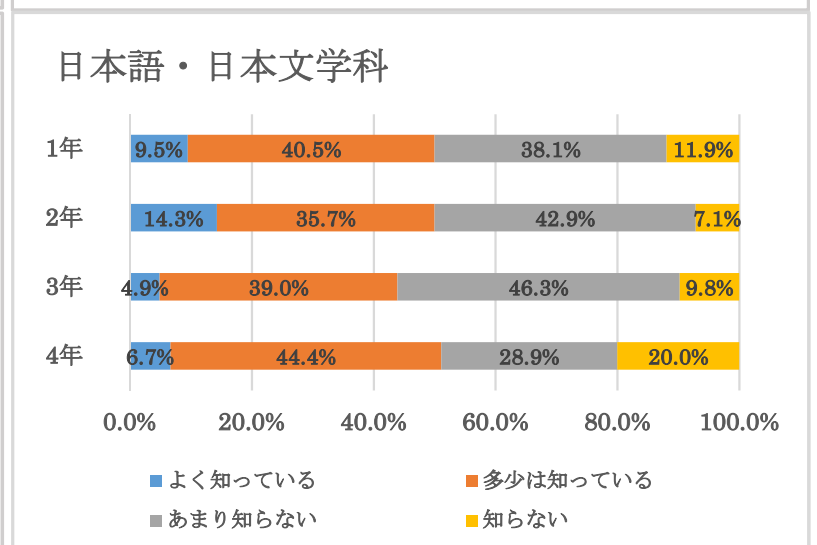
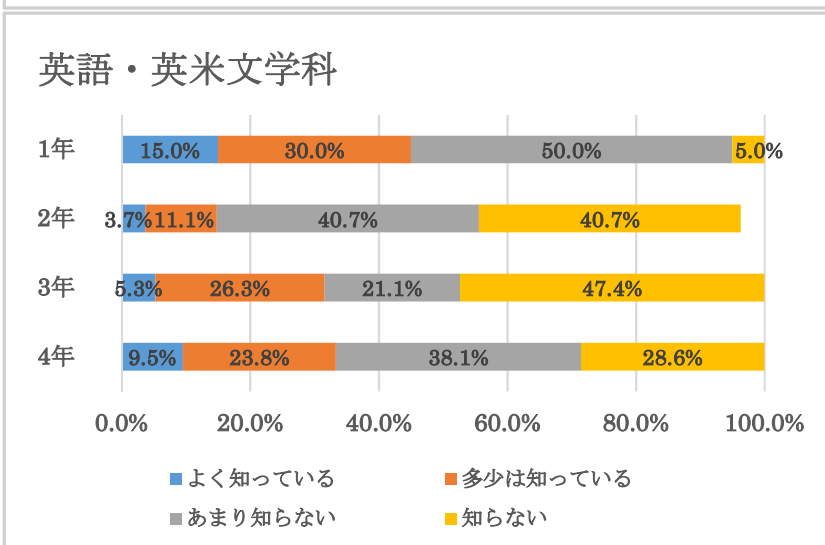
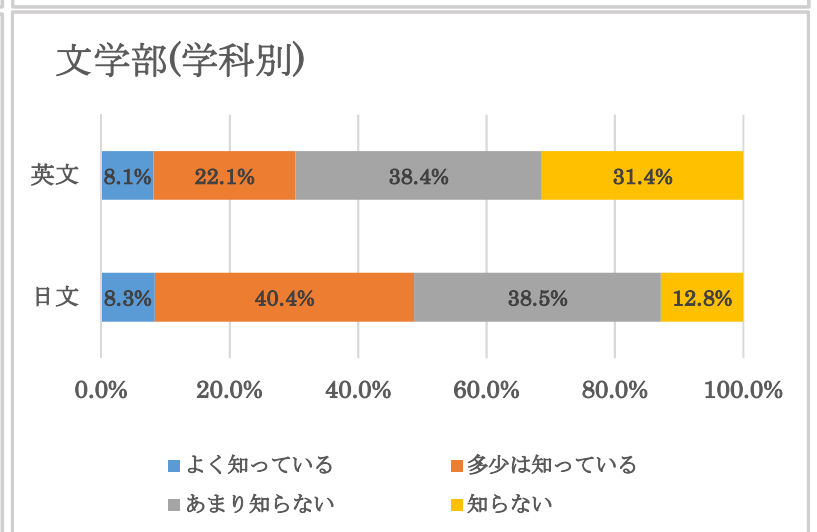
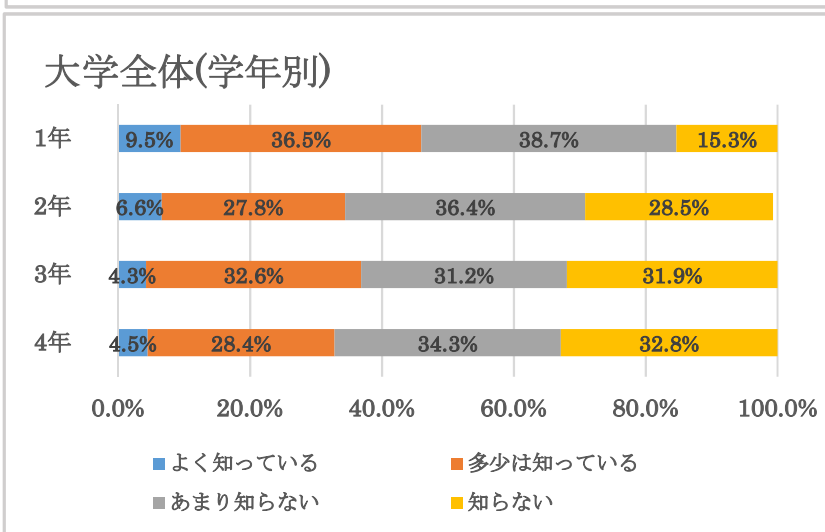
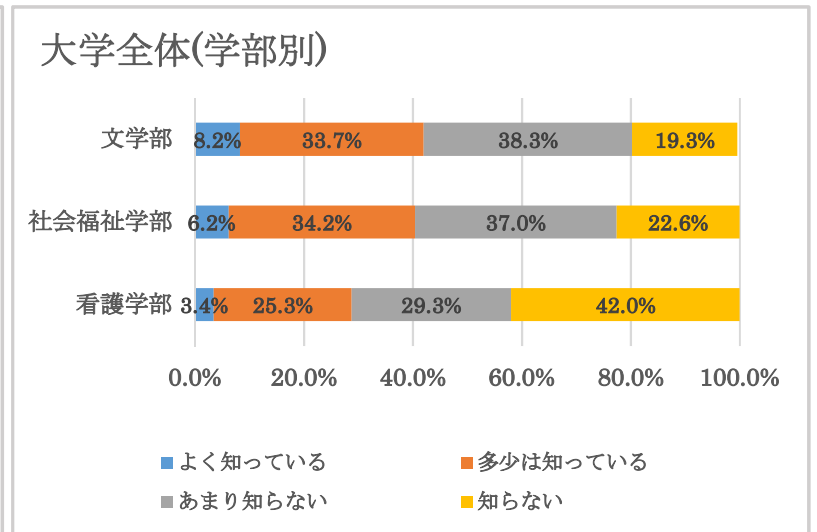
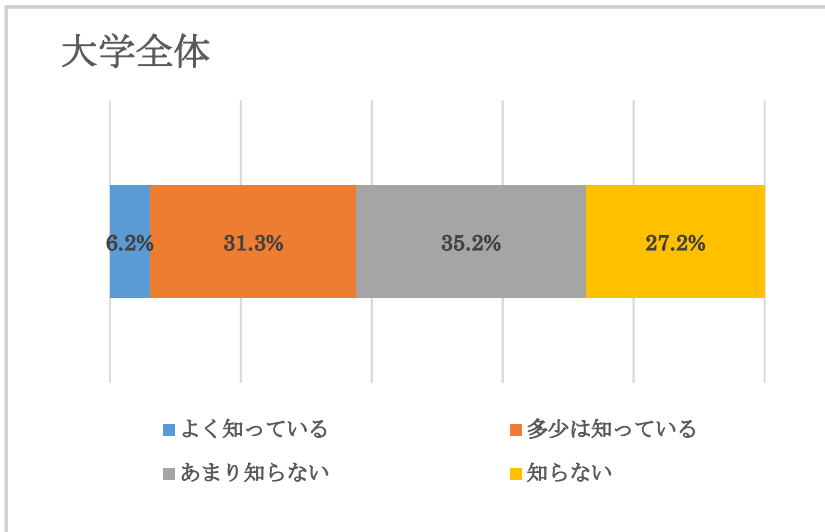
問21 図書館利用率

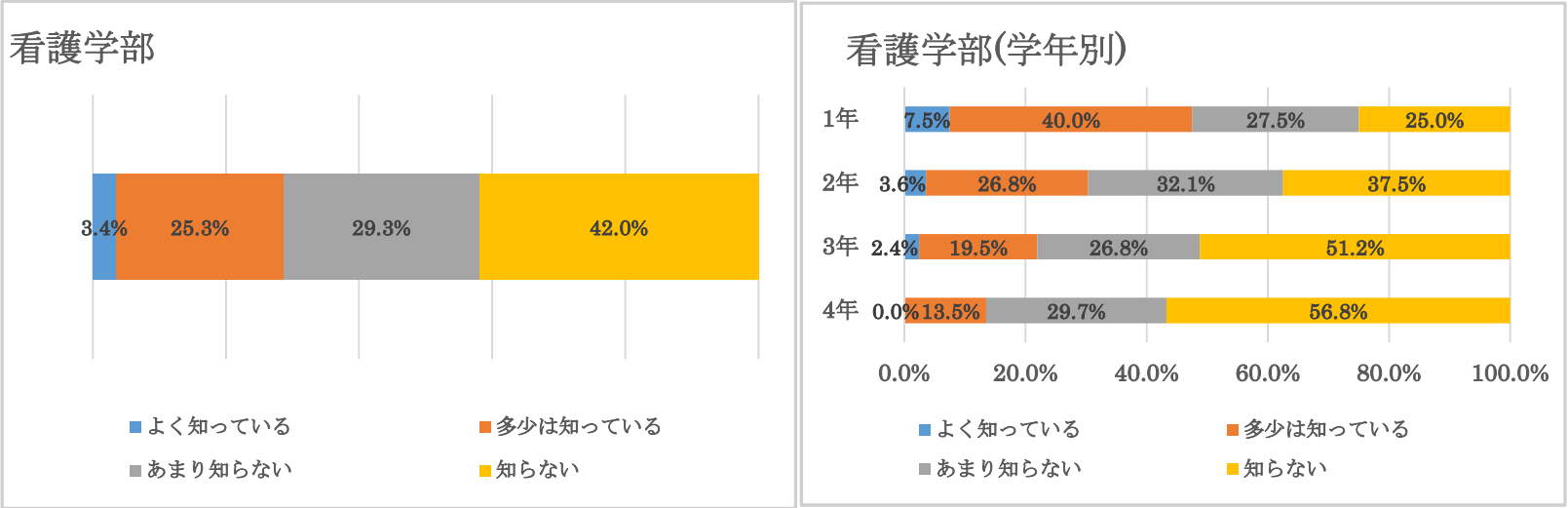
「まったく利用していない」24.5%と「ほとんど利用していない」33.2%とを合わせると、全体では5割8分に達する。さらに「月に1～2回」を合わせると、約8割5分がほとんど足を運んでいないことになる。

B 学修成果 (問 22～問 47 の図表・グラフ)

1. 教育理念 (建学精神)、C・P、D・P

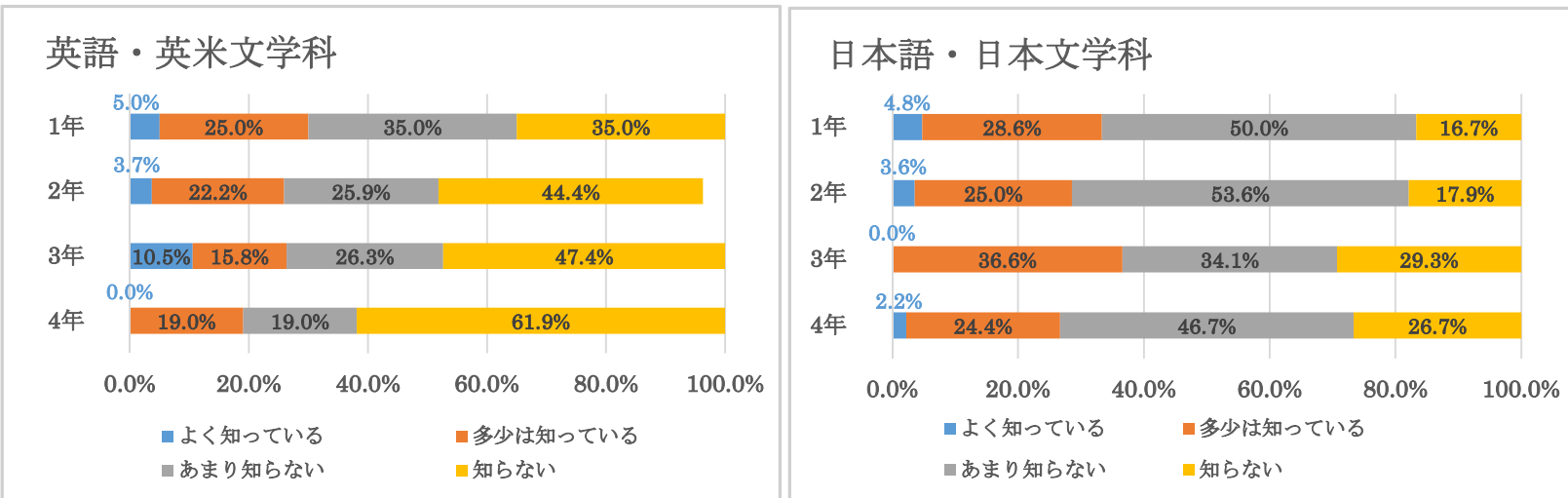
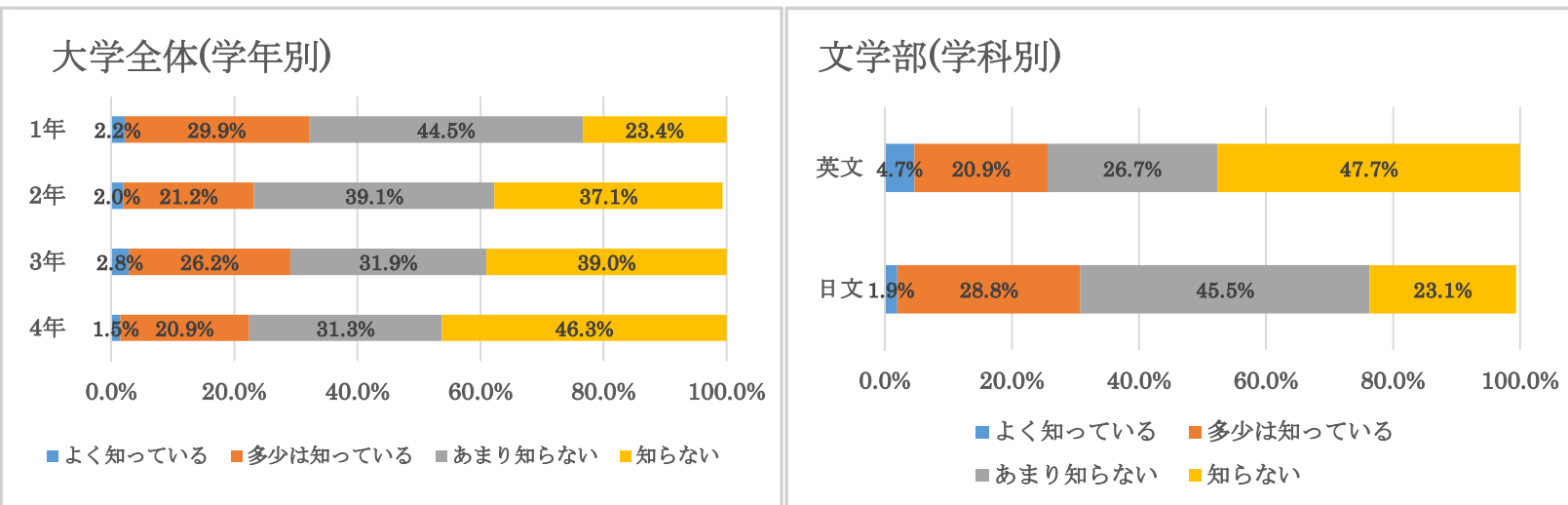
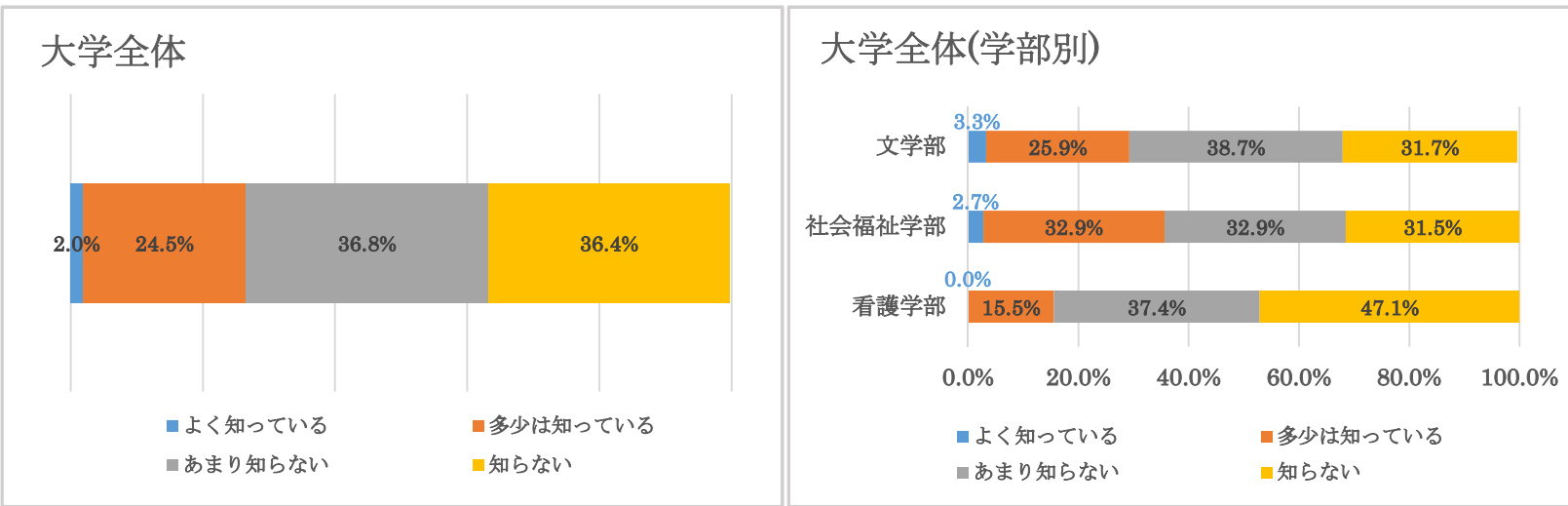
問 22 本学の建学の精神について、知っていますか。

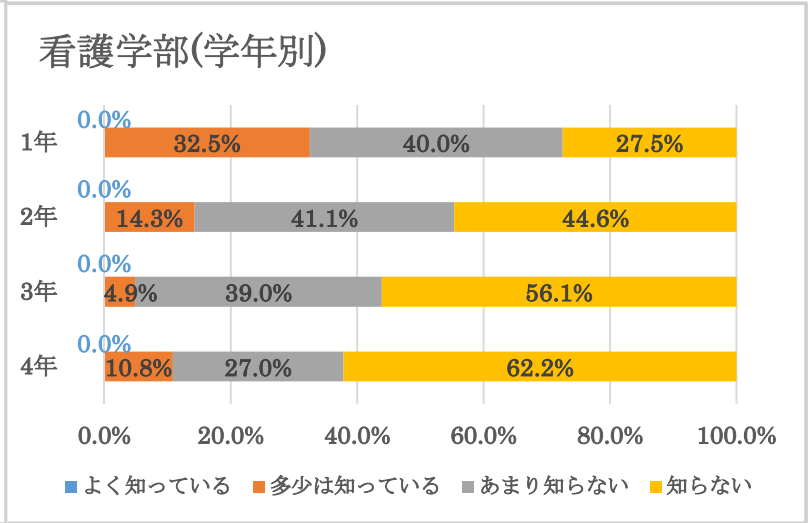
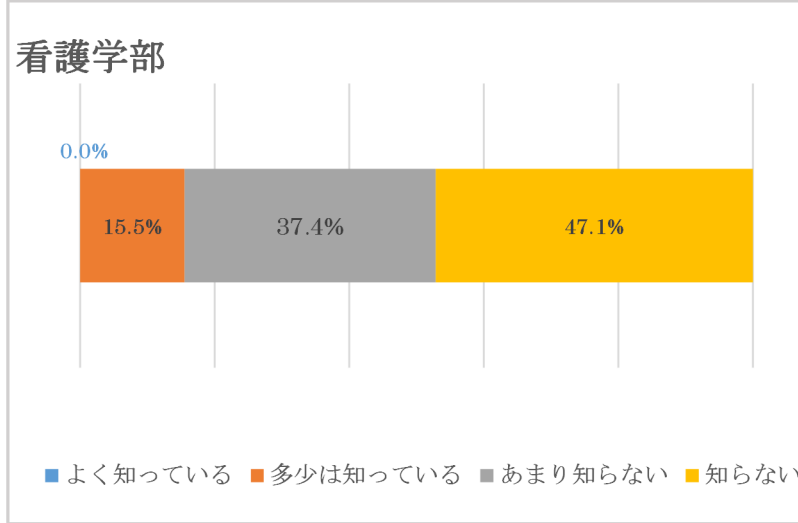
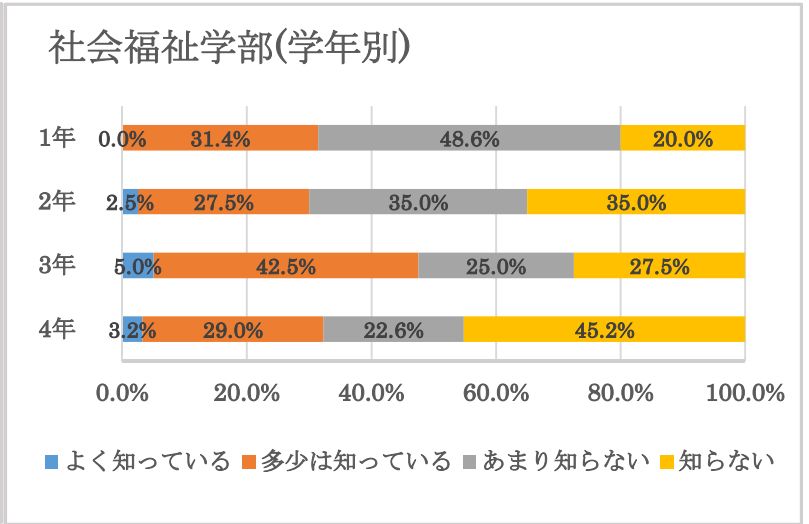
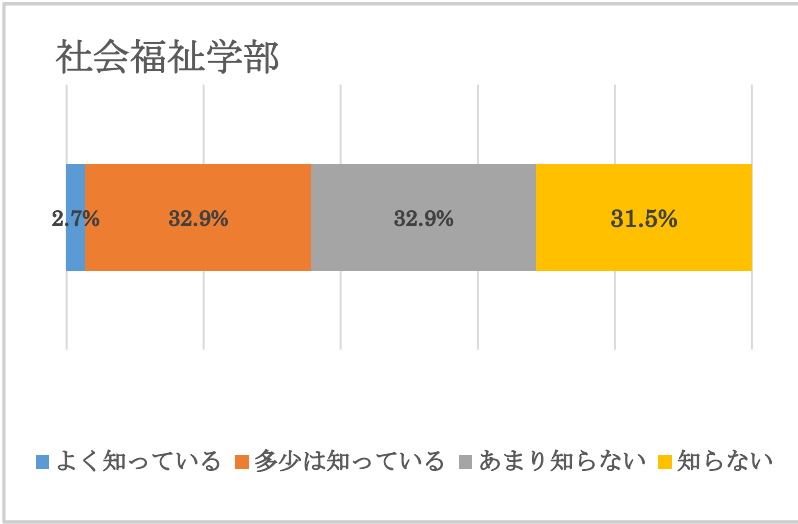




問 23 シラバスに記載されている C・P (カリキュラム・ポリシー)、D・P (ディプロマ・ポリシー) とは何か知っていますか。

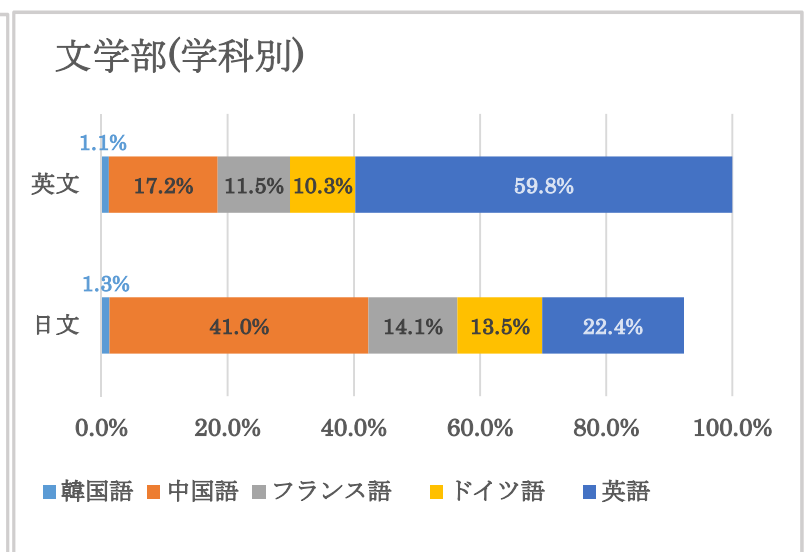
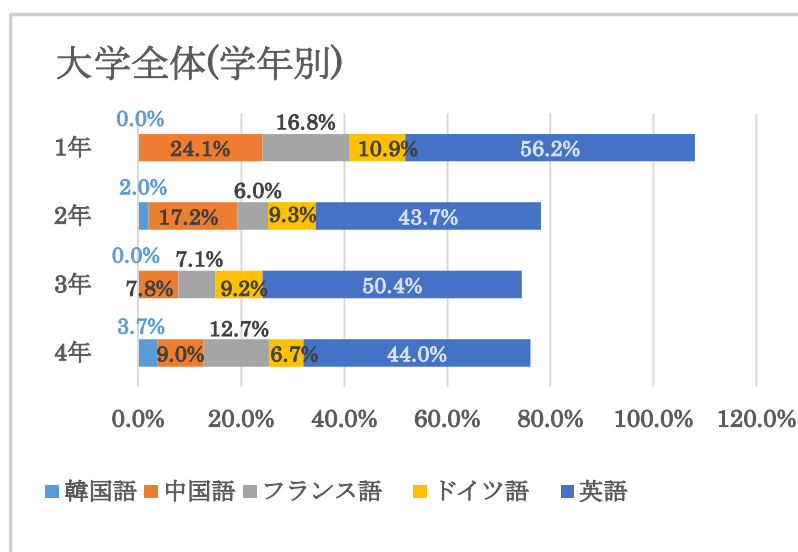
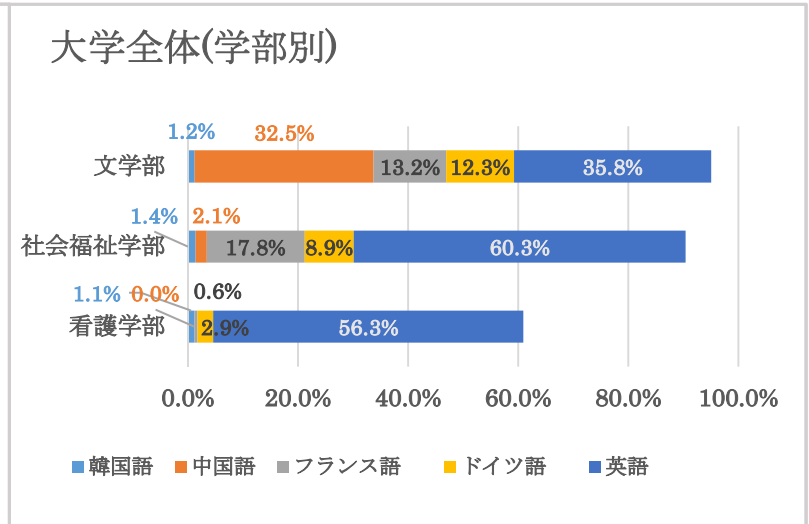
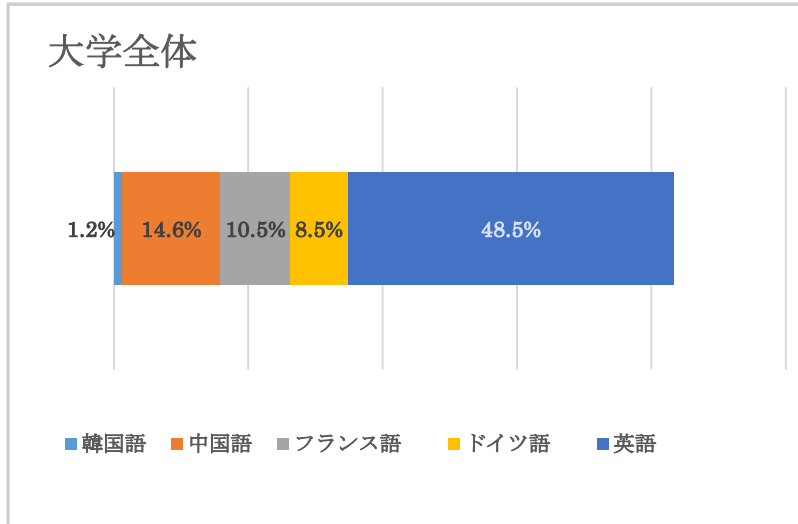
(注) カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い、
ディプロマ・ポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。

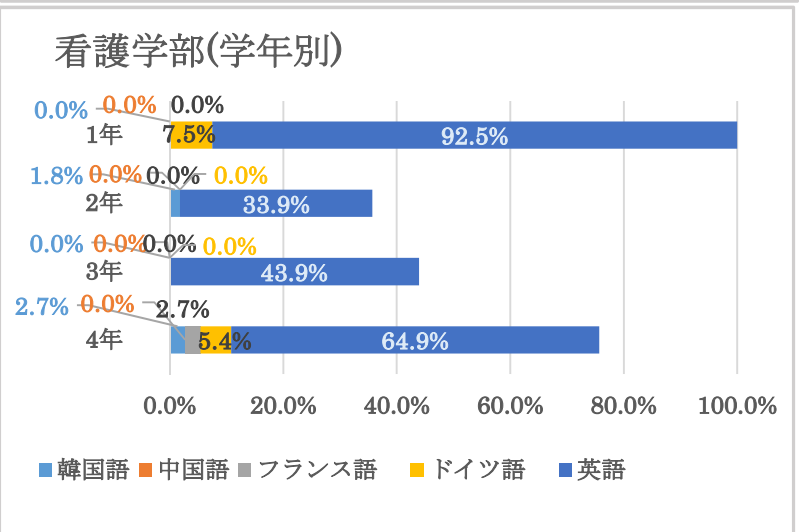
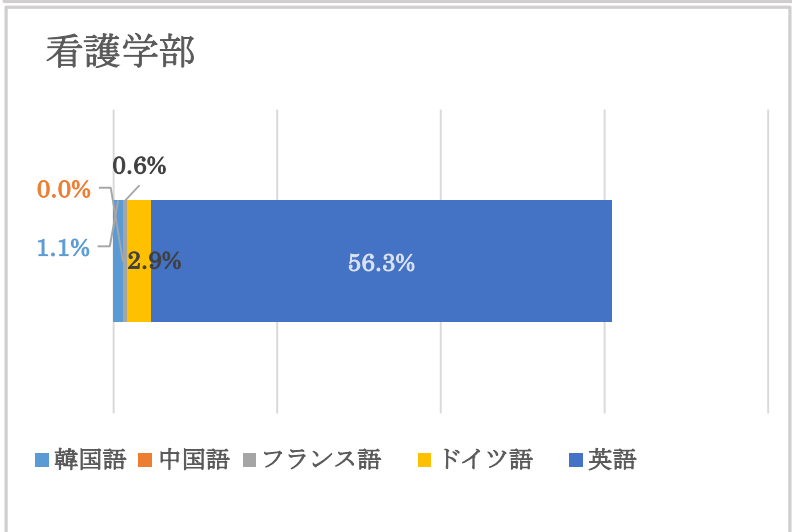
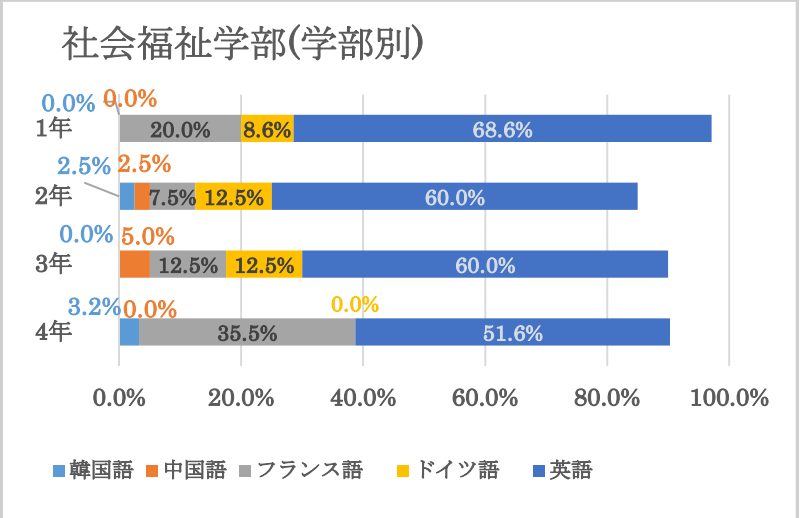
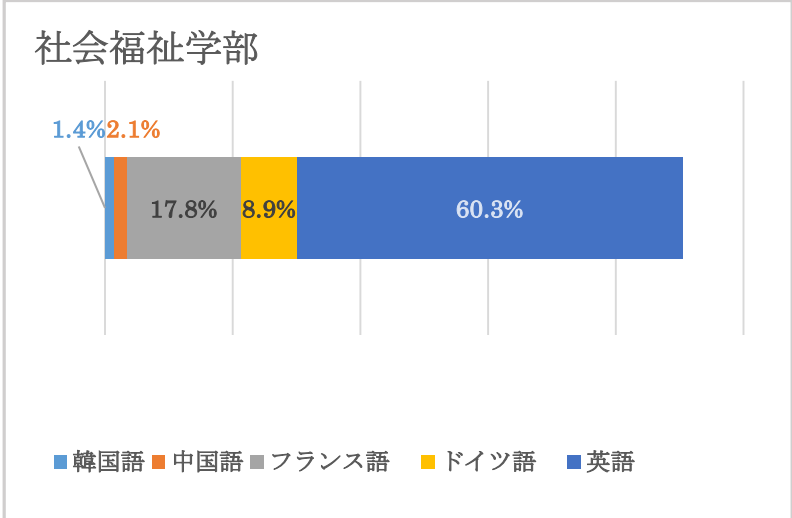
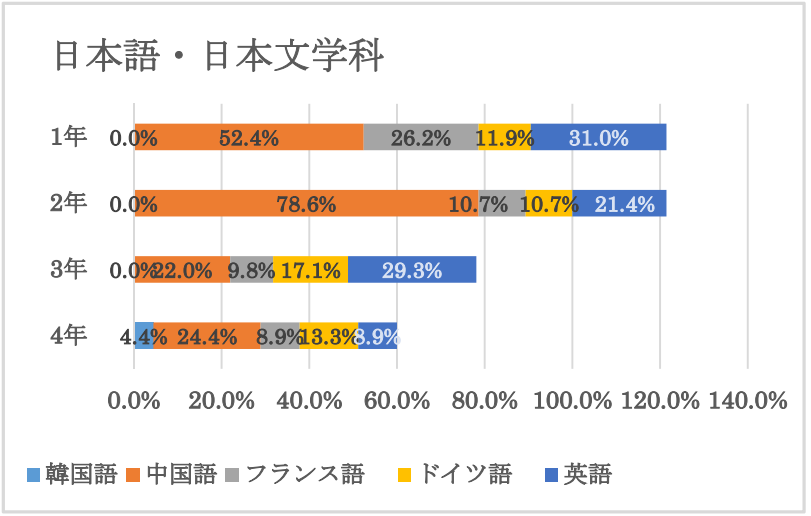
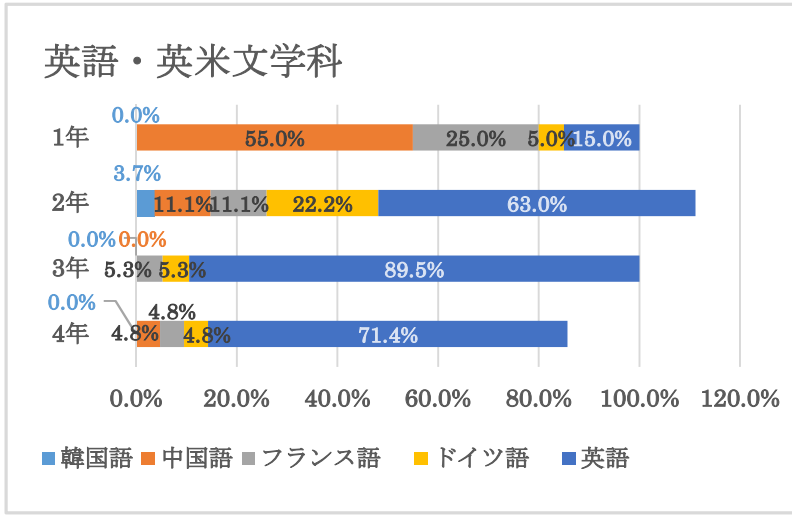




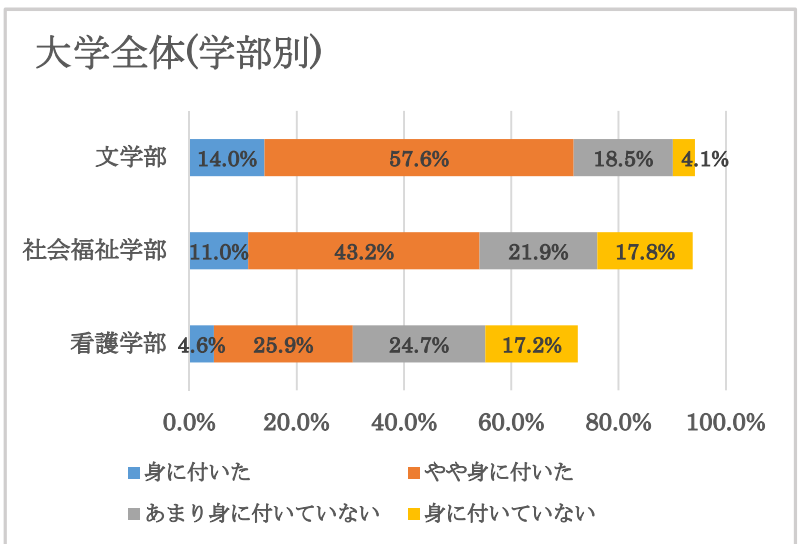
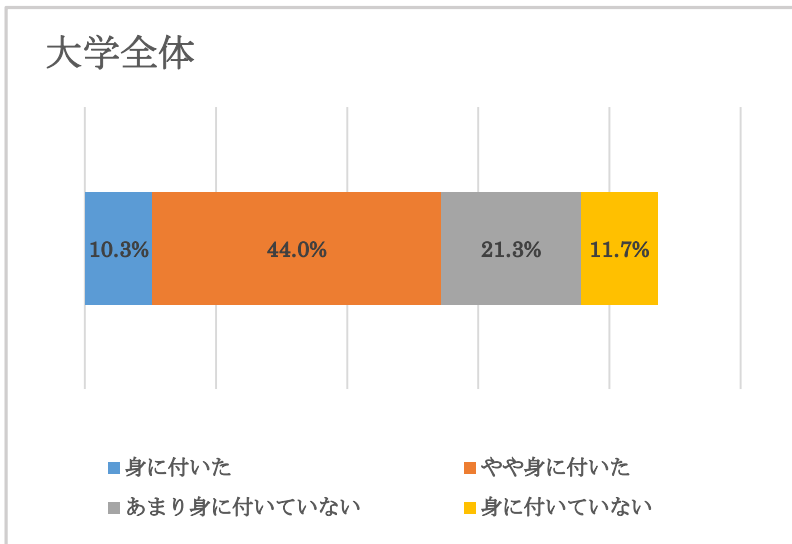
2. 外国語能力

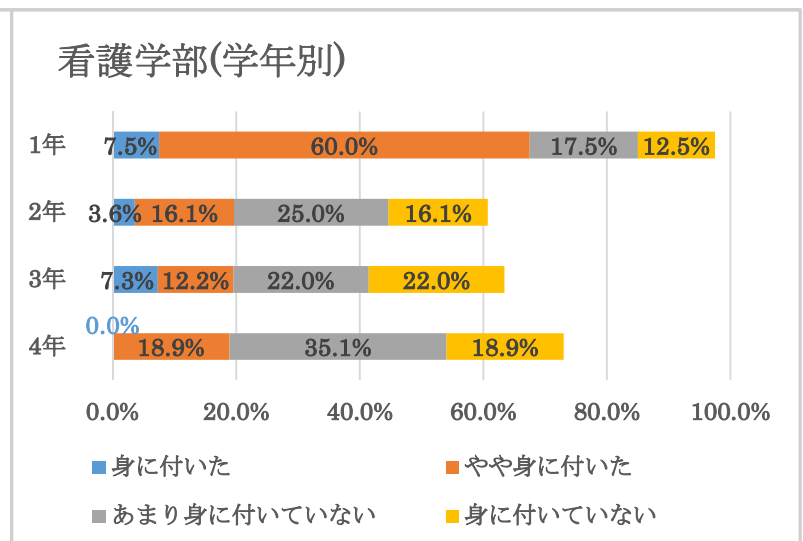
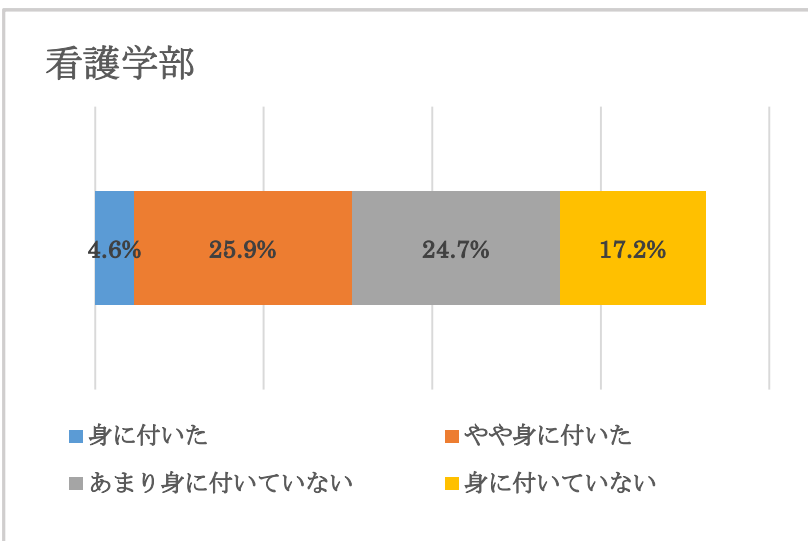
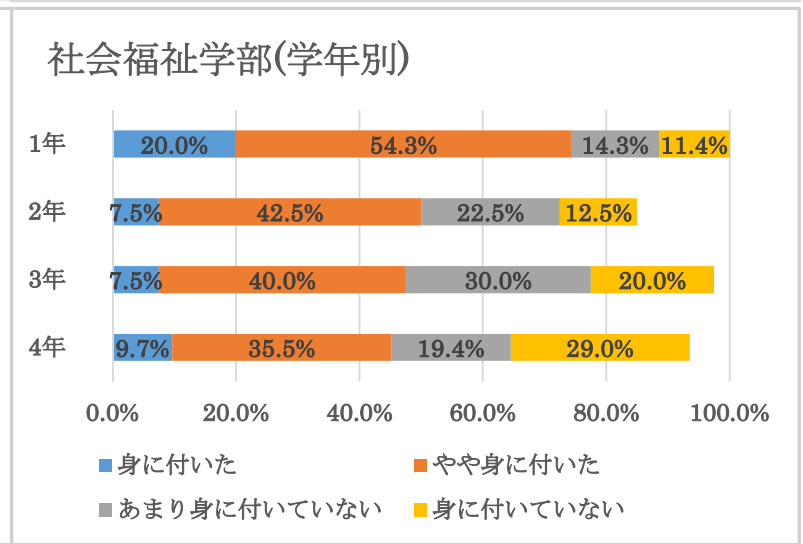
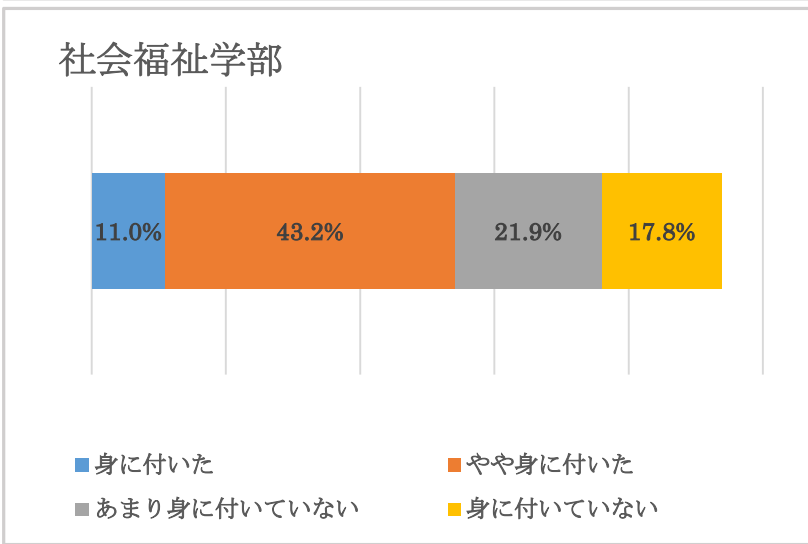
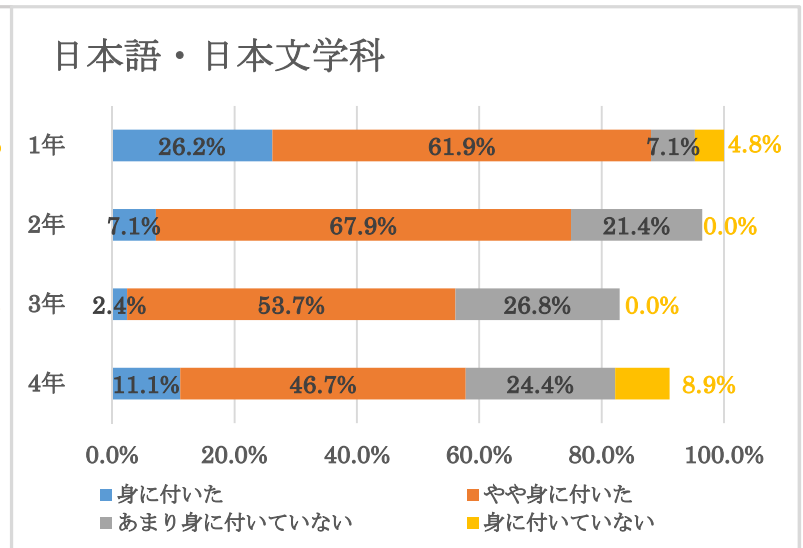
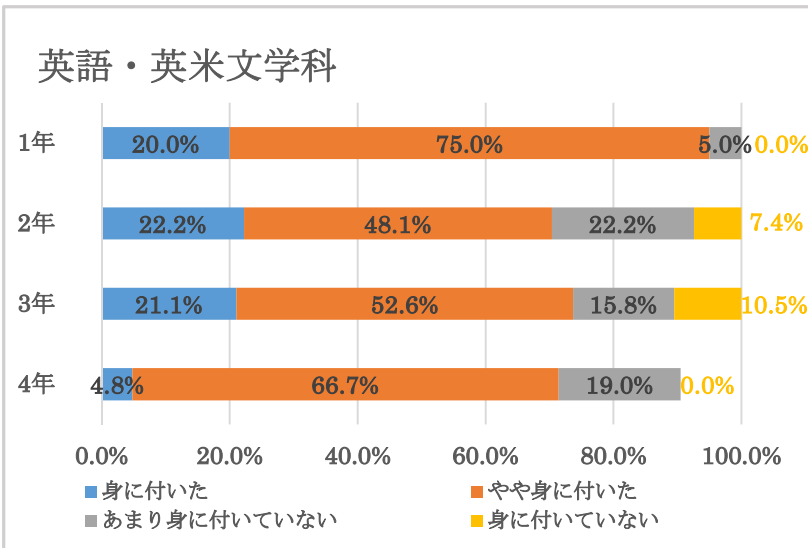
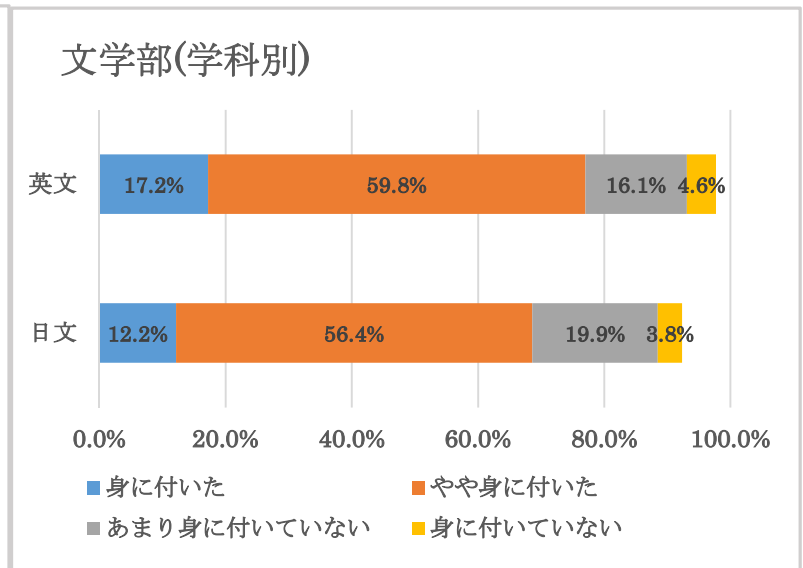
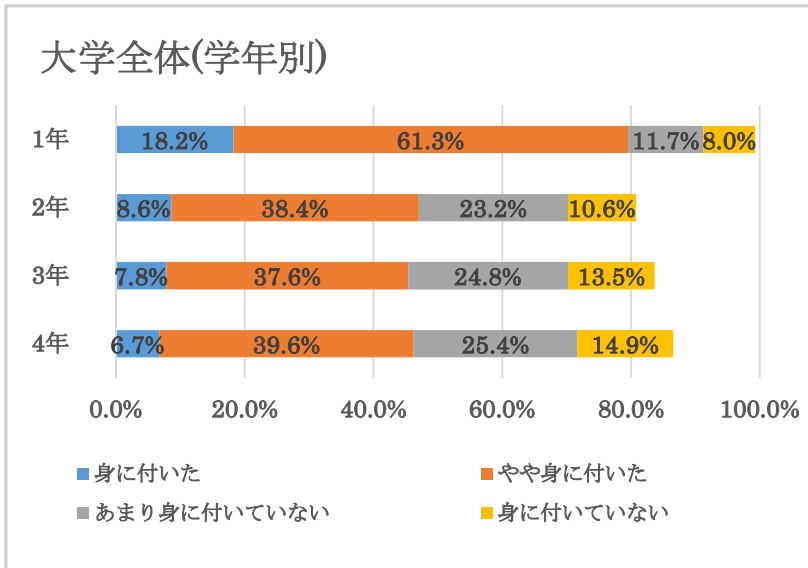
問 24 昨年度どんな外国語の授業を履修していましたか。



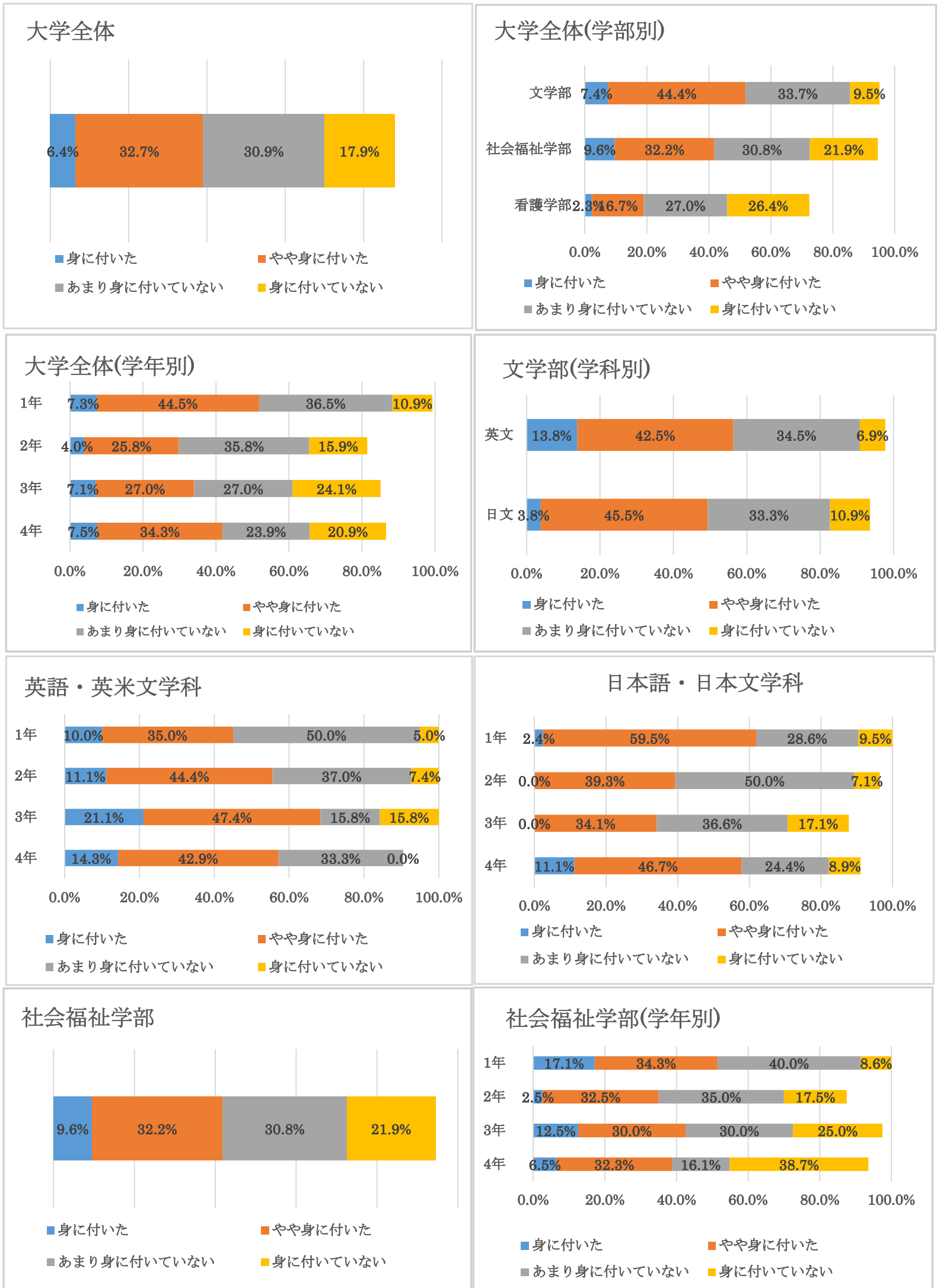


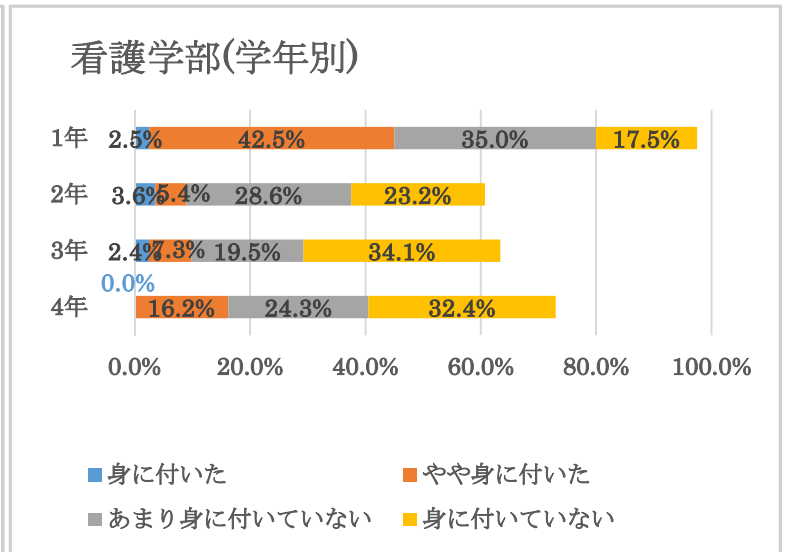
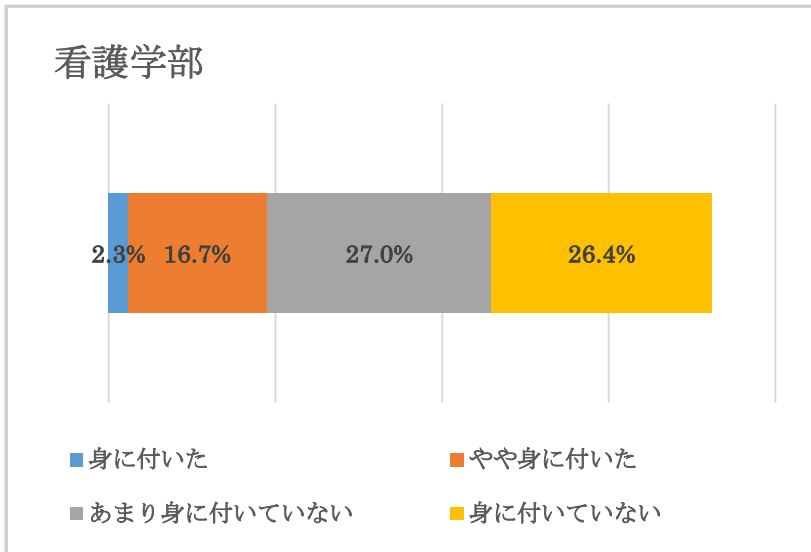
学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。
問 25 読む力について



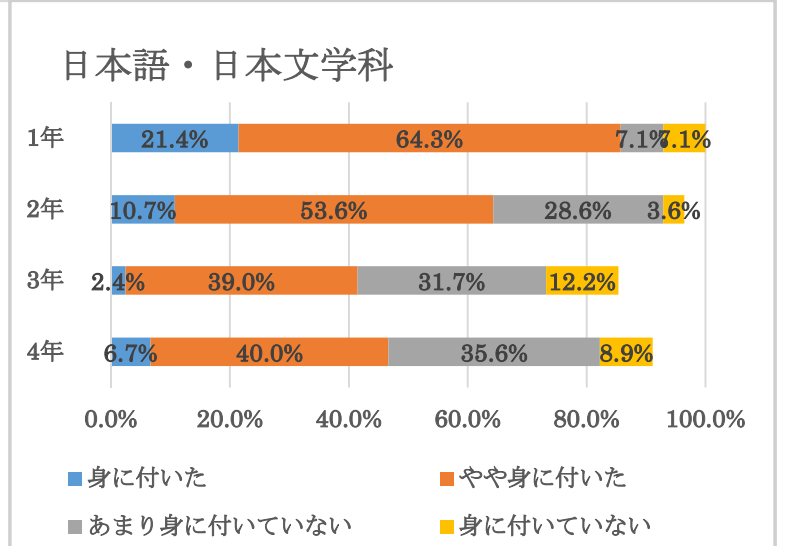
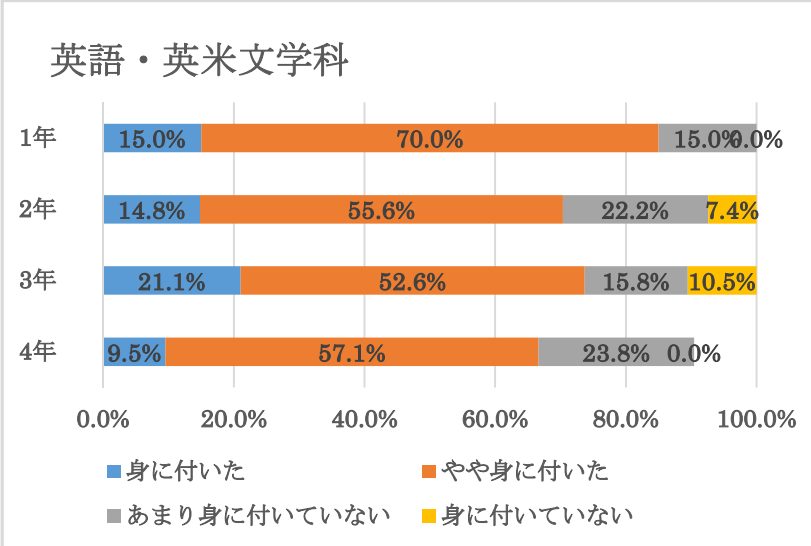
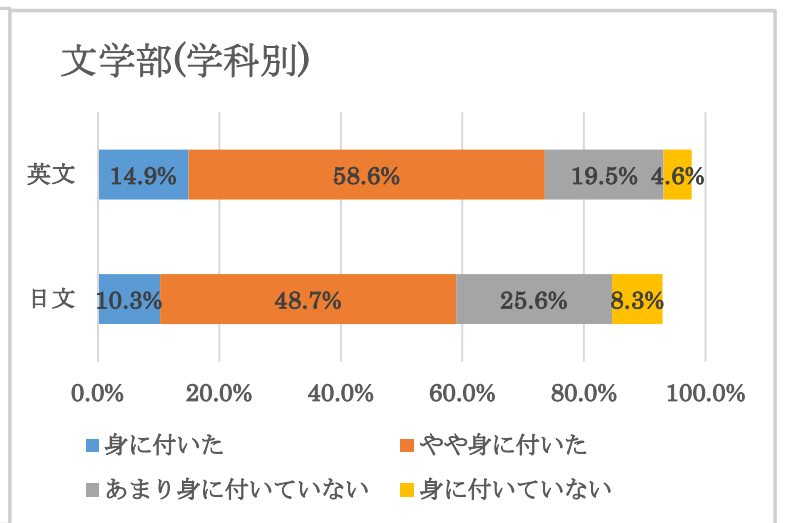
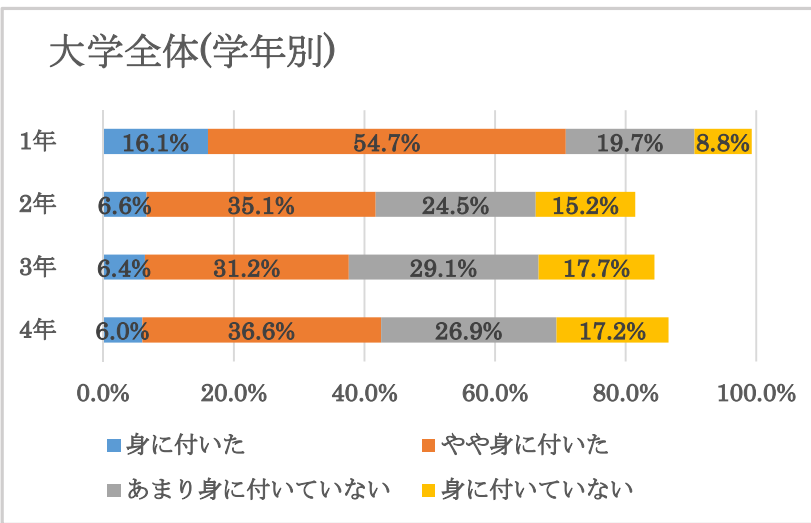
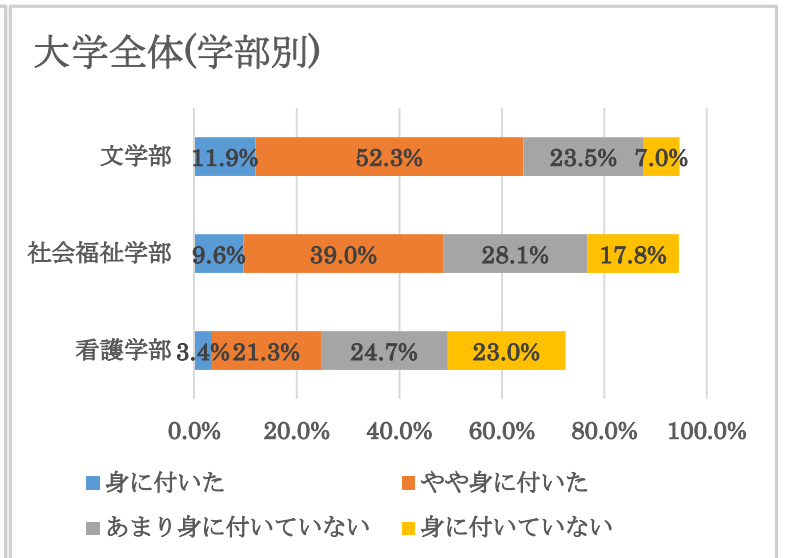
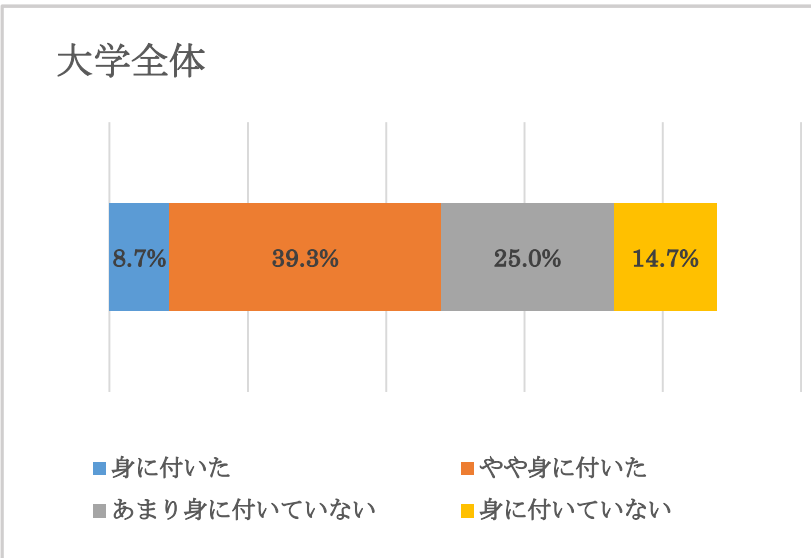


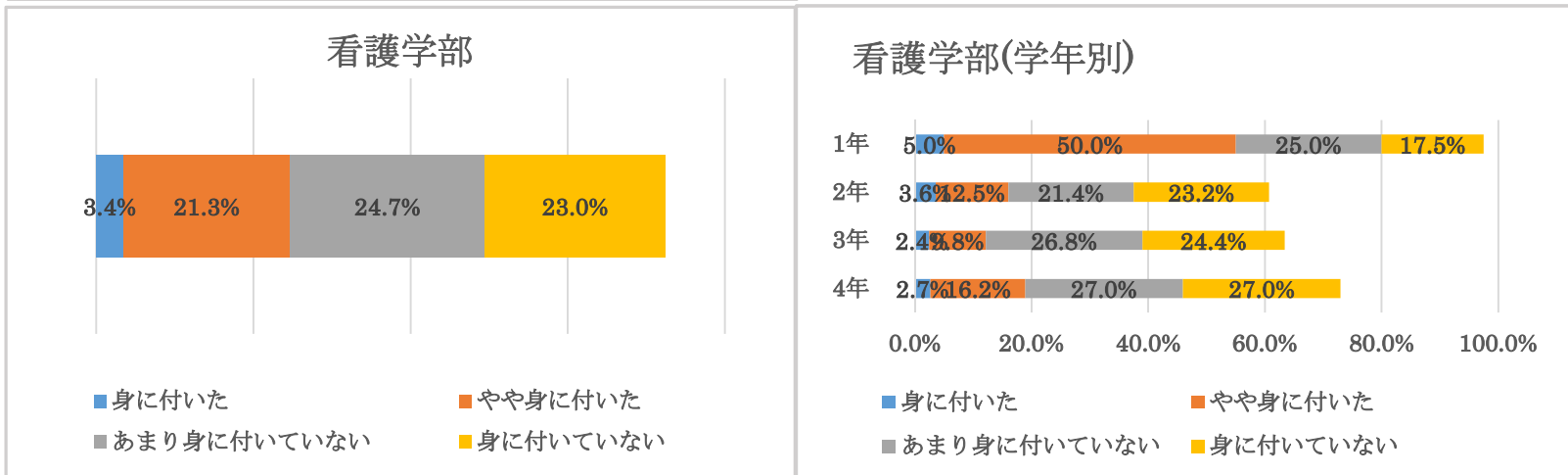
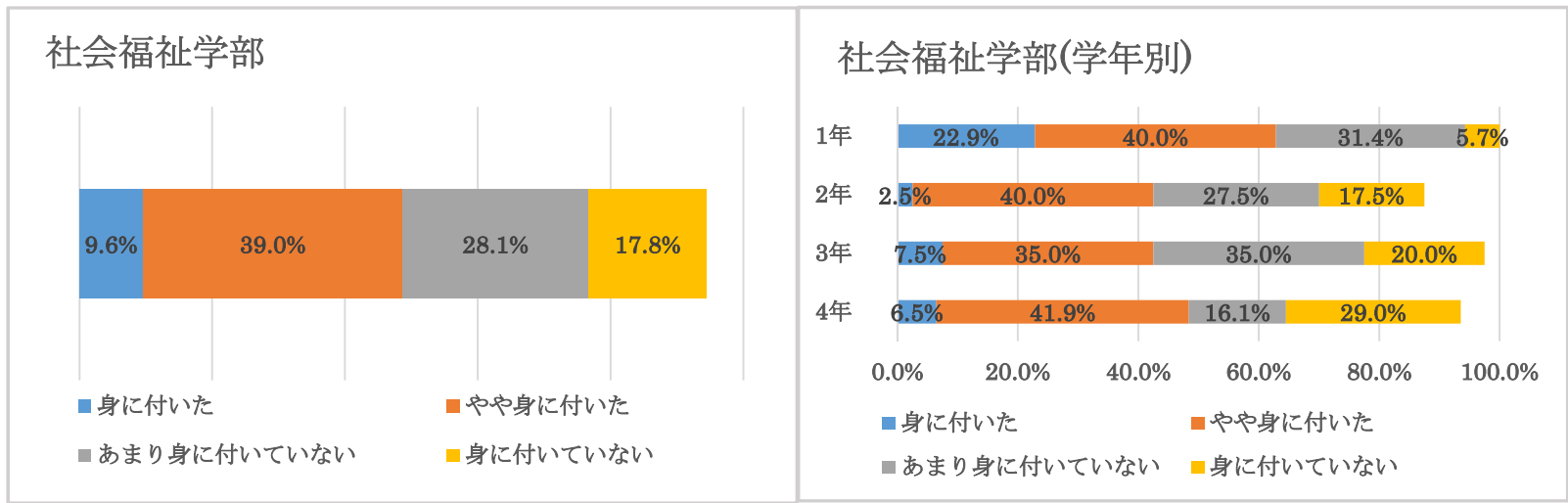
問 26 会話力について





問 27 書く力について

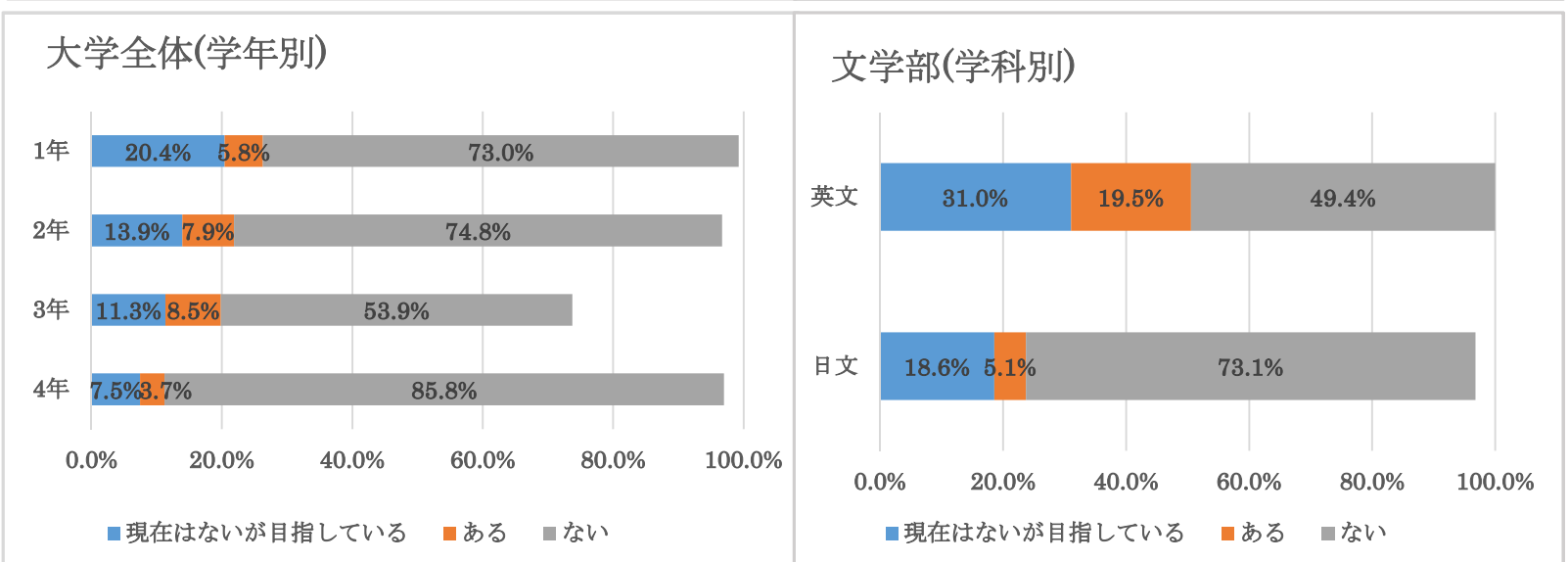
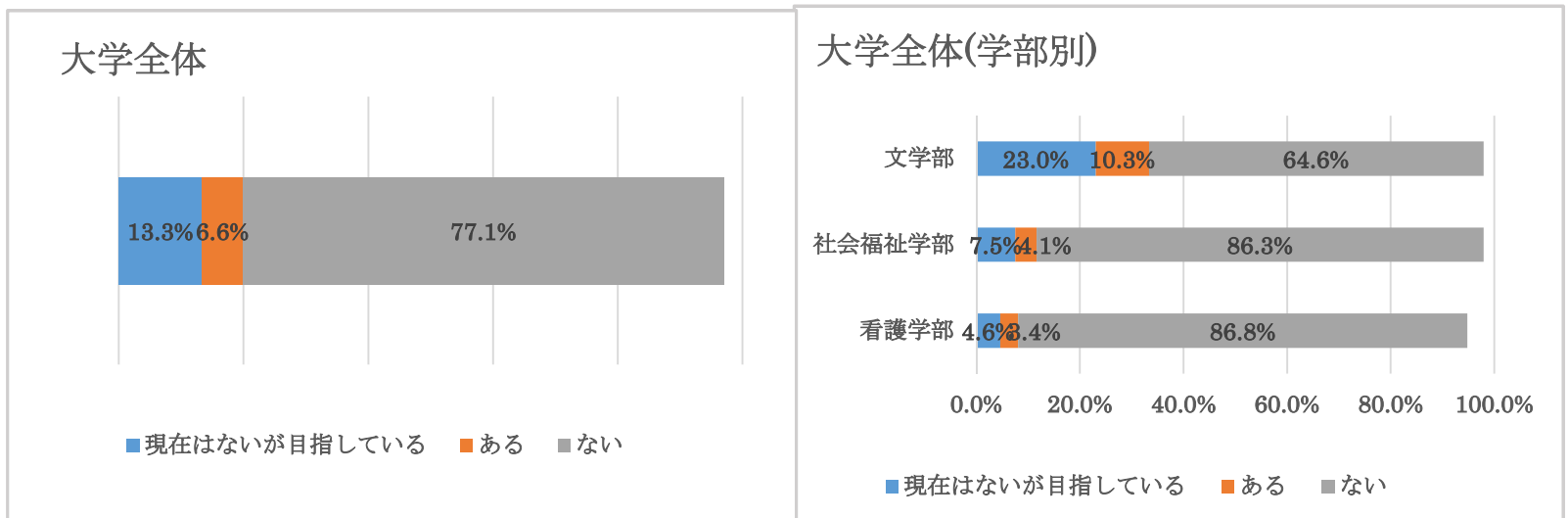


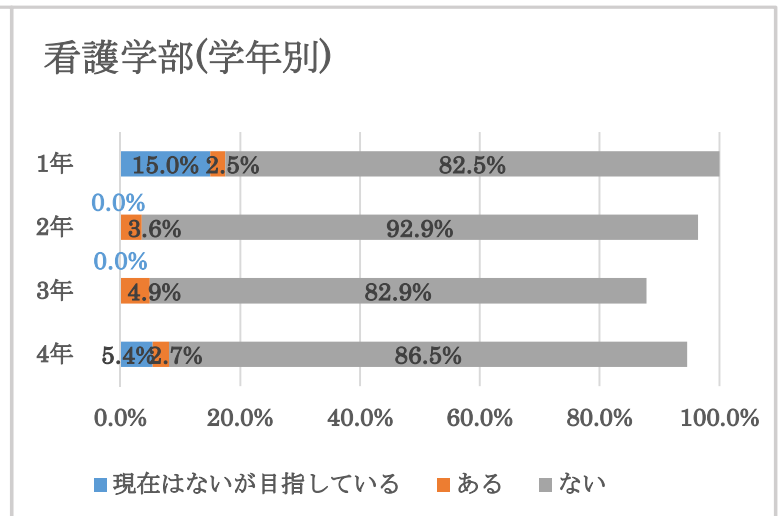
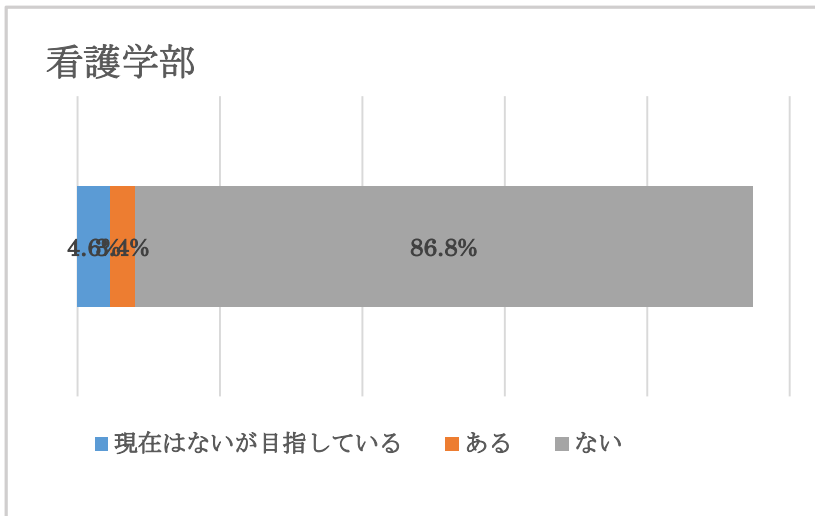
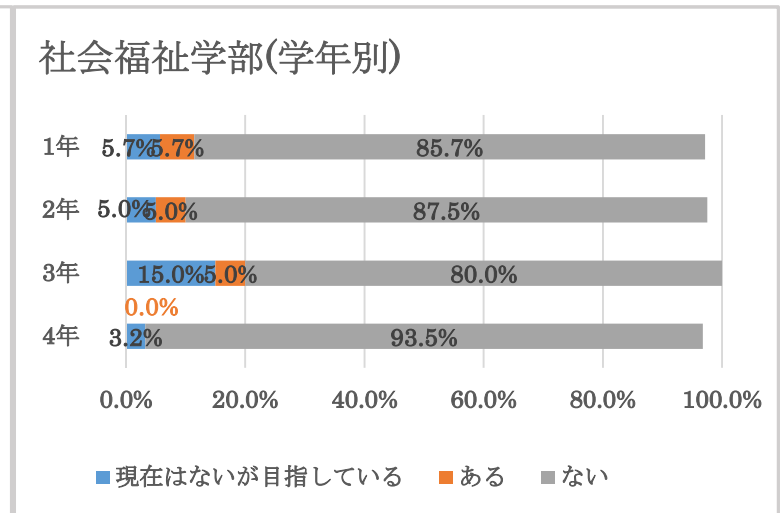
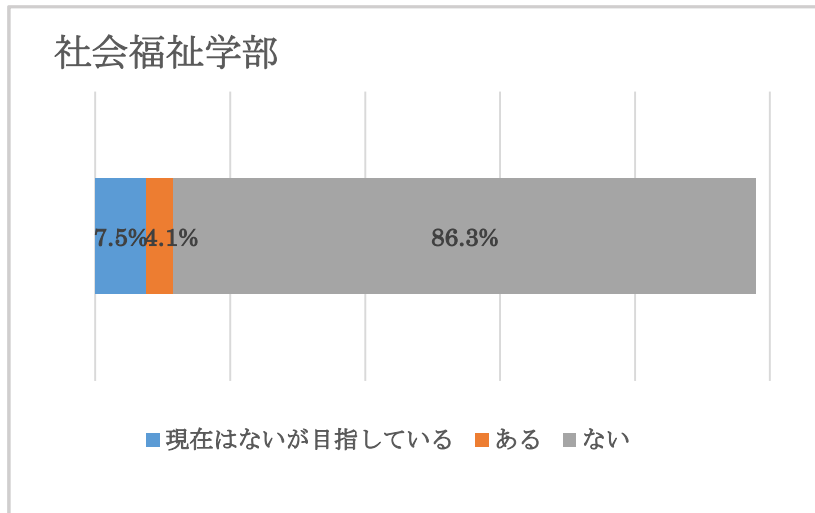
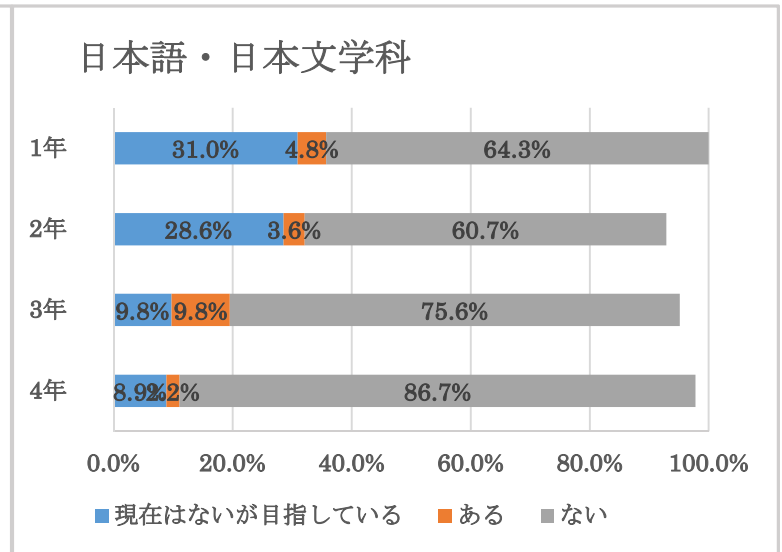
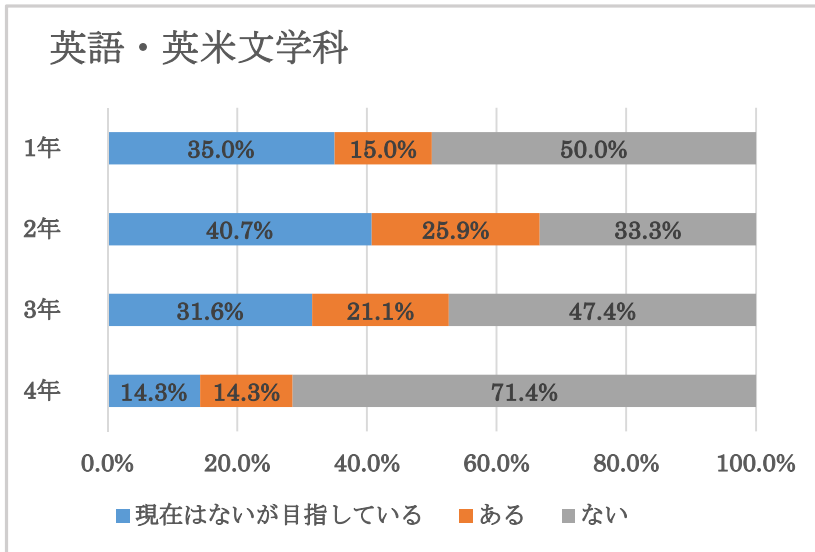


問 28 大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

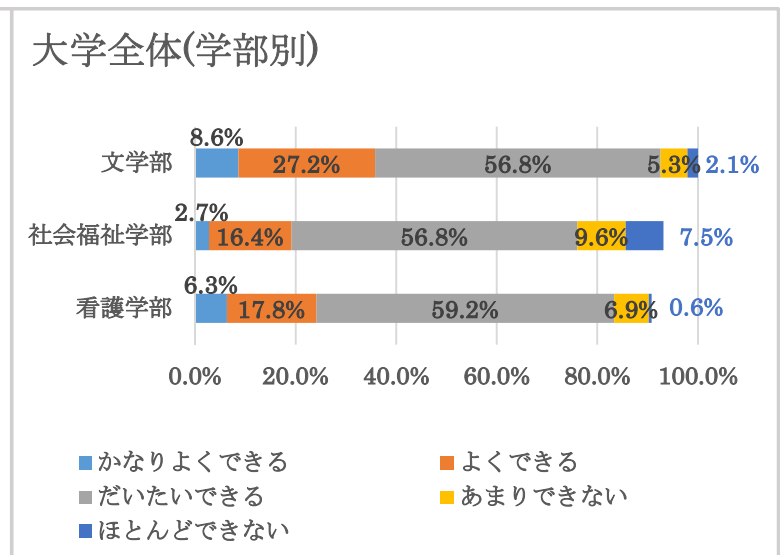
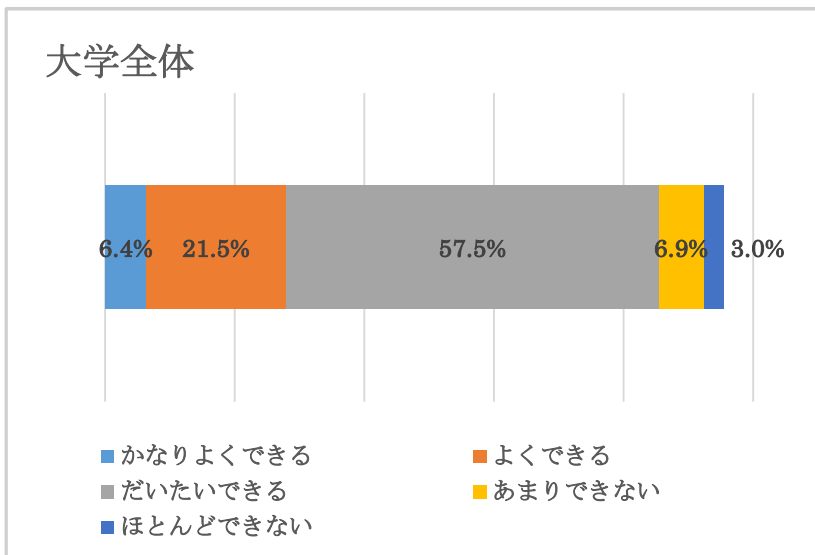
※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

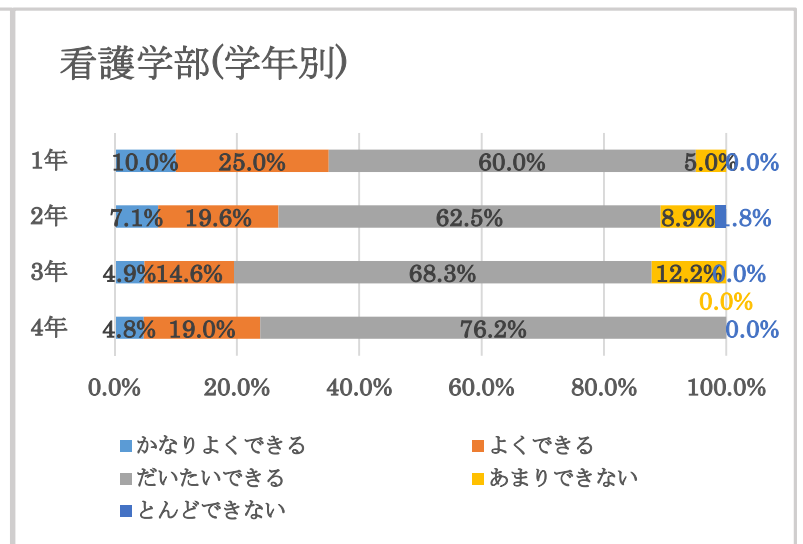
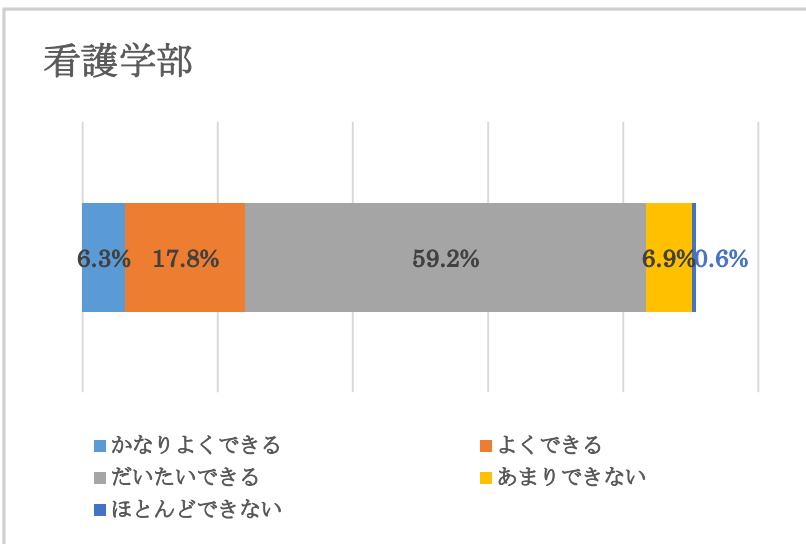
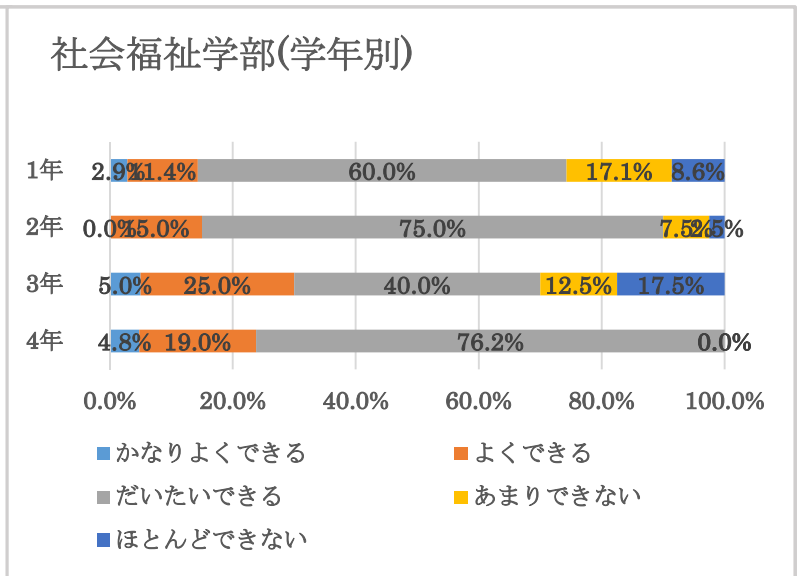
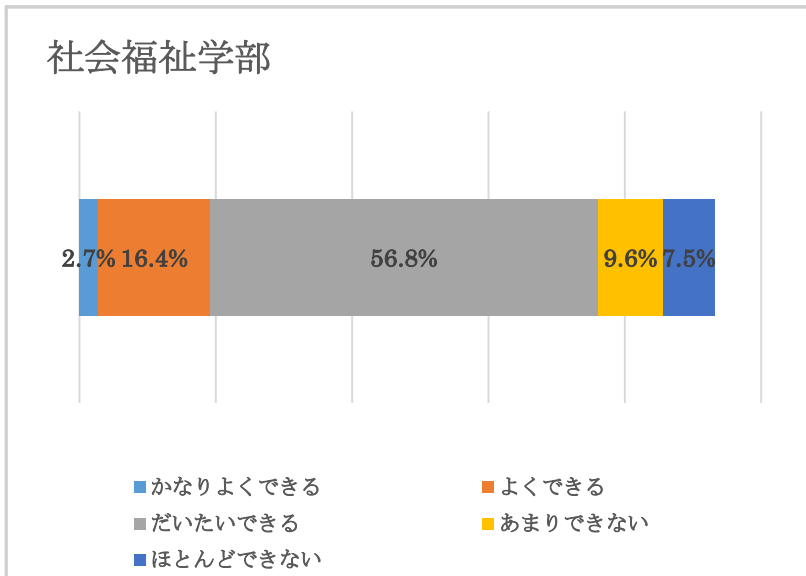
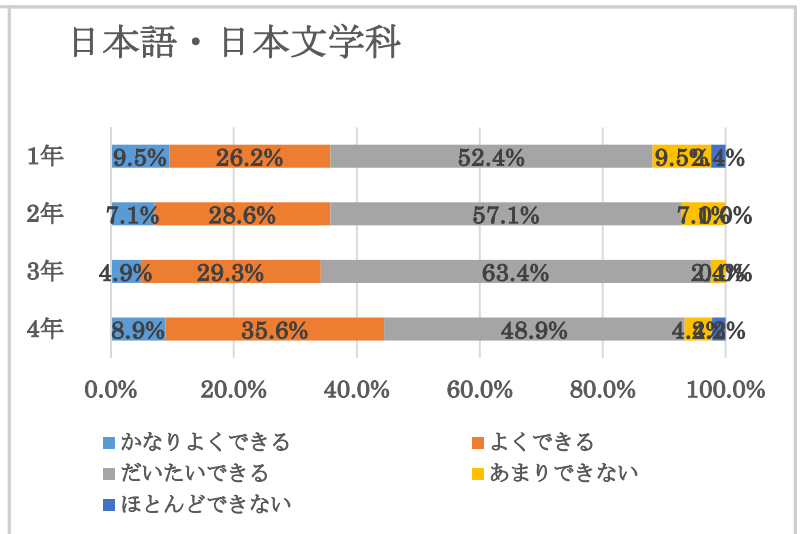
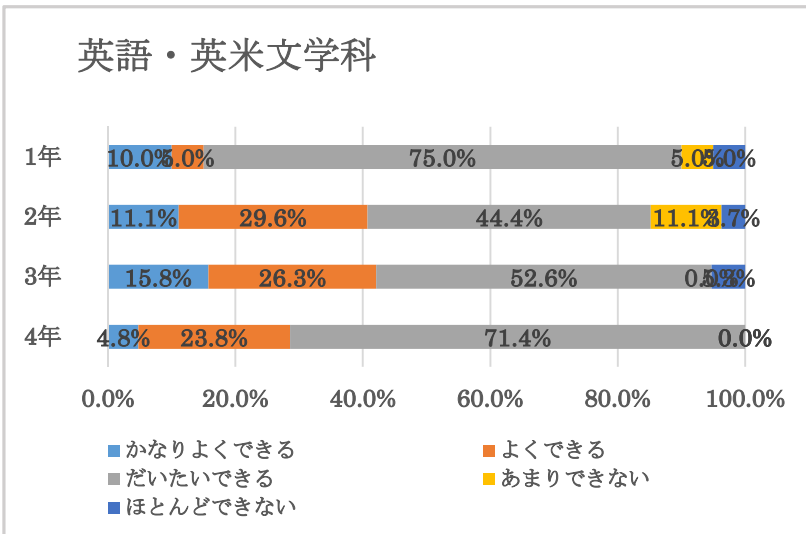
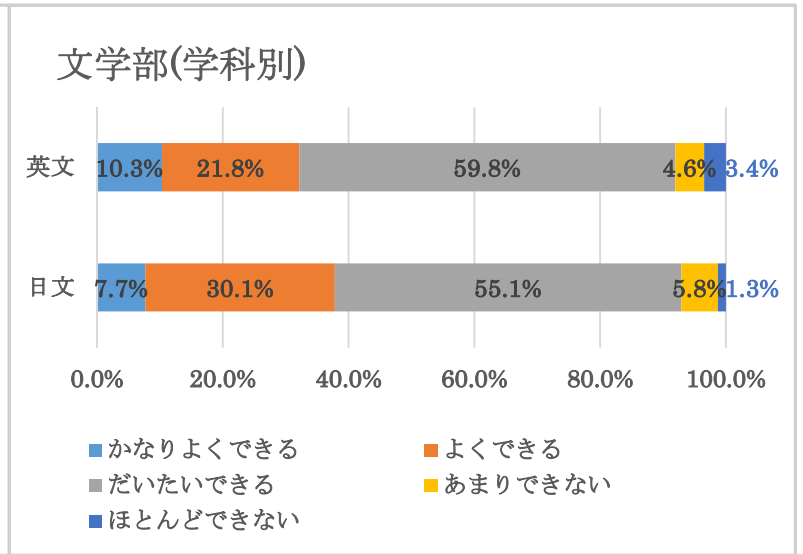
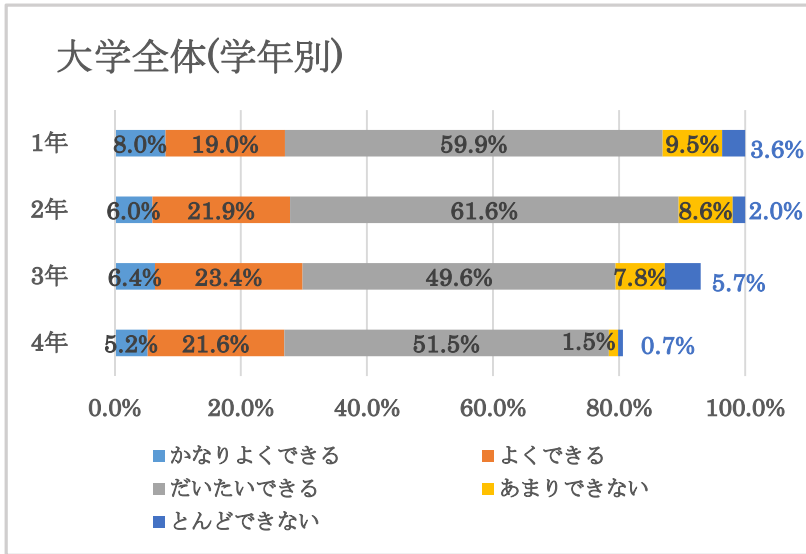
→ (例) 英検 1 級合格、TOEIC で 500 点、など



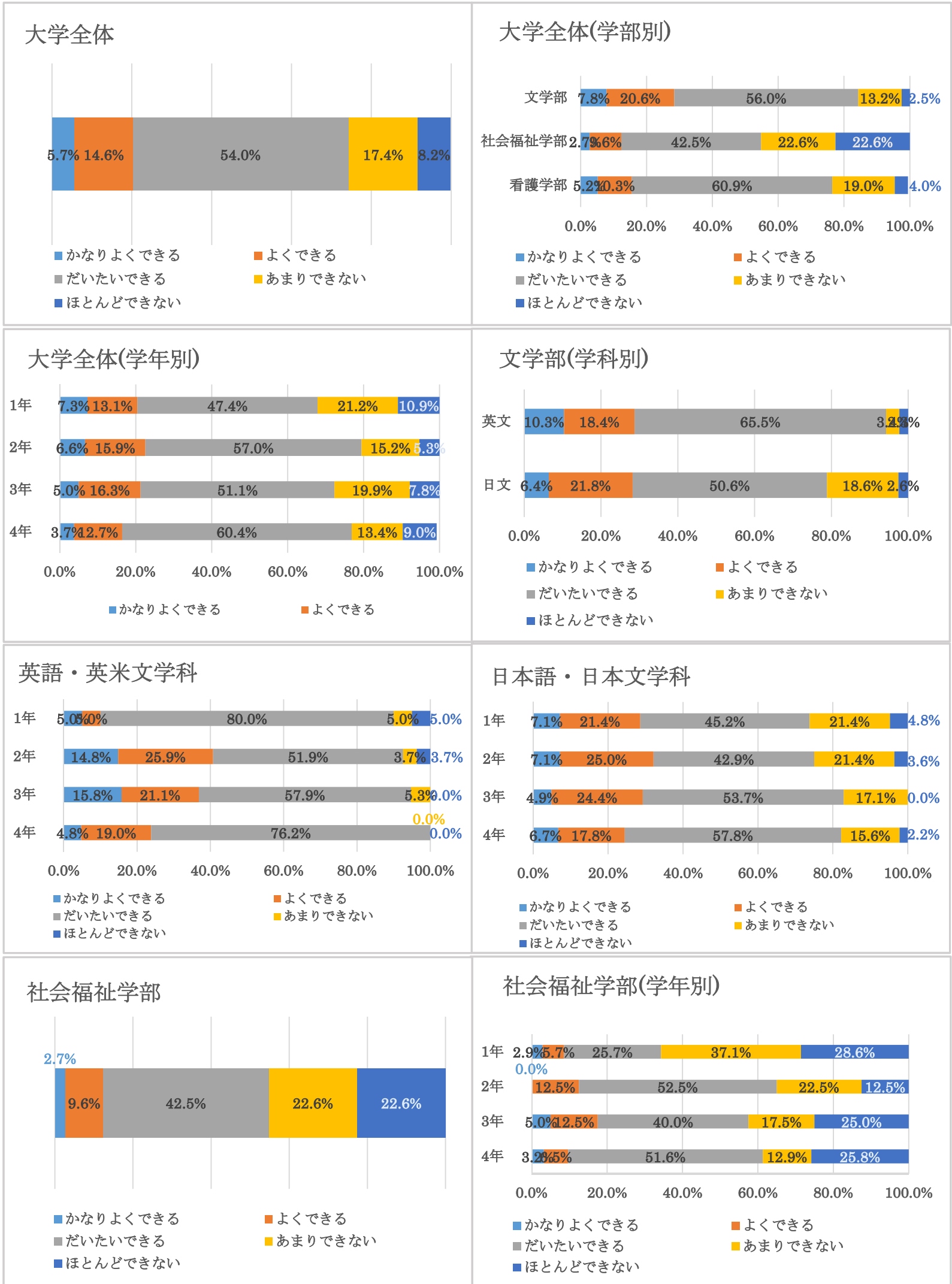


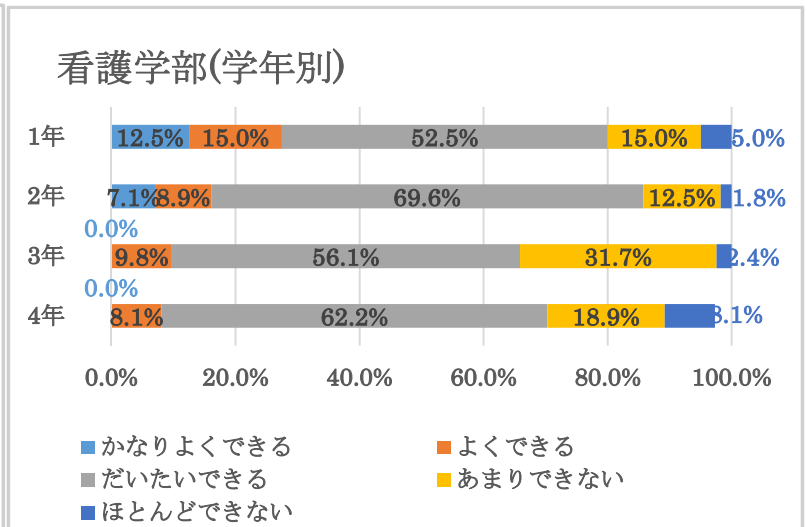
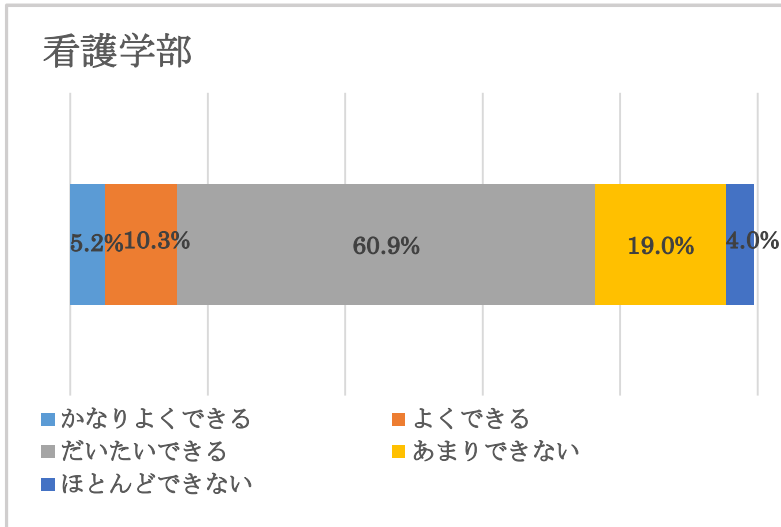
3. ICTリテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）について
問 29 文章作成ソフト（Word など）を使う。



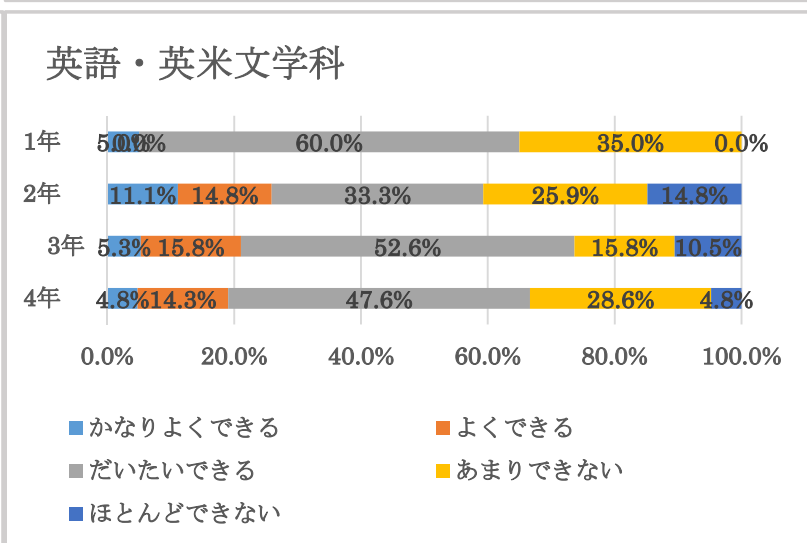
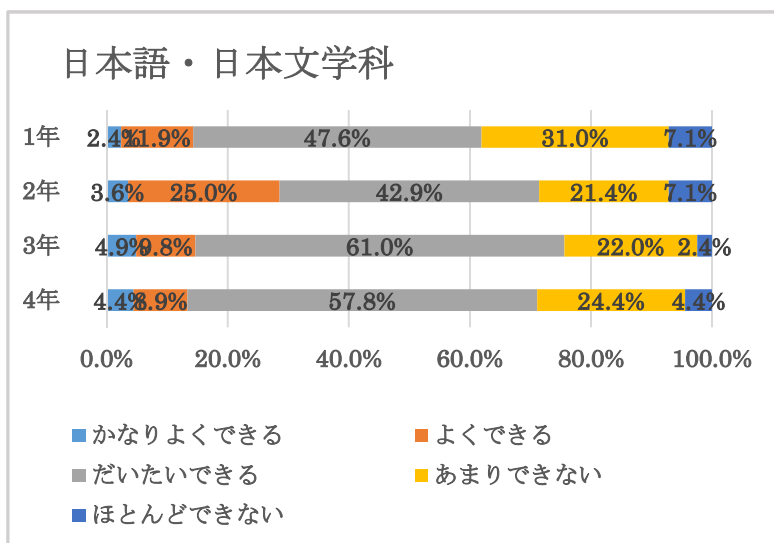
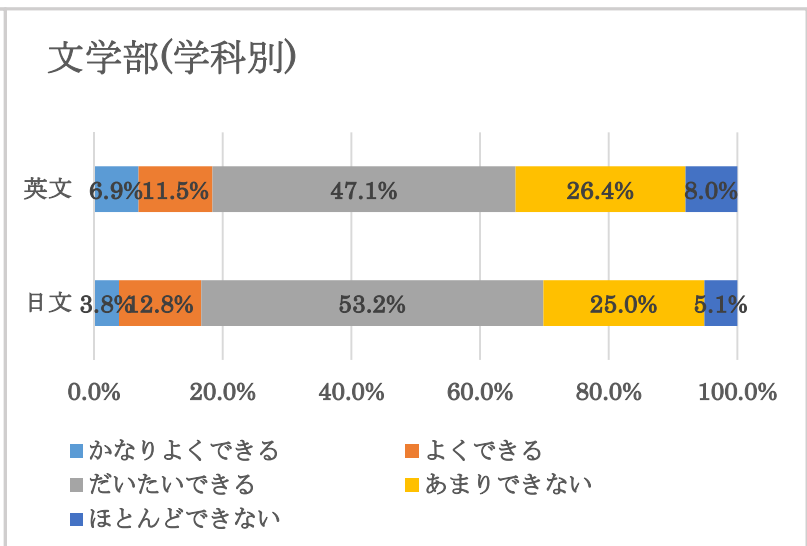
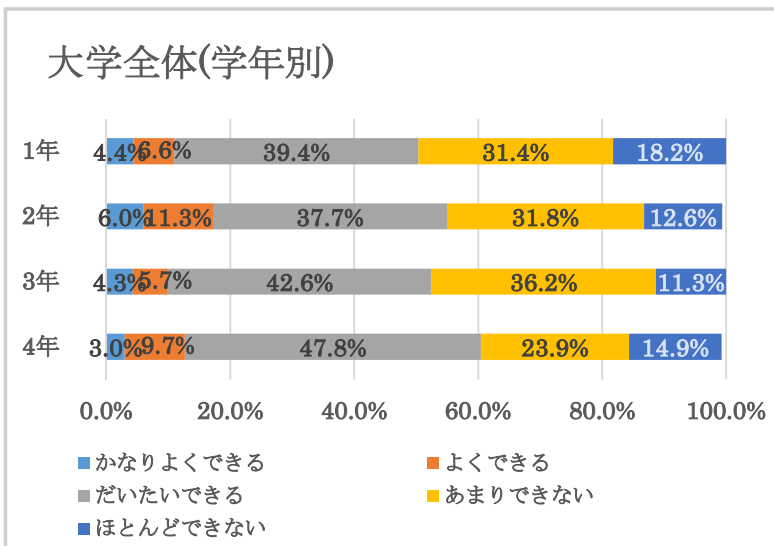
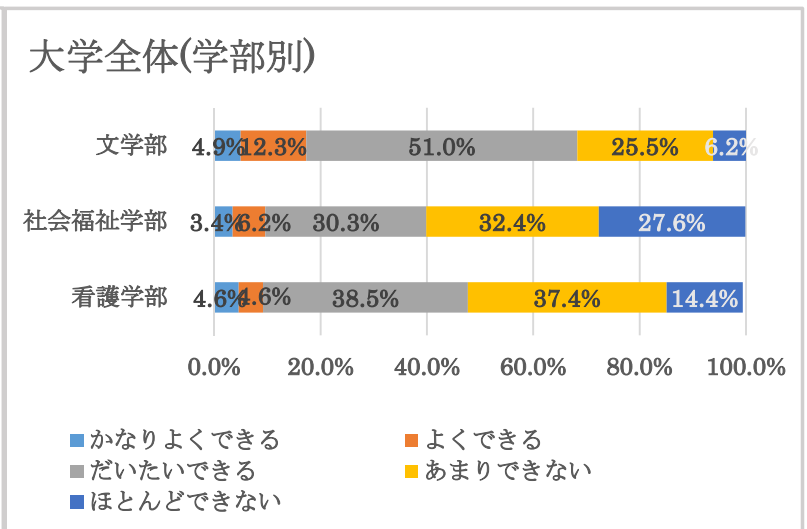
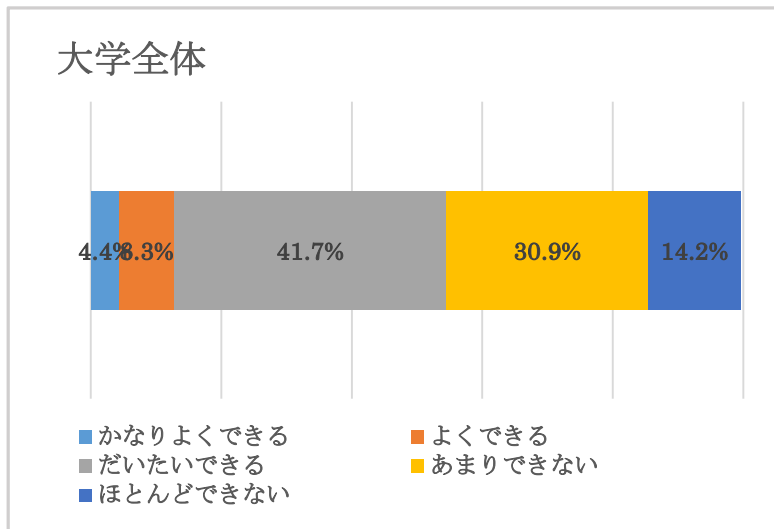


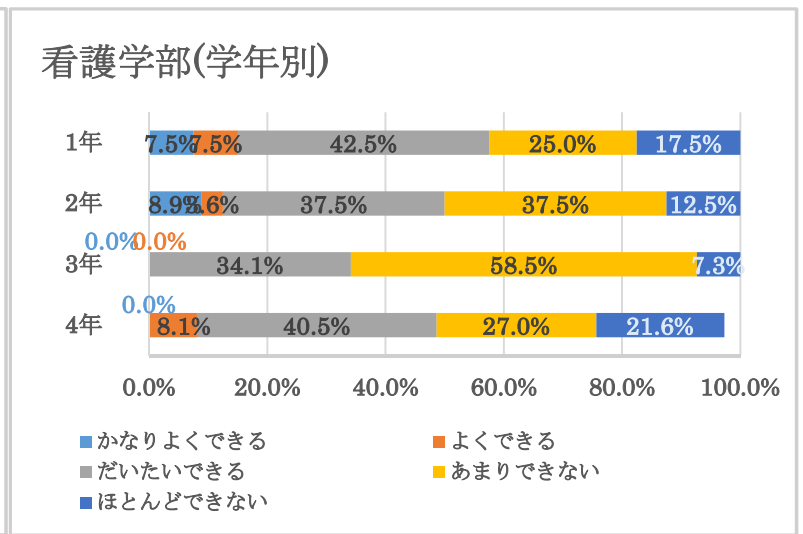
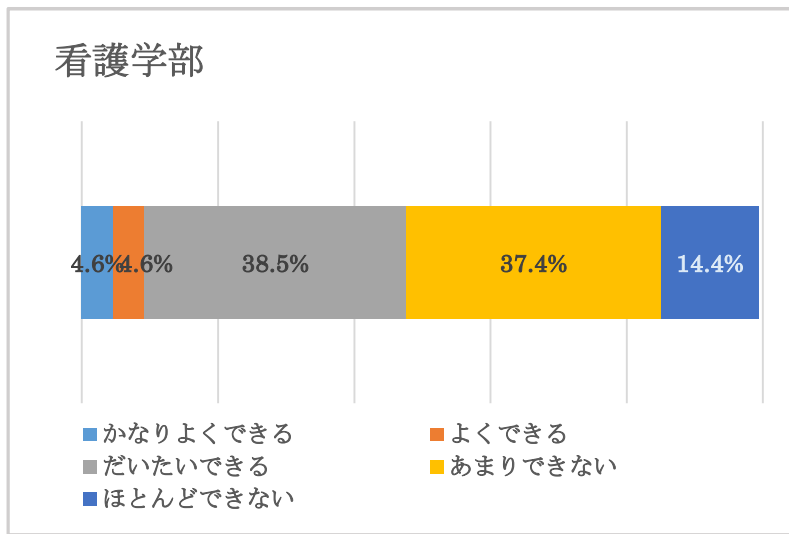
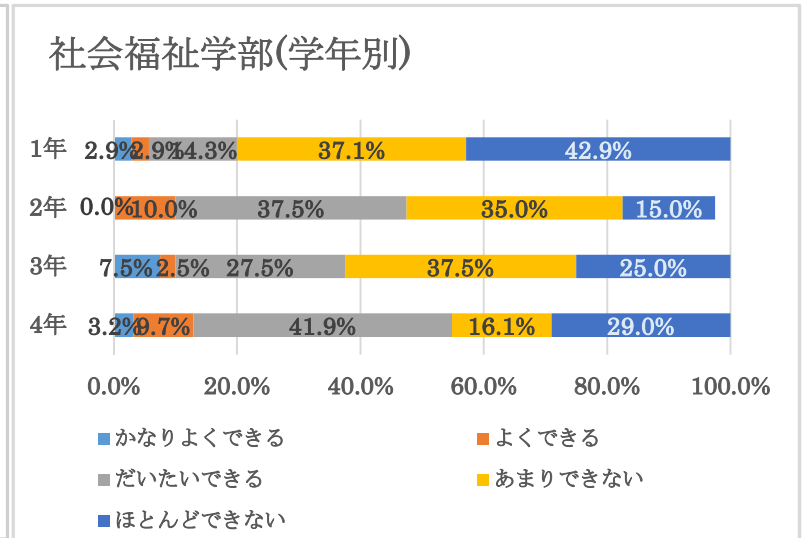
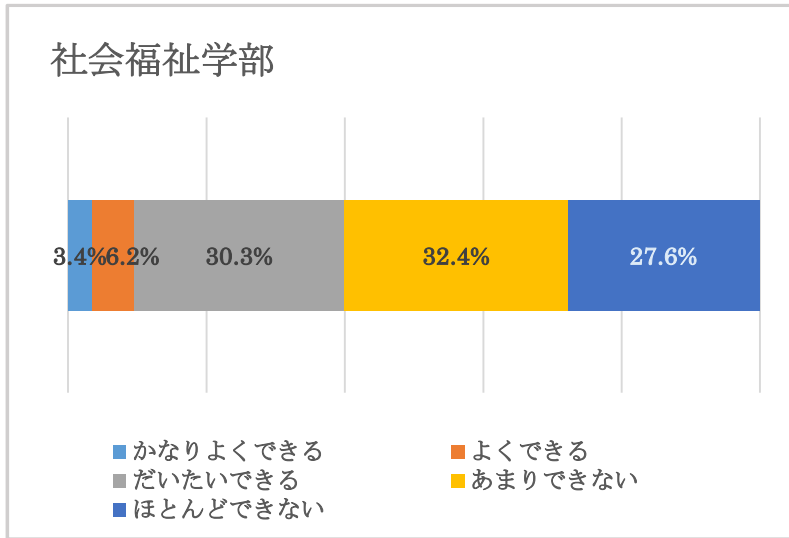
問 30 プレゼンテーションソフト (PowerPoint など) を使える。





問 31 表ソフトを使うことができる。

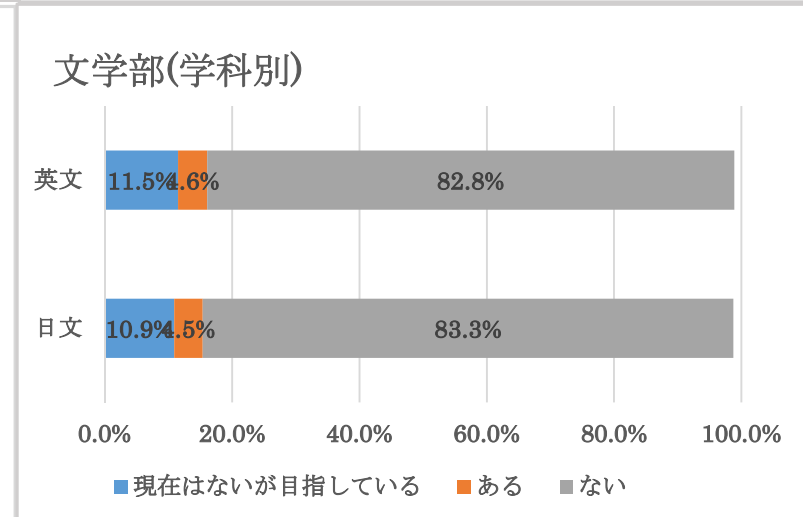
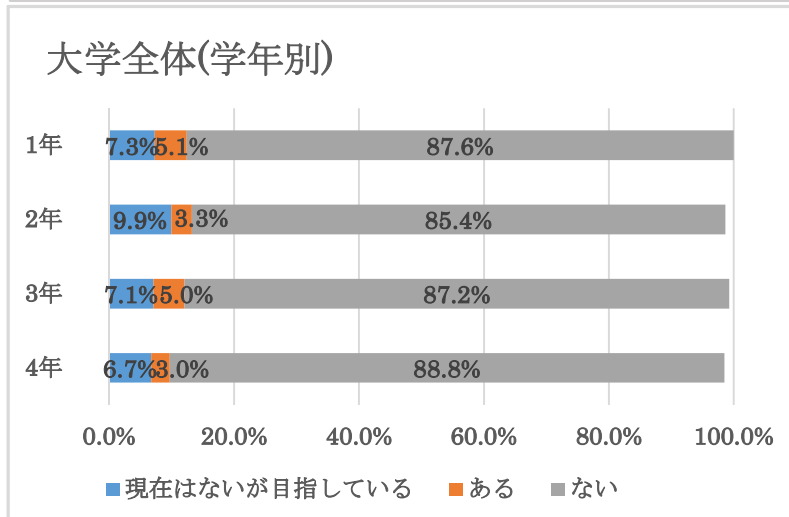
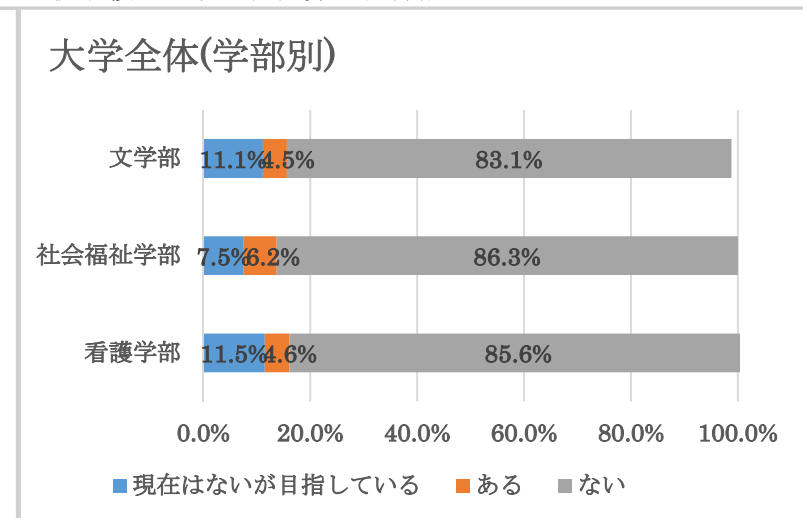
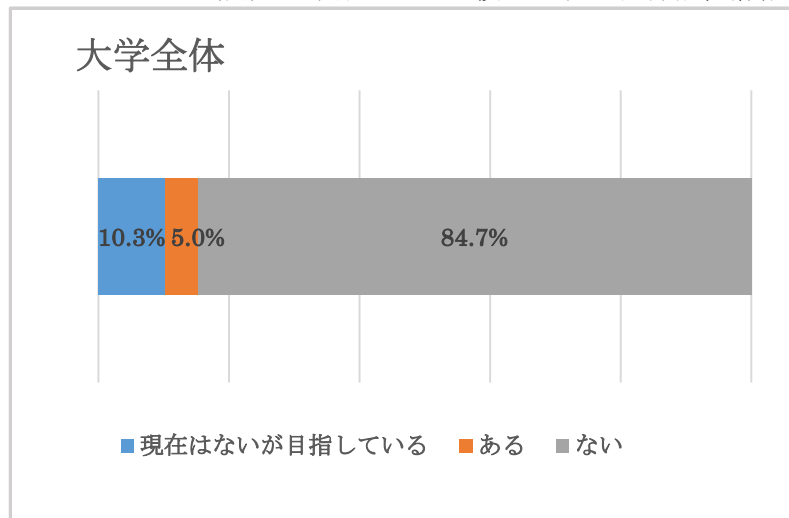


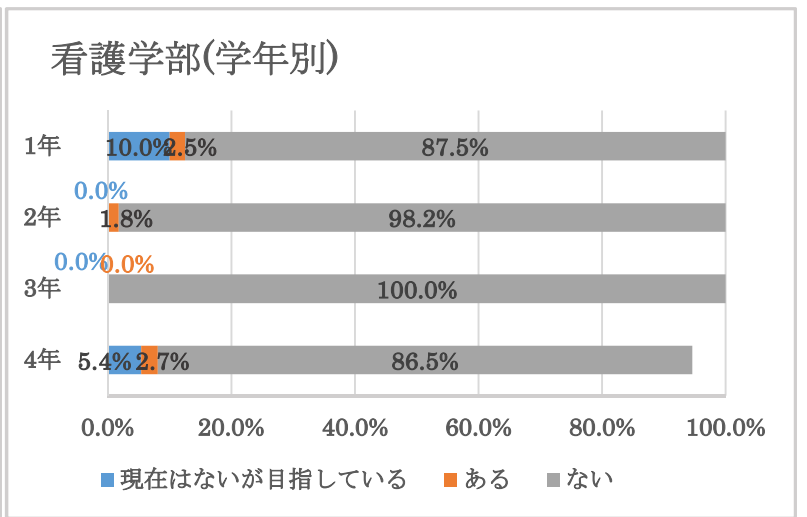
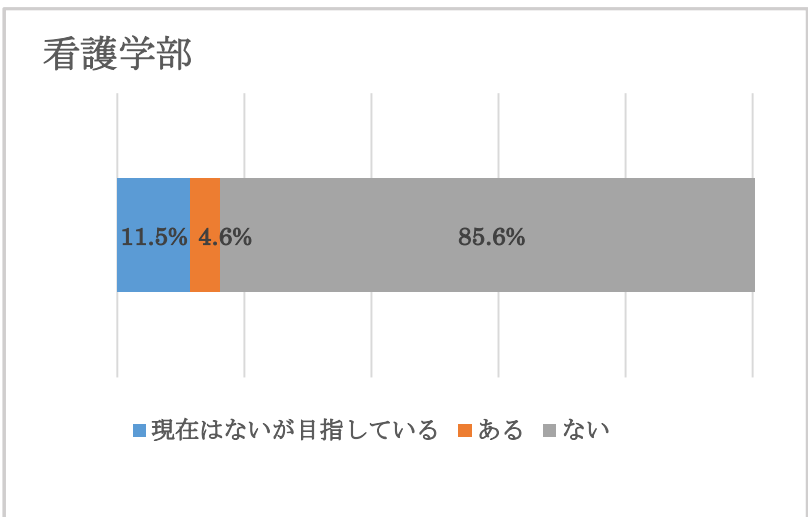
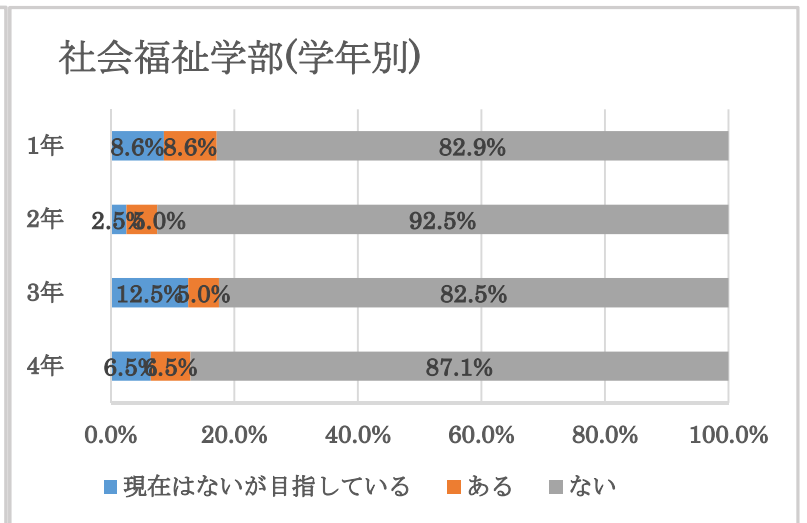
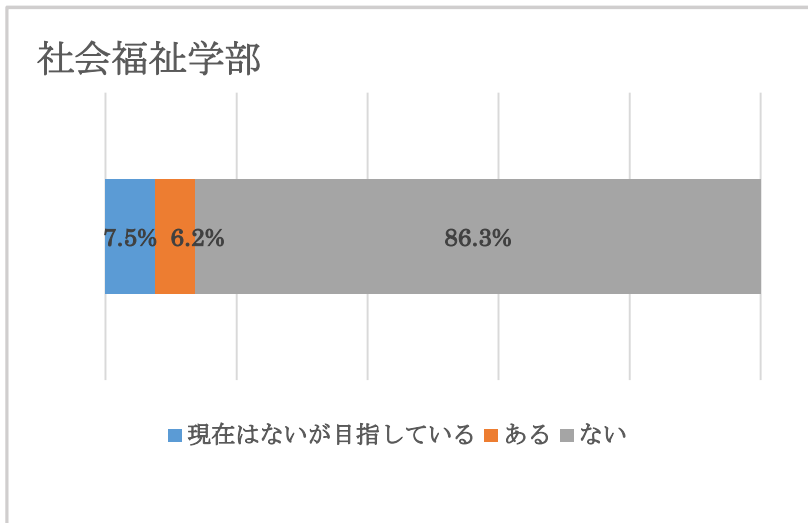
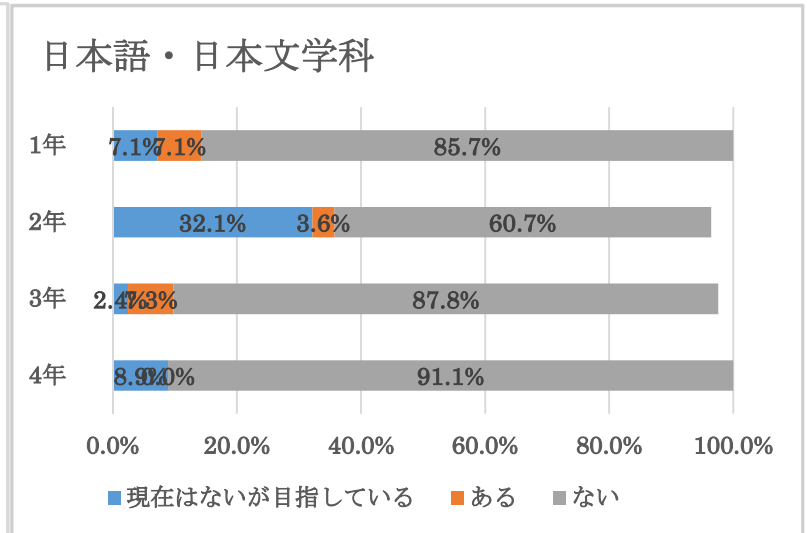
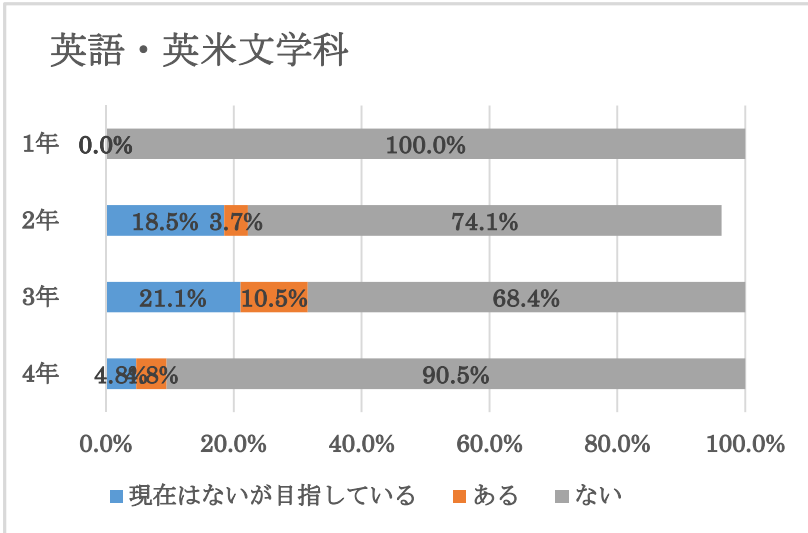


問 32 大学入学後、取得した ICT 関連の資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

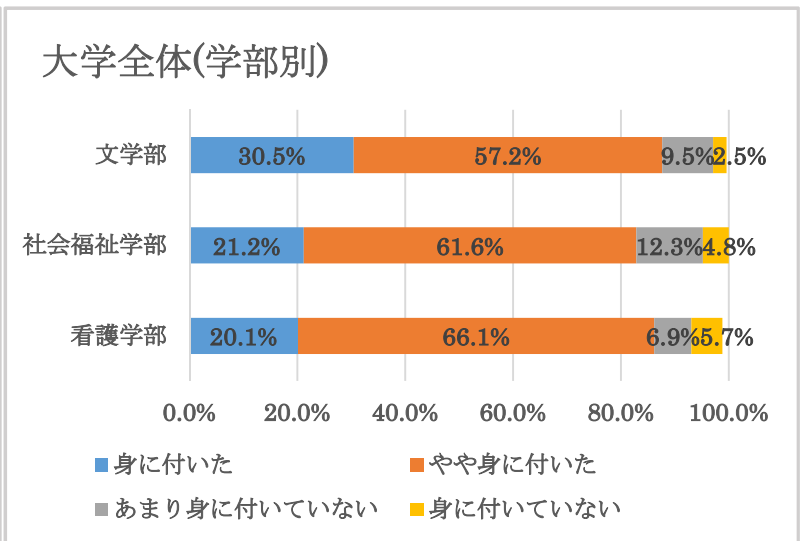
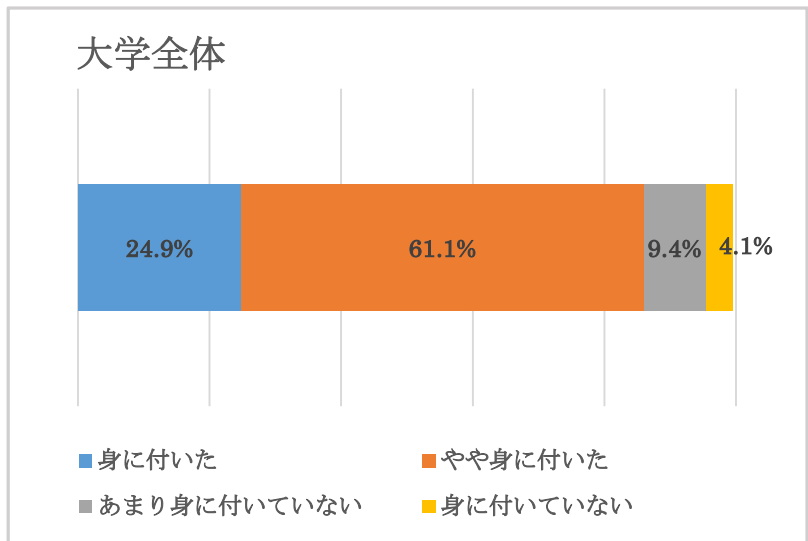
※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→ (例) 日本語ワープロ検定試験 1 級合格、情報処理技能検定試験 表計算 2 級合格など

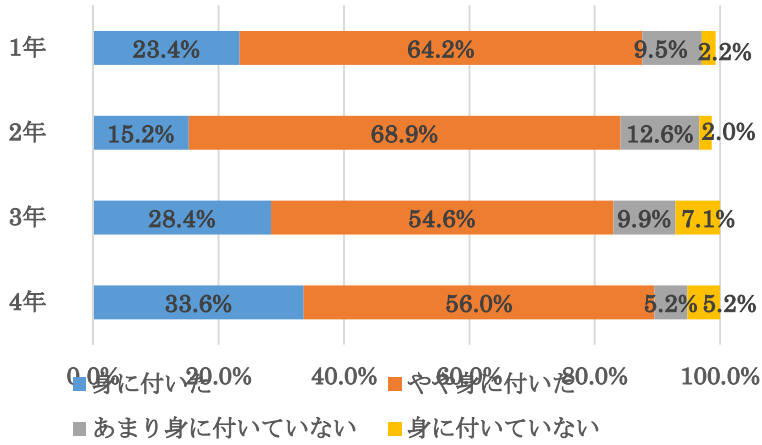




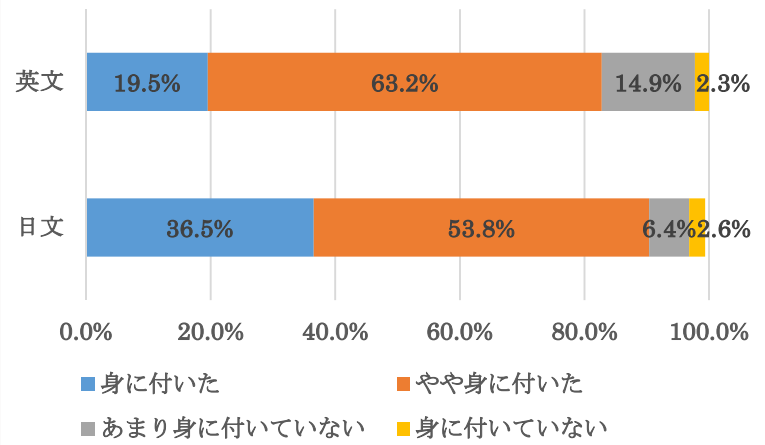
4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて
問 33 以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。



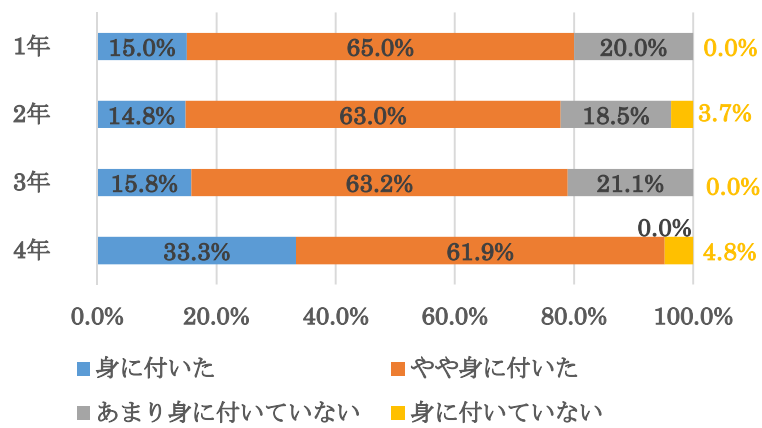
大学全体学年別



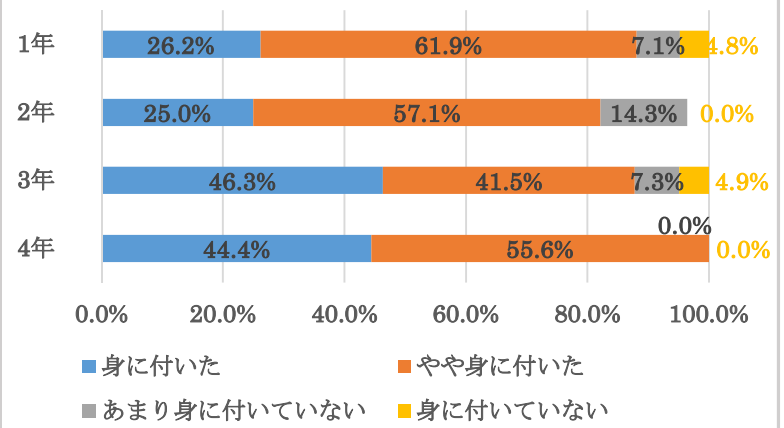
文学部学科別



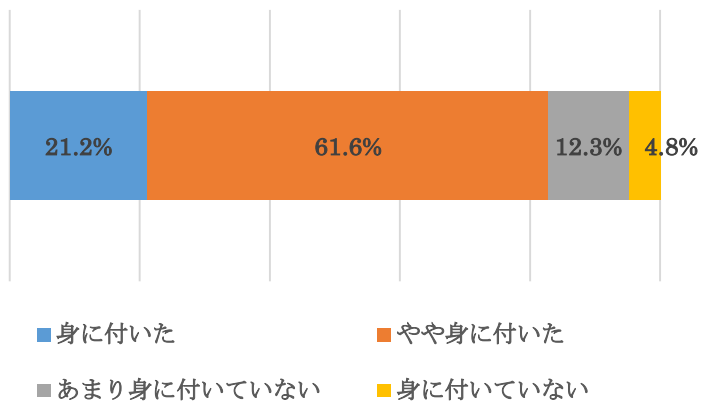
英語・英米文学科



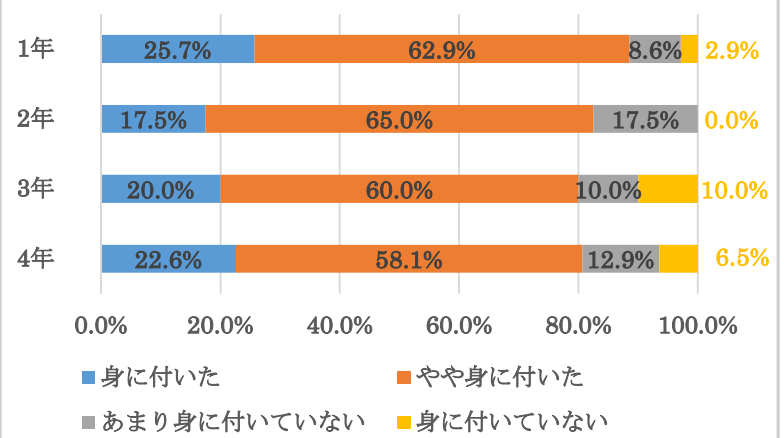
日本語・日本文学科



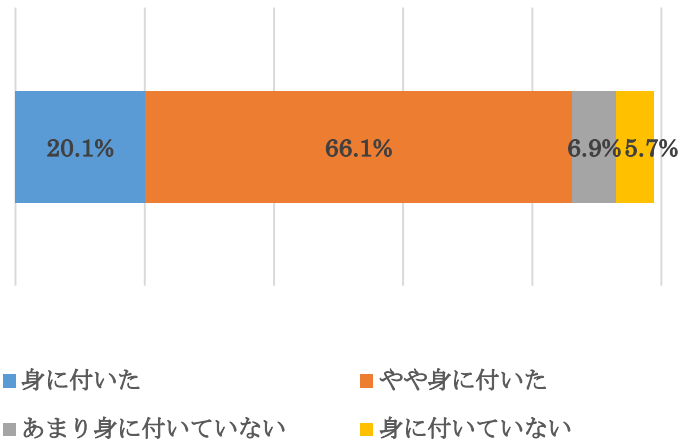
社会福祉学部



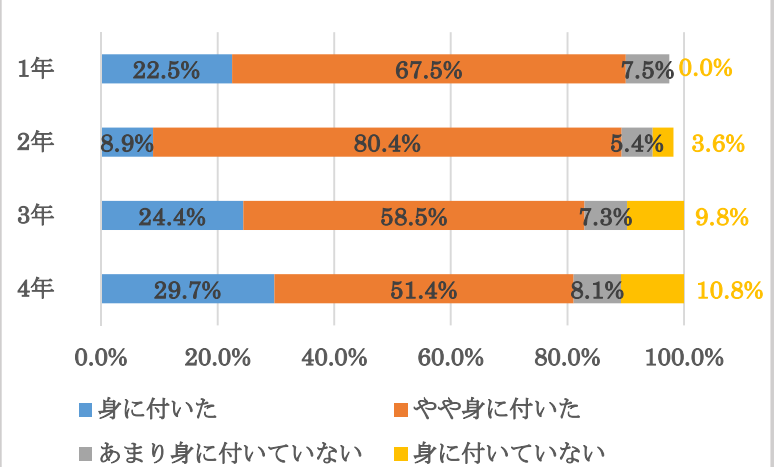
社会福祉学部(学年別)



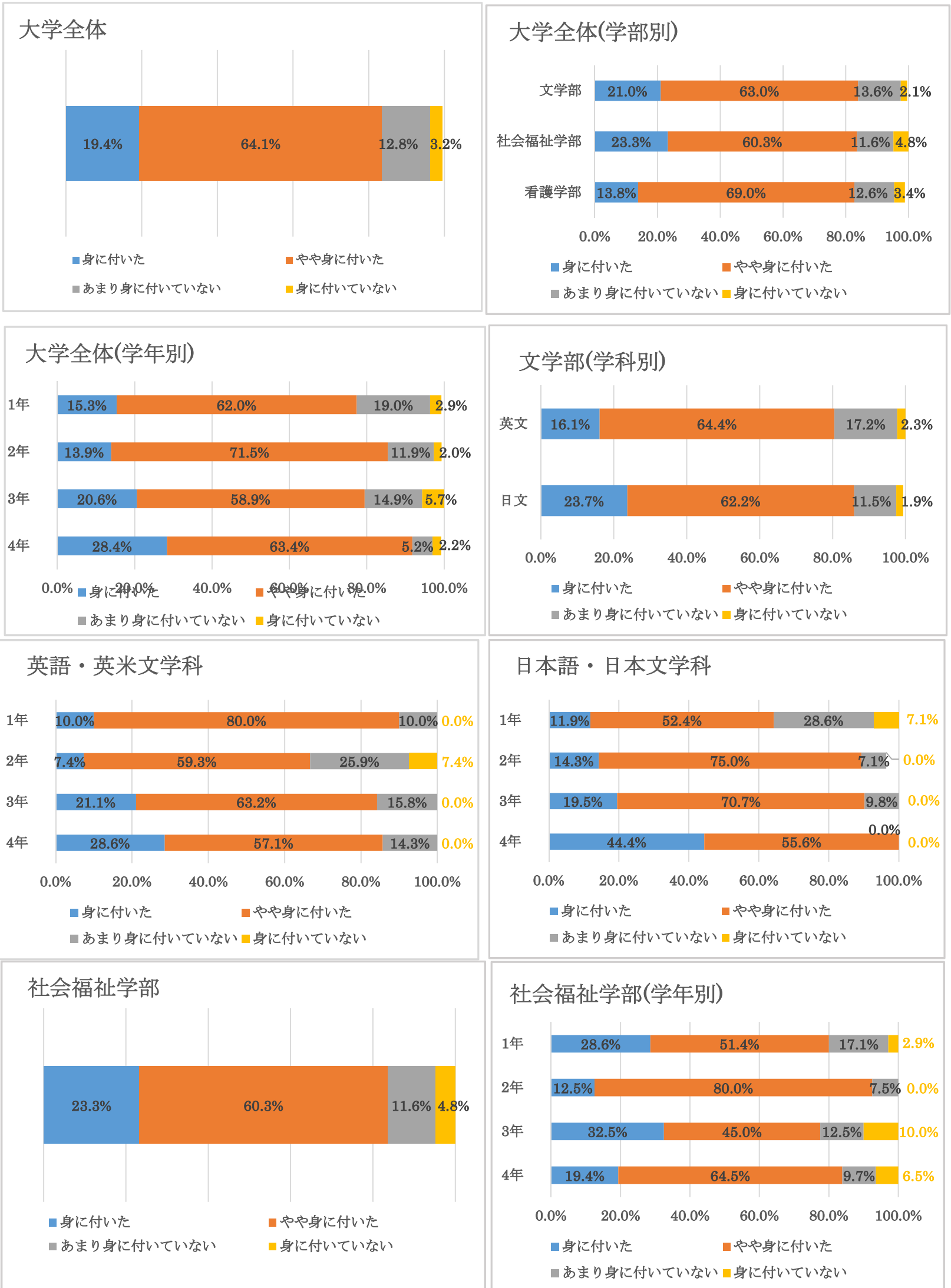
看護学部

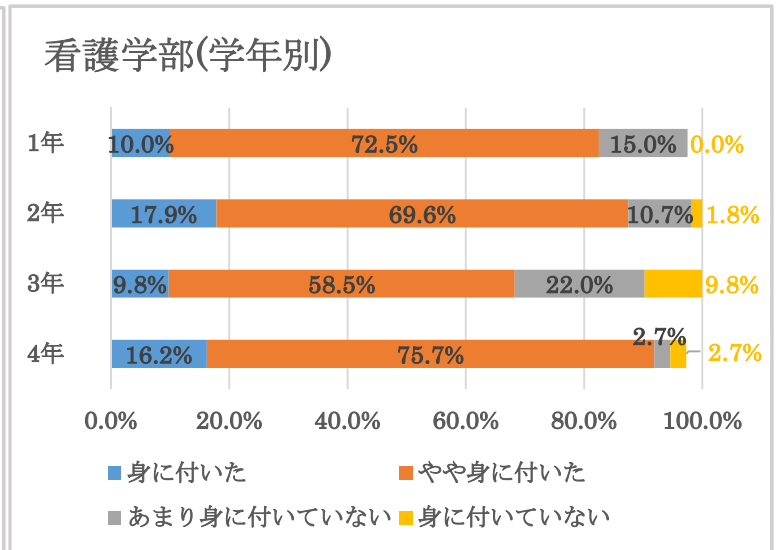
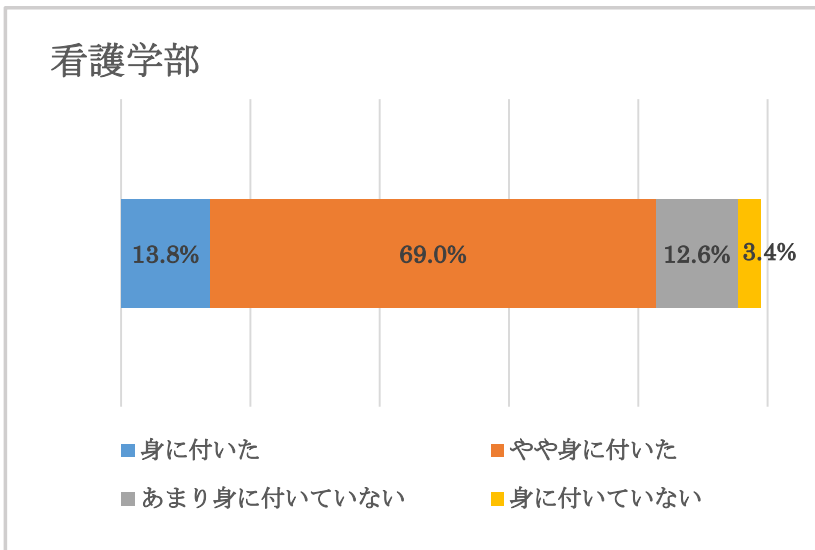


看護学部(学年別)

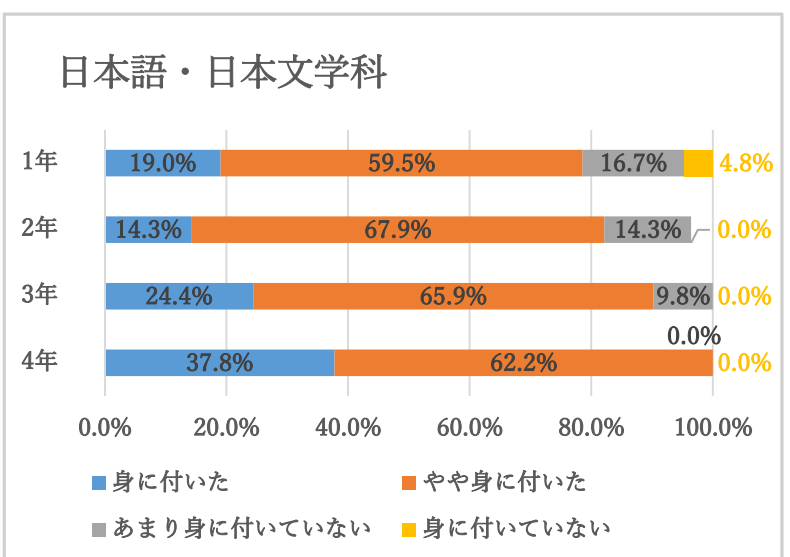
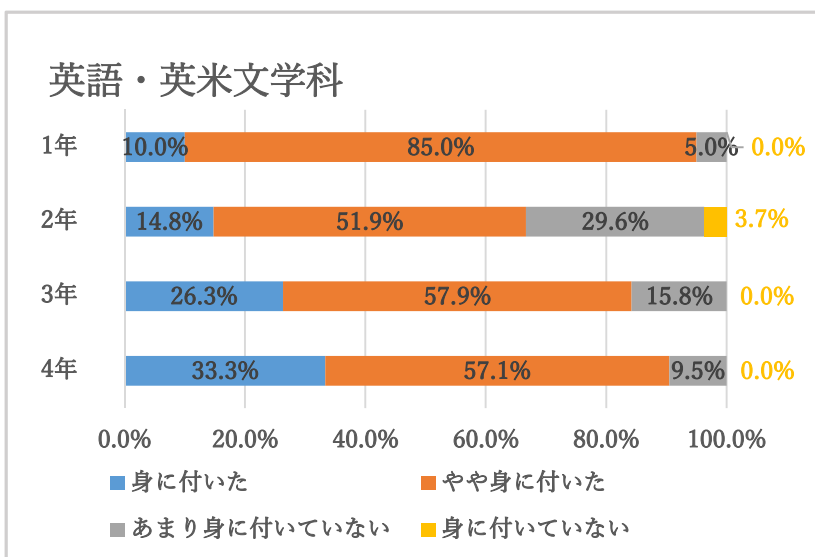
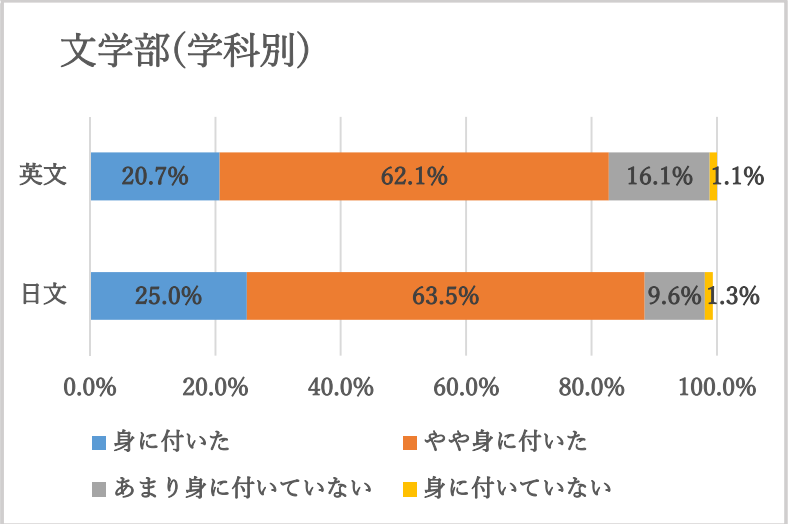
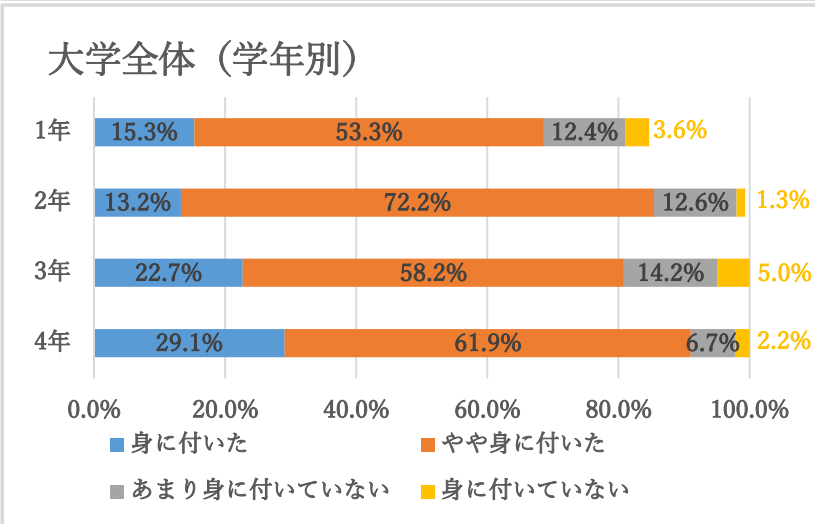
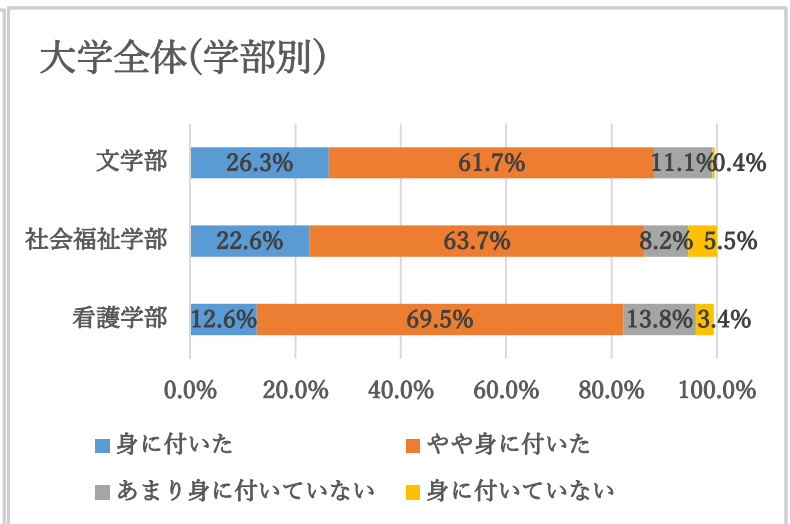
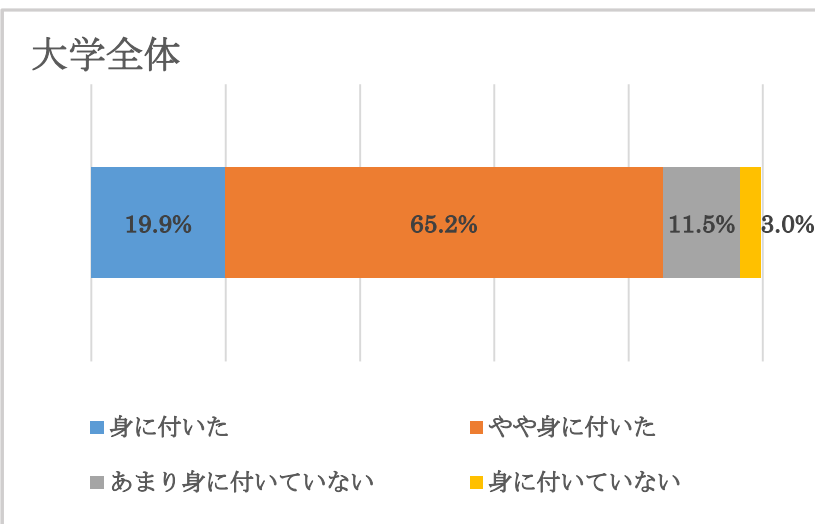


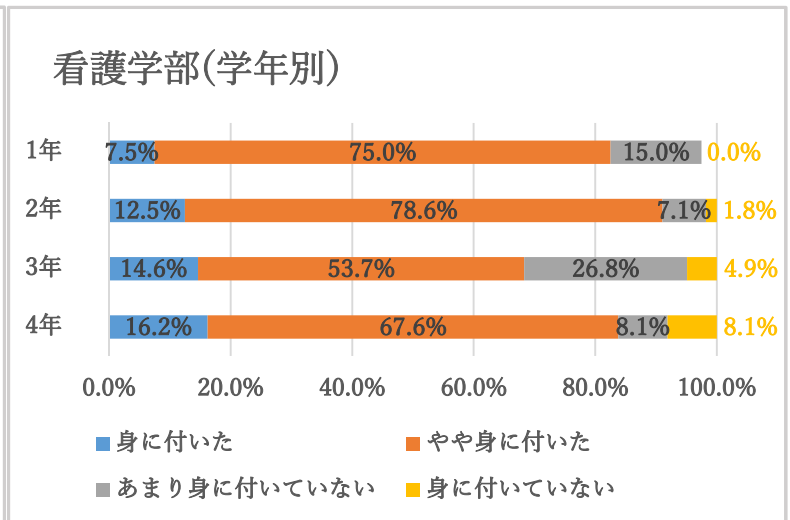
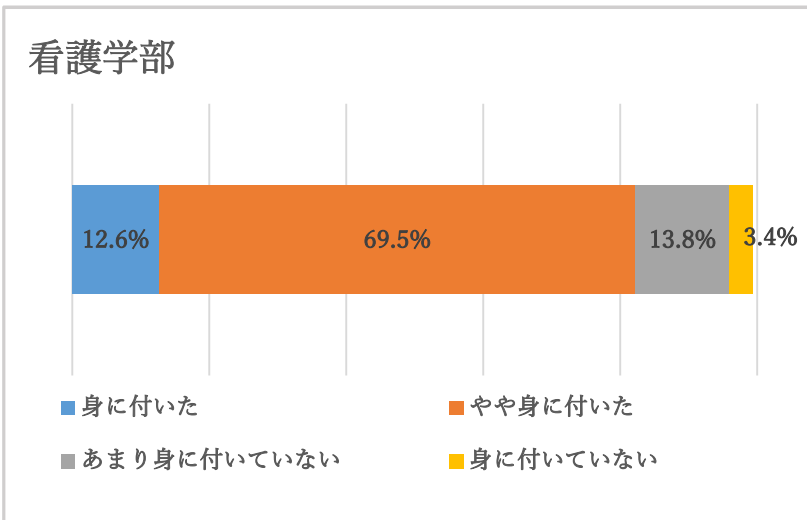
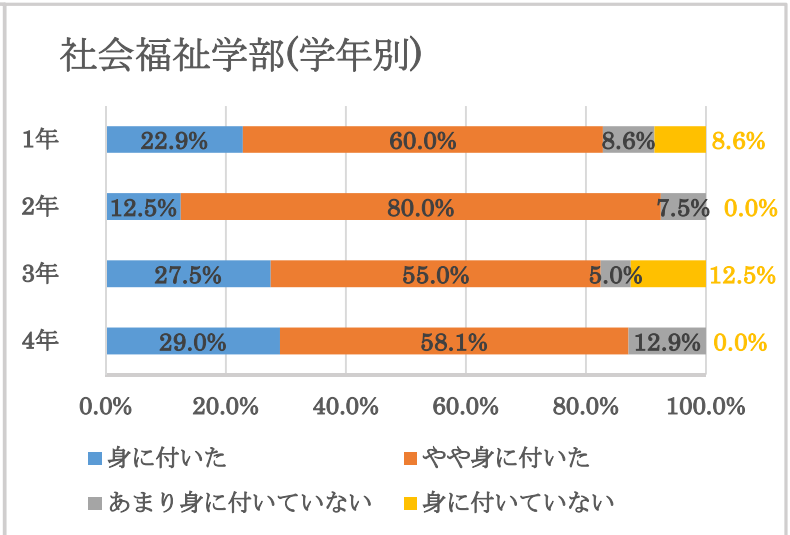
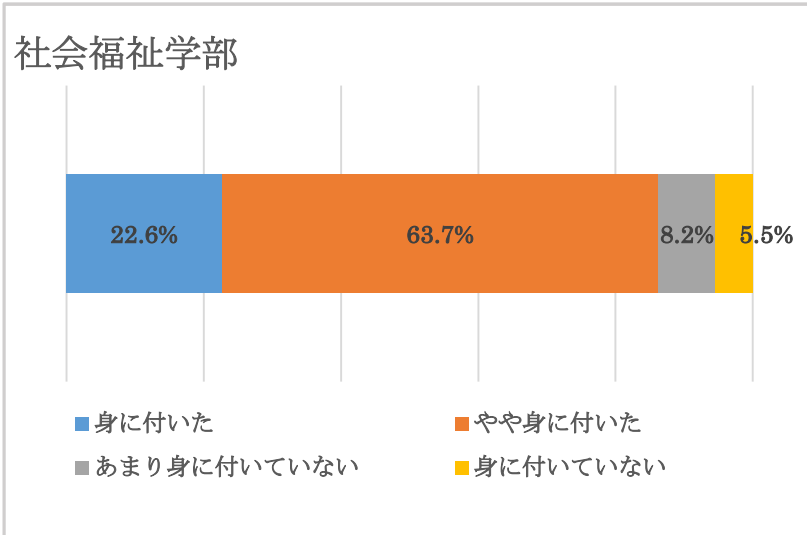
問 34 レポートや論文の作成について、必要な情報収集のスキル（文献、資料統計などの検索方法など）が身に付きましたか。



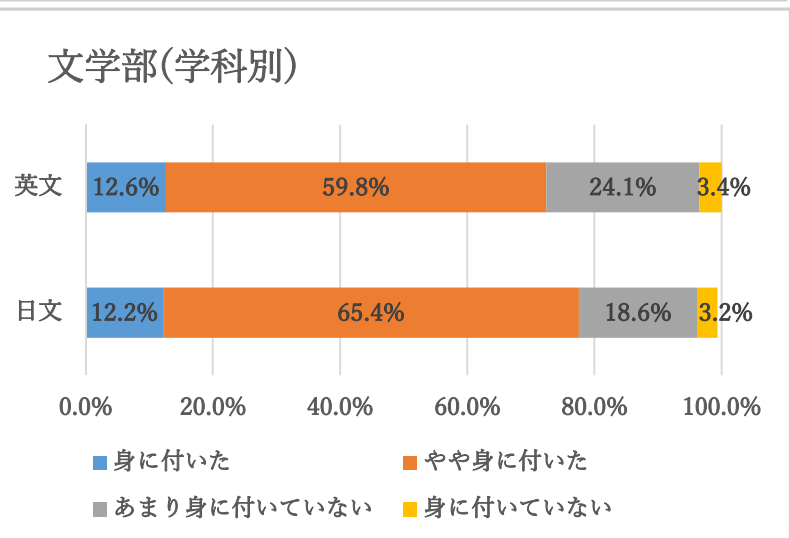
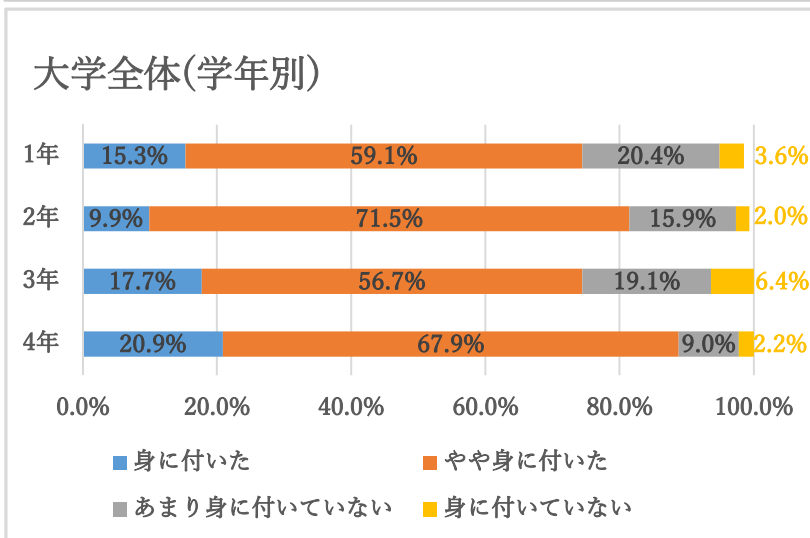
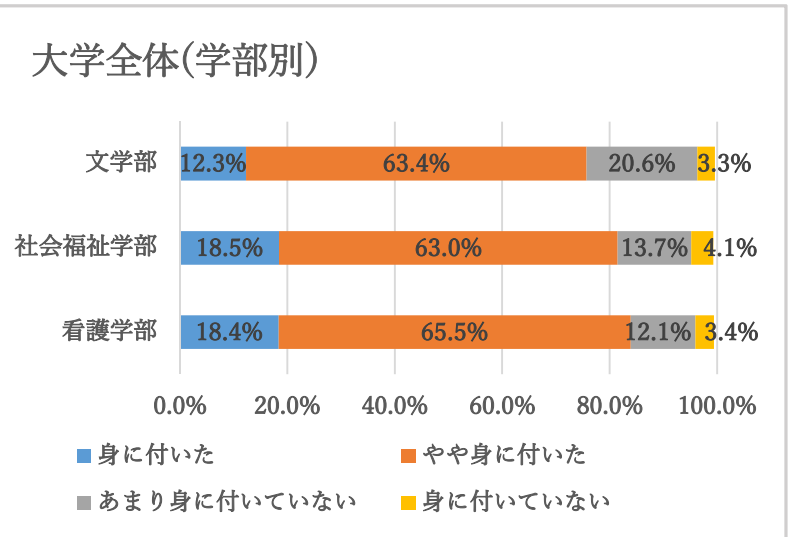
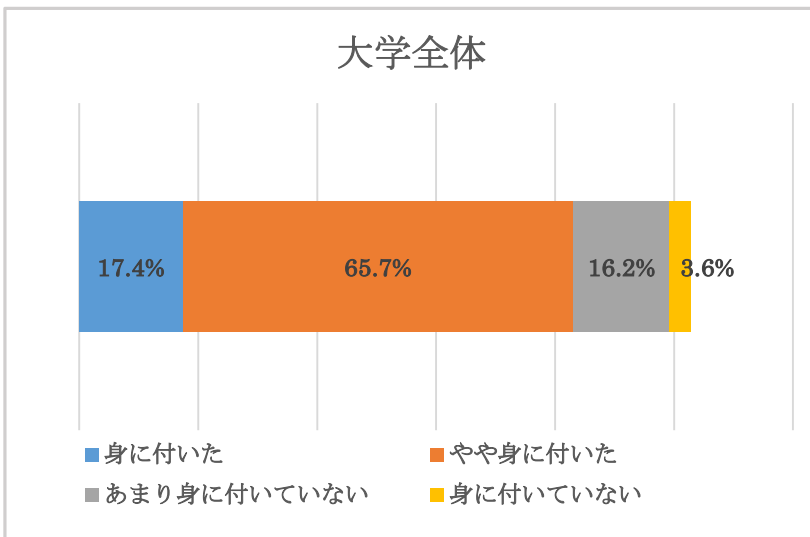


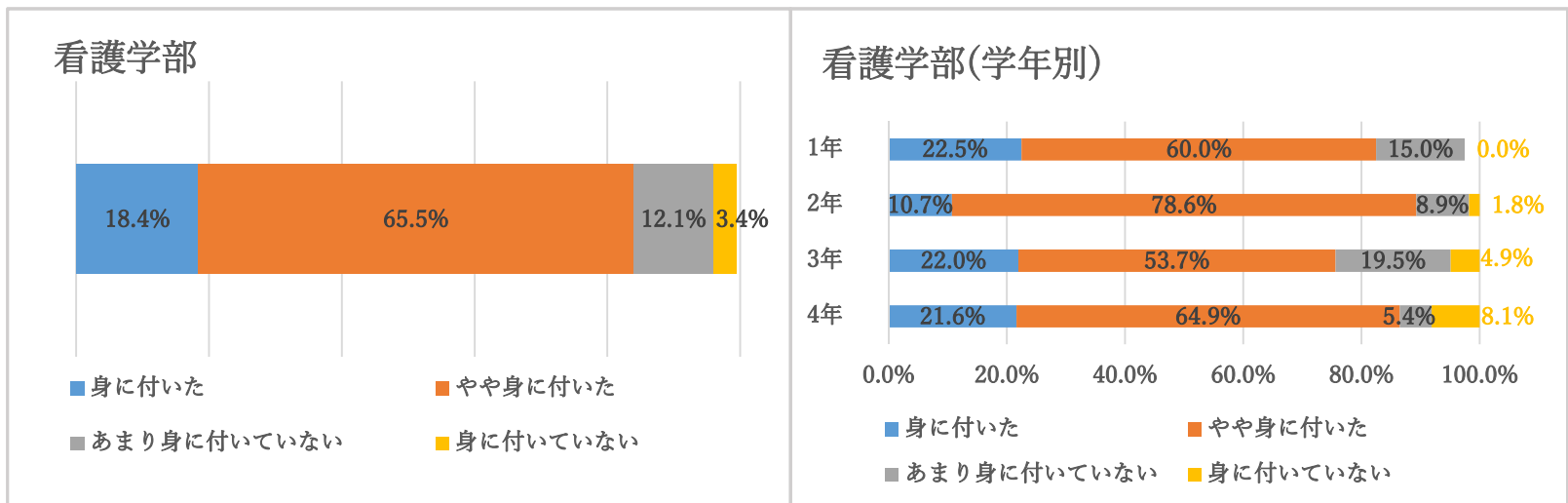
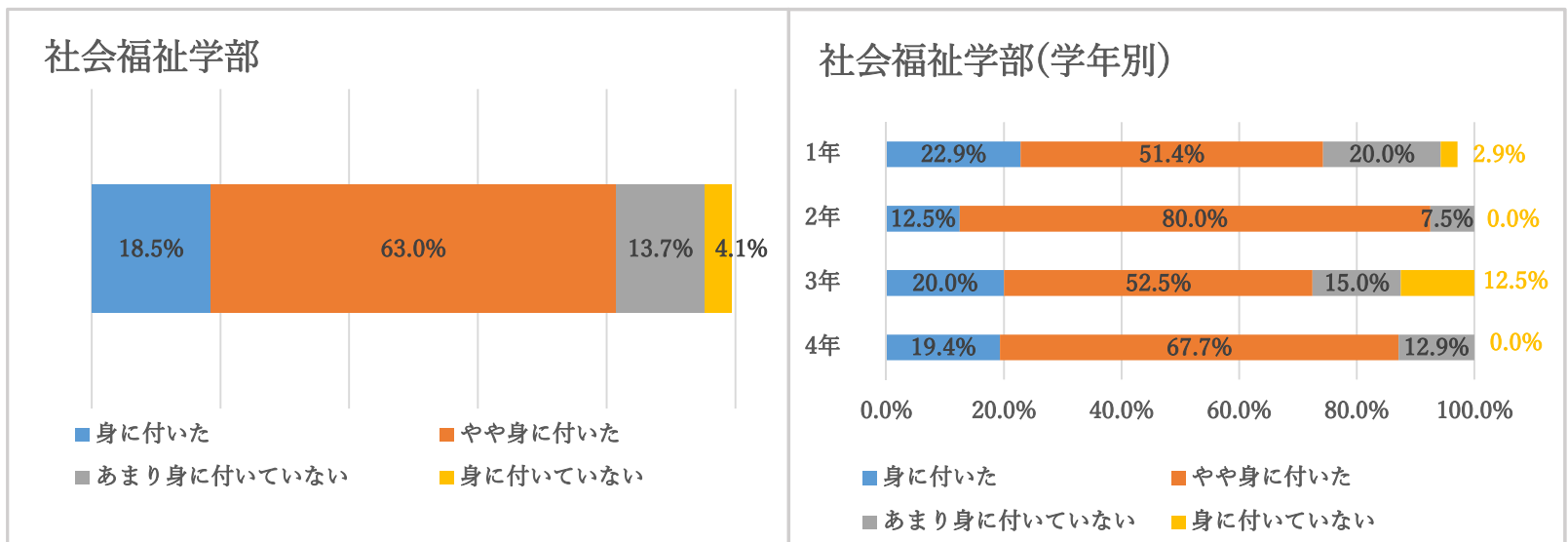
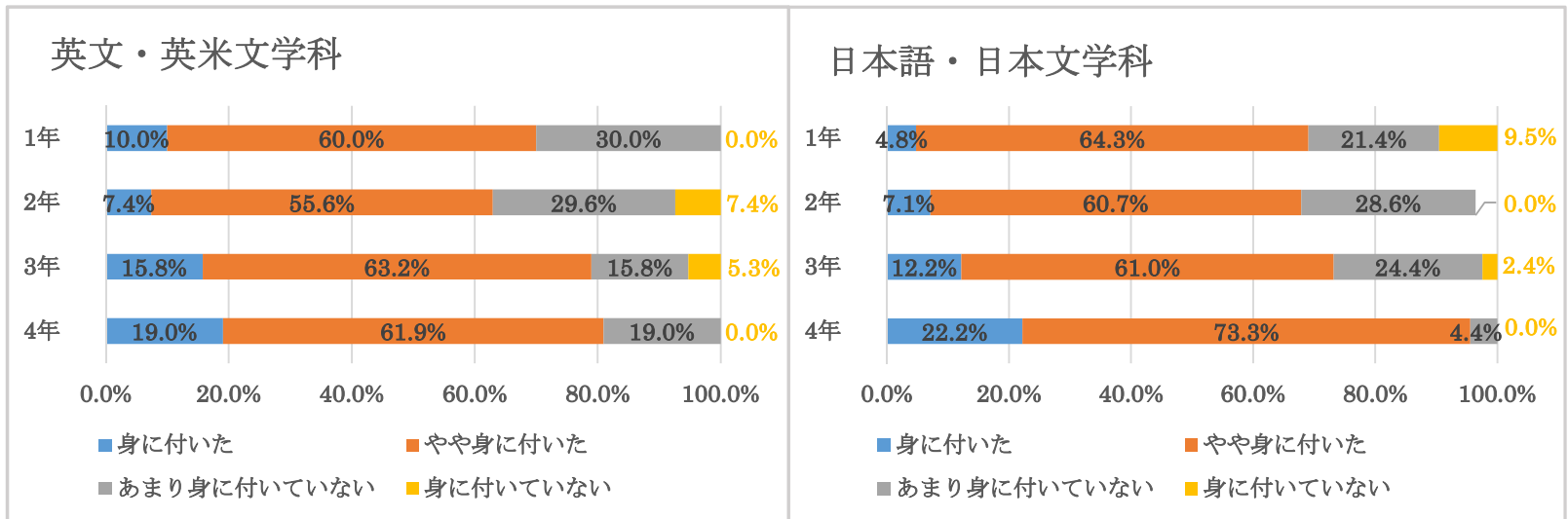
問 35 レポートや論文の作成について、書くために必要なスキル（書式や作法など）が身に付きましたか。





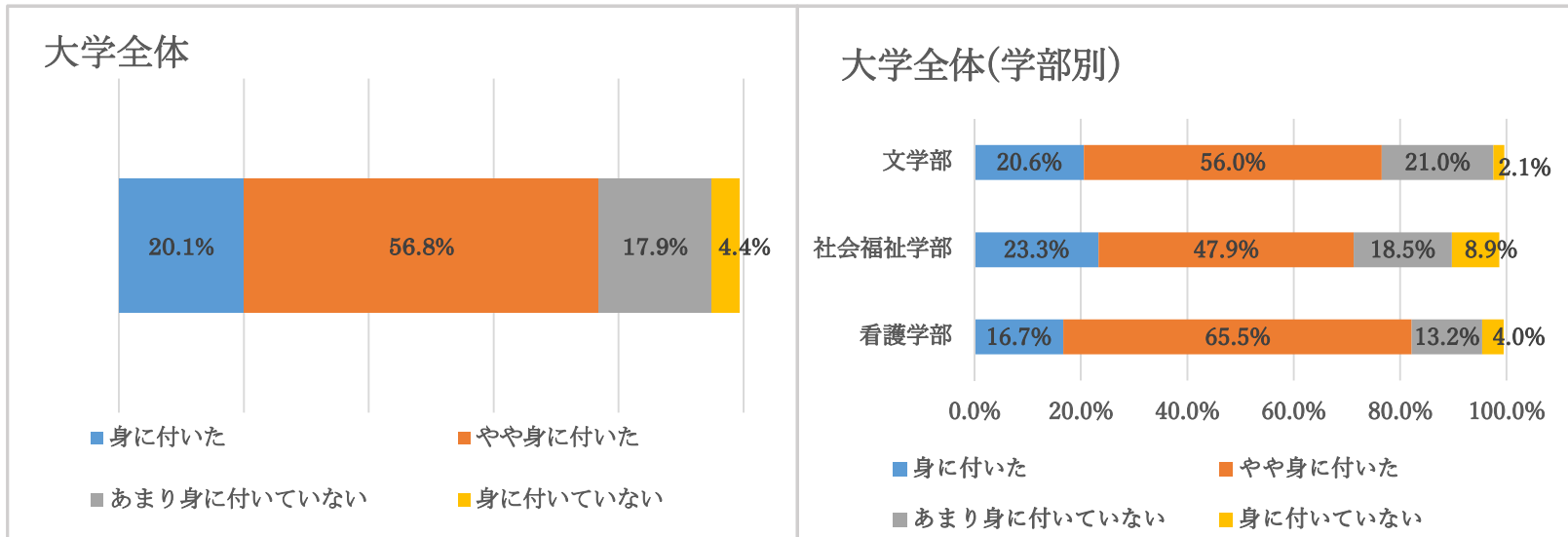
問 36 専門的な知識やスキルが身に付きましたか。

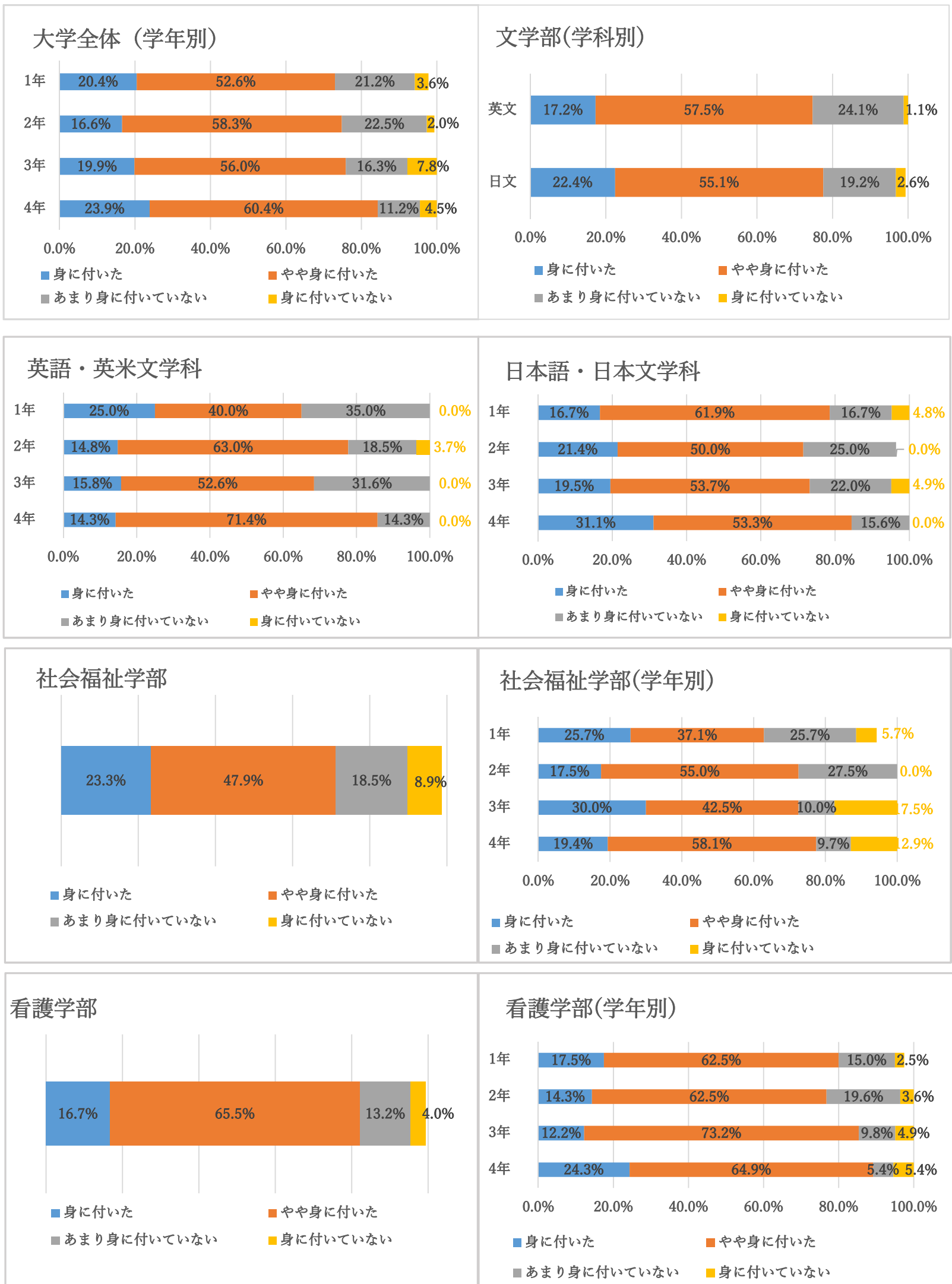




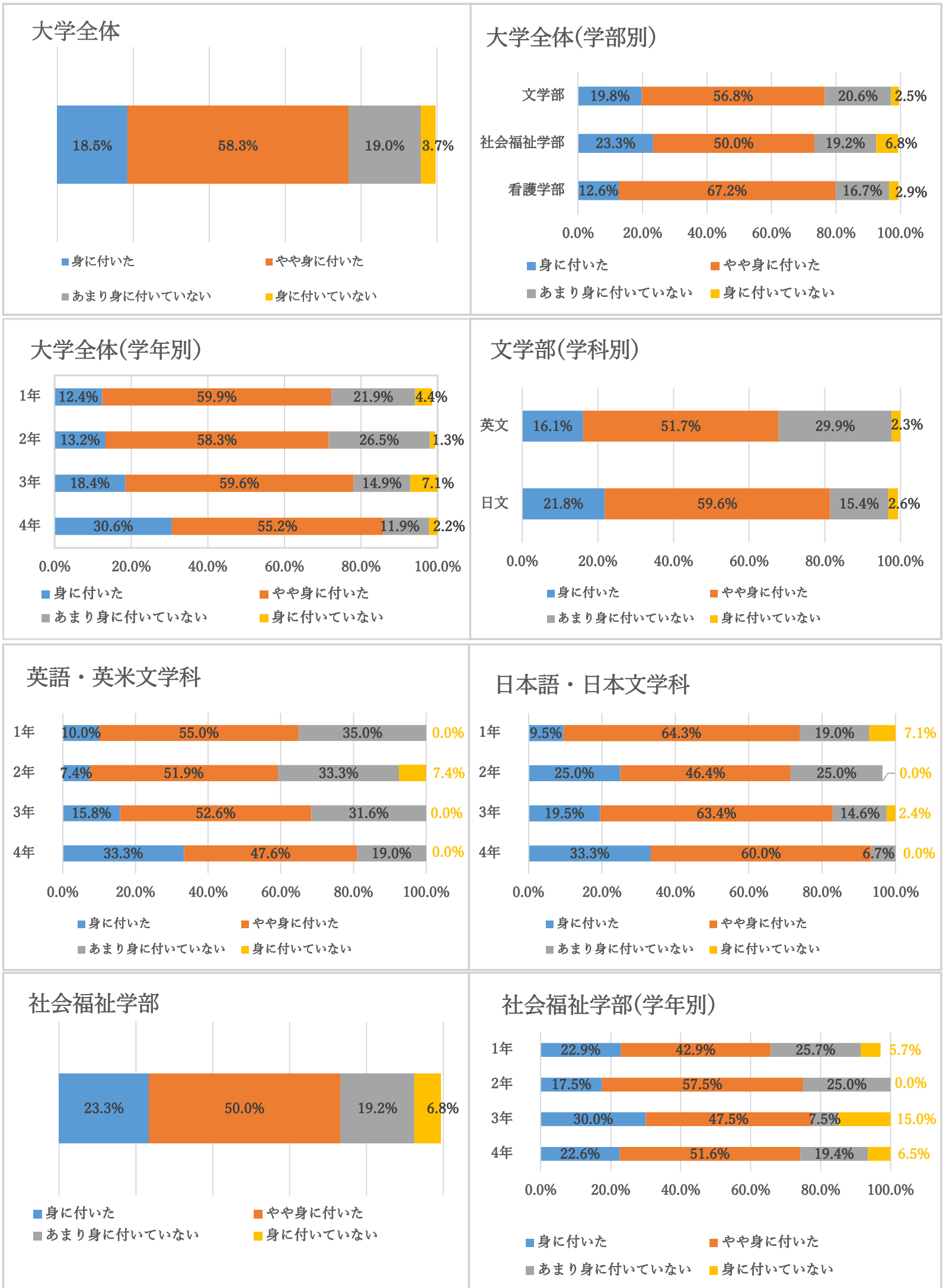
5. 総合的な力

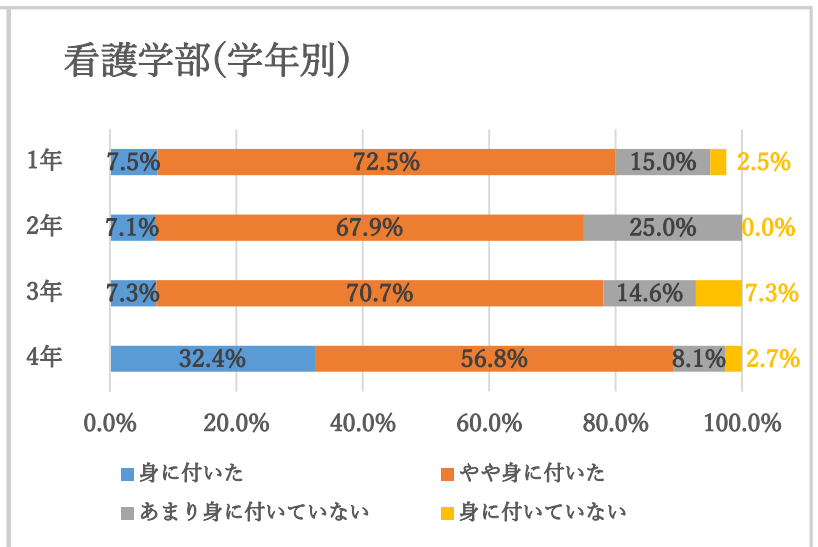
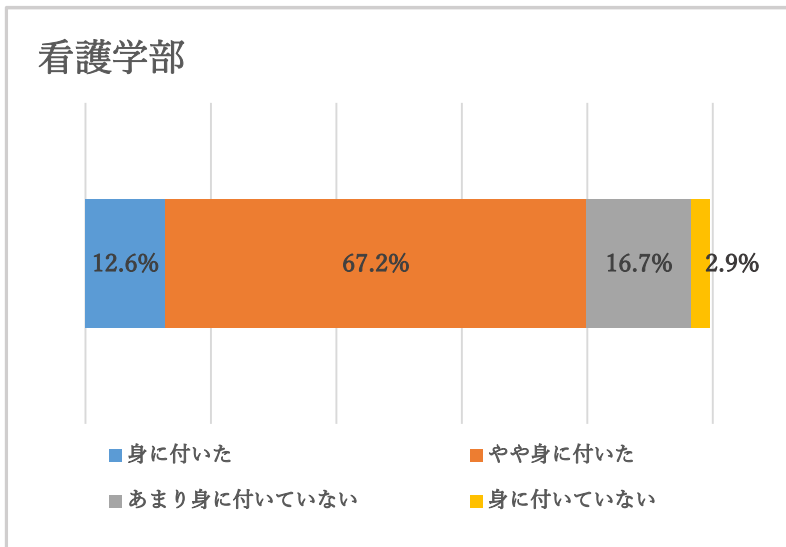
(1) 自己の資質・能力の変化、向上について
問 37 自ら学ぶ姿勢が身に付き了吗か。



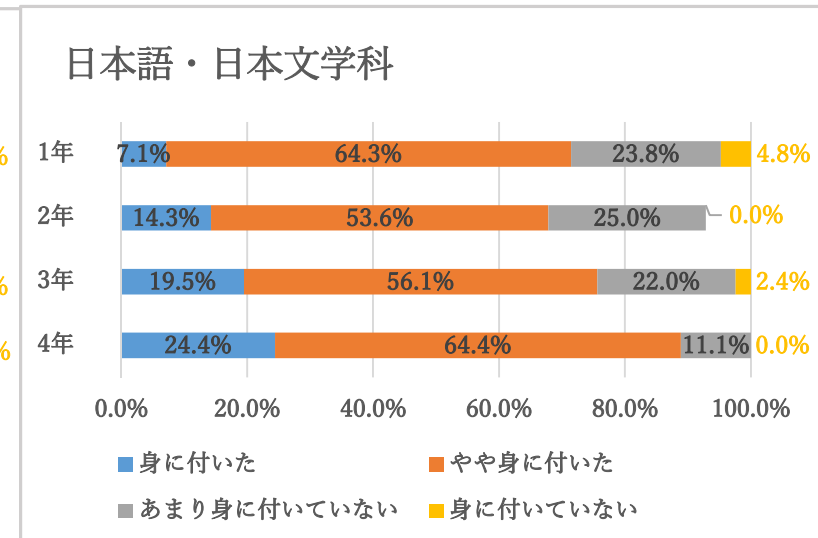
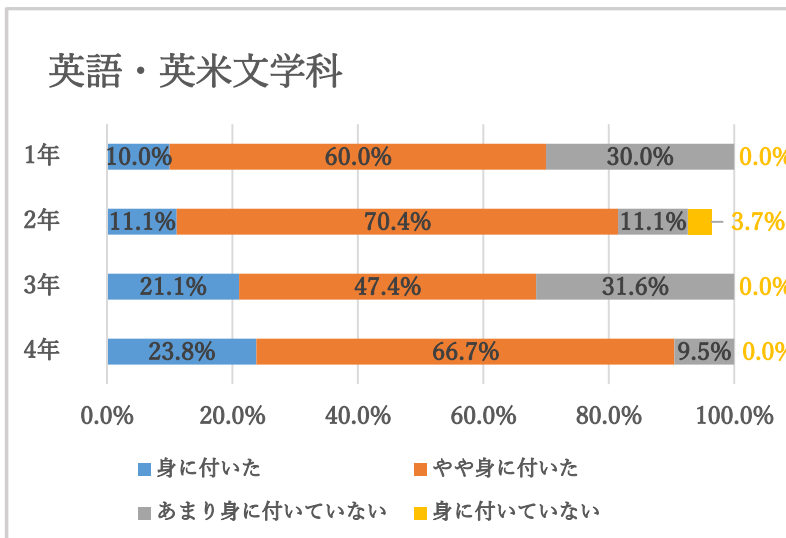
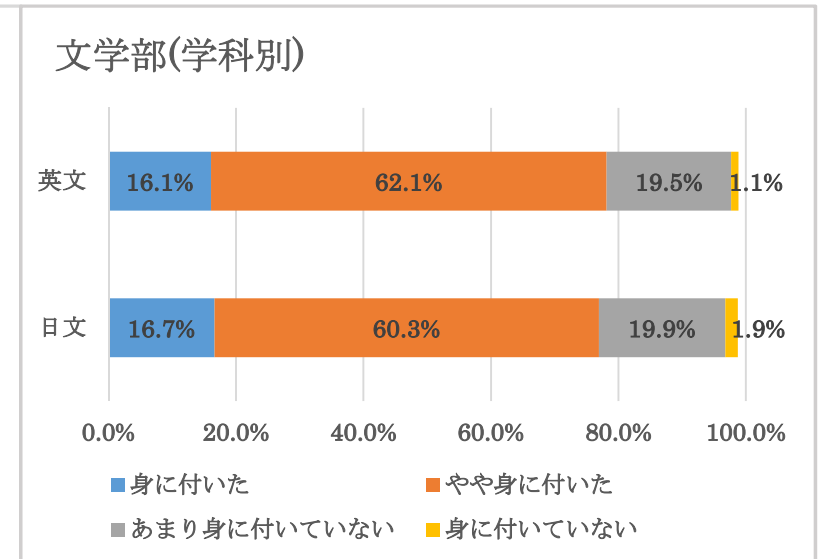
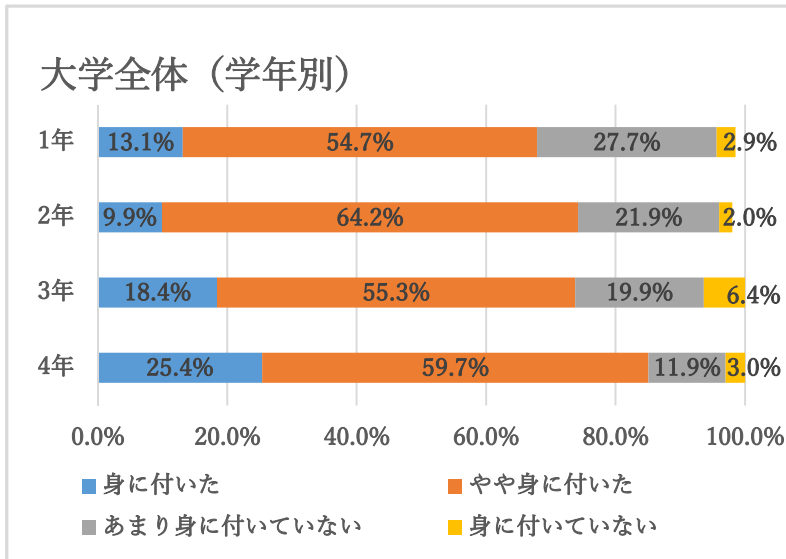
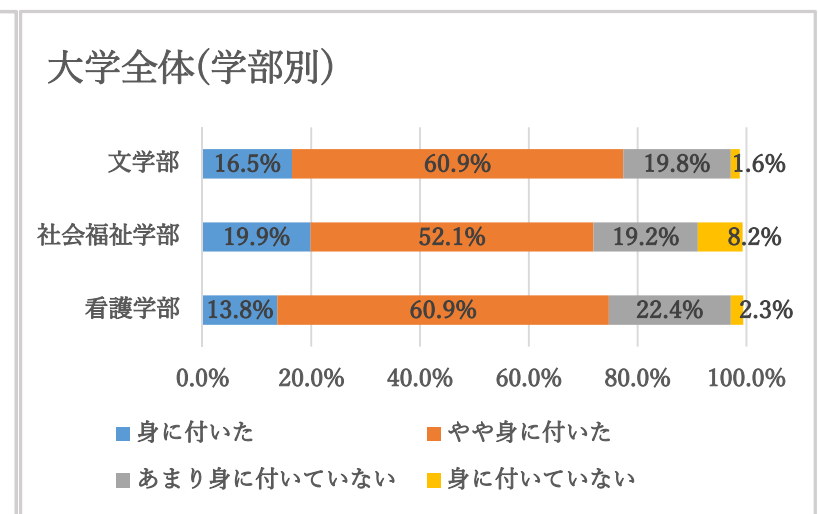
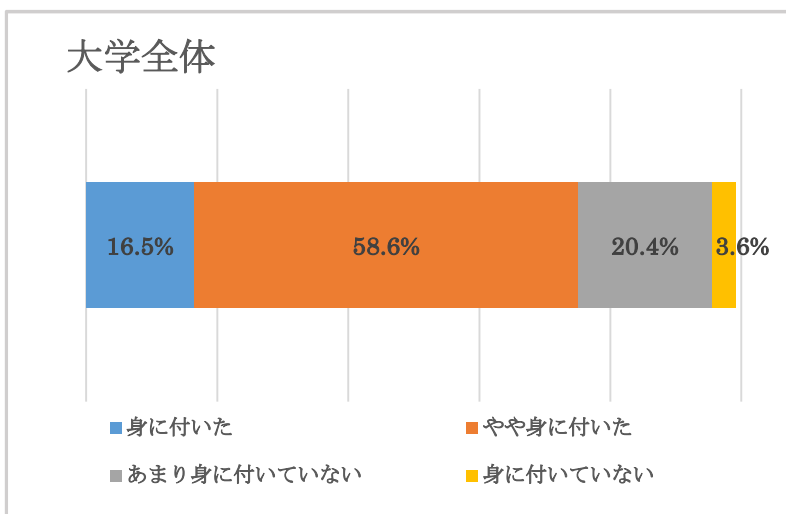


問 38 論理的に考える力が身に付きましたか。

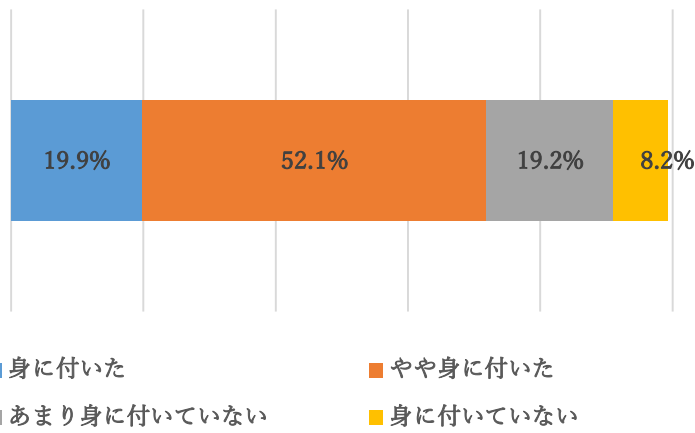




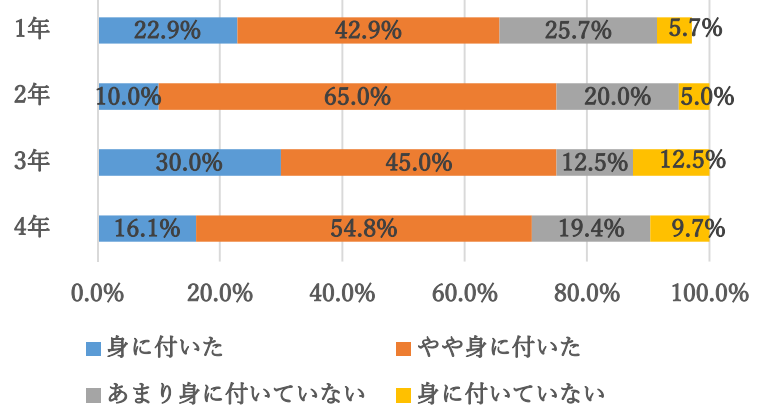
問 39 分析力、課題解決能力が身に付きましたか。



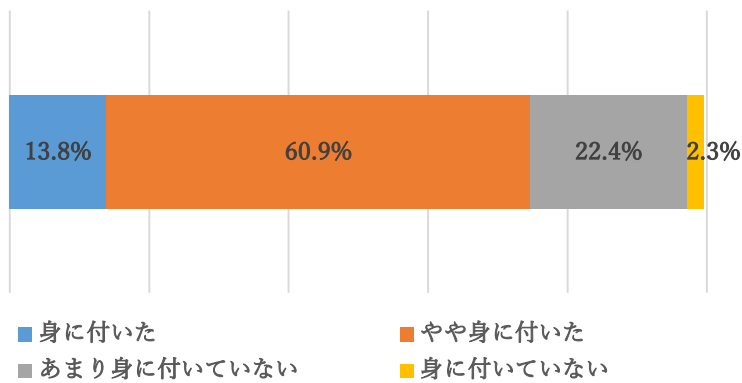
社会福祉学部



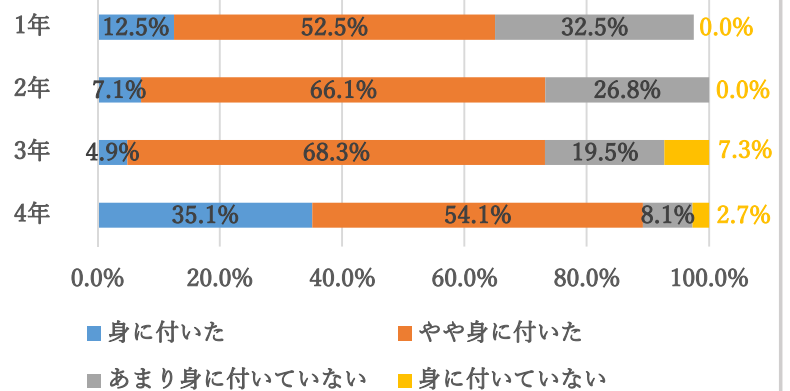
社会福祉学部(学年別)



看護学部

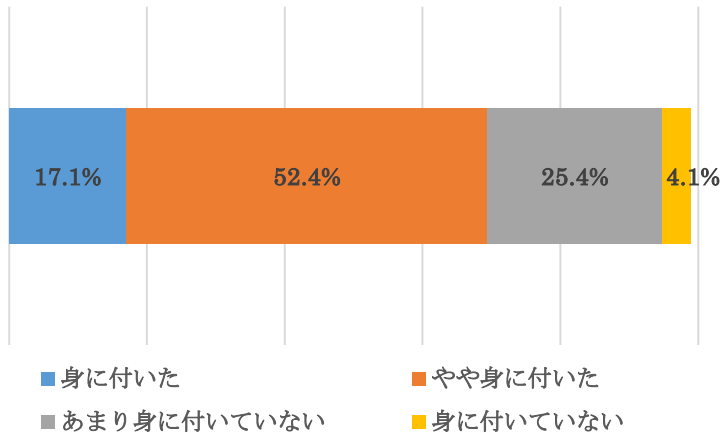


看護学部(学年別)

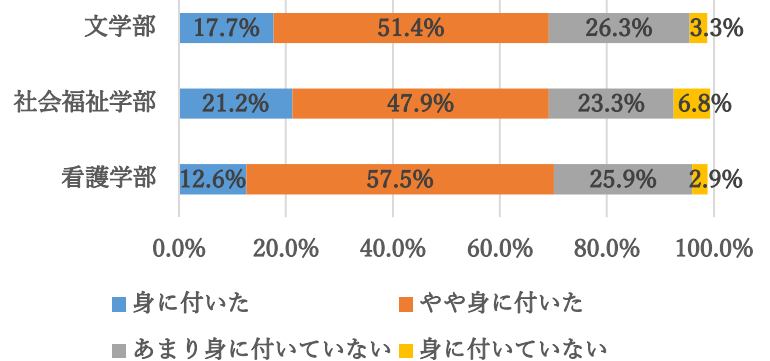


問 40 批判的に考える力が身に付きましたか。

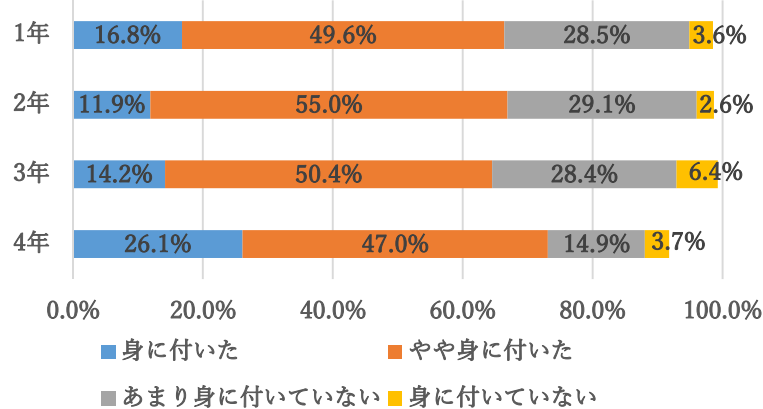
大学全体



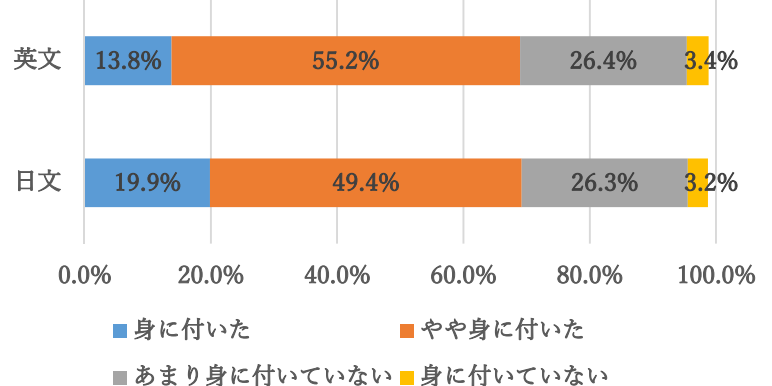
大学全体(学部別)



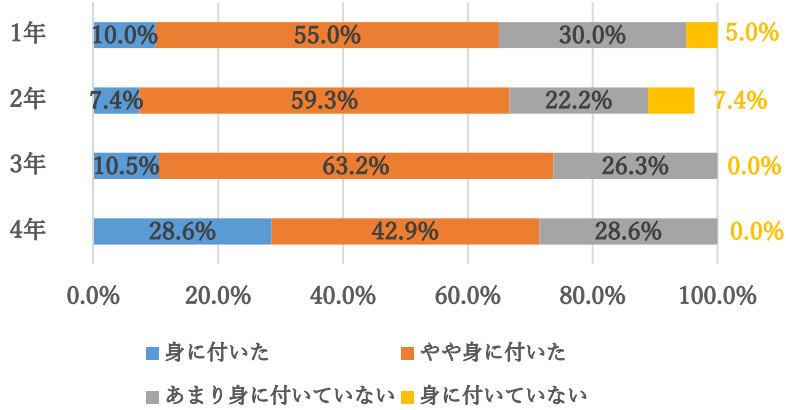
大学全体(学年別)



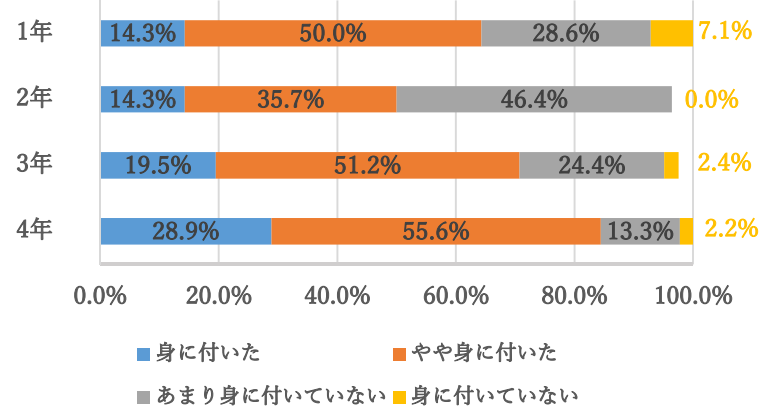
文学部(学科別)



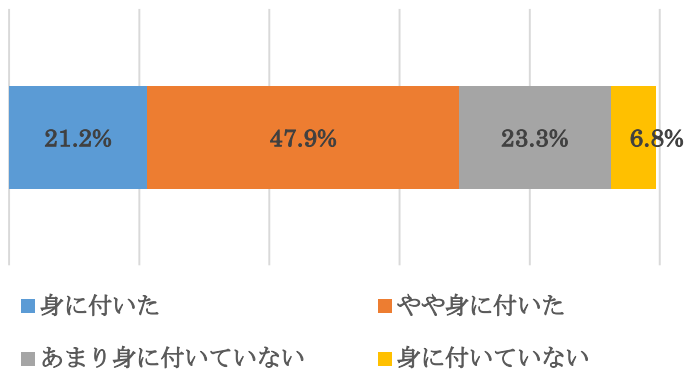
英語・英米文学科



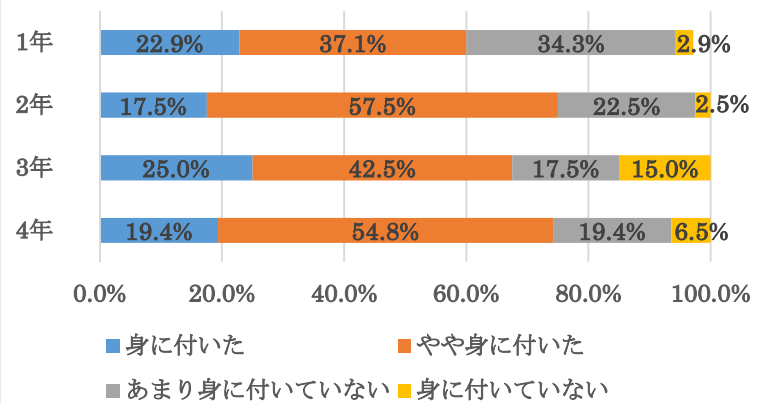
日本語・日本文学科



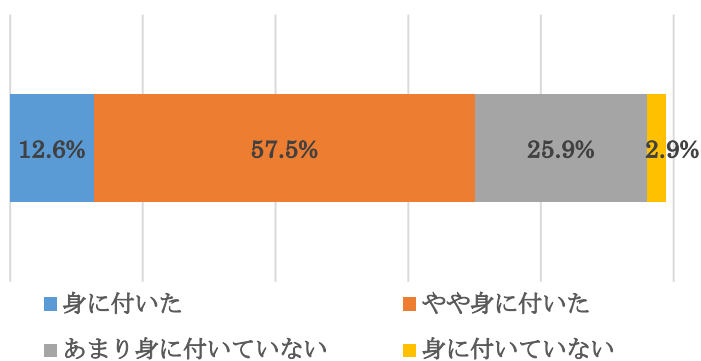
社会福祉学部



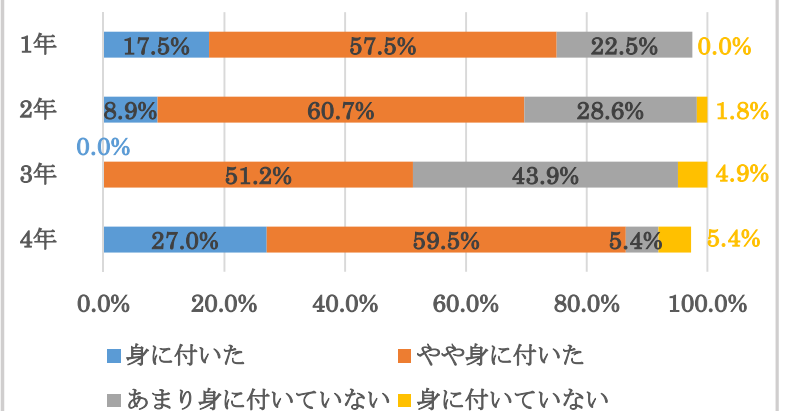
社会福祉学部(学年別)



看護学部

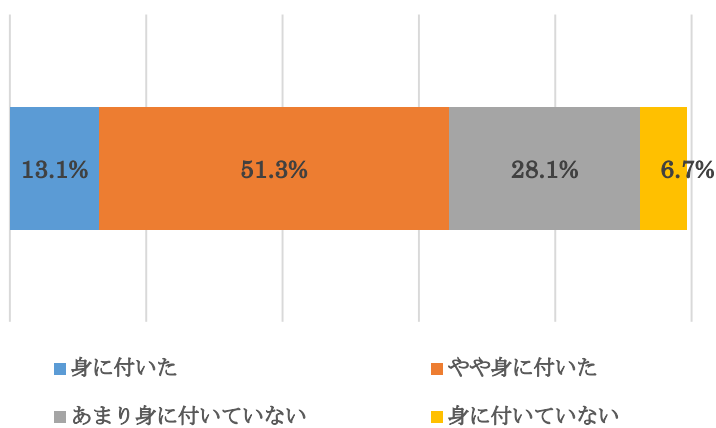


看護学部(学年別)

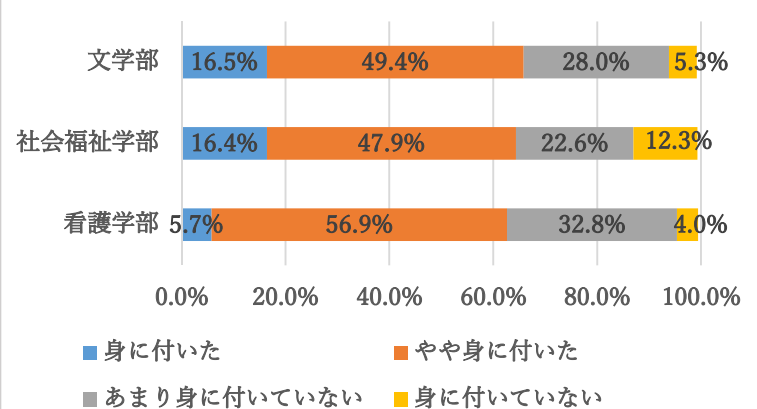


問 41 企画・アイデアなどの創造力が身に付きましたか。

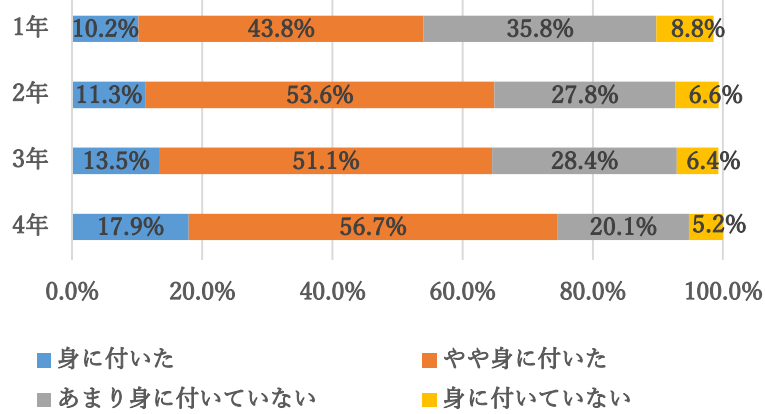
大学全体



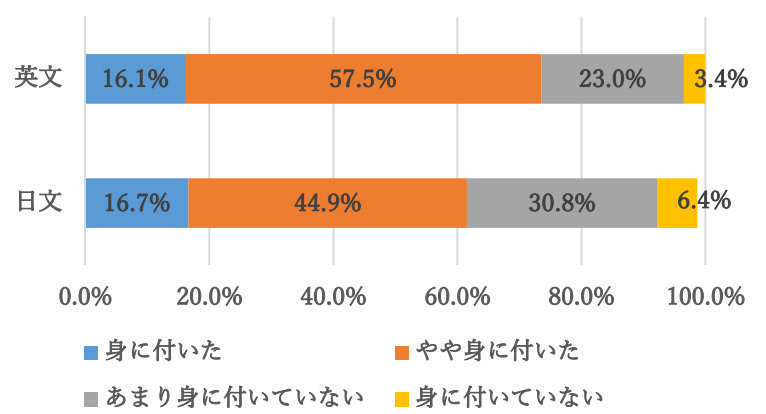
大学全体(学部別)



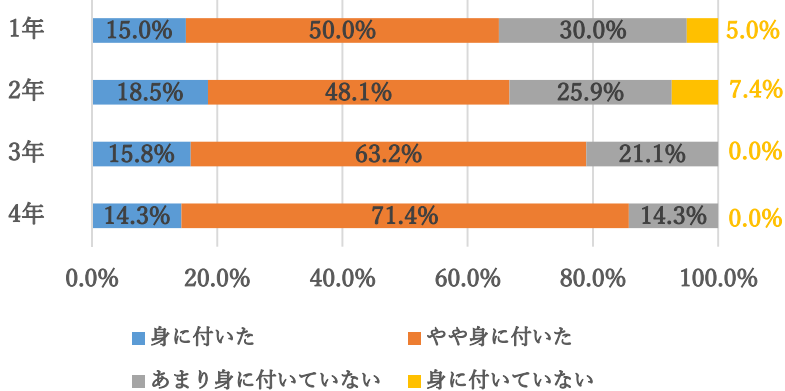
大学全体 (学年別)



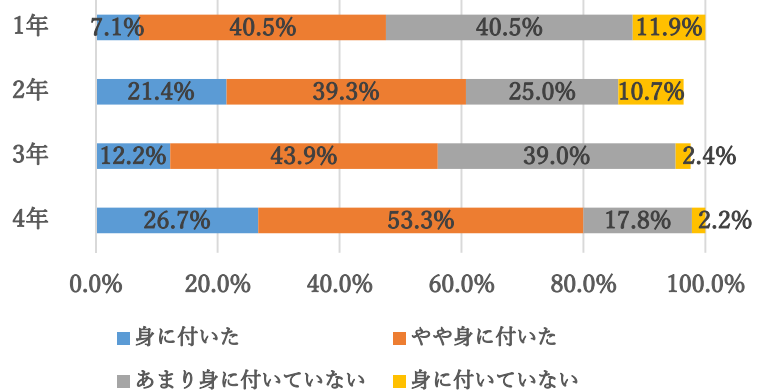
文学部(学科別)



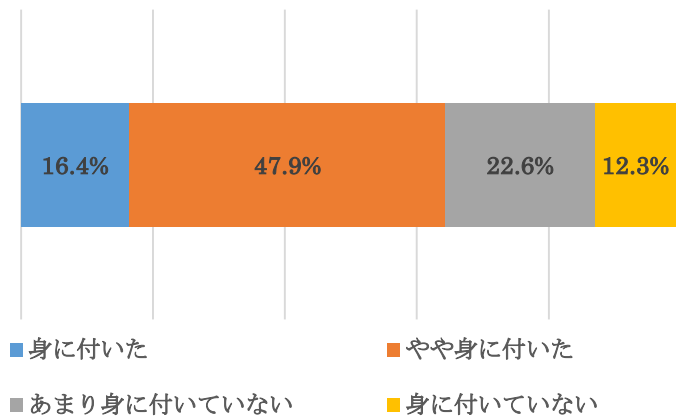
英語・英米文学科



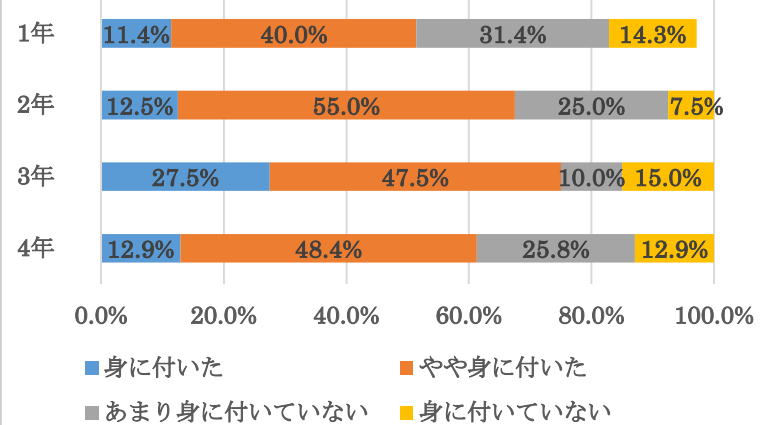
日本語・日本文学科



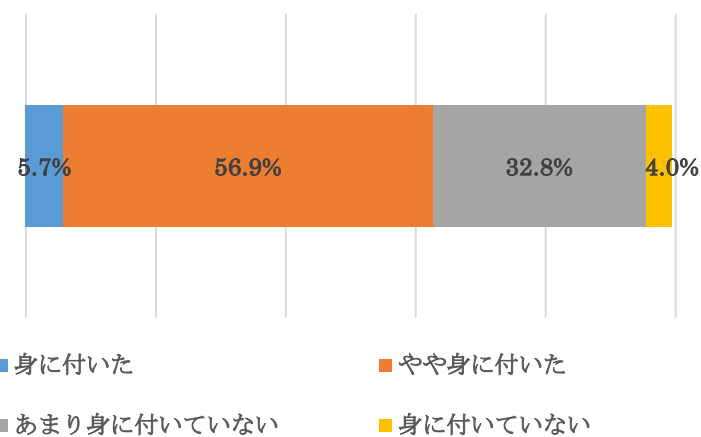
社会福祉学部



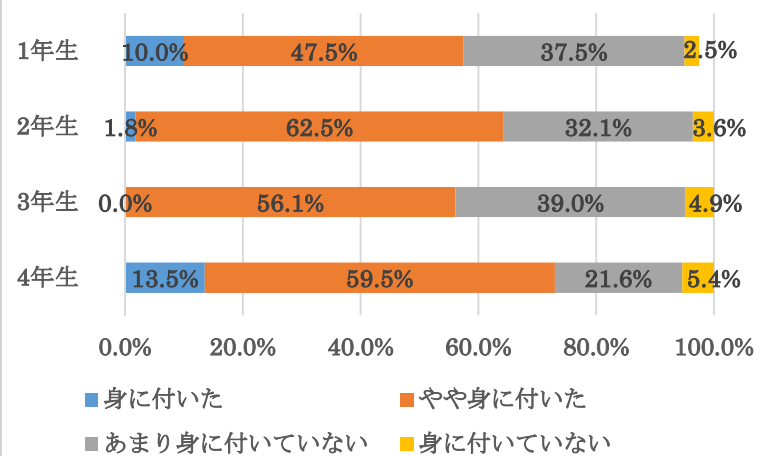
社会福祉学部(学年別)



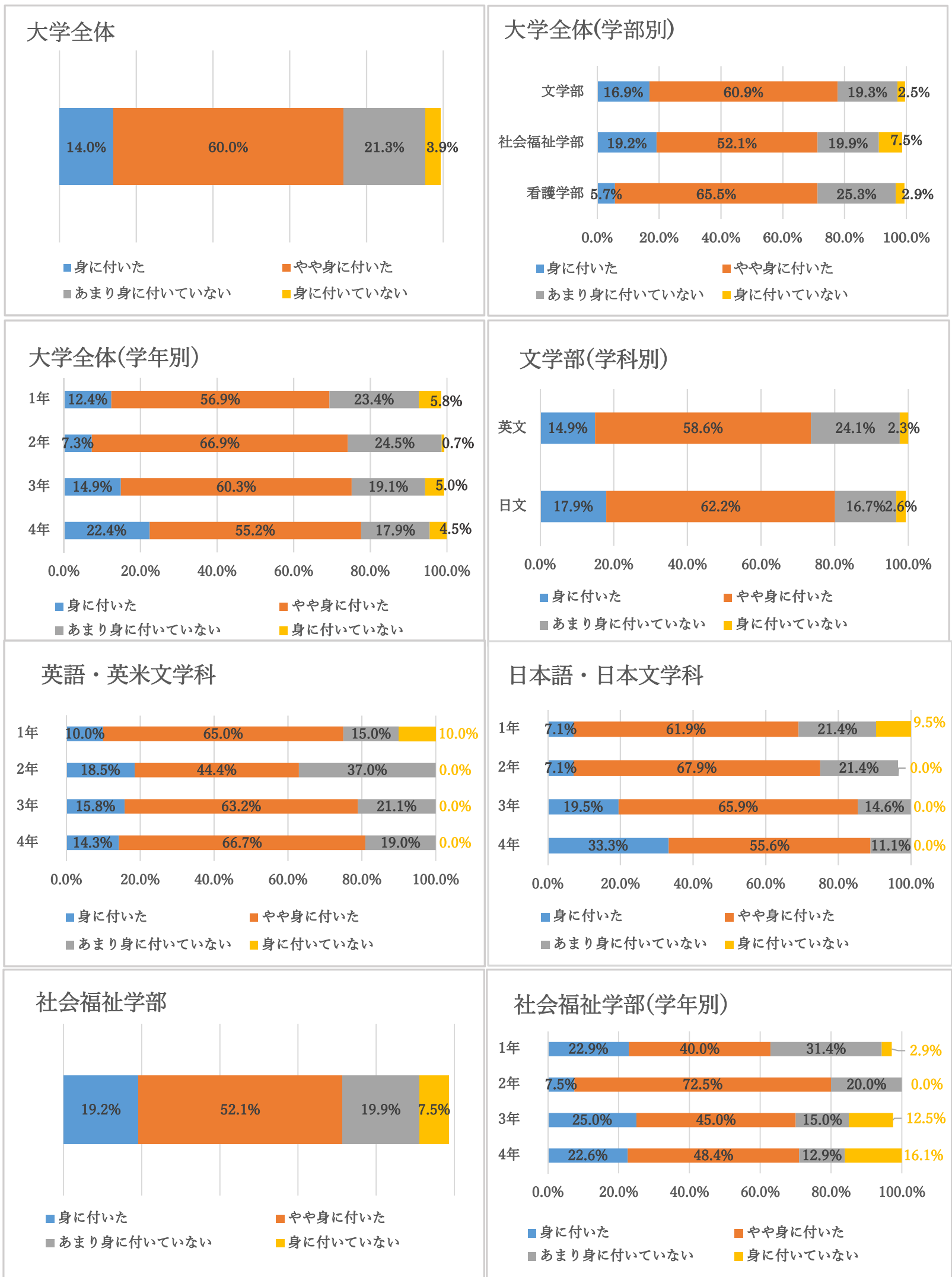
看護学部

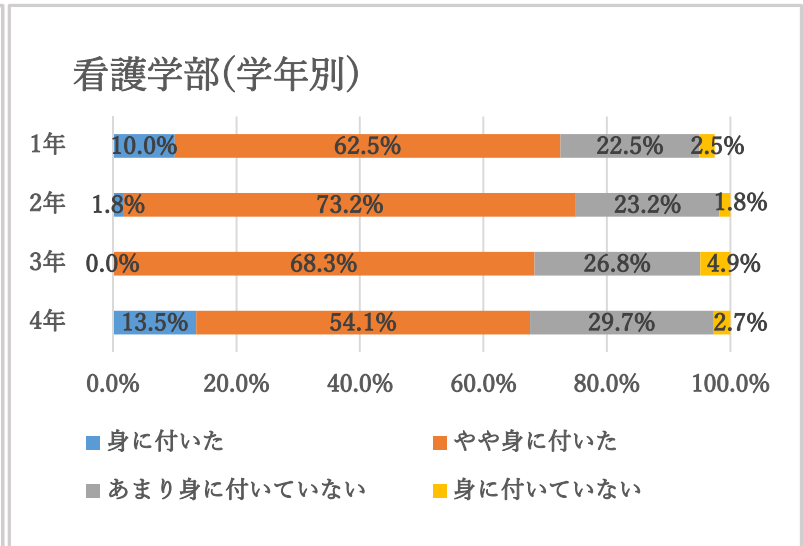
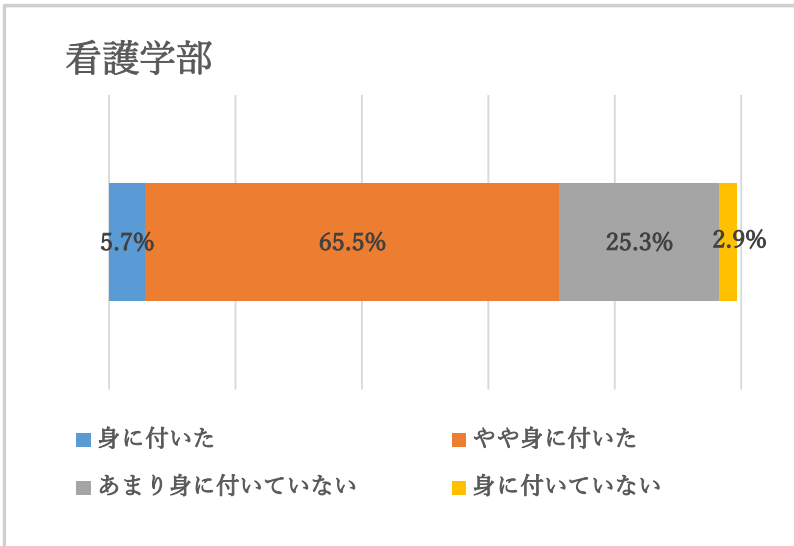


看護学部(学年別)

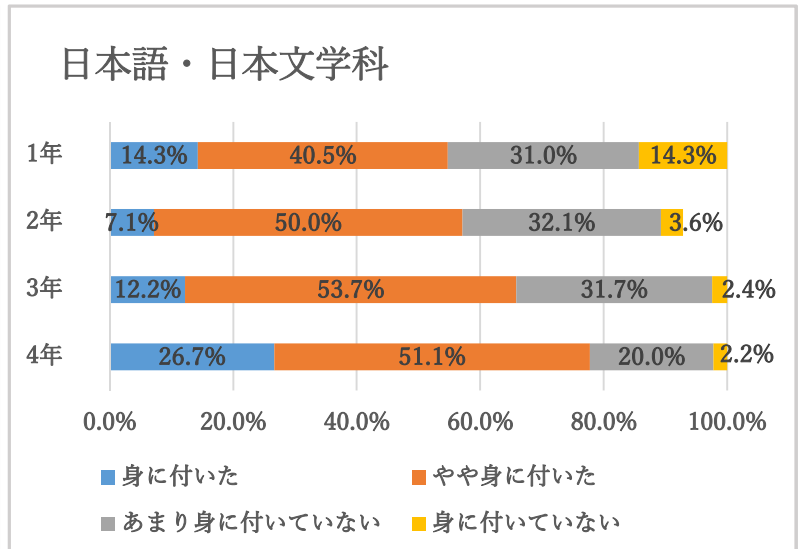
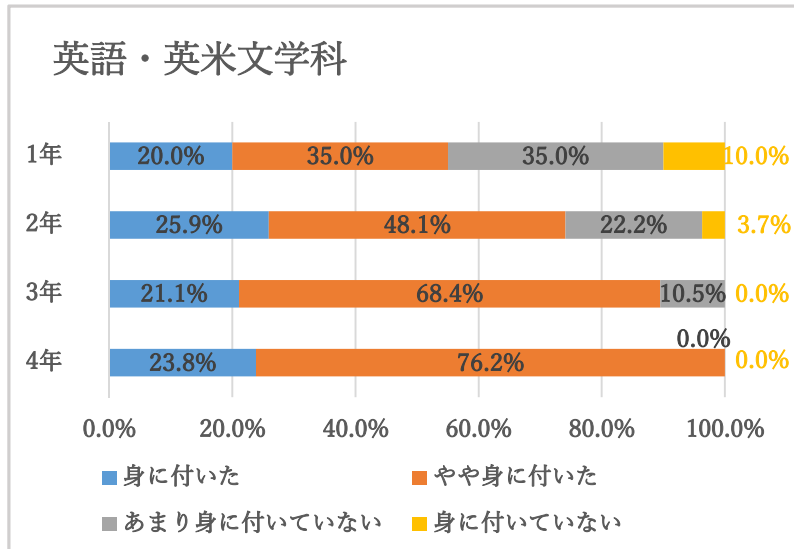
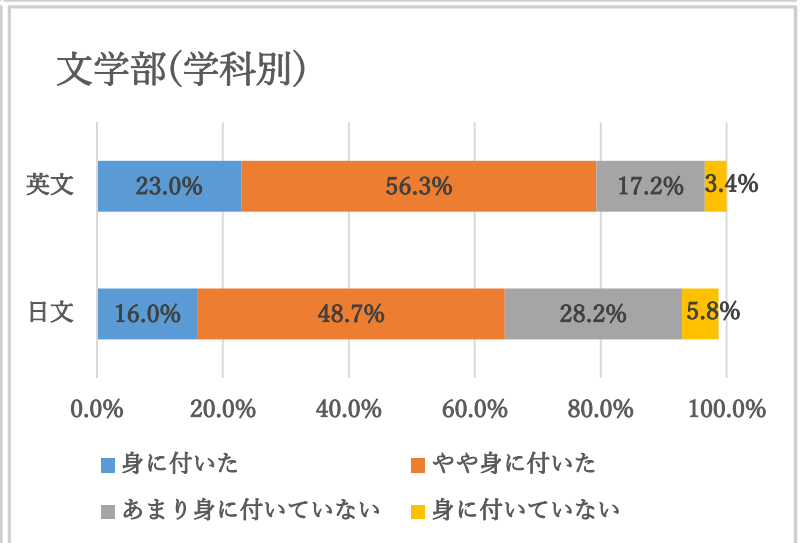
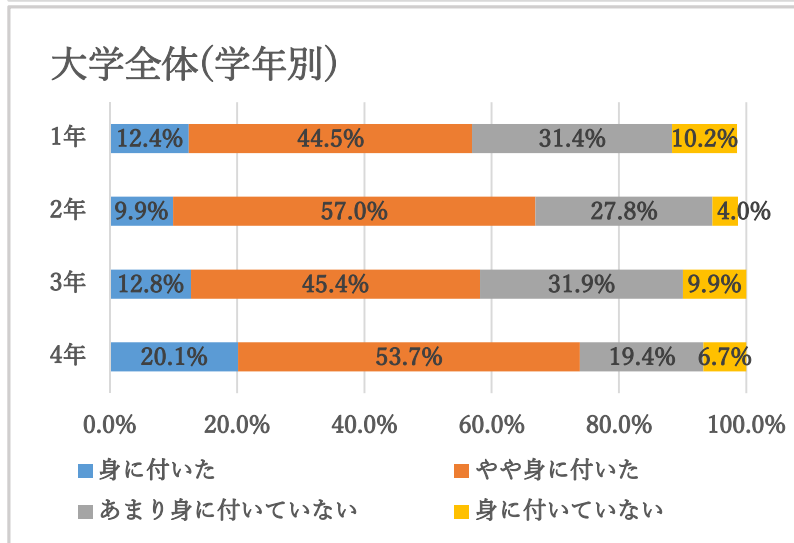
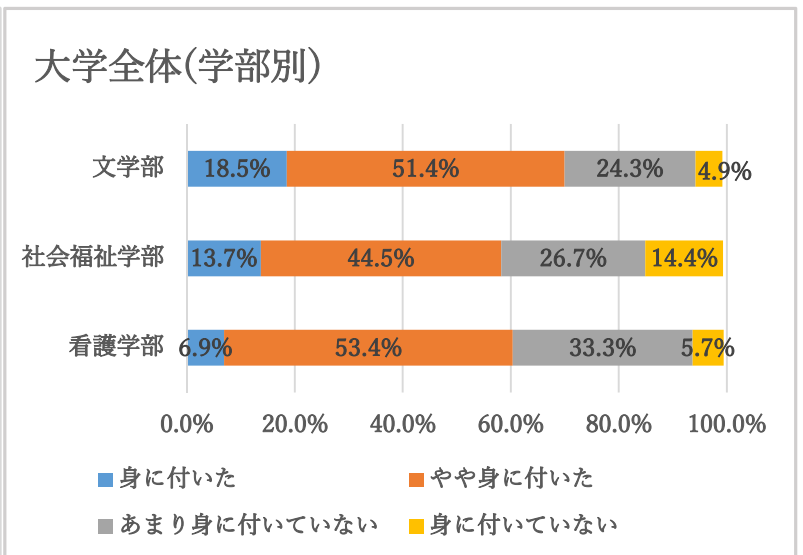
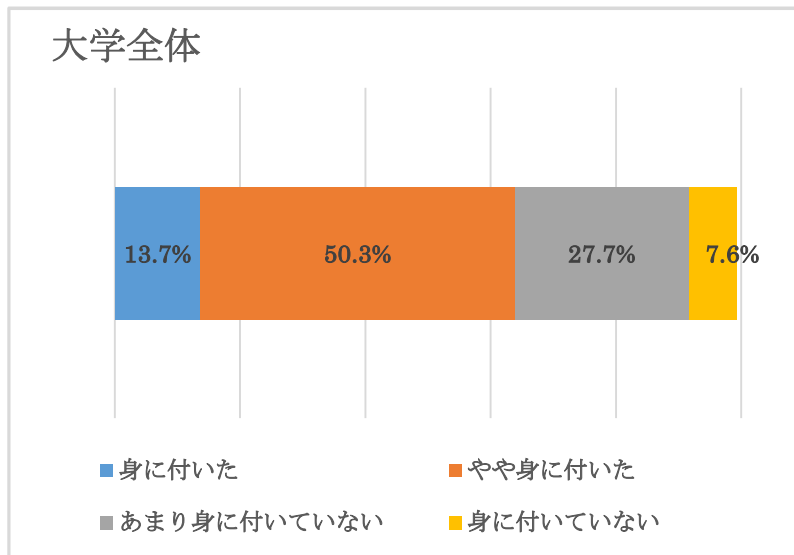


(2) 表現する力の変化、向上について
問 42 日本語表現能力が身に付きましたか。

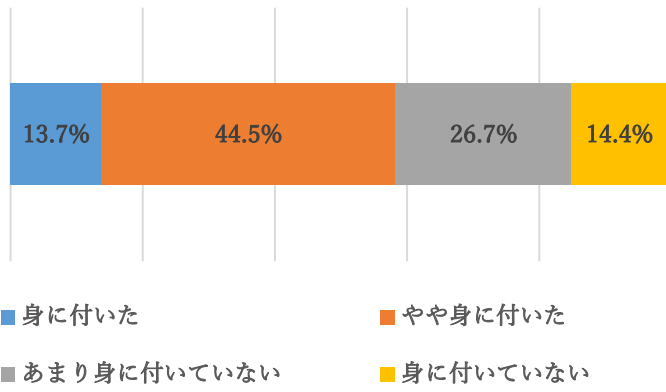




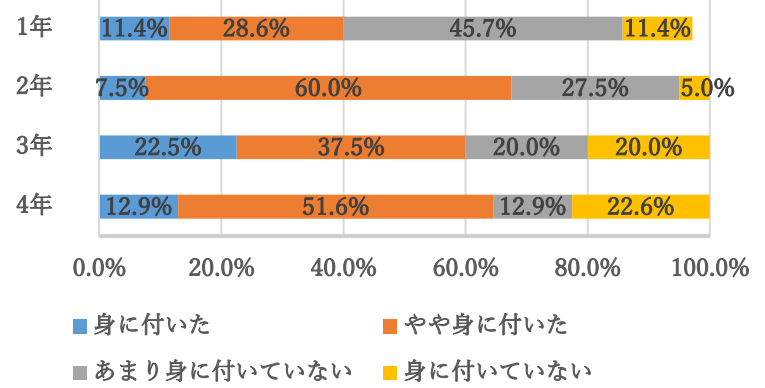
問 43 プレゼンテーション能力が身に付きましたか。



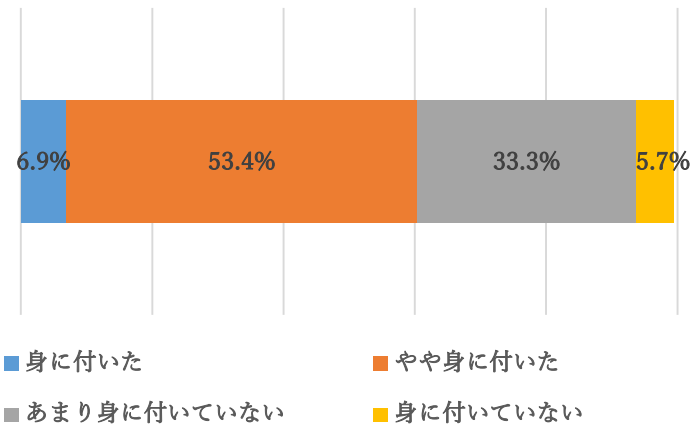
社会福祉学部



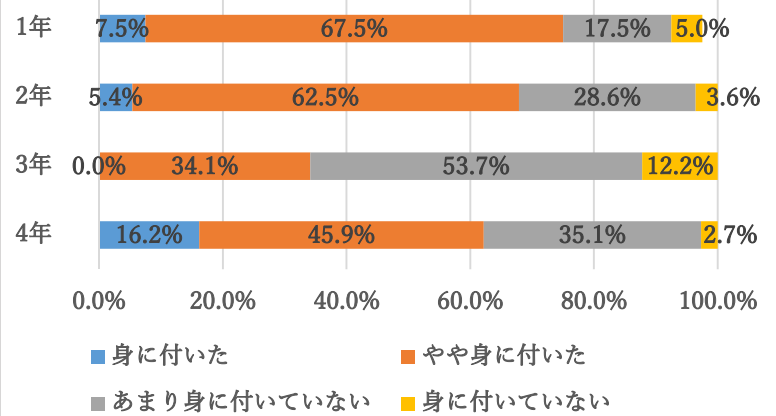
社会福祉学部(学年別)



看護学部

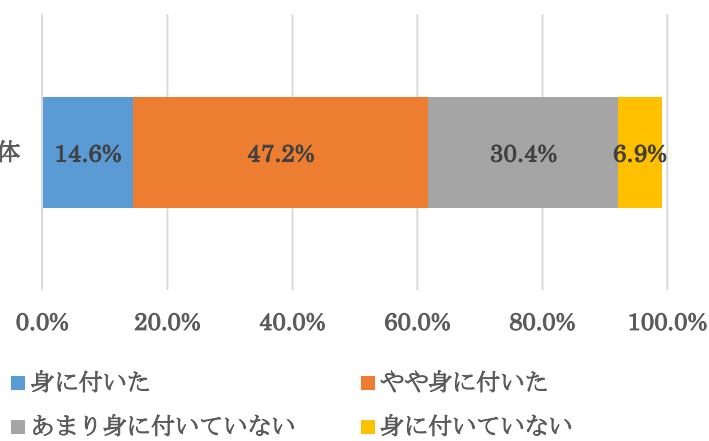


看護学部(学年別)

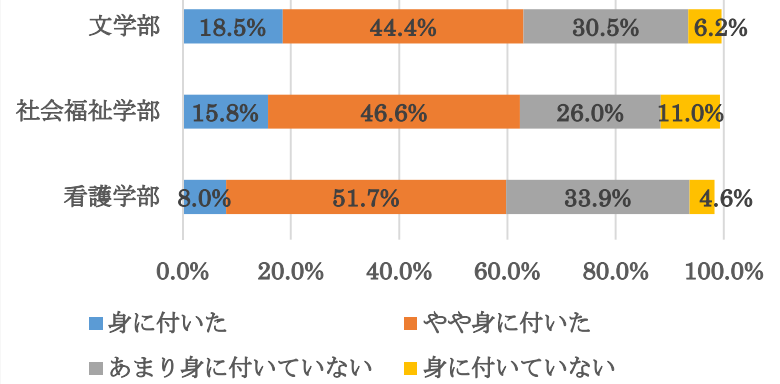


問 44 ディスカッション能力が身に付きましたか。

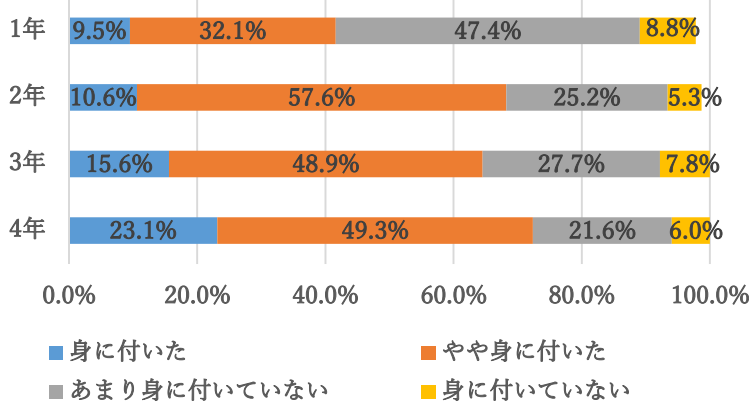
大学全体



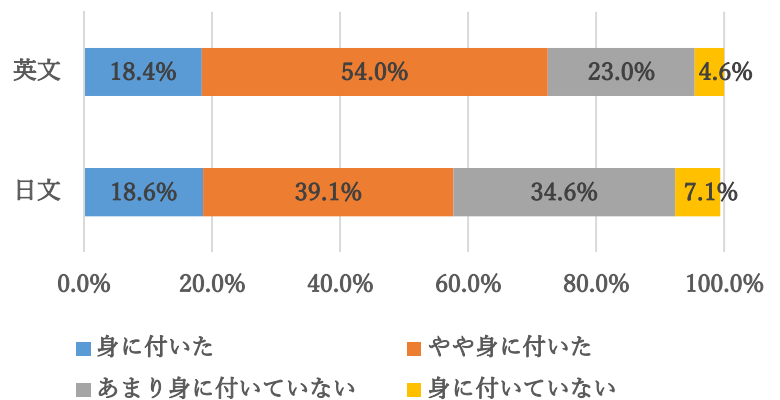
大学全体

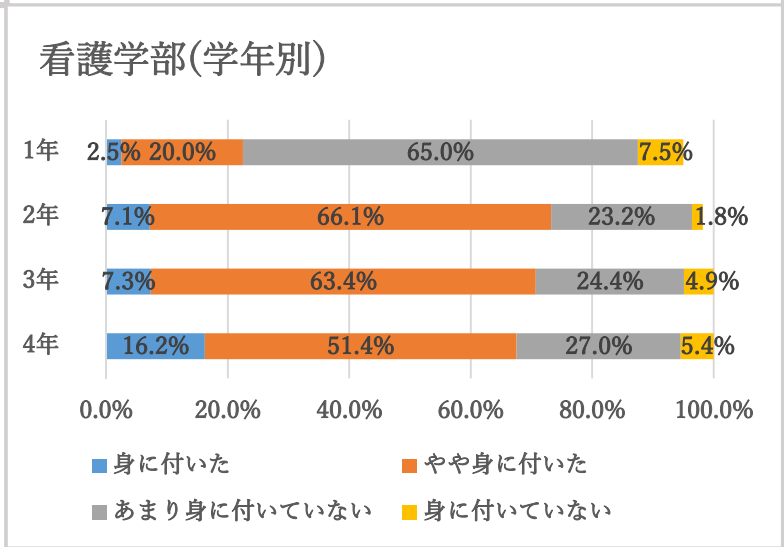
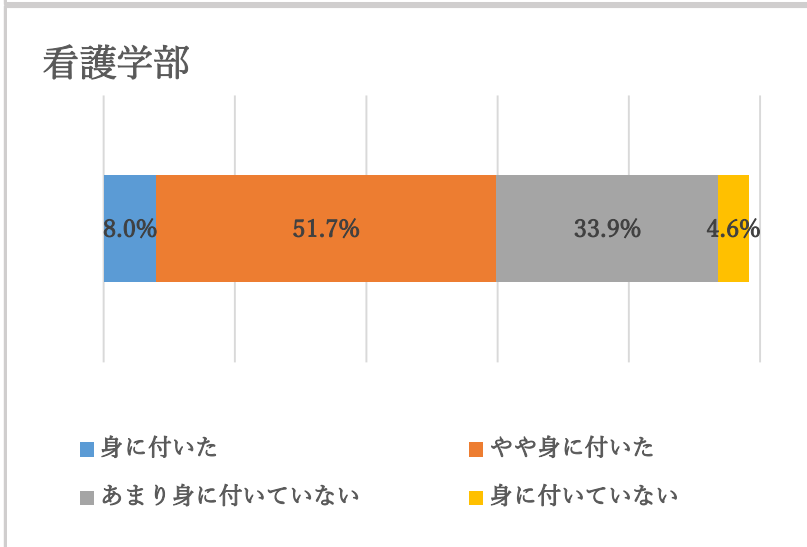
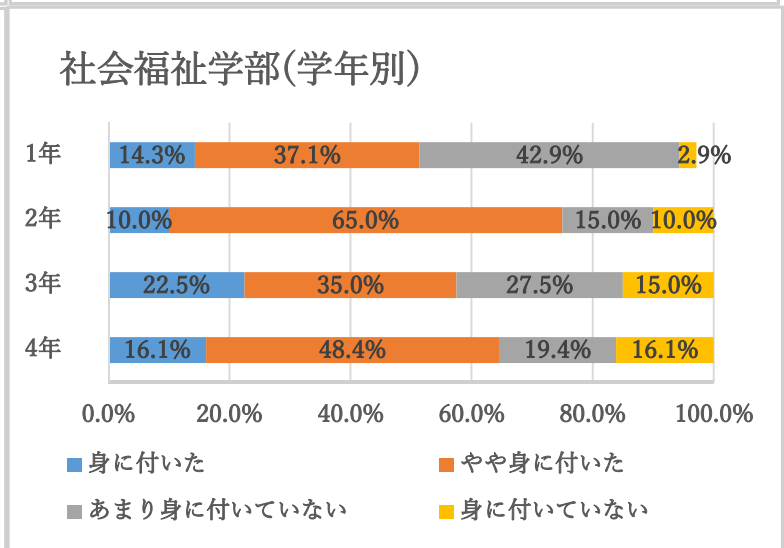
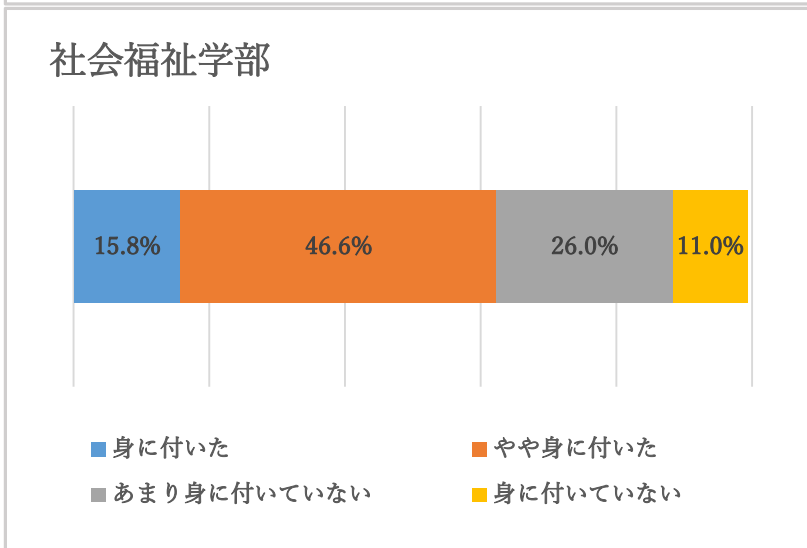
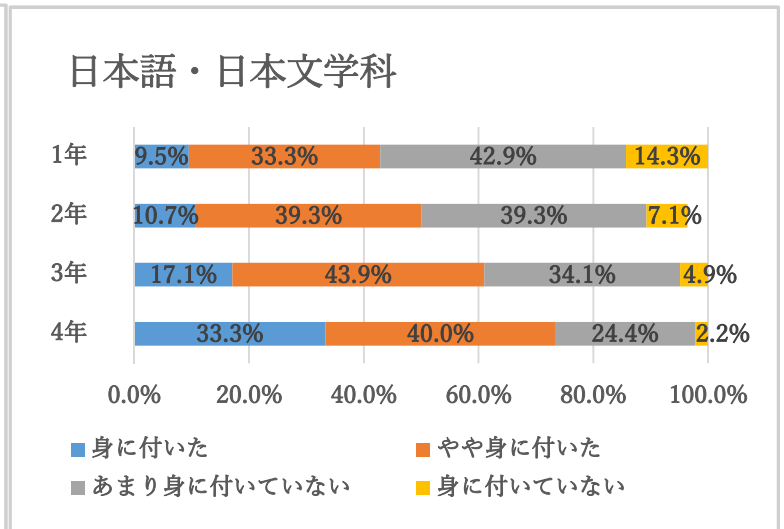
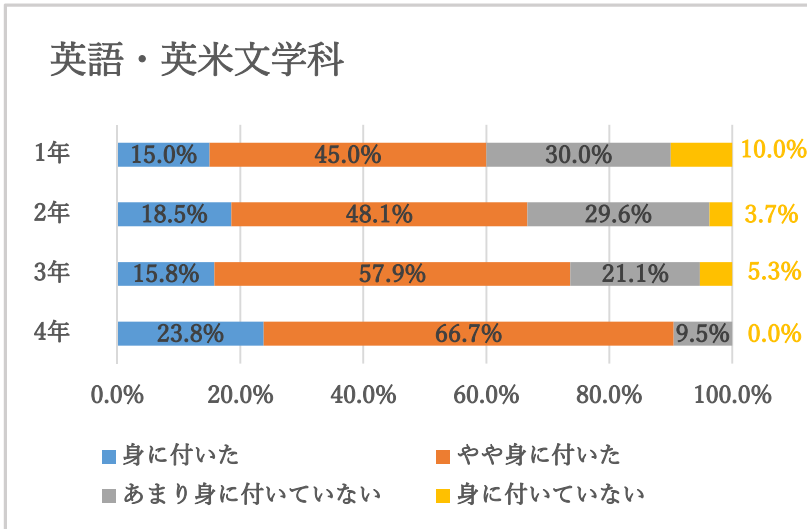


大学全体 (学年別)

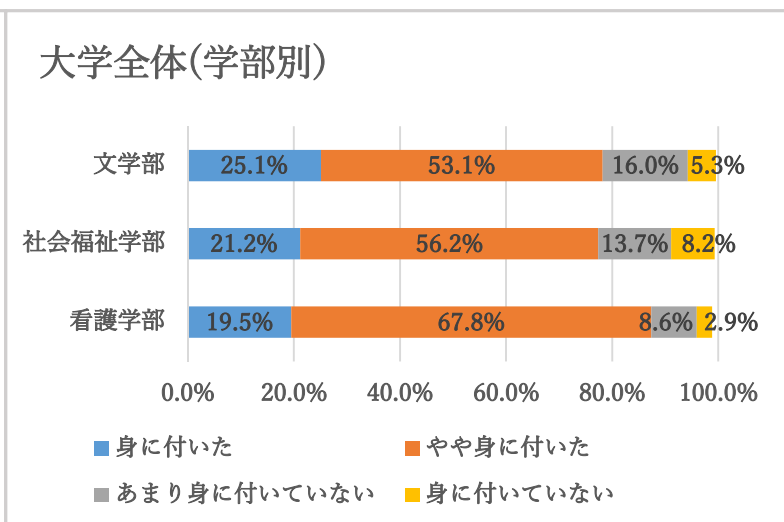
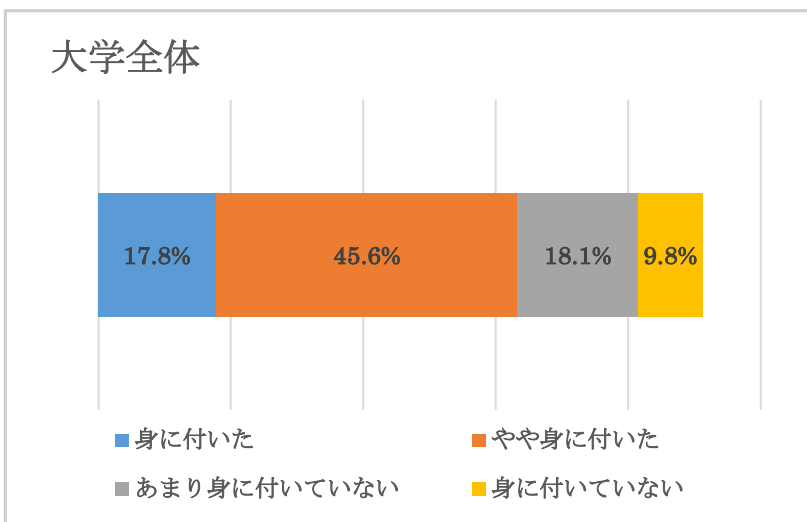


文学部学科別

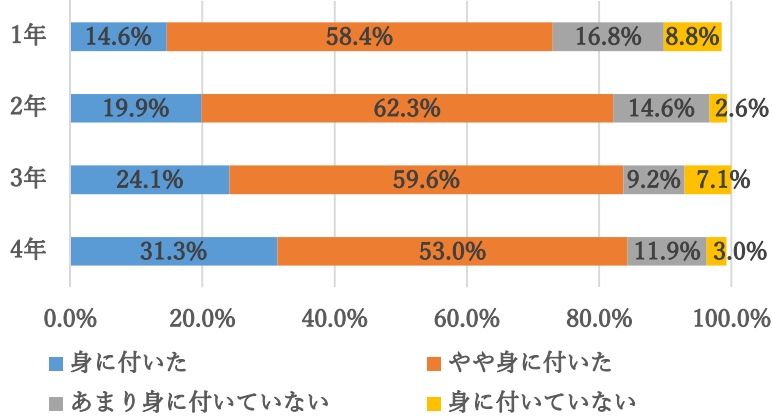




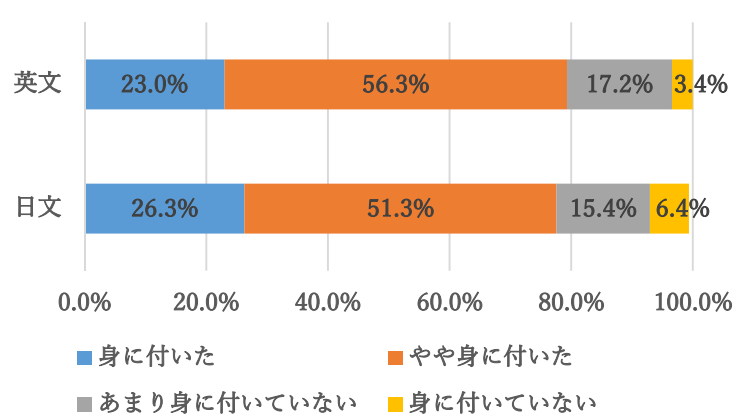
(3) 他者と協働する力の変化、向上について
問 45 他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。



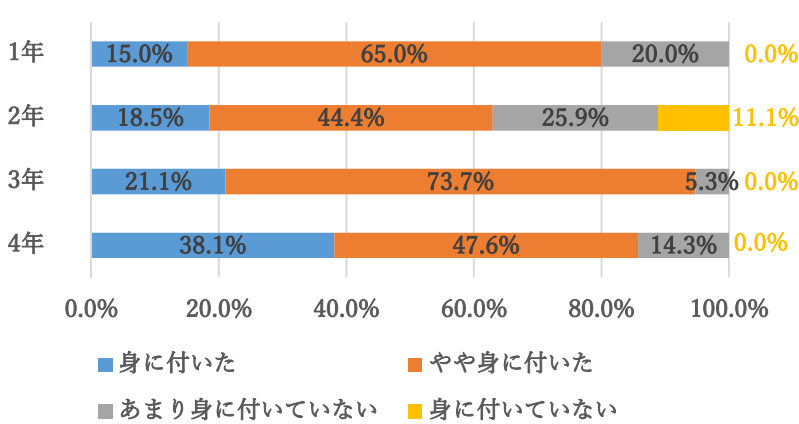
大学全体 (学年別)



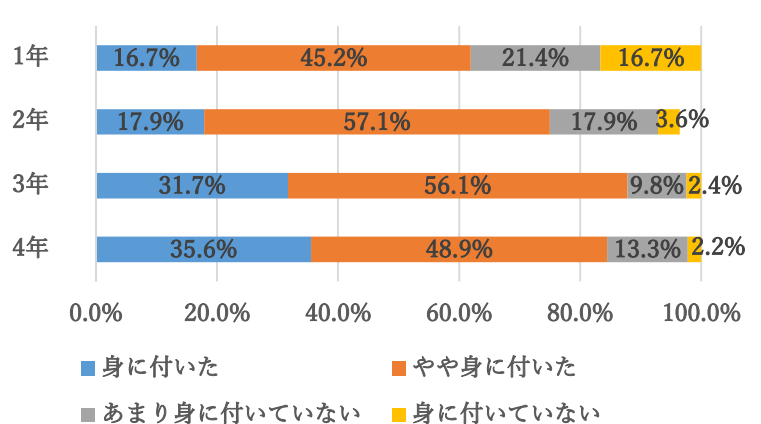
文学部(学科別)



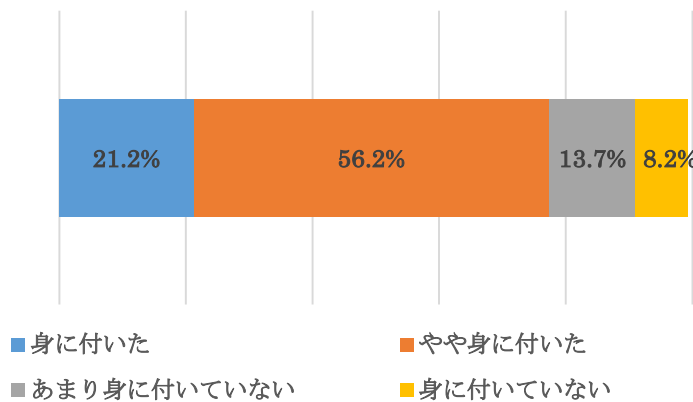
英語・英米文学科



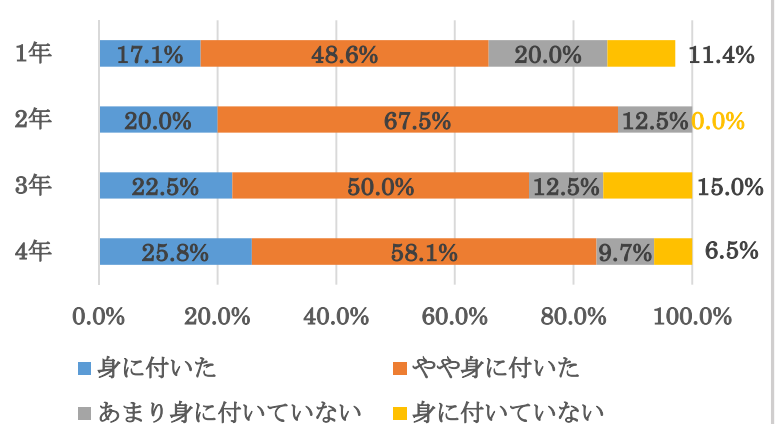
日本語・日本文学科



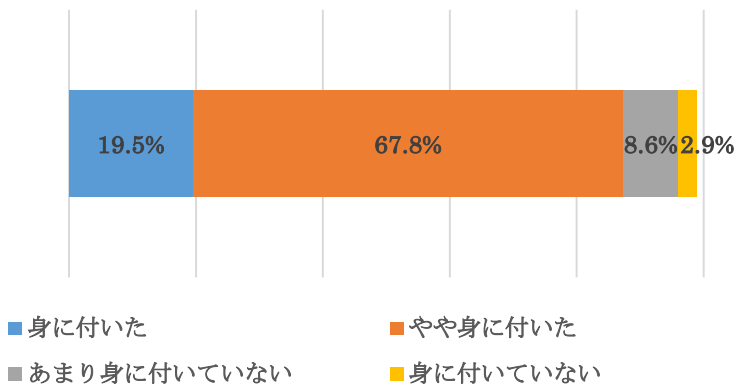
社会福祉学部



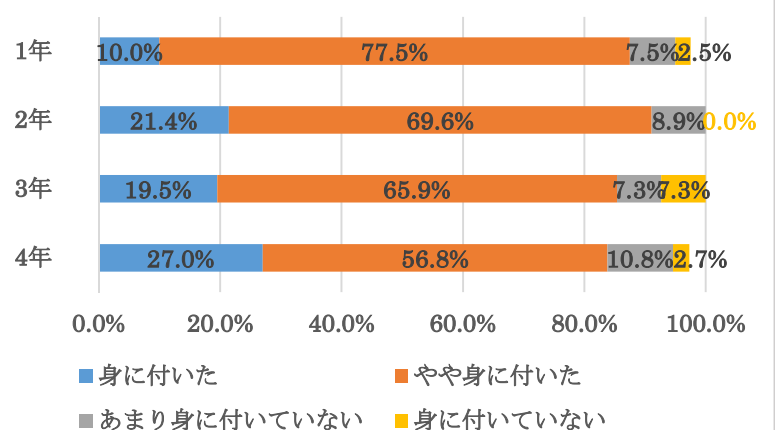
社会福祉学部(学部別)



看護学部

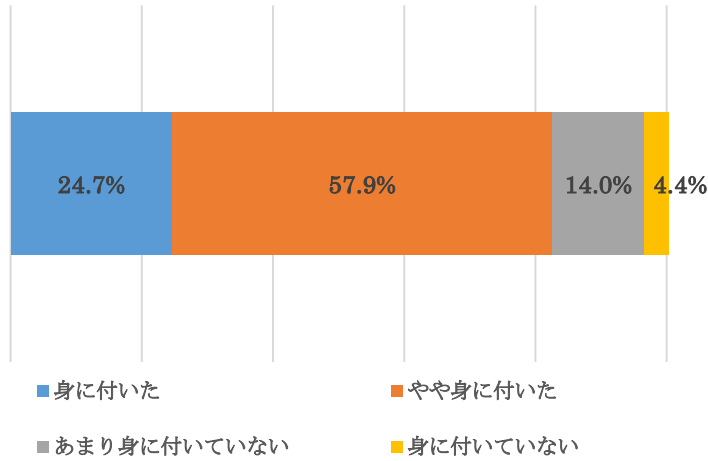


看護学部(学年別)

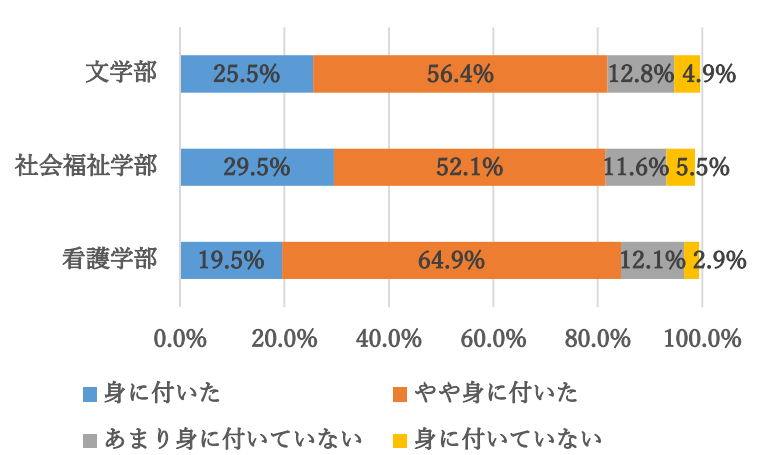


問 46 協働して物事を進める力が身に付きましたか。

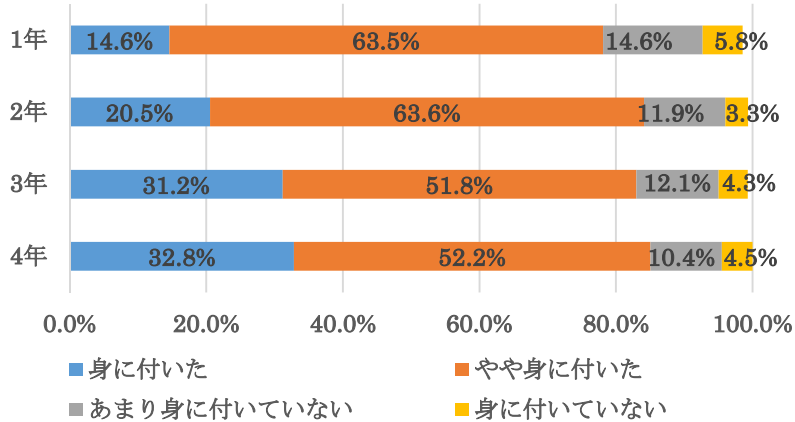
大学全体



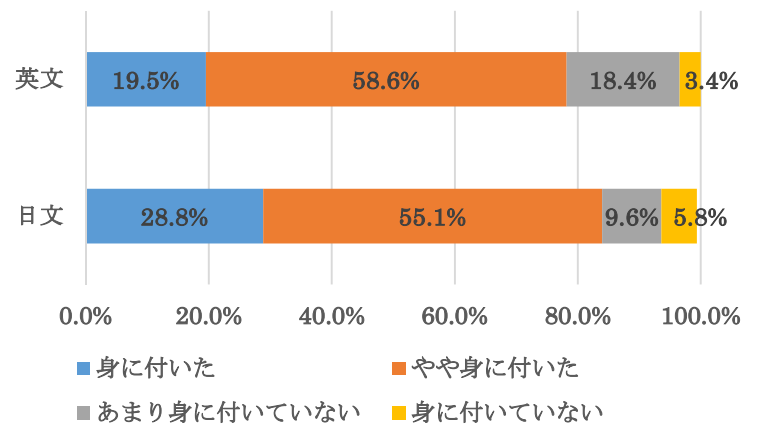
大学全体(学部別)



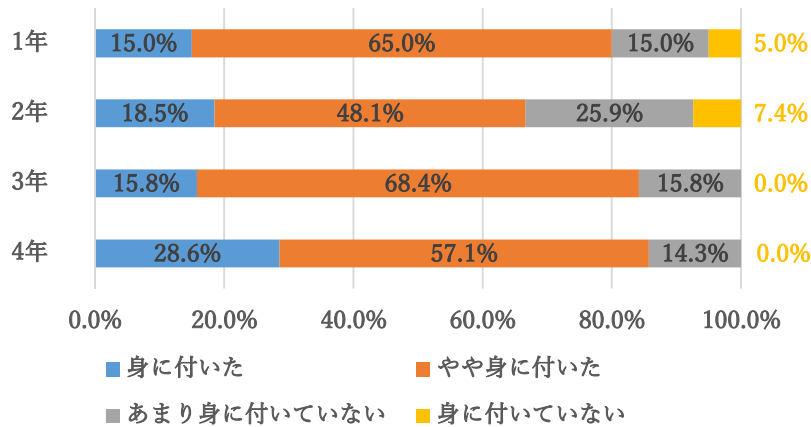
大学全体 (学年別)



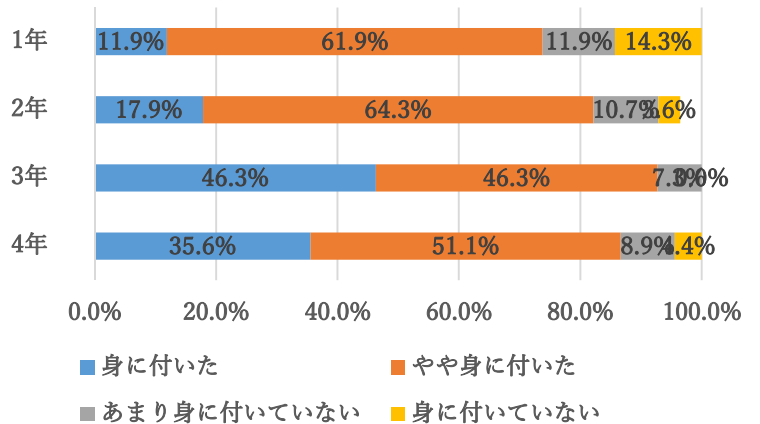
文学部(学科別)



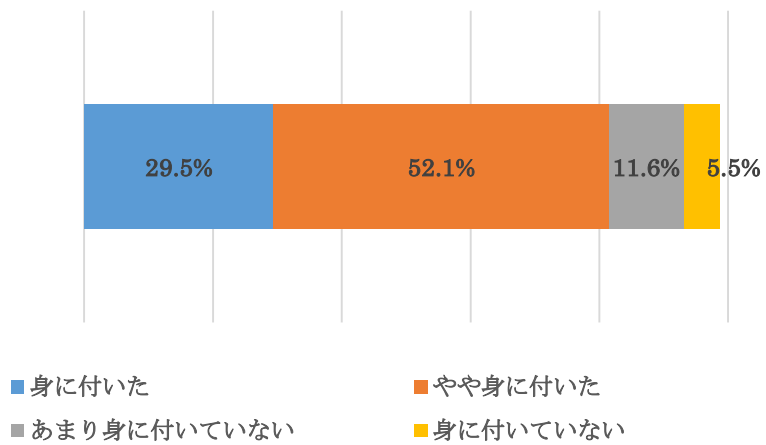
英語・英米文学科



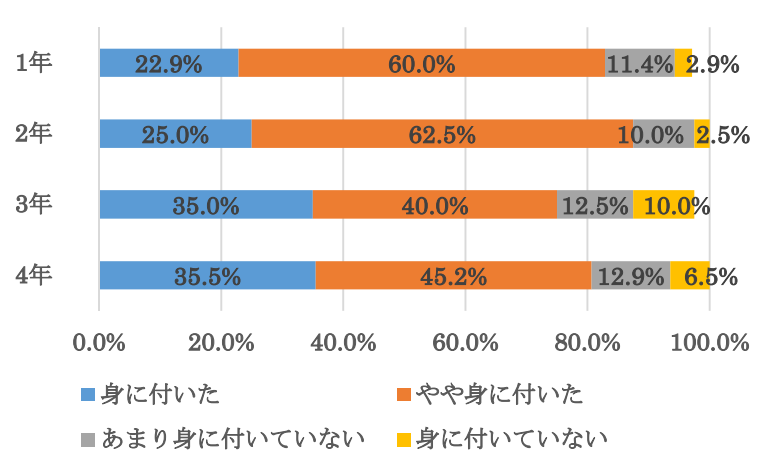
日本語・日本文学科

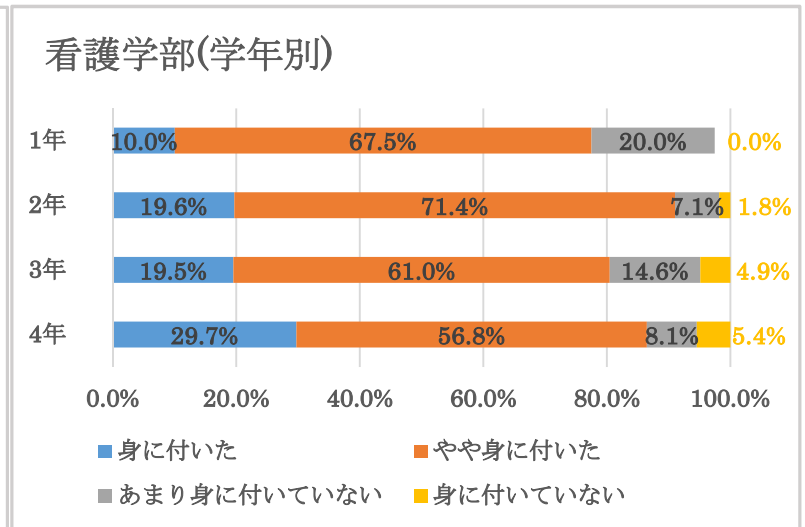
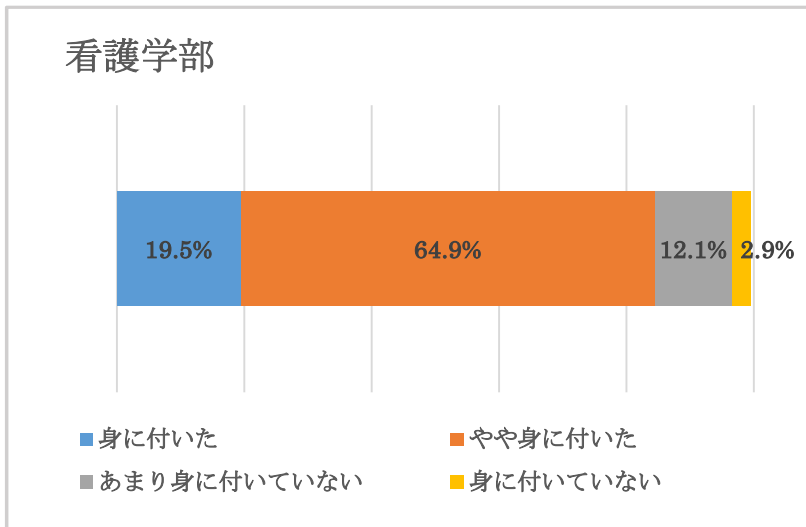


社会福祉学部

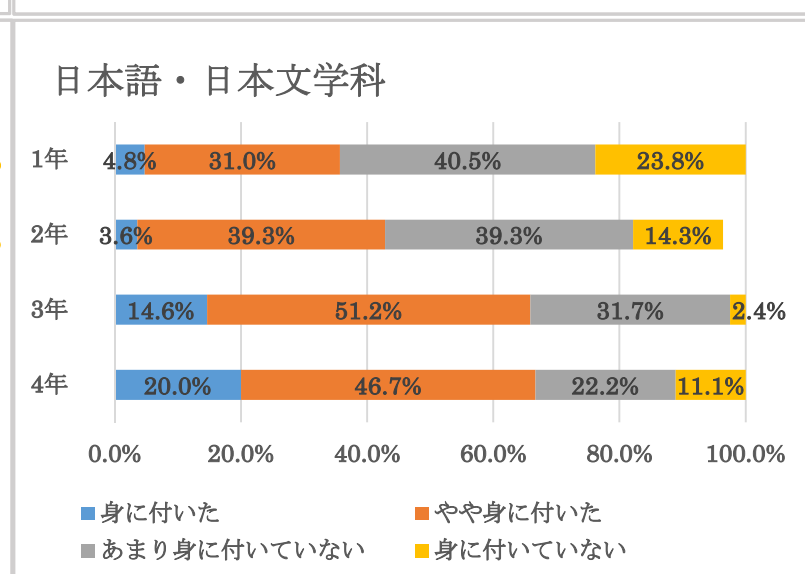
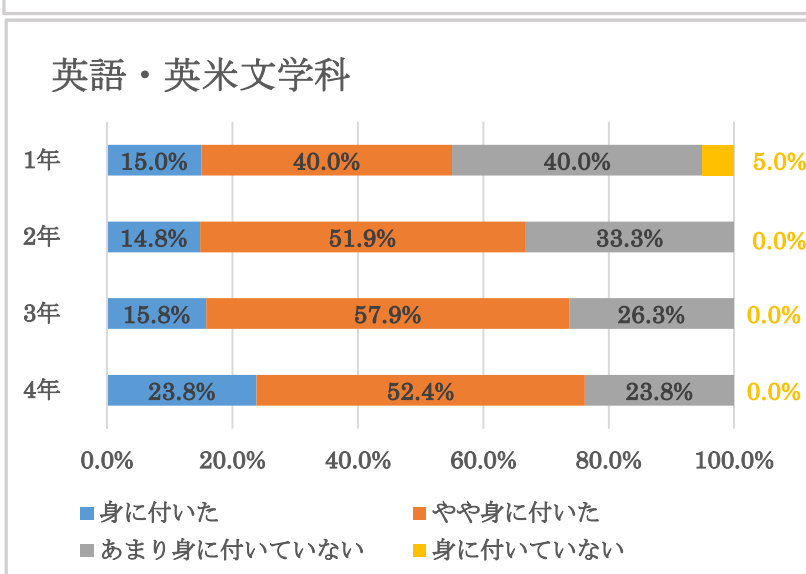
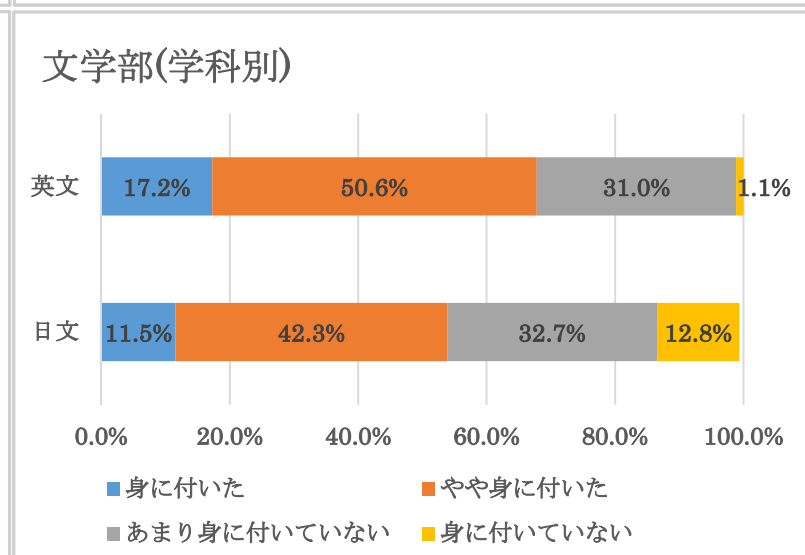
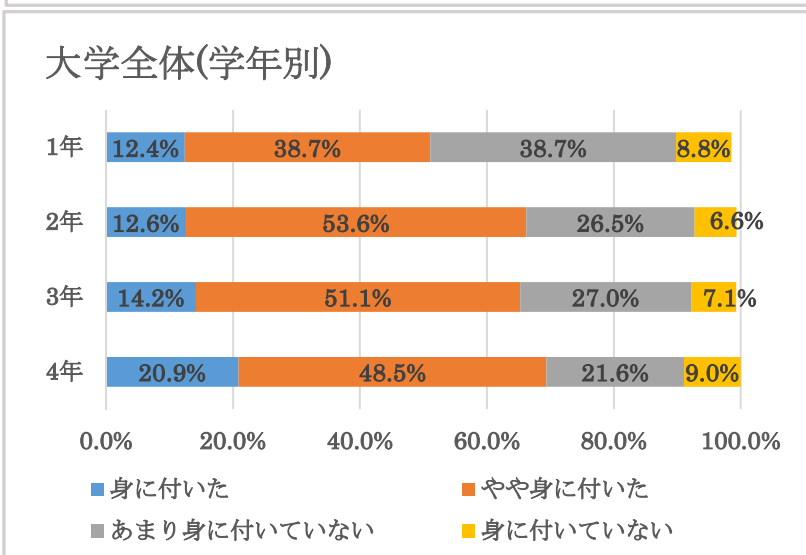
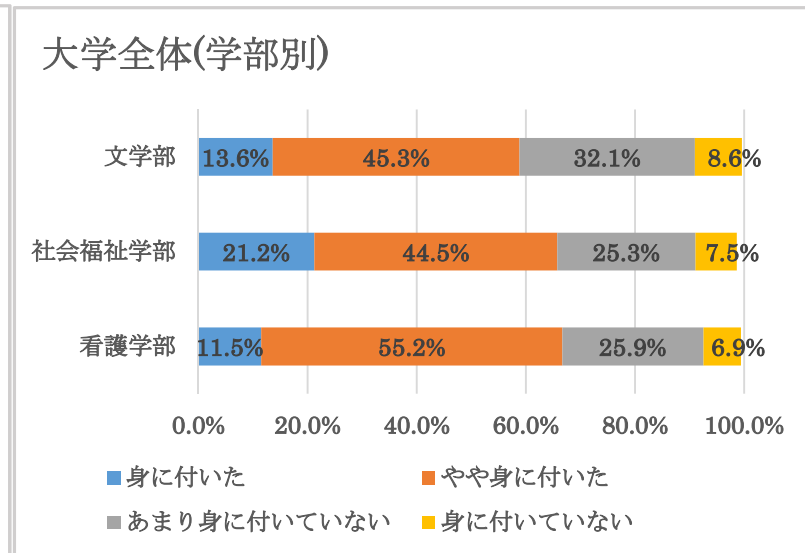
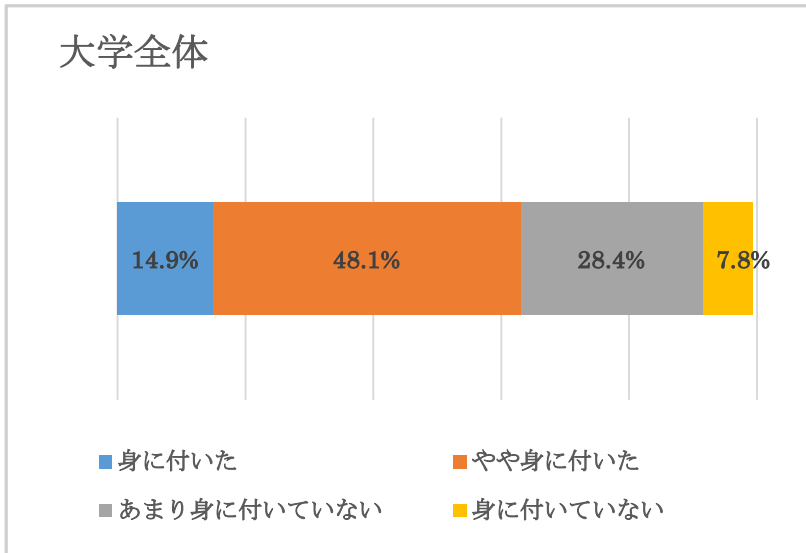


社会福祉学部(学年別)

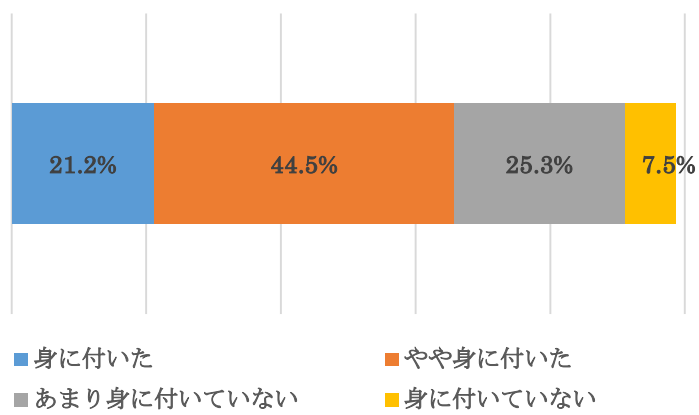




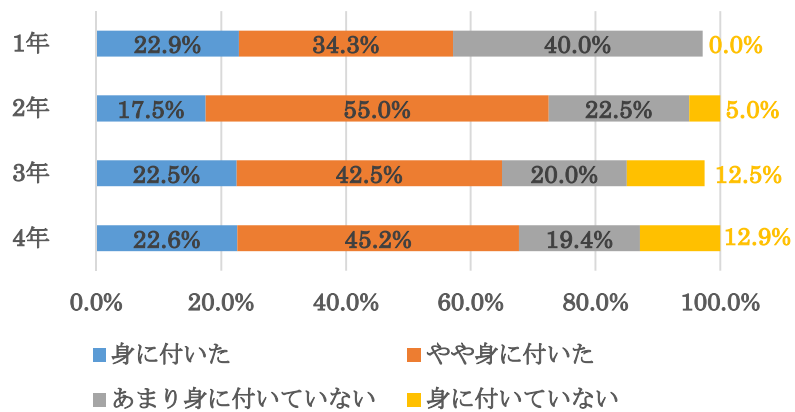
問 47 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。



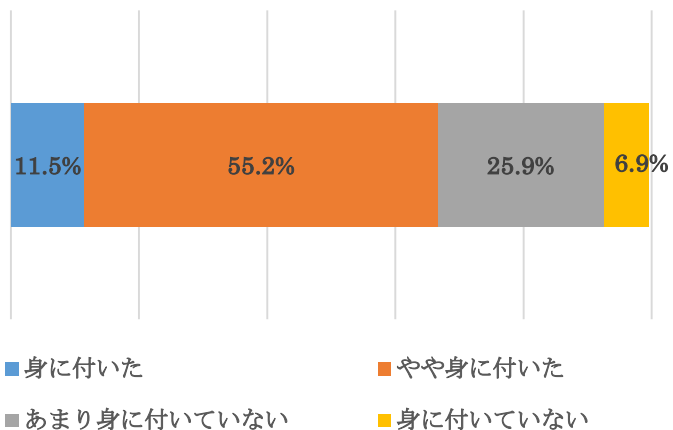
社会福祉学部



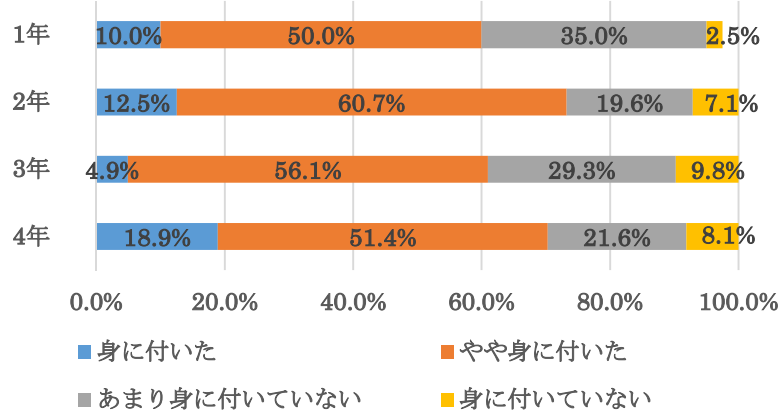
社会福祉学部(学年別)



看護学部



看護学部(学年別)



B 学修成果

B「学修成果」問 22～47 の図表・グラフ (31-63 ページ) を参照されたい。

1. 教育理念 (建学精神)、C・P、D・P

本学の建学の精神が、どの程度理解され、浸透しているか、また学士課程教育の骨格部分がどの程度把握されているかを尋ねた。

問 22 建学の精神

リトリート、その他授業等において、本学の歴史、沿革とともに説明しているはずであるが、全体では、「あまり知らない」が 35.2%、次いで「知らない」が 27.2%を占め、6 割以上の学生が建学の精神を知らない状況である。

問 23 カリキュラムポリシーとディプロマポリシーの浸透度

大学の教育課程・カリキュラムの仕組みや、それらを通して、卒業時に身につけているべき知識、技能、能力について、全体として、「知らない」が 36.4%、「あまり知らない」が 36.8%で、「知らない・あまり知らない」が 7 割超であるのは今後の課題となろう。

2. 外国語能力

選択した外国語能力について、「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価は、一般的に低く、とくに問 26 会話力では、「身に付いていない・あまり身に付いていない」の方が「身に付いた・やや身に付いた」よりも 10 ポイント高い。

問 24 選択した外国語

選択した外国語で、最も多いのが英語 48.5%で、次いで中国語 14.6%、フランス語 10.5%、ドイツ語 8.5%、韓国語 1.2%と続く。英語以外では中国語は文学部で多く、フランス語は社会福祉学部が多い。

問 25 読む力

全体では、「身に付いた」が 10.3%、「やや身に付いた」が 44.0%で、合わせて 5 割以上となるが、反面、「あまり身に付いていない」21.3%と「身に付いていない」11.7%で、3 割以上が否定的である。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答をみると、各学部とも、1 年次の割合が高い。

問 26 会話力

全体では、「身に付いた」が 6.4%、「やや身に付いた」が 32.7%で、約 4 割となるが、反

面、「あまり身に付いていない」30.9%と「身に付いていない」17.9%で、約5割が否定的である。前問「読む力」と比較して、「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答は総じて低い。

問27 書く力

全体では、「身に付いた」が8.7%、「やや身に付いた」が39.3%で、約5割が肯定的であるが、反面、「あまり身に付いていない」25.0%と「身に付いていない」14.7%で、約4割が否定的である。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的回答をみると、問25「読む力」の場合と同様、各学部とも、1年次の割合が高い。

問28 語学の資格

大学入学後に取得した語学の資格、あるいは検定試験での点数等を尋ねた。

「ある・目指している」は2割に満たないが、学部・学科の特色を反映して文学部・英語英米文学科は5割を超えている。大学全体として学年が上がると「ある・目指している」は低くなる。なお「ある」と回答し、具体的に記した資格・点数は次にとどまる。

- ・英検準2級（日文1年、英文2年（2件）、英文4年）
- ・英検2級（日文1年、英文4年）
- ・TOEIC（510点—日文2年、日文3年、英文4年）
- ・TOEIC（610点—日文1年、英文4年）

3. ICTリテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）

この習熟度について、「あまりできない・ほとんどできない」の否定的回答が、文章作成ソフト、プレゼンテーションソフト、表ソフトの順で増加している。

問29 文章作成ソフト

「だいたいできる」が57.5%で最も多く、「よくできる」が21.5%でそれに次ぐ。「かなりよくできる」を含めて、全体として85.4%ができる系の回答である。学年別では、学年が上がるにしたがって、「だいたいできる」以上の肯定的回答が増している。

問30 プレゼンテーションソフト

「だいたいできる」が54.0%で最も多く、これに次ぐのが「あまりできない」17.4%で、次いで「よくできる」が14.6%である。「かなりよくできる」を含めて、全体として74.3%ができる系の回答である。前問に比べて、できない系の回答が増えている。学年別では、学年が上がるにしたがって、「だいたいできる」以上の肯定的回答が増えている。

問31 表ソフト

全体として「だいたいできる」が41.7%で最も多いが、次に多いのが「あまりできない」30.9%である。「だいたい・よく・かなり」合わせて54.4%となるが、反面、「あまりできない」と「ほとんどできない」14.2%の否定的回答を合わせると45.1%にも達する。前問30のプレゼンテーションソフトよりも習得度が低い。

問32 取得したICT関連資格、または検定試験受験の有無

大学入学後に取得したICT関連の資格、あるいは検定試験での点数等を尋ねた。「ある」は5%、「目指している」は10.3%で、合わせても約1割5分である。学部別の差も、学年別の相違もとくに見られない。なお「ある」と回答し、具体的に記した資格は次にとどまる。

- ・ワード、エクセル、パワーポイントスペシャリスト（日文1年、英文4年）

4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル

知識・教養、および書くスキル、情報収集スキル、専門的知識・スキルについて、「身に付いた・やや身に付いた」はそれぞれ、86.1%、83.6%、85.9%、83.2%と8割超であるが、「身に付いた」は、24.9%、19.4%、19.9%、17.4%であり、とくに後三者は2割に届いていない。

問33 幅広い知識、教養が身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が61.1%で最も多く、次いで「身に付いた」が24.9%であり、86%が肯定的評価である。「身に付いた」について、学年別では、全体としては各学部とも1年次が比較的高いが、2年次にいったん下がるもの、3年次、4年次と次第に上がっていく傾向がある。

問34 レポート・論文作成上の書くためのスキルが身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が64.1%で最も多く、次いで「身に付いた」が19.4%であり、約8割4分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、「身に付いた」は学年が上がると多くなるが、「やや身に付いた」は2年次から3年次にかけていったん低下し、4年次に増加するという傾向がある。

問35 レポート・論文作成上の情報収集のスキルが身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が65.2%で最も多く、次いで「身に付いた」が19.9%であり、8割5分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、「身に付いた」は学年が上がると多くなるが、「やや身に付いた」は2年次から3年次にかけていったん低下し、4年次に増加するという傾向があるのは前問と同様である。

問 36 専門的知識やスキルが身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が 65.7%で最も多く、次いで「身に付いた」が 17.4%であり、8割3分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、「身に付いた」は1年次から2年次にかけていったん減少するが、3年次、4年次に増加するという傾向がある。

5, 総合的な力

(1) 自己の資質・能力の変化、向上

資質・能力では、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力、批判的思考力、企画力を尋ねた。

「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価を見ると、前三者と後二者の間には溝があり、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力の三者は7割5分以上であるが、批判的思考力、企画力の二者では低下して6割にとどまっている。

問 37 自ら学ぶ姿勢が身に付いたか

全体として「やや身に付いた」が 56.8%で最も多く、次いで「身に付いた」が 20.1%であり、7割7分の学生が肯定的に捉えている。学年別では、前問 36 同様、「身に付いた」は1年次から2年次にかけていったん減少するが、3年次、4年次に増加するという傾向がある。

問 38 論理的に考える力

全体として「やや身に付いた」が 58.3%で最も多く、「身に付いた」18.5%と合わせて、7割7分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」19.0%が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」3.7%と合わせて22.7%となり、無視できない数値である。学年別に見ると、学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

問 39 分析力、課題解決能力

全体として「やや身に付いた」が 58.6%で最も多く、「身に付いた」は 16.5%であり、7割5分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」20.4%が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」3.6%と合わせて24.0%となり、これも無視できない数値である。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

問 40 批判的に考える力

全体として「やや身に付いた」が 52.4%で最も多く、「身に付いた」は 17.1%であり、約7割の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」25.4%が、「身に付

いた」を超しており、「身に付いていない」4.1%と合わせると29.5%となり、前問より多くの約3割が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するのは前問と同様である。

問41 企画、アイデアなどの想像力

全体として「やや身に付いた」が51.3%で最も多く、「身に付いた」は13.1%であり、6割4分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」28.1%が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」6.7%と合わせると34.8%となり、さらに前問より多くの3割5分が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、これもおおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

(2) 表現する力の変化、向上

表現能力について、日本語、プレゼンテーション、ディスカッション能力の習得度を尋ねたものであるが、習得度の割合が、この順で低下している。

問42 日本語表現能力

全体として「やや身に付いた」が60.0%で最も多く、「身に付いた」は14.0%であり、7割4分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」21.3%が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」3.9%と合わせると25.2%となり、2割5分の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

問43 プレゼンテーション能力

全体として「やや身に付いた」が50.3%で最も多く、「身に付いた」は13.7%であり、6割4分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」27.7%が、「身に付いた」を超しており、「身に付いていない」7.6%と合わせると35.3%となり、3割5分の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

問44 ディスカッション能力

全体として「やや身に付いた」が47.2%で最も多く、「身に付いた」は14.6%であり、約6割2分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」30.4%が、「身に付いた」の2倍以上であり、「身に付いていない」6.9%と合わせると37.3%となり、3割7分の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従っ

て身に付いた系の回答が増加するようである。

問 42・43・44 をみると、この順番で表現能力の習得度が低くなっている。

(3) 他者と協働する力の変化、向上

この設問は社会で必要とされる「協働」についてであるが、この中で「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価が高かったのは問 46「協働して進める力」であった。これに比べて、問 45「コミュニケーションによる相互理解」や問 47の「まとめ上げる力」(リーダーシップ)は意外に低かった。

問 45 コミュニケーションによる相互理解

全体として「やや身に付いた」が45.6%で最も多く、「身に付いた」は17.8%であり、約6割3分の学生が肯定的に捉えている。しかし、「あまり身に付いていない」18.1%が、「身に付いた」を超え、「身に付いていない」9.8%と合わせると27.9%となり、3割弱の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

問 46 協働して進める力

全体として「やや身に付いた」が57.9%で最も多く、「身に付いた」は24.7%であり、約8割3分の学生が肯定的に捉えている。一方、「あまり身に付いていない」14.0%と、「身に付いていない」4.4%と合わせると18.4%となり、2割弱の学生が否定的に評価していることになる。学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

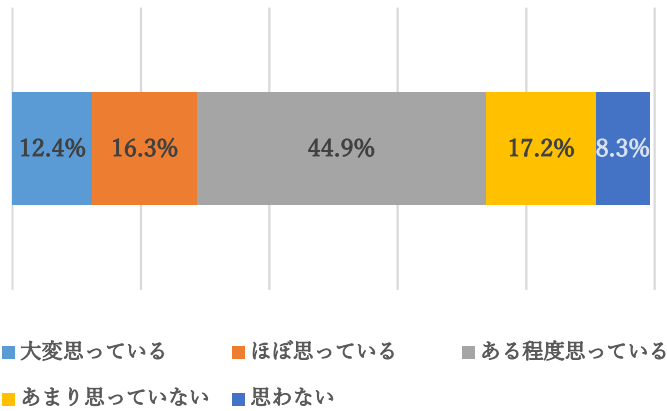
問 47 協働作業でグループをまとめ上げる力

この問はリーダーシップとしての力である。全体として「やや身に付いた」が48.1%で最も多く、「身に付いた」は14.9%であり、6割3分の学生が肯定的に捉えている。一方、「あまり身に付いていない」28.4%と、「身に付いていない」7.8%と合わせると36.2%となり、3割6分の学生が否定的に評価していることになる。前問45・46と比べて最も習得度が低い力である。なお学年別に見ると、おおむね学年進行に従って身に付いた系の回答が増加するようである。

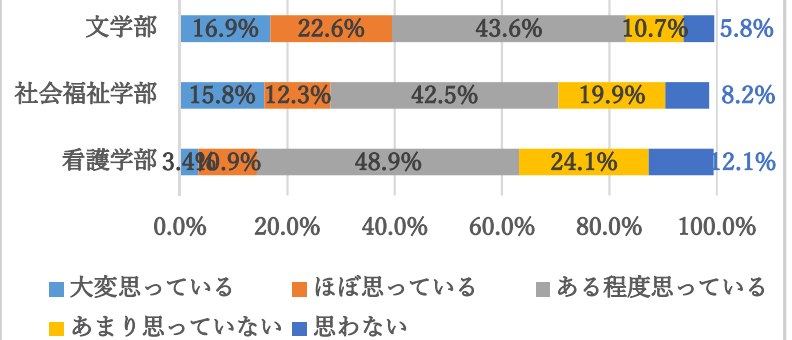
C その他

問 48 弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。

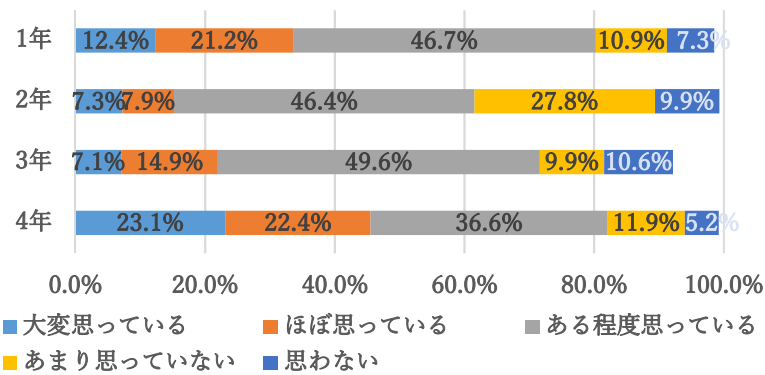
大学全体



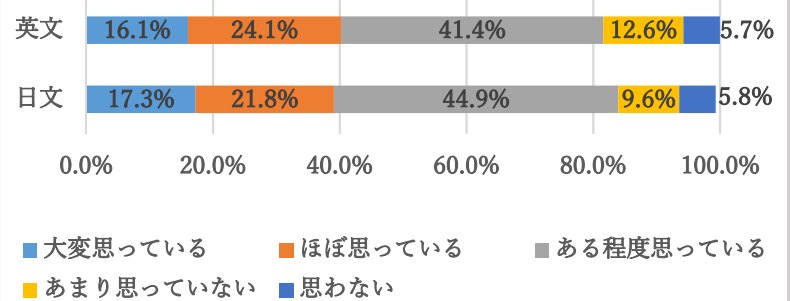
大学全体(学部別)



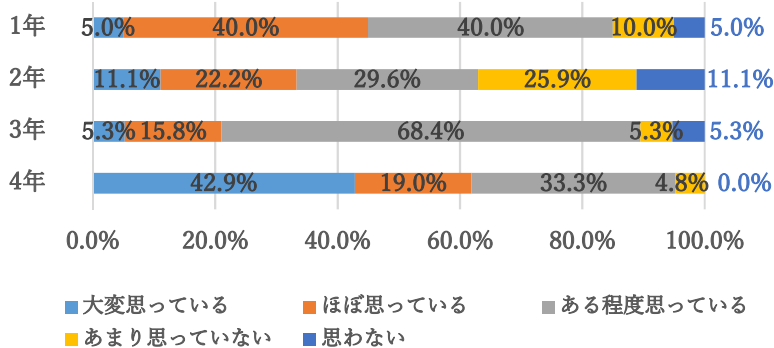
大学全体(学年別)



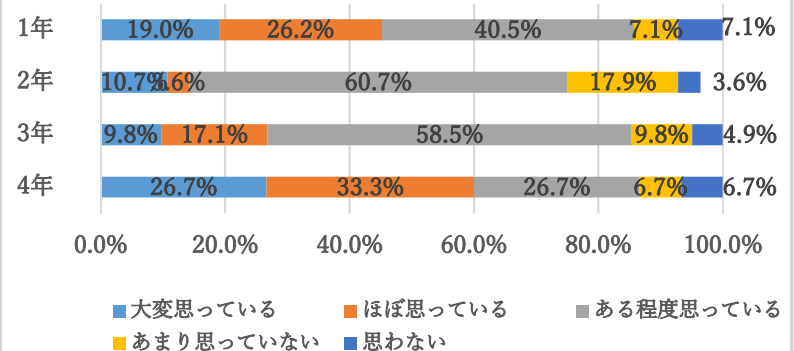
文学部(学科別)



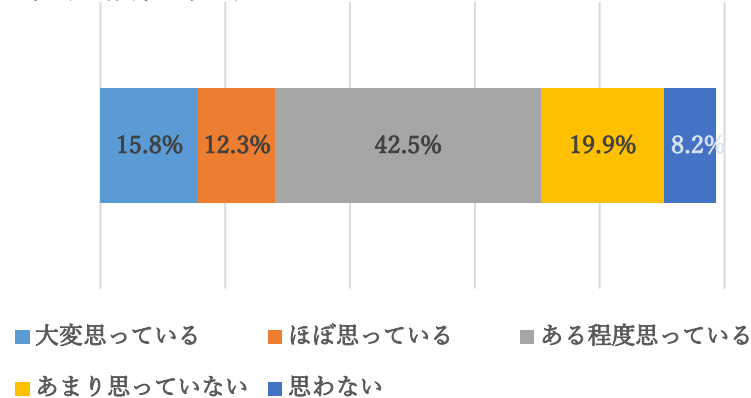
英語・英米文学科



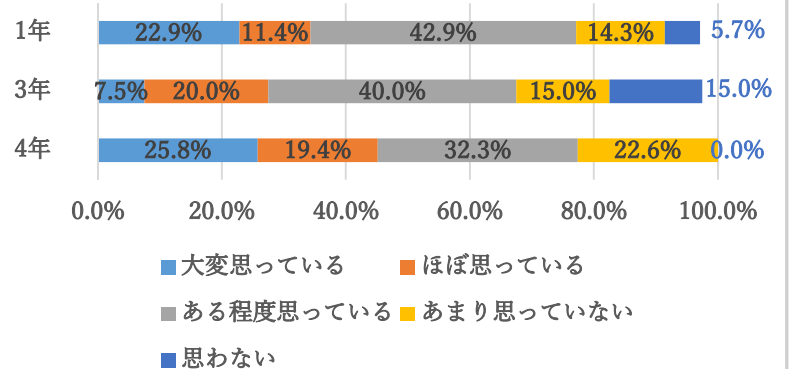
日本語・日本文学科

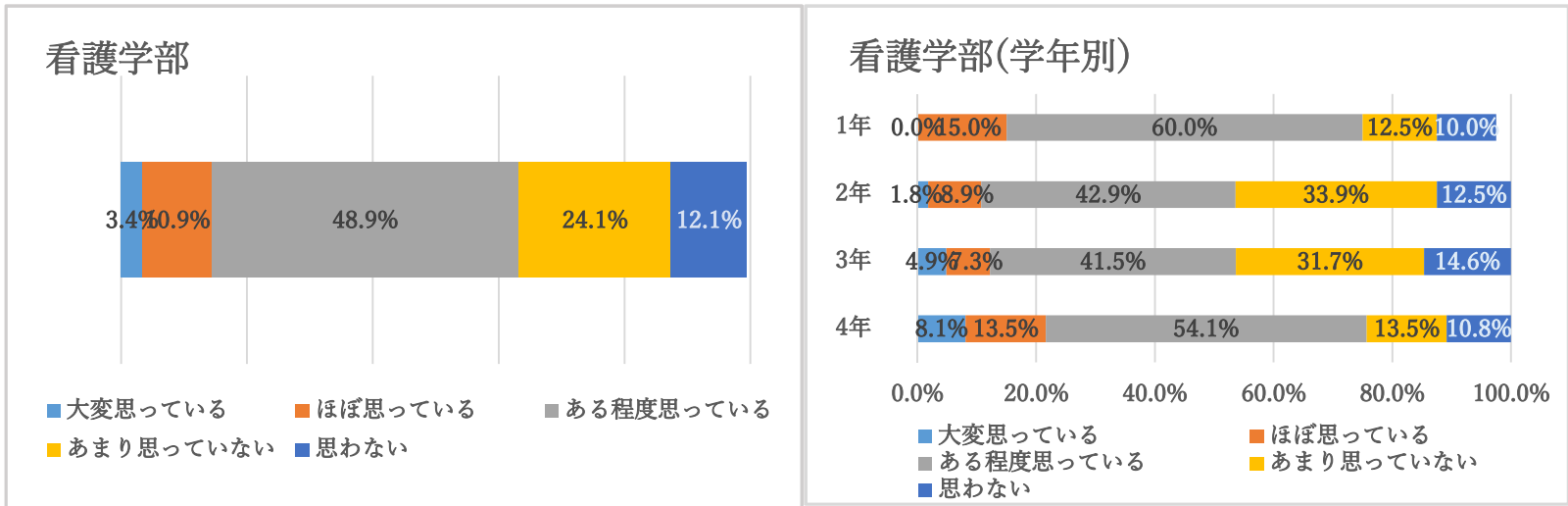


社会福祉学部



社会福祉学部(学年別)





C その他

C「その他」問48の図表・グラフ(70-71ページ)を参照されたい。

問48 弘前学院大学に入学して良かったか。

最後に、全体的な満足度に関する設問である。

満足の肯定的回答の「大変・ほぼ・ある程度」の合計が73.6%となる反面、「あまり思っていない」と「思わない」の否定的回答は、25.5%であり、無視できない割合である。これを学部別に見ると、文学部が約17%、社会福祉学部が約28%、看護学部が約36%となる。ただし、卒業時の4年生についてみると、3学部とも、3年次に比べて「ある程度」以上の肯定的回答が若干だが増えている。

自由記述

弘前学院大学への要望・希望に関する自由記述である。

記述は意外に少なかった。要望・希望の内容によって分けると、延べ84件であった。

以下、分類して要点を摘記する。(詳しくは「Ⅲ 資料 (3) 自由記述」80-81ページ参照)

I 施設・設備関係

(1) エアコン・冷房の要望(30件)

もっとも多かった要望である。延べ84件のうちの約36%にも達する。

(2) 食堂・学食(4件)

学食がなくなったが、この要望も多かった。

(3) その他

ラウンジを広くして。トイレにウォシュレットをつけてほしい。

II 大学の情報発信、大学・学部からの連絡、通知について

(1) 情報発信(4件)

ホームページのさらなる活用。

(2) 授業関係の連絡(8件)

ホームページやメールでも出してほしい。

(3) その他(成績通知の方法)

成績は郵送やインターネットでも。

III カリキュラム、授業関係

授業の仕方についての要望もあった。

IV 就活関係

就活に関するイベントや勉強会が他大学に比較して少ないという不満。

V コロナ関係

学生の安全を第一に考えてほしいという要望。

VI その他

「お世話になった先生方ありがとうございました。」「楽しい大学生活でした。ありがとうございました。」などの感謝があった。

以 上

Ⅲ 資料

(1) 回収状況等

	年次		在籍者数		配布数		回収数		回収率%	
大学全体			693		652		563		86.3	
文学部 上： 英語英米文 学科 下： 日本語日本 文学科	全体	英	277	103	266	97	243	87	91.4	89.7
		日		174		169		156		92.3
	1年	英	66	21	66	21	62	20	93.9	95.2
		日		45		45		42		93.3
	2年	英	70	33	70	33	55	27	78.6	81.8
		日		37		37		28		75.7
	3年	英	67	24	64	22	60	19	93.8	86.4
		日		43		42		41		97.6
4年	英	74	25	66	21	66	21	100	100	
	日		49		45		45		100	
社会福祉 学部	全体		168		162		146		90.1	
	1年		40		40		35		87.5	
	2年		44		44		40		90.9	
	3年		47		47		40		85.1	
	4年		37		31		31		100	
看護 学部	全体		248		224		174		77.7	
	1年		59		59		40		67.8	
	2年		64		64		56		87.5	
	3年		68		64		41		64.1	
	4年		57		37		37		100	

(2) 学修行動・学修成果アンケート調査票

学修行動・学修成果：アンケート調査のお願い

このアンケートは、弘前学院大学の学士課程教育の点検・評価を目的として、本学に在籍する新2～4年生の皆さんに、前年1年間を振り返って、学修に関する状況や学修の成果等について、どのように感じているかを、お尋ねするものです。

回答は無記名です。公表される集計結果から個人が特定されることや、回答者が不利益を被ることはまったくありませんので、安心して回答してください。

なお、回答し難い項目はそのままでも結構です。

2020（令和2）年4月 弘前学院大学

(注)「実施要項」に示したように、本アンケートの実施時期を調査学年1年～3年と4年と2回に分けたが、設問は両者全く同一であるので、ここでは「新2～4年生」用の表書きを示す。

問01 あなたの所属学部・学科等・学年についてうかがいます。

問02 あなたの居住形態（自宅・下宿・アパート）についてうかがいます。

自宅→①に、下宿→②に、アパート→③に、それぞれ○印を書いてください。

問03 あなたの身分についてうかがいます。

日本人学生→①に、留学生→②に、それぞれ○印を書いてください。

A 学修行動

1. 授業以外の諸活動

問04 アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

①なし ②5時間未満 ③5～10時間 ④5～10時間

⑤10～15時間 ⑥15～20時間 ⑦20～25時間 ⑧25時間以上

問05 部活、サークル活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

①なし ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

問06 ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。

①なし ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

2. 勉学状況

(1)登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修

問07 大学に何日登校しましたか。

①0日 ②1～2日 ③3～4日 ④5～6日 ⑤7日

問08 授業に出席した割合はどのくらいですか。

①0～20% ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80～100%

問09 しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。

①20%未満 ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80%以上

問10 興味・関心のある授業はどのくらいありますか。

①0～20% ②20%～40% ③40～60% ④60～80% ⑤80～100%

問11 授業の難易度について、総体的にどのように感じていますか。

①かなり易しい ②やや易しい ③ふつう ④やや難しい
⑤かなり難しい

問12 授業に対して、積極的に取り組みましたか。

①まったく取り組んでいない ②やや取り組んだ ③ふつう
④よく取り組んだ ⑤かなり取り組んだ

問13 授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。

①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問14 授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。

①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問15 授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でどのくらいですか。

①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

(2)授業以外の学修行動、ふだんの行動

問16 本を、月にどのくらい読んでいますか。

①読まない ②2冊以下 ③3～5冊 ④6冊以上

問17 新聞を読んでいますか。

①読まない ②たまに読む ③時々読む ④ほぼ毎日

問18 定期的に読んでいるものは何ですか。

①読まない ②マンガ、雑誌 ③週刊誌 ④専門誌

問19 インターネット（LINE、SNSなども含む）を、1日どのくらい使っていますか。

①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問20 ゲーム（オンラインゲームも含む）を、1日どのくらい使っていますか。

①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間 ④3～4時間30分
⑤4時間30分～6時間 ⑥6時間以上

問21 図書館をどのくらい利用していますか。

- ①まったく利用していない ②ほとんど利用していない ③月に1～2回
④週に1～2回 ⑤週に3～4回 ⑥ほとんど毎日

B 学修成果

1. 教育理念（建学精神）、C・P、D・P

問22 本学の建学の精神について、知っていますか。

- ①知らない ②あまり知らない ③多少は知っている ④よく知っている

問23 シラバスに記載されているC・P（カリキュラム・ポリシー）、D・P（ディプロマ・ポリシー）とは何か知っていますか。

（注）カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い。

ディプロマ・ポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。

- ①知らない ②あまり知らない ③多少は知っている ④よく知っている

2. 外国語能力

問24 昨年度どんな外国語の授業を履修していましたか。

- ①英語 ②ドイツ語 ③フランス語 ④中国語 ⑤韓国語

学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。

問25 読む力について

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問26 会話力について

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問27 書く力について

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問28 大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

- ①ない ②ある ③現在は無いが目指している

※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→（例）英検1級合格、TOEICで500点、など

3. ICTリテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）について

問29 文章作成ソフト（Wordなど）を使える。

- ①ほとんどできない ②あまりできない ③だいたいできる
④よくできる ⑤かなりよくできる

問30 プレゼンテーションソフト（PowerPointなど）を使える。

- ①ほとんどできない ②あまりできない ③だいたいできる
④よくできる ⑤かなりよくできる

問 31 表ソフトを使うことができる。

- ①ほとんどできない ②あまりできない ③だいたいできる
④よくできる ⑤かなりよくできる

問 32 大学入学後、取得した ICT 関連の資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

- ①ない ②ある ③現在は無いが目指している

※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→ (例) 日本語ワープロ検定試験 1 級合格、情報処理技能検定試験 表計算 2 級合格など

4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて

問 33 以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問 34 レポートや論文の作成について、必要な情報収集のスキル（文献、資料統計などの検索方法など）が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問 35 レポートや論文の作成について、書くために必要なスキル（書式や作法など）が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問 36 専門的な知識やスキルが身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

5. 総合的な力

(1) 自己の資質・能力の変化、向上について

問 37 自ら学ぶ姿勢が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問 38 論理的に考える力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問 39 分析力、課題解決能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた

④身に付いた

問40 批判的に考える力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問41 企画・アイデアなどの創造力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

(2) 表現する力の変化、向上について

問42 日本語表現能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問43 プレゼンテーション能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問44 ディスカッション能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

(3) 他者と協働する力の変化、向上について

問45 他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問46 協働して物事を進める力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

問47 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。

- ①身に付いていない ②あまり身に付いていない ③やや身に付いた
④身に付いた

C その他

問48 弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。

- ①思わない ②あまり思っていない ③ある程度思っている。
④ほぼ思っている ⑤大変思っている

自由記述

最後に、弘前学院大学への要望・希望があれば、自由に書いてください。

(3) 自由記述

I 施設・設備関係

(1) エアコン・冷房の要望

- ・エアコンを設置してほしい。夏場は暑すぎて熱中症になるリスクが他の講義室に比べ高すぎる。(同趣旨 30 件)

(2) 食堂・学食

- ・学食を復活してほしい。学食をなくしたのは、すごく困りました。(同 4 件)

(3) その他

- ・ラウンジを広くしてほしい。
- ・トイレにウォシュレットをつけてほしい(2 件)

II 大学の情報発信、大学・学部からの連絡、通知について

(1) 情報発信

- ・情報関係を改善してほしい。ホームページが見にくい
- ・情報の出し方を迅速に。緊急という単語を使う場面を考えて。
- ・ホームページの更新情報等をツイッターなどの SNS と連携してほしい(2 件)

(2) 授業関係の連絡

- ・休講や行事予定を HP でも知らせてほしい(2 件)
- ・掲示板だけでなく、メールやホームページでも授業変更等をだしてほしい。
- ・補講、休講の連絡を早くして(3 件)
- ・日程の連絡はもっと早めに教えてほしい。
- ・実習の日程の連絡を早めに

(3) その他

- ・成績表は直接配布するのではなく、郵送やインターネットを利用することを考えてほしい。
- ・テストの成績をメールやネットで確認できるようにしてほしい。(2 件)

III カリキュラム、授業関係

(1) カリキュラム関係

- ・看護でも英語以外の外国語を学べるようにしてほしい
- ・再試を 4 年生しか受けられないことを何とかしてほしい

(2) 授業関係

- ・講義をもっと面白くしてほしい。
- ・先生の授業が下手すぎる。教え方を学ぶべき。
- ・「できて当然」という考えで講義を行わず、学生の様子を見ながら解説・説明をしてほしい。

- ・私語がひどいので何とかして。

IV 就活関係

- ・就活に関するイベントや勉強会が他大学に比較して少ない
- ・就職活動の相談にもう少し親身になってほしかった。

V コロナ関係

- ・コロナの影響で、学生の安全を第一に考えてほしい。
- ・広い教室を使うなどコロナウイルス関係の対策をとってほしい。

VI その他

- ・高校の後輩に貴校はお勧めしません
- ・お世話になった先生方ありがとうございました。(2件)
- ・楽しい大学生活でした。ありがとうございました。

以 上

あとがき

この「学修行動・学修成果アンケート調査」は、本学が全学統一的に実施したのは今回が最初である。

実施したのが卒業時期の3月下旬から新学期始まって早々の4月であり、折悪しくも、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、体調不全による出校自粛をはじめ、学内外の各行事の中止、延期、縮小等の措置を余儀なくされていた時期であった。アンケート回答は、こうした学事上の各種説明会やガイダンス等の合間を縫っておこなわれた。

年度末から新学期早々の慌ただしさに加えて、こうした緊迫した時期に、アンケートに快く協力していただいた学生の皆さんに御礼申し上げたい。

本アンケートは、学修行動と学修成果の2つの側面について、設問数も約50問の多岐に亘っているが、かなり率直な意見、感想を寄せていただいた。今後、これらを教育、学修環境の改善・充実にこれを有効に活かさなければならぬと考える。

なお、本報告書の作成にあたって、昨年度に続いてデータの整理、図表化は本学の電子機器管理センターにおいて処理した。これらのデータは、一昨年度設置された弘前学院大学IR室において管理・運用される。

(大学FD委員会委員長 藁科勝之)

2019（令和元）年度 弘前学院大学 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施結果報告書
編集・発行 弘前学院大学：大学FD委員会 弘前学院大学 〒036-8577 弘前市大字稔町13-1 電話 0172-34-5211（代） FAX 0172-32-8768
2020（令和2）年6月30日 発行